

厚生労働行政推進調査事業費補助金

難治性疾患政策研究事業

指定難病の普及・啓発に向けた統合研究

H30-難治等(難)-指定-003

平成 30～令和 2 年度 総合研究報告書

研究代表者 和田 隆志

令和 3 (2021) 年 3 月

目次

I.総合研究報告

指定難病の普及・啓発に向けた統合研究

和田 隆志 金沢大学事務局 理事 ----- 1
(資料)

1. 電子カルテシステムおよび医事会計システムを活用した普及・啓発の概要
2. 医療システム改良（指定難病支援機能）の概説
3. 指定難病支援機能説明資料
4. 指定難病支援機能 患者への通知文
5. 指定難病支援機能 評価に関する院内アンケート
6. 院内アンケートの結果概要
7. 指定難病告示病名-MEDIS病名マッピング
8. 小児慢性特定疾病-MEDIS病名マッピング
9. MEDISへの病名登録について
10. MEDISへの病名登録依頼について
- 11-1. 難病情報センターHP翻訳について 難病対策の概要
- 11-2. 難病情報センターHP翻訳について 医療費助成
- 11-3. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 医療費助成について
- 11-4. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病の概要
- 11-5. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 指定医と指定医療機関について
- 11-6. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 児童等自立支援事業について
- 11-7. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 自己負担について
- 11-8. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 手続きの流れ
- 11-9. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 重症認定基準について
- 11-10. 難病情報センターHP翻訳について 小児慢性特定疾病 日常生活用具給付事業について
12. 患者申出制度普及・啓発に関するパンフレット
13. 指定難病患者データベース普及・啓発に関するパンフレット
14. 疾患群分類と重症度について
15. 疾患群分類の作業に関するまとめ
16. 政策研究班へのアンケート結果概要
17. feasibility study概要
18. 小児慢性特定疾病児童等データベースと
指定難病患者データベース連結に関するアンケート結果概要

II.研究成果の刊行に関する一覧 ----- 280

指定難病の普及・啓発に向けた統合研究

研究代表者 和田 隆志

金沢大学事務局 理事

研究要旨

平成 27 年 1 月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」（以下、難病法という）に基づき、指定難病患者への医療費助成や、調査及び研究の推進、療養生活環境整備事業等が実施されている。特定疾患治療研究事業（旧事業）の対象疾病は 56 疾病から、現在 333 疾病にまで指定難病は増加した。一方で、軽症高額等といった指定難病制度の国民の理解を一層広めること、指定難病制度に係る普及・啓発をさらに進める必要があることが認識されている。また、指定難病の選定の公平性および疾患群間の診断基準や重症度分類の整合性や公平性の担保も重要な課題であること、難病患者のデータベース（以下、DB という）の研究への利活用等も課題として指摘されている。

これを受け、本研究班では、①最適な普及・啓発の推進および効率的・効果的な方法の開発、②公平性を担保した施策の継続、③効果的なデータベースの研究応用のための方策を討議することを目的とし、①普及・啓発分科会、②均霑化分科会、③データベース分科会（以下、DB分科会という）の3つの分科会で構成し、検討を行った。

普及・啓発分科会では、先に記載したような指定難病制度の普及・啓発の推進を目的として研究を実施した。本分科会では、「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究（研究代表者：和田隆志、平成 28 年～29 年に実施）により提案された電子カルテおよび医事会計システム（以下、医療システムという）の試験的な改良を進めた。まず、医療システムを改良するにあたり指定難病告示病名と MEDIS 病名が非対応であることが課題であった。そこで、本研究班でプログラムを作成し、告示病名と MEDIS 病名をマッピングし、非対応の告示病名のリストを作成した。その結果、一次性ネフローゼ症候群など 21 疾病が登録されていないことが分かった。このリストを参考に、MEDIS に登録されていない病名の登録を行い、令和元年 6 月より、これらの病名が登録されたもので MEDIS の運用が開始されている。その後、医師のみならず、患者と医療事務等の医療従事者を含めた 3 者を同時に対象とできることを特長とした普及啓発方法を開発し、令和 2 年度に実装した。また、令和 2 年度は医療システム改良前の実態調査のためにアンケートを実施した。令和 3 年 3 月の導入後約 1 年にあたる令和 4 年 3 月ごろに同院職員に対してアンケートを実施し比較することで、本機能による申請率の変化や指定難病制度の普及状況等の効果を評価する予定である。その他、今後予定されている「患者申出制度」の普及・啓発のためのパンフレット作成や臨床調査個人票の研究利用を進めるための「臨床調査個人票の利用方法」に関するパンフレット作成を行い、指定難病制度の国民および研究者への普及・啓発も進めた。

均霑化分科会では、法制定時の趣旨を踏まえ、これまで個別に設定されてきた重症度基準（医療費助成基準）について、疾病間の公平性がより担保された基準とすることが可能かど

うか検討を行った。これらの検討を進めるにあたり、まず、指定難病を分類するための疾患群の整理を行った。さらに、各指定難病を各疾患群へ分類するための方策を検討した。その後、検討した方針に基づき、各指定難病を各疾患群への分類を行った。また、現行のすべての指定難病について、疾病横断的な基準により、各疾病の症状の程度を測ることが可能かどうかを検討した。そして疾患横断的な基準の在り方として、①全疾患に対して、modified Rankin Scale (mRS) , Barthel Index (BI) 等同一の基準を一律に導入することができるかどうか、②疾患群ごとに共通の基準を導入することができるかどうか等について検討を行った。指定難病は症状が多臓器にわたる疾患が多いため一律に重症度基準を設けることは困難だが、各疾患への助成の公平性を維持することは重要であり、可能な限り共通の基準を設けることは必要であると確認した。

DB分科会では、指定難病患者DBの信頼性および指定難病患者DBの研究における有効活用について検討することを目的に研究を行った。信頼性・研究意義の検証として、指定難病患者DBに登録されている当該患者の情報と研究レジストリーの有する情報を比較・検討することで、指定難病患者DBの信頼性と研究利用の意義の検証を行った。本分科会では、HTLV-1関連脊髄症 (HAM) およびウェルナー症候群を対象とした feasibility study を実施した。HAMを対象とした feasibility study では、DBの信頼性の検証において、初発症状や発症年の一致率が低いことが確認された。一方、年齢や家族歴などの基本情報や臨床所見、過去1年間の治療においてはある程度一致することが示された。また、臨床調査個人票の経年変化を解析したところ、HAMねつとの既報告(OMDSは1年あたり0.06~0.25ほど有意に上昇する)と臨床調査個人票から得られた結果は整合性を認め、臨床調査個人票の経年データの研究的活用の意義を裏付ける結果であった。ウェルナー症候群を対象とした feasibility study では、現在、同意取得を進めており、来年度以降に報告を予定している。また、小児慢性特定疾病児童等DBと指定難病患者DBの連携に関する検証研究では、小児期に発症し、その後成人へ移行しうる疾患であるミトコンドリア病 (MELAS および Leigh 脳症) を対象とし検証を行った。こちらも、現在、同意取得を進めており、来年度以降に報告を予定している。

本研究班で得た結果は、学会や研究班等へ提供し、今後も指定難病の普及・啓発が推進されることを期待する。

A. 研究目的

難病法に基づき、指定難病患者への医療費助成や、調査及び研究の推進、療養生活環境整備事業等が実施されている。特定疾患治療研究事業（旧事業）の対象疾病は56疾病から、現在333疾病にまで指定難病は増加した。一方で、軽症高額等といった指定難病制度の国民の理解を一層広めること、指定難病制度に係る普及・啓発をさらに進める必要があることが認識されている。また、指定難病の選定の公平性および疾患群間の診断基準や重症度分類の整合性や公平性の担保も重要な

課題であること、難病患者のデータベース（以下、DBという）の研究への利活用等も課題として指摘されている。

これを受け、本研究班では、①最適な普及・啓発の推進および効率的・効果的な方法の開発、②公平性を担保した施策の継続、③効果的なDBの研究応用のための方策を討議することを目的とし、①普及・啓発分科会、②均霑化分科会、③DB分科会の3つの分科会で構成し、検討を行った。

B. 研究方法

① 普及・啓発分科会

1) 医療システムの改良

医療システム改良を行うにあたり課題の整理を行った。課題を解決し、指定難病制度の普及・啓発のために最適なシステム改良の方法について検討を行った。具体的には①普及・啓発の対象者、②医療システム改良で対象とする病名、③普及・啓発の方法などについて議論を行い、医療システム改良の仕様書の作成を行った。

その後、医療システムの作動性の検証を行い、システムの作動性に問題はないことを確認した後、作成した仕様書に基づく医療システム改良を進めた。研究代表者が所属する金沢大学附属病院にて医療システムの試験的改良を行い、「指定難病支援機能」を開発した。この「指定難病支援機能」は、医師のみならず、患者と医療事務等の医療従事者を含めた3者を同時に対象とできる普及啓発方法であることが特長である。

具体的には、指定難病または小児慢性特定疾病（以下、指定難病等）の病名登録時に患者に対して指定難病等であることを通知してよいかどうかの指示（指定難病通知区分の選択）を可能とする機能である。指定難病通知区分にて「許可」を選択した場合は、医事会計システムにて指定難病通知文書「指定難病に関するお知らせ」を発行し、患者に手渡すことで、医療費助成の申請を促すことができる。

2) 医療システム改良に伴う効果の評価

前述の医療システム改良に伴う効果（申請率の向上、指定難病制度の普及状況など）を評価するにあたり、医療システム改良前の実態調査のためのアンケートを実施した。今後は、令和3年3月の導入後約1年にあたる令和4年3月ごろに同院職員に対してアンケートを実施し比較することで、本機能による申請率の変化や指定難病制度の普及状況等の効果を評価する予定である。

3) 指定難病病名とMEDIS病名のマッピング

上記システム改良を行うにあたり、告示病名とMEDIS病名が非対応であることが課題であった。本研究班で作成したプログラムにより、告示病名とMEDIS病名をマッピングし、非対応の告示病名のリストを作成した。このリストを参考に、MEDISに登録されていない病名の登録をMEDISへ依頼し、MEDISへの病名登録を行った。

4) 指定難病制度の普及・啓発（難病情報センター、患者申出制度、臨床調査個人票など）

指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究班（研究代表者 和田隆志）で行った難病情報センターホームページの英訳に対して、難病法が英訳化されたことに伴い、再度整合性をとる形の修正を実施した。

また、患者を対象として、今後開始が予定されている患者申出制度について普及・啓発を行うためのパンフレットの作成を検討した。また、臨床調査個人票の利用方法（研究利用等）を普及・啓発するためのパンフレット作成も検討した。

② 均霑化分科会

1) 指定難病を指定する際の公平性の整理

指定難病を指定する際の要件について検討を行った。

2) 既存の指定難病についての再検討の方法の検討

指定難病の要件にそぐわなくなった疾病についての考え方について検討を加えた。

3) 重症度分類の整合性の検討

○適切な疾病単位のとらえ方の整理

遺伝性自己炎症疾患、ライソゾーム病のような類縁疾患に対する考え方を整理した。

○各指定難病の疾患群の整理

現在の指定難病の疾患群について再検討を行った。

○指定難病を各疾患群へ分類する方法の検討

各指定難病を各疾患群に分類する際の方策

について検討した。

○各指定難病を各疾患群へ分類する試み

上記の方針に基づき、問題点のある指定難病について、各疾患群への分類を試みた。

○各指定難病の重症度基準（医療費助成基準） についての問題点の整理と今後の展望

指定難病の重症度基準についての様々な問題点を検討した。特に医療費助成についての公平性の担保について、今後のあるべき方向性について検討を行った。

③ DB 分科会

1) 指定難病 DB 登録内容の意義や信頼性に関する検討 (feasibility study)

指定難病DBにおいて、特定の疾患に関して登録されているデータについて、研究レジストリで登録されているデータと比較検討することで、その信頼性や意義について検証した。HTLV-1関連脊髄症 (HAM) を対象とした feasibility study については、症例を追加し再解析を行った。さらに、ウェルナー症候群を対象とした feasibility study については、更なる同意取得と検証データの累積を進めた。

2) 小児慢性特定疾病児童等DBと指定難病患者DBの連携に関する検証研究

小児慢性特定疾病DBと指定難病DBの連携に関するニーズや意見についてアンケート調査を行い、分析を行った。

その後、小児慢性特定疾病DBと指定難病DBの連携に関して、ミトコンドリア病でデータ比較を行う研究計画案を作成し、同意取得を進めた。

(倫理面への配慮)

本研究では、DB 分科会で実施した feasibility study において患者の個人情報などを扱う。そのため、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に該当する研究と考えた。前述の指針を遵守し、研究実施機関である千葉大学の倫理審査委員会にて承認を得たうえで、対象患

者から書面で研究同意を得て研究を行った。

C. 研究結果

●普及・啓発分科会について

1) 医療システムの改良

「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究(研究代表者:和田隆志、平成28年~29年に実施)により提案された医療システムの試験的な改良を進めた。

医療システム改良を行うにあたり課題の整理および検討を行った。具体的には①普及・啓発の対象者、②医療システム改良で対象とする病名、③普及・啓発の方法などについて議論を行った。平成30年度および令和元年度に、仕様書の作成、作動性の確認を実施した。令和2年度は、昨年度までに行った検討(普及・啓発の対象、使用する病名、普及・啓発の方法など)に基づき作成した仕様書に沿って医療システムの改良を進めた(資料1、2、3)。この医療システムの試験的改良による「指定難病支援機能」を開発により、患者と医療事務等の医療従事者を含めた3者に対して普及啓発を実施できることとなる。具体的には、指定難病等の病名登録時に患者に対して指定難病等であることを通知してよいかどうかの指示(指定難病通知区分の選択)を可能とし、指定難病通知区分にて「許可」を選択した場合は、医事会計システムにて指定難病通知文書「指定難病に関するお知らせ」を発行し、患者に手渡すことで、医療費助成の申請を促すことができる(資料4)。

令和3年3月15日および16日に、金沢大学附属病院職員向けに説明会を実施後、3月17日から本機能の使用を開始した。

2) 医療システム改良に伴う効果の評価

システム改良後に、システム改良に伴う効果(申請率の向上、指定難病制度の普及状況など)を評価するにあたり、アンケートを作成、実施した(資料5)。具体的なアンケート

ト内容として、「診察した患者が指定難病の対象患者であることを、診察終了後すぐに把握できれば、申請率は向上すると思うか?」といったポップアップの効果に関するものに加え、「どのようにして指定難病について知るか?」、「診断した疾患が指定難病に指定されていることをいつの時点で知ることが多いか?」など指定難病制度の普及・啓発に関する内容も含めて実施した(資料6)。アンケート結果については、導入後約1年にあたる令和4年3月ごろに同院職員に対してアンケートを実施し、令和2年度に実施したアンケートの回答と比較することで、本機能による申請率の変化や指定難病制度の普及状況等の効果を評価する予定である。

3) 指定難病病名とMEDIS病名のマッピング

システム改良を行うために、告示病名とMEDIS病名が非対応であることが課題だった。本研究班でプログラムを作成し、告示病名とMEDIS病名をマッピングし、非対応の告示病名のリストを作成した(資料7、8)。一次性ネフローゼ症候群など21疾病が登録されていないことが分かった(資料9)。このリストを参考に、MEDISに登録されていない病名の登録をMEDISへ依頼した(資料10)。そのうち、一次性ネフローゼ症候群や先天性副腎低形成症などの12疾病が令和元年6月に更新されたマスターで新たに登録された。さらに、爪膝蓋骨症候群などの3疾病は同義語として登録され、ライソゾーム病などの包括病名である6疾病は下位病名が登録された。令和元年6月より、これらの病名が登録されたもので運用が開始されている。

4) 指定難病制度の普及・啓発(難病情報センター、患者申出制度、臨床調査個人票など)

指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究班(研究代表者 和田隆志)で行った難病情報センターホームページの英訳に対して、難病法が英訳化されたことに伴い、再度整合性を

とる形の修正を実施した(資料11)。

また、患者を対象として、今後開始が予定されている患者申出制度について普及・啓発を行うためのパンフレットの作成を行った(資料12)。また、臨床調査個人票の利用方法(研究利用等)を普及・啓発するためのパンフレット作成も行った(資料13)。

●均霑化分科会について

1) 指定難病を指定する際の公平性の整理

指定難病の要件(1. 発症の機構が明らかでない、2. 治療法が確立されていない、3. 希少性疾患である、4. 長期の療養を必要とする、5. 疾病について客観的な指標による一定の基準がある、6. 他の施策体系に含まれない)について再検討を行った。例えば、HTLV感染症(成人T細胞性白血病とHTLV1関連脊髄症)、麻疹と亜急性全脳炎、FAP(家族性大腸腺腫症)およびJP(若年性ポリポーシス)などについての考え方の整理を行った。

2) 既存の指定難病についての再検討の方法の検討

治療法が大幅に向上し、予後が改善している疾患についての考え方を検討した。また、責任遺伝子や自己抗責任遺伝子や自己抗体の同定により発症の機構が明らかになりつつある疾病に対する考え方も検討した。原因は明らかとなったものの、それがどのように発症に関与しているのか(病態)が十分解明されていない場合は、従来通り難病に該当するものとして考えてよいと考えた。希少性については、すでに0.1%を越した疾患が存在しており、今後継続した検討が必要であると考えられた。

3) 重症度分類の整合性の検討

○適切な疾病単位のとらえ方の整理

遺伝性自己炎症疾患、ライソゾーム病のような類縁疾患に対する考え方を整理した。その結果、運用上ひとつの疾患としてくくるのが適切なものについては、一疾患としてまとめる方向性が確認された。ミトコンドリア病も、一疾病

としてまとめる方向で一致したが、例えばレーベル遺伝性視神経症などは明らかに眼科疾患であり、すでに別に独立して扱われている（指定難病 302）。一方でミトコンドリア心筋症はミトコンドリア病に含まれているが、循環器疾患として別にすべきとの意見も出された。同じ遺伝子異常に基づく疾患が別々の独立した指定難病となっているという点に対しては、今後、まとめる方向にすべきとの意見が出された。

○各指定難病の疾患群の整理（資料 14）

現在、指定難病は 15 疾患群に分類されているが、形成外科疾患は数も少なく、整形外科疾患などへ分類することが可能であることから、これを整理して、14 疾患群とすることが適切と考えた。一方、難病情報センターの分類についても耳鼻科系疾患と聴覚・平衡機能系疾患を耳鼻咽喉科疾患として統一させ、14 疾患群とすることが適切と考えた。これによって、指定難病の疾患群分類と、難病情報センターの疾患群分類は一致することになった。

○指定難病を各疾患群へ分類する方法の検討（資料 15）

各指定難病を各疾患群に分類する際の方策について検討した。具体的には、

- ① まず、最も適切な 1 つの疾患群に分類することを試みるが、1 つの疾患群に分類すること困難な場合の対応をいかにするか。
- ② 多くの疾患で構成されるライソゾーム病やミトコンドリア病等の指定難病の有する問題点について。
- ③ 今後、新たな疾患群に再分類されることにより生じる問題点について。

などについて検討を行った。具体的な検討結果については、令和 2 年度の分担研究報告書を参照されたい。

○各指定難病を各疾患群へ分類する試み（資料 15）

上記の方針に基づき、問題点のある指定難病について、各疾患群への分類を試みた。

具体的には、「ライソゾーム病（指定難病 19）

は代謝疾患とするが、ファブリ病は循環器疾患および腎疾患としてはどうか」、「ミトコンドリア病（指定難病 21）は代謝疾患とするが、ミトコンドリア心筋症は循環器疾患、MELAS や MERRF は神経筋疾患、ミトコンドリア腎症は腎疾患としてはどうか」などの分類を行った。疾患数が多数あり、本報告書では一例のみの記載とする。詳細については令和 2 年度の分担研究報告書を参照されたい。

○各指定難病の重症度基準（医療費助成基準） についての問題点の整理と今後の展望（資料 15）

分科会にて重症度基準（医療費助成基準）
についての問題点を整理し、今後の展望について以下のように取りまとめた。

- ① 各指定難病の疾患群分類については、3) の結果に基づいて、まず各班に最も適切と思われる疾患群を提示し検討を行うことが必要である。
- ② 公平性の推進、医療費助成判定作業の簡素化に鑑み、指定難病全体に modified Rankin Scale (mRS), Barthel Index (BI), EuroQol 5 dimensions (EQ-5D) などの共通の重症度基準を考慮することも必要である。
- ③ 指定難病制度のための重症度基準（医療費助成基準）と、実際の診療に必要な重症度分類は分けて考えてはどうか、という意見が出された。重症度分類は、本指定難病制度にとらわれず、実際の医療・医学のためのものとし、一方、本制度の重症度基準（医療費助成基準）は、医療費助成のためのものとして、簡素化、均霑化をはかる、という方策が好ましいとの意見が出された。
- ④ 各疾患群毎の代表的な重症度基準（医療費助成基準）について、その burden をできるだけ統一させることが必要である。
- ⑤ 現在、世界的に認知されている、あるいは国内でも広く普及している重症度分類を（クローン病の重症度分類など）、医療費助成のための重症度基準として用いるこ

ともありうる。

- ⑥ 疾患群を見直すことによって、現在とは異なる疾患群に分類されることになる疾患の、今後の診断基準、重症度分類、情報センターの概要、解説などの改定については、各研究班の改変に合わせて、継続性も勘案の上、依頼する必要がある。
- ⑦ 各疾患群に共通の重症度基準については、該当の学会に取りまとめを依頼することも考慮する必要がある。
- ⑧ 多くの指定難病において、病因病態の解明、治療法の進展が著しいため、難病情報センターのホームページの、一般向け、医療者向けの「解説、概要」の定期的な改訂が必要である。特に「医療者向け」の改訂については、指定難病検討委員会の承認が必要となっているため(局長通知)、指定難病委員会を介した各研究班への依頼など、改訂を容易におこなうための具体的方策が必要である。加えて、指定難病の概要、解説、臨床調査個人票適改訂を適切に遂行するための部門の設置が必要である。

●DB 分科会について

1) 指定難病 DB 登録内容の意義や信頼性に関する検討 (feasibility study)

難治性疾患政策研究事業で支援されている研究班に対し実施した指定難病 DB に関するニーズ調査の結果をもとに(資料 16)、HAM およびウェルナー症候群を対象疾患とし指定難病 DB 登録内容の意義や信頼性を検討する feasibility study を実施した(資料 17)。

・HAM を対象とした feasibility study

本研究に関して聖マリアンナ医科大学および医薬基盤研究所の倫理審査委員会の承認を取得後に、HAM ねっとに登録されている患者へ同意説明文書および同意書を郵送し、書面同意を得た。

同意を得られた 194 名のうち、139 名 334 件の臨床調査個人票データを得た。334 件のうち、

同一データ、欠損の多いデータを除いた 138 名 332 件を対象とし解析を行った。具体的には、①臨床調査個人票と HAM ねっとデータを比較することによる指定難病 DB の信頼性に関する検討、②経年データに関する検討、③臨床調査個人票における疾患特異的重症度スケールと疾患横断的重症度スケールの比較に関する検討を行った。①では、性別、家族歴などでは完全一致率が 80%を超えていた。一方、初発症状の感覚障害は一致率が低かったなどの結果が得られた。②では、臨床調査個人票および HAM ねっとデータの両者において経年で OMDS が悪化する傾向が得られた。③では、臨床調査個人票の疾患横断的スケールである BI、EQ-5D-3L、疾患特異的重症度スケールである OMDS それぞれの相関を調べ、BI や OMDS の値が悪いと EQ-5D-3L のスコアが悪くなる事が確認された。

解析結果の詳細については各年度の分担報告書を参照されたい(現在、データ投稿中)。

・ウェルナー症候群を対象とした feasibility study

本研究に関して千葉大学の倫理委員会の承認を取得後に、ウェルナー症候群レジストリに登録されており、かつ千葉大学医学部附属病院に通院している患者から書面同意を得た同意を得た患者のレジストリ ID、氏名、性別、生年月、住所の情報を、指定難病患者データベース登録を担当している医薬基盤研究所へ送り、当該患者の難病 DB に登録されている臨床調査個人票のデータを、個人に直結する情報を除外した上で、千葉大学へ郵送し、ウェルナー症候群レジストリに登録されている当該患者のデータとあわせて解析した。現在、12 名(43 件)を解析対象とした。解析結果の詳細については各年度の分担報告書を参照されたい。

2) 小児慢性特定疾病児童等 DB と指定難病患者 DB の連携に関する検証研究

小児慢性特定疾病児童等 DB (小慢 DB) および指定難病患者 DB (難病 DB) に登録されている

疾患を担当している 56 研究班および小児科学会の 18 分科会を対象としてアンケート調査を実施した。

研究班は 38 班(回答率:67.9%)から、小児科学会は 8 分科会(回答率:44.4%)から回答を得た。アンケート結果としては、ほとんどの研究班で両 DB の連結データ利用の希望があり、疾患の経過に関する項目の利用希望が目立った。また、両 DB で収集すべき評価スケールについては、疾患特定の評価スケールや、疾患横断的评价スケール (BI など) の希望が多かった (資料 18)。

その後、小児期に発症し、その後成人へ移行しうる疾患であるミトコンドリア病

(MELAS および Leigh 脳症) を対象とし検証を行った。ミトコンドリア病に関する研究レジストリを構築している千葉県立こども病院の村山医師に依頼し、研究計画書および同意説明文書を作成し、千葉県立こども病院の倫理委員会へ申請し承認を取得した。小慢から指定難病に移行する可能性がある患者 (18 歳~22 歳) を対象に分析した結果、159 件のデータが本調査の対象になりうる事が判明した。

D. 考察

現在、指定難病の普及・啓発が必ずしも十分とはいえない現状がある。また、指定難病の選定の公平性および疾患群間の診断基準や重症度分類の整合性や公平性が担保されていないこと、難病患者の DB が研究へ十分に利活用されていないこと等が問題点として指摘されている。これらの課題に対して、各分科会の活動を通して以下のような考察を行った。

① 普及・啓発分科会

「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究 (研究代表者:和田隆志) で実施した 5 学会 (日本皮膚科学会、日本外科学会、日本腎臓学会、日本神経学会、日本小児科学会) を対象とした実

態調査にて、指定難病の普及・啓発を進めることが課題と考えられた。指定難病の普及・啓発が進んでいない 1 つの原因として、「指定難病に該当する疾患であることを知らないこと」が挙げられた。

この課題を解決すべく、医療システムの改良に着手し、「指定難病支援機能」を開発した。本研究班での検討の結果、(1) 医師、(2) 患者、(3) 医療事務を対象とした改良を進めた。このシステムの稼働に伴い、3 者の指定難病に対する普及・啓発が進み、①指定医以外の医師への指定難病等に対する理解の向上、②患者の指定難病に対する認識の向上、③医療事務等の医療従事者の指定難病への意識の向上等を通じ、申請率の向上、指定難病制度のさらなる活用が期待される。

本研究班では、令和 3 年 3 月の導入後約 1 年にあたる令和 4 年 3 月ごろにアンケートを実施し、本機能による申請率の変化や指定難病制度の普及状況等の効果を評価する予定である。

その他、本研究班では、指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」研究班 (研究代表者 和田隆志) で行った難病情報センターホームページの英訳に対して、難病法が英訳化されたことに伴い、整合性をとる形の修正を行った。これにより本邦における指定難病への取組みの海外への普及・啓発も推進した。

さらに、前述の実態調査では「指定難病制度そのものに対する理解が不十分」であるという問題点も指摘された。本研究班では、来年度より開始が予定されている「患者申出制度」や「臨床調査個人票の研究利用」に関する普及・啓発のパンフレットの作成も実施した。これにより患者の指定難病制度に対する関心が深まり、申請率の向上の一翼を担うことを期待する。

② 均霑化分科会

本研究班において、333 疾病をどのような疾

患群に分類するか整理を行った。その中で、各指定難病を各疾患群に分類する方法論を考え、それに基づき分類を行った。今後は、この分類を研究班に提示し検討を行うことが必要であると考え。

また、各指定難病の重症度基準（医療費助成基準）についての問題点の整理と今後の展望についても整理を行った。問題点と今後の展望は「研究結果」に記載した通りである。

今回、分科会で整理・検討を行った問題点について更なる検討がなされることで、疾患群間の公平性が担保され、助成の公平性の維持に繋がると考える。一方で、他の社会保障給付制度との公平性、整合性も考慮すべきとの意見もあり、重要な問題であると認識した。

③ DB 分科会

指定難病 DB の研究利用に関するニーズ調査の結果から今後取り組むべき課題として、a) 悉皆性の担保、b) 経年データへの対応、c) 名寄せについて、d) 信頼性の確保、e) データ項目について、があると考え、以下の内容を考察した。

a) 悉皆性の担保

軽症者登録の推進や web 入力など登録作業の簡便化が重要と考えた。

b) 経年データへの対応

同意書の変更、DB で紐づけなどが必要であると考えた。

c) 名寄せについて

他の行政 DB の動きと合わせて、名寄せに対応できるように準備が必要であると考えた。

d) 信頼性の確保

信頼性について客観的検証が必要であると考えた。

e) データ項目

個別のデータ項目の研究的意義について客観的検証が必要であると考えた。

HAM を対象にした feasibility study の解析では、基本情報（年齢、家族歴、介護認定）、臨床所見、過去 1 年間の治療においてはある

程度一致することが示されたが、発症時期および初発症状は一致度が低かった。臨床調査個人票の経年変化の解析では、臨床調査個人票の経年データの研究的活用の意義を裏付ける結果が得られた。

ウェルナー症候群を対象とした feasibility study およびミトコンドリア病を対象とした指定難病患者 DB および小児慢性特定疾病児童等 DB の検証では今年度同意取得を進めており、来年度以降に報告する予定である。

本研究班で実施している feasibility study は、同一患者における臨床調査個人票データと研究レジストリデータを突合し比較検討することは初の試みであり、臨床調査個人票データの信頼性やデータ項目の意義を検討する上で、事実に基づく極めて重要な有用な情報を得ることができると考える。そのため、今後臨床調査個人票のデータ項目がどうあるべきかを検討するうえで重要な基本資料になることが期待される。

E. 結論

本研究班では、現在の指定難病制度の課題として考えられる①普及・啓発、②重症度分類の整合性・公平性、③指定難病 DB のあり方と研究への利活用について検討を行った。本研究班では、

①普及・啓発分科会

- ・指定難病告示病名と MEDIS 病名の整合性
- ・医療システムの改良
- ・難病情報センターホームページの英訳化
- ・患者申出制度および臨床調査個人票の普及

②均霑化分科会

- ・指定難病を指定する際の公平性の整理
- ・既存の指定難病についての再検討の方法の検討
- ・重症度分類の整合性の検討

③DB 分科会

- ・HAM やウェルナー症候群を対象とした

feasibility study の実施することで、指定難病 DB 登録内容の意義や信頼性の検証

・ミトコンドリア病を対象とした検証研究を実施することで小児慢性特定疾病児童等 DB と指定難病患者 DB の連携に関する検証といった成果が得られた。

本研究班の研究成果が活用されることで、指定難病の普及・啓発の促進、公平な制度の担保、DB の研究利用の促進のさらなる推進に貢献していく。延いては、患者の福音に繋がることを期待する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis Guideline . Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study. J Rheumatol 45(4):521-528, 2018
- 2) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. Clin Exp Nephrol 22(6):1266-1280, 2018
- 3) Harigai M, Nagasaka K, Amano K, Bando M, Dobashi H, Kawakami T, Kishibe K, Murakawa Y, Usui J, Wada T, Tanaka E, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y. 2017 Clinical practice guidelines of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis. Mod Rheumatol 29(1):20-30, 2018
- 4) Kanda E, Kashihara N, Matsushita K, Usui T, Okada H, Iseki K, Mikami K, Tanaka T, Wada T, Watada H, Ueki K, Nangaku M; Research Working Group for Establishing Guidelines for Clinical Evaluation of Chronic Kidney Disease. Guidelines for clinical evaluation of chronic kidney disease : AMED research on regulatory science of pharmaceuticals and medical devices. Clin Exp Nephrol 22(6):1446-1475, 2018
- 5) Kikuchi K, Saigusa D, Kanemitsu Y, Matsumoto Y, Thanai P, Suzuki N, Mise K, Yamaguchi H, Nakamura T, Asaji K, Mukawa

- C, Tsukamoto H, Sato T, Oikawa Y, Iwasaki T, Oe Y, Tsukimi T, Fukuda NN, Ho HJ, Nanto-Hara F, Ogura J, Saito R, Nagao S, Ohsaki Y, Shimada S, Suzuki T, Toyohara T, Mishima E, Shima H, Akiyama Y, Akiyama Y, Ichijo M, Matsuhashi T, Matsuo A, Ogata Y, Yang CC, Suzuki C, Breeggemann MC, Heymann J, Shimizu M, Ogawa S, Takahashi N, Suzuki T, Owada Y, Kure S, Mano N, Soga T, Wada T, Kopp JB, Fukuda S, Hozawa A, Yamamoto M, Ito S, Wada J, Tomioka Y, Abe T. Gut microbiome-derived phenyl sulfate contributes to albuminuria in diabetic kidney disease. *Nat Commun* 10(1):1835, 2019
- 6) Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, Kobayashi S, Komagata Y, Komuro I, Komori K, Takahashi K, Tanemoto K, Hasegawa H, Harigai M, Fujimoto S, Miyazaki T, Miyata T, Yamada H, Yoshida A, Wada T, Inoue Y, Uchida A, H, Ota H, Okazaki T, Onimaru M, Kawakami T, Kinouchi R, Kurata A, Kosuge H, Sada K, Shigematsu K, Suematsu E, Sueyoshi E, Sugihara T, Sugiyama H, Takeno M, Tamura N, Tsutsumino M, Dobashi H, Nakaoka Y, Nagasaka K, Maejima Y, Yoshifuji H, Watanabe Y, Ozaki S, Kimura T, Shigematsu H, Yamauchi-Takahara K, Murohara T, Momomura S, on behalf of the JCS Joint Working Group JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome — Digest Version — *Circ J* 2020, 84(2):299-359 doi: 10.1253/circj.CJ-19-0773
- 7) Tran TTT, Hara A, Kitagawa K, Kitajima S, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Furuichi K, Wada T. Relationship between autoantibodies to erythropoietin receptor and renal outcome in patients with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *Biomarkers* 25(2):194-200, 2020
- 8) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). *Clin Exp Nephrol* 24(6):526-540, 2020
- 9) 北川清樹・和田隆志: 血漿交換療法の適応と現状, *日本医師会雑誌* 148(3):447-451, 2019
- 10) 和田隆志: 急速進行性腎炎症候群 (ANCA 関連腎炎を含む), *今日の治療指針* 2020, 医学書院 602-604, 2020
- 11) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K,

- Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). Clin Exp Nephrol 24(6):526-540, 2020
- 12) Nakagawa N, Sofue T, Kanda E, Nagasu H, Matsushita K, Nangaku M, Maruyama S, Wada T, Terada Y, Yamagata K, Narita I, Yanagita M, Sugiyama H, Shigematsu T, Ito T, Tamura K, Isaka Y, Okada H, Tsuruya K, Yokoyama H, Nakashima N, Kataoka H, Ohe K, Okada M, Kashihara N. J-CKD-DB: a nationwide multicentre electronic health record-based chronic kidney disease database in Japan. Sci Rep 10(1):7351, 2020
- 13) Yokoyama H, Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Furuichi K, Fujimoto K, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Better remission rates in elderly Japanese patients with primary membranous nephropathy in nationwide real-world practice: The Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). Clin Exp Nephrol 24(10):893-909, 2020
- 14) Takahashi-Kobayashi M, Usui J, Kaneko S, Sugiyama H, Nitta K, Wada T, Muso E, Arimura Y, Makino H, Matsuo S, Yamagata K. Age-dependent survival in rapidly progressive glomerulonephritis: A nationwide questionnaire survey from children to the elderly. PLoS One 15(7):e0236017, 2020
2. 学会発表 :
- 1) 原章規・北川清樹・北島信治・遠山直志・岩田恭宜・坂井宣彦・清水美保・古市賢吾・和田隆志: ANCA 関連血管炎における抗エリスロポエチン受容体抗体の臨床的意義, 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2018 年 4 月 26 日
- 2) 佐田憲映・原章規・和田隆志・本間栄・針谷正祥: クラスタ解析を用いた ANCA 関連血管炎の分類と重症度に関する検討, 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2018 年 4 月 28 日
- 3) 北川清樹・安藤舞・相良明宏・古市賢吾・和田隆志: ANCA 関連腎炎の臨床病理所見および予後の変遷, 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術総会 2018 年 4 月 28 日
- 4) 大江宏康・油野岳夫・和田隆志: 医療情報と生理機能検査, 日本臨床検査自動化学会第 50 回大会 2018 年 10 月 12 日
- 5) 金子佳代子・矢島宣幸・三浦瑤子・岩田恭宜・大西香絵・仁科直・根本卓也・平野亨・阿部靖矢・宮前多佳子・岩井秀之・奥健志・竹

内勤・田村直人・森雅亮・和田隆志・村島
温子：我が国の若年全身性エリテマトーデ
ス患者の現状と妊娠転 帰を含む長期・短期
予後に関する前向きコホート研究
(PLEASURE-J study)【日本 リウマチ学会
ワーキンググループ】：中間報告，第 63 回リ
ウマチ学会総会・学術 集会 2019 年 4 月 16
日

- 6) 中川詩織・岩田恭宜・古市賢吾・和田隆志：
ループス腎炎の臨床病理，第 62 回日 本腎
臓学会学術総会 2019 年 6 月 21 日
- 7) 和田隆志：腎臓病領域の指定難病と普及・
啓発，日本内科学会第 82 回北陸支部生涯教
育講演会 2021 年 3 月 7 日

H. 知的所有権の出願・取得状況

該当なし

理念

電子カルテおよび**医事会計システム**を活用した指定難病制度の普及・啓発により指定難病の申請率の向上および患者への福音を目指す

現状

『指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発』で実施した5学会(日本皮膚科学会、日本神経学会、日本外科学会、日本小児科学会、日本腎臓学会)を対象とした実態調査を行い、現状把握を行った。

- ・指定難病について知るきっかけとして、「勤務先の病院からのアナウンス」という意見もある(「その他」の中で第1位)
- ・申請を行っていない理由として、

- ①日常診療において診療している疾患が**指定難病に該当する疾患であることを知らない**ため(第4位)
- ②**指定難病について理解が不十分**であるため(第5位)
- ③申請方法が分からない(第6位)

※第1位は「対象患者がいないため」、第2位は「他の施策に申請しているため」、第3位は「指定医ではないため」

- ・指定難病の普及・啓発に必要な改善点として、

- ①**病名から指定難病であることを案内・通知するシステムの作成**(「その他」の中では第1位)
- ②申請様式の簡素化、申請の電子化(第1位)
- ③難病情報センターホームページの改良(第2位)

対象(3者とする)

- ①医師
- ②患者
- ③医療事務等の医療従事者

方法と評価

- ①、③→ポップアップ機能による提示
- ②、③→病名登録された際に紙面による提示

電子カルテシステム改修前後の申請率により評価を行う

※ベースの病名は難病外来指導管理料の病名とする

期待される効果

- ①指定医以外の医師への指定難病に対する理解の向上
- ②患者の指定難病に対する認識の向上
- ③医療事務等の医療従事者の指定難病への意識の向上



申請率の向上



指定難病の全数把握
患者負担の軽減

金沢大学附属病院様

指定難病支援システム（案）

システム概説書（2019年度対応第三版）

2019年3月6日

日本電気株式会社 医療ソリューション事業部

NECソリューションイノベータ 第二医療ソリューション事業部

目次

1. 目的
2. 概要
 1. 全体フロー
 2. 機能概要
3. 運用フロー
 1. システムフロー 外来
 2. システムフロー 入院
 3. オペレーション一覧
4. システム改修機能
 1. システム改修機能まとめ
5. 機能仕様
6. 金沢大附属病院での対応
 1. 金沢大学附属病院での対応案

1. 目的

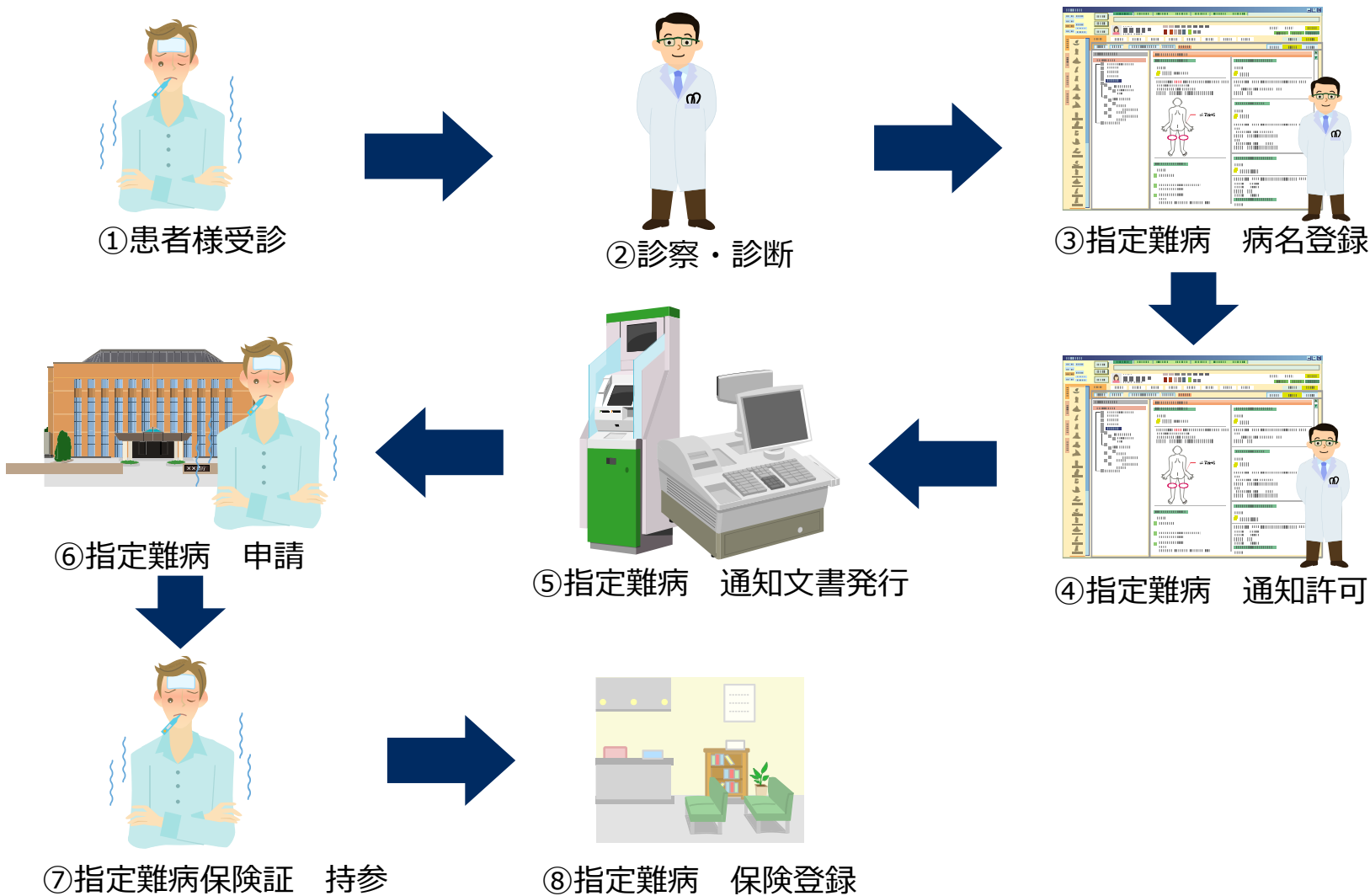
指定難病支援の目的

- 平成27年1月より施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律（指定難病）」に基づき、難病の医療費助成制度が改正されました。
 - 指定難病の申請は、「特定医療費（指定難病）支給認定申請書」が必要となり、難病指定医の記入等が必要になります。
 - 患者様への「難病医療費助成制度（指定難病）」の周知と申請を促すため、指定難病支援の為の病院情報システムの改修を行います。
 - 指定難病には「難病の患者に対する医療等に関する法律（指定難病）」と「小児慢性特定疾患」を含みます。
- ① 患者様が指定難病と診断された際、病院側より患者様への「難病医療費助成制度」の案内を行う。
 - ② 指定難病が登録された患者様については電子カルテシステムにてマーク等により判別可能とする。
 - ③ 指定難病と診断された患者様への案内を行う際には担当医より「通知許可」を行う。
 - ④ 「通知許可」された患者については医事会計システムより患者様に通知を行う。

2.概要

2.1 全体フロー

患者様の受診から指定難病案内までの全体運用フロー



2.2 機能概要（電子カルテ）

表示系改修機能

1. 病名選択画面にて検索結果に指定難病（小児慢性を含む）が含まれている場合、マークにて判別ができる。
2. 患者病名登録画面にて登録済み病名が指定難病（小児慢性を含む）を含む場合は、マークにて判別ができる。
3. 患者基本情報パネルにて現在有効な指定難病（小児慢性を含む）が登録されている場合に指定難病有のマークが表示できる。
4. 外来患者一覧、入院患者一覧において、現在有効な登録済み病名が指定難病（小児慢性を含む）を含む場合は、マークにて判別ができる。

操作系改修機能

1. 患者カルテを開いた際、指定難病管理ステータスに依り、職員への注意メッセージを表示する。
2. 患者基本パネルにおいて、「指定難病有のマーク」をクリックすると患者病名画面が開く。
3. 病名登録機能において、指定難病（小児慢性を含む）を登録した場合に別途設定（指定難病、小児特定疾患ごとに設定可能）した注意メッセージを表示できる。
4. 指定難病の通知許可を登録できることとする。（病名登録画面の改修）

2.2 機能概要（医事システム）

通知印刷改修機能

1. 指定難病の通知許可済みの場合、且つ指定難病（小児慢性を含む）認定証のシステム日付での登録が無い場合、指定難病通知文書を印刷し、患者様に渡す。
2. 指定難病通知文書については外来精算窓口、入院精算窓口、自動入金機での出力を想定する。
3. 通知文書は指定難病と小児慢性でそれぞれ指定可能とする。
4. 通知文書の印刷した際に印刷履歴をシステムログとして保持する。

3.運用フロー

3.1 システムフロー 外来①

- 病院施設により異なる外来患者導線への対応が必要となる
⇒患者への通知ポイントを選択して導入可能とする

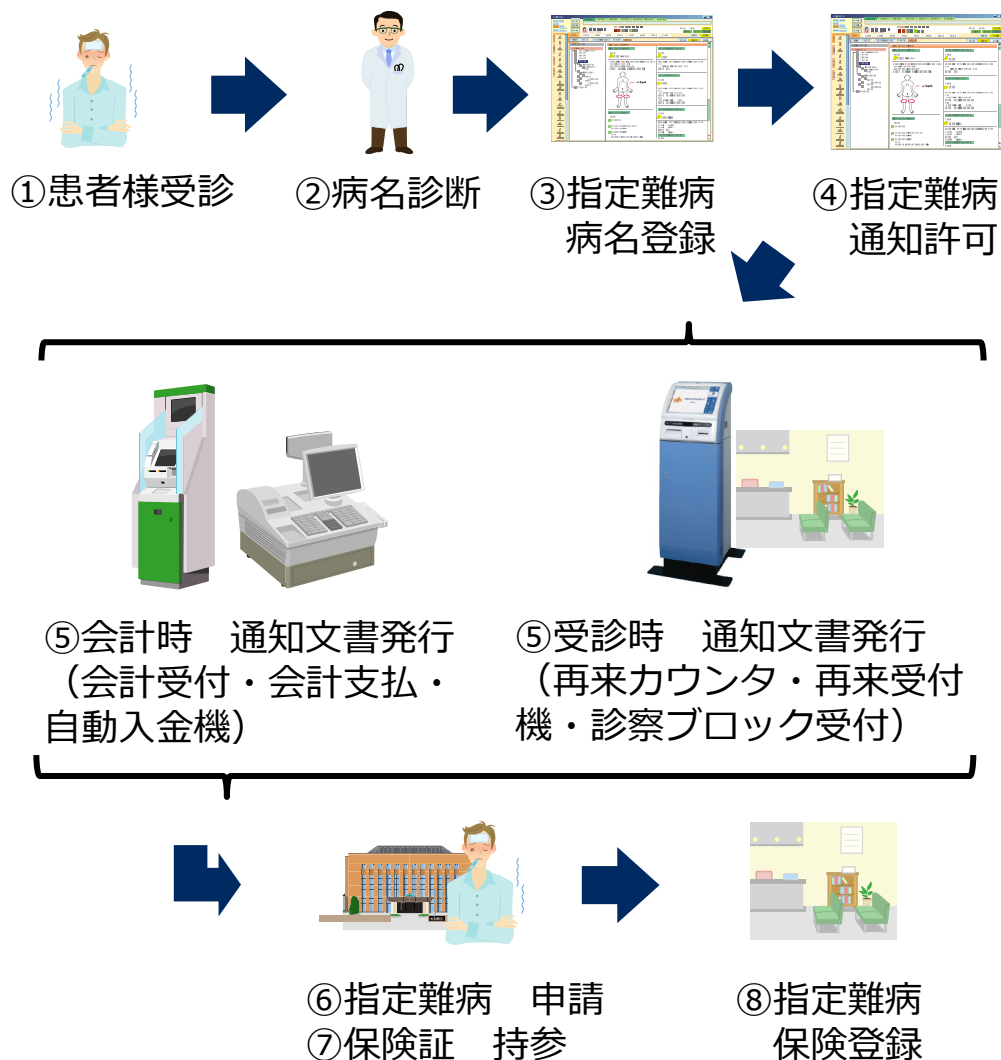
外来フローと患者通知ポイントの選択

1. 外来受診
2. 病名診断
3. 指定難病病名登録
4. 患者通知許可
5. 患者通知 運用により患者通知ポイントを選択
 - ① 受診受付時の通知 (a.外来受付カウンター、b.再来受付機、c.診察ブロック受付)
 - ② 会計時の通知 (d.会計受付、e.会計支払、f.自動入金機)

※ ①②を選択後、①はa,b,cの中から ②はd,e,fの中から1カ所以上を選択し、通知文書を患者へ渡す箇所を選択する。
6. 保険申請
7. 保険証受領
8. 保険証持参

3.1 システムフロー 外来②

運用フローに対するシステム機能



- ③ 病名登録画面の機能強化
 - ・病名検索結果の指定難病にマーク
 - ・登録済み指定難病にマーク
- 患者パネルの機能強化
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク
- 外来患者一覧
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク
- 入院患者一覧
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク
- ④ 指定難病の患者通知許可登録
 - ・電子カルテにて患者呼出し時、指定難病ステータスにより、メッセージを表示
 - ・患者通知許可を病名登録画面にて登録
- ⑤ 通知文書発行機能

⇒以下、通知ポイントより選択

 - 会計時発行 (会計受付・会計支払・自動入金機)
 - 受診時発行 (再来カウンタ・再来受付機・診察ブロック受付)
- ⑧ 指定難病保険登録
 - ・患者の持参した保険証を登録
 - ・指定難病ステータス判断条件が変更

3.2 システムフロー 入院①

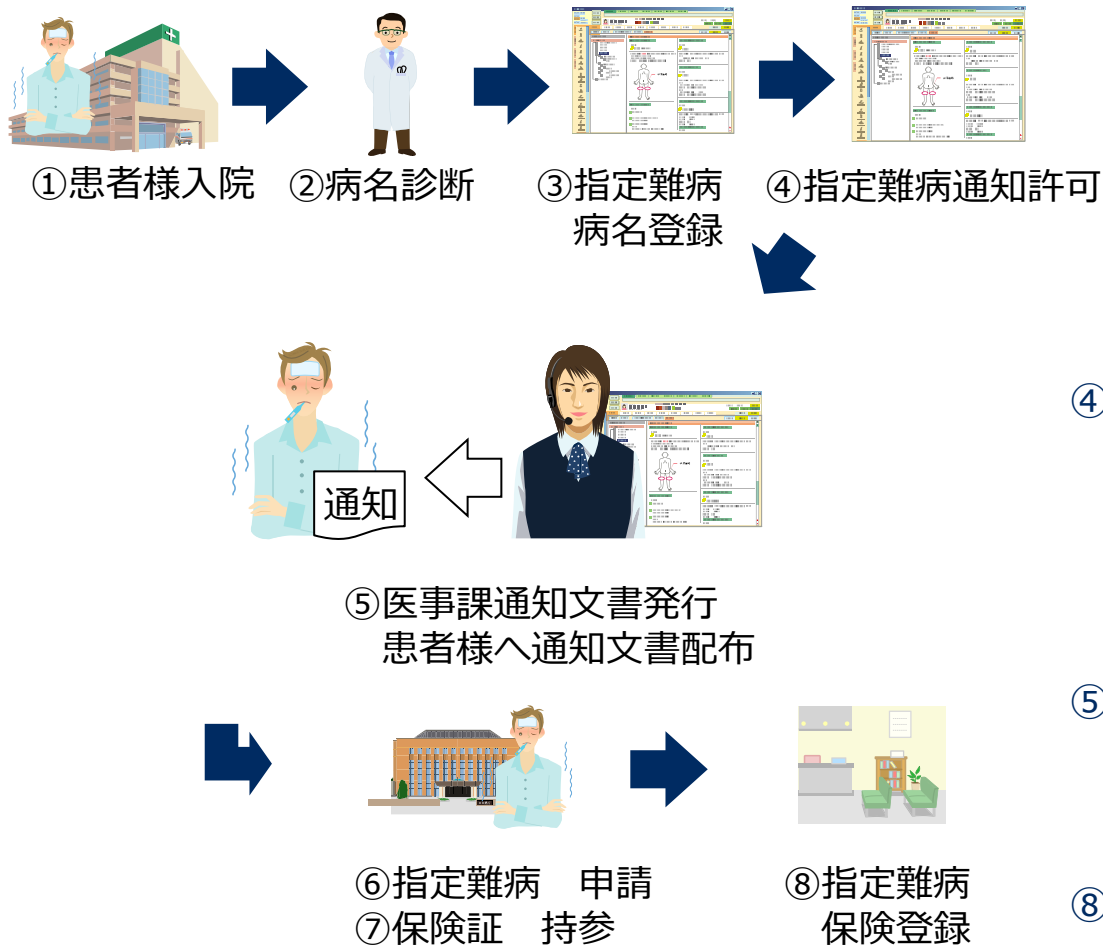
- 入院後の指定難病罹患の判明した場合を想定
- 入院時は医事課職員にて通知を行う

入院フロー

1. 患者入院
2. 病名診断
3. 指定難病病名登録
4. 患者通知許可
5. 患者通知 医事課より通知
6. 保険申請
7. 保険証受領
8. 保険証持参

3.2 システムフロー 入院②

運用フローに対するシステム機能



- ③ 病名登録画面の機能強化
 - ・病名検索結果の指定難病にマーク
 - ・登録済み指定難病にマーク患者パネルの機能強化
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク外来患者一覧
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク入院患者一覧
 - ・有効な指定難病がある場合にマーク
- ④ 指定難病の患者通知許可登録
 - ・電子カルテにて患者呼出し時、指定難病ステータスにより、メッセージを表示
 - ・患者通知許可を病名登録画面にて登録
- ⑤ 通知文書発行機能
 - 医事課職員への通知
 - 通知文書発行・患者へ配布
- ⑧ 指定難病保険登録
 - ・患者の持参した保険証を登録
 - ・指定難病ステータス判断条件が変更

3.3 オペレーション一覧（入院・外来）

患者様・職員のオペレーション

項番	フェーズ	行為者	行動	トリガ
①	外来受診・入院	患者様	受診・入院	
②	病名診断	主治医	病名判定	
③	病名登録	主治医等	電子カルテへ病名登録	
④	指定難病通知許可	主治医等	指定難病の通知許可の登録	病名登録画面で登録時にチェック
⑤	通知文書発行・通知	医事課等職員	通知文書の発行を行い、患者へ渡す	通知ポイントで対象者チェック
⑥	指定難病申請	患者様	指定難病の保険申請	通知文書
⑦	保険証持参	患者様	受領した保険証を持参	
⑧	指定難病保険登録	医事課	医事システムへ保険登録	

4. システム改修機能

4.1 システム改修機能まとめ①

●病名登録画面の改修と指定難病登録済のマーク

■病名登録画面の改修（入院・外来）

1. 病名検索結果の指定難病にマーク
2. 登録済み指定難病にマーク

■患者パネルの機能強化（入院・外来）

1. 有効な指定難病がある場合にマーク

■外来患者一覧（外来）

1. 有効な指定難病がある場合にマーク

■入院患者一覧（入院）

1. 有効な指定難病がある場合にマーク

4.1 システム改修機能まとめ②

●患者通知許可の登録

■患者呼び出し時に通知許可登録促すメッセージ（入院・外来）

1. 電子カルテにて患者呼出し時、指定難病ステータスにより、メッセージを表示

■病名登録画面に患者通知許可登録機能の追加（入院・外来）

1. 患者通知許可を病名登録画面にて登録

4.1 システム改修機能まとめ③

- 外来の患者通知発行機能は運用により会計時発行、受付時発行を選択する
- 運用により患者フォローが多くなる出力方式を選択する

会計時通知発行機能の改修：外来（案①）

1. 会計受付時にて出力する方式
会計精算時の受付カウンタにて通知文書を単票で印刷する。
改修点：
 - ・ 会計精算受付画面の精算受付登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・ メッセージにて印刷確認し、通知文書を印刷
 - ・ 会計精算受付へプリンタ追加設置
2. 会計支払時にて出力する方式
会計支払時の精算カウンターにて通知文書を単票で印刷する。
改修点：
 - ・ 会計登録画面の会計登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・ メッセージにて印刷確認し、通知文書を印刷
 - ・ 会計精算受付へプリンタ追加設置
3. 自動入金機より単票で出力する方式（入金機のプリンタを連続紙の場合は単票へ交換する）
自動入金機の領収書、診療明細を単票に変更し、通知文書も単票で印刷する。
改修点：
 - ・ 自動入金機のプリンタを単票へ交換
 - ・ プレ印刷の連続紙→単票へ変更
 - ・ 入金機 I Fにて指定難病通知の発行対象を伝達
4. 自動入金機の診療明細書に追記する方式
現行の連続紙の診療明細書の項目内容欄に「指定難病の案内を印刷」する。
改修点：
 - ・ 診療明細書 I Fにて通知文言を伝達する。

4.1 システム改修機能まとめ④

■ 受付時通知発行機能の改修：外来（案②）

1. 再来カウンタにて通知文書を出力する方式

再来カウンタにて通知文書を単票にて印刷する。

改修点：

- ・ 再来受付画面での受付登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
- ・ メッセージにて印刷確認し、通知文書を印刷
- ・ 再来カウンタにプリンタ追加設置

2. 再来受付機にて通知文書を出力する方式

再来受付機にて通知文書を単票にて印刷する。

改修点：

- ・ 再来受付機の受付登録時に通知文書を印刷
- ・ 再来受付機へのプリンタ追加設置

3. 診察ブロックにて通知文書を出力する方式

ブロックでの受付時に通知文書発行を促すダイアログを表示する。

ダイアログにて印刷を指示し、患者に手渡す。

改修点：

- ・ 電カルの患者呼出時に通知文書対象患者のメッセージ表示
- ・ メッセージにて印刷確認し、通知文書を印刷
- ・ ブロック受付カウンタにプリンタ追加設置

4.1 システム改修機能まとめ⑤

- 入院の患者通知発行機能は医事課での発行を行う

通知印刷改修：入院（案）

1. 電子カルテ画面での患者呼出時に出力する方式

医事課職員のみ通知ダイアログを表示し、単票にて印刷する

改修点：

- ・電子カルテ画面での患者呼出し時に通知文書対象患者のメッセージ表示
- ・メッセージにて印刷確認し、通知文書を印刷
- ・医事課にプリンタ追加設置

5 .機能仕様

5.1 機能仕様（マスタレイアウト）

マスタレイアウト

1. 指定難病マスタ

指定難病の病名を登録。公的情報から取得を想定。更新頻度低。
指定開始日、指定解除日にてFromTo情報を持つ。

2. 小児慢性疾患マスタ

小児慢性の病名を登録。公的情報から取得を想定。更新頻度低。
指定開始日、指定解除日にてFromTo情報を持つ。

3. 指定難病病名紐づけマスタ

電子カルテ病名マスタと指定難病のマスタを紐付ける。指定難病：電カル=N:N
病名マスタの指定難病チェックに利用。FromTo情報を持たない。

4. 小児慢性特定疾患病名紐づけマスタ

電子カルテ病名マスタと指定難病のマスタを紐付ける。指定難病：電カル=N:N
病名マスタの指定難病チェックに利用。FromTo情報を持たない。

- 公的情報からの指定難病、小児慢性の病名マスタを一括作成する仕組みの検討。
⇒ 公的病名情報が取得できるベースマスタなどを参照できるように検討
- 電子カルテにて患者呼出し時のメッセージは設定ファイルとする。

5.2 機能詳細（DBレイアウト）

データレイアウト

1. 指定難病患者通知管理テーブル

- ・患者通知の許可状況を登録管理する。
- ・患者+病名+期間にて1レコード。同一期間複数病名、異なる期間同一病名を考慮
- ・患者への通知許可区分を「0：判断待ち。1：許可、9：禁止」にて管理する。
- ・電子カルテ上に保持する。
- ・医事システムから参照する為のアクセスDLLを準備する。
- ・医事システムからのアクセスDLLには他の条件判断の情報（対象病名の有無）も参照できることとする。
- ・期間は開始日、終了日を保持する。

2. 指定難病通知文書発行履歴テーブル

- ・患者通知の文書発行履歴を保持する。
- ・通知文書1枚発行につき1レコード。
- ・医事システム上に保持する。
- ・システム側の発行ログとして保持し、参照する仕組みは持たない。

● 1患者複数病名の通知管理は必須とする

異なる病名で時期が同じ場合（同一患者複数疾病）、同病名で時期がずれる場合（同一患者同一病名複数回）、などを登録管理できることとする。

5.3 機能仕様（指定難病ステータス①）

指定難病の条件ステータス判断の仕組み

1. 対象病名有無チェック
病名DB→指定難病紐づけマスタにて判断する。
疑い病名は除く。
判断日付はシステム日付とし、判断関数は引数渡しとする。
2. 保険証有無チェック
電カル保険DBを指定難病対象法制コードのレコード有無にて判断する。
指定難病対象法制コードを設定可能とする。
判断日付はシステム日付とし、判断関数は引数渡しとする。
3. 患者通知許可チェック
指定難病患者通知管理テーブルの通知許可区分が「1:許可」であるかを判断する。
4. 患者通知履歴有無チェック
通知文書発行履歴テーブルの発行有無でチェックを行う。
5. 患者通知印刷可否チェック
対象病名有無 = 有、保険証有無 = 無、患者通知許可 = 許可、通知履歴有無 = 無、
である場合に印刷可能とする。

5.3 機能仕様（指定難病ステータス②）

指定難病の条件ステータス一覧

条件	対象病名	保険証	通知許可	通知履歴	通知印刷可否	メッセージ	メッセージ表示
1	無	無	－	－	印刷しない	無し	－
2	無	有	－	－	印刷しない	指定難病有・病名未登録 →病名登録促す	患者呼出し時 当該患者の 病名画面展開時
3-1	有	無	判断待	－	印刷しない	指定難病有・未申請 ・通知判断待ち →通知判断促す	患者呼出し時 当該患者の 病名登録時
3-2	有	無	禁止	－	印刷しない	指定難病有・未申請 ・通知禁止	患者呼出し
4-1	有	無	許可	無	印刷する	指定難病有・未申請 ・通知許可	患者呼出し
4-2	有	無	許可	有	印刷しない	指定難病有・未申請 ・通知許可	患者呼出し
5	有	有	－	－	印刷しない	指定難病有・認定証あり	患者呼出し

5.4 機能仕様（電子カルテ①）

表示系改修機能

1. 病名選択画面にて検索結果に指定難病（小児慢性を含む）が含まれている場合、マークにて判別ができる。
 - ・病名検索結果に表示スペースの確認
 - ・指定難病判断の日付はシステム日付とする
 2. 患者病名登録画面にて登録済み病名が指定難病（小児慢性を含む）を含む場合は、マークにて判別ができる。
 - ・指定難病判断の日付はシステム日付とする
 - ・指定難病のサインは病名DBに持たない。（画面上だけマーク表現）
 3. 患者基本情報パネルにて現在有効な指定難病（小児慢性を含む）が登録されている場合に指定難病有のマークが表示できる。
 - ・判断日付はシステム日付とする
 4. 外来患者一覧、入院患者一覧において、登録済み病名が指定難病（小児慢性を含む）を含む場合は、マークにて判別ができる。
 - ・判断日付はシステム日付とする
 - ・表示スペースの確認
- 既存画面の改修を想定するが、設定にて容易に機能を非表示とできることとする。

5.4 機能仕様（電子カルテ②）

■ 操作系改修機能

1. 患者カルテを開いた際、指定難病ステータスに依り、注意メッセージを表示する。
 - ・判断日付はシステム日付とする
 - ・注意メッセージは「ok」ボタン押下でメッセージ消去
2. 患者基本パネルにて、「指定難病有のマーク」をクリックすると患者病名画面が開く。
3. 病名登録画面において、指定難病の保険情報（小児慢性を含む）が登録されており、指定難病が登録されていない場合に別途設定（指定難病、小児特定疾患ごとに設定可能）した注意メッセージ（指定難病の病名登録を促す）を表示できる。
 - ・判断日付はシステム日付とする
4. 病名登録画面において、指定難病（小児慢性を含む）を登録・更新された場合に別途設定（指定難病、小児特定疾患ごとに設定可能）した注意メッセージを表示できる。
 - ・判断日付はシステム日付とする
 - ・病名の新規登録、更新時とする
5. 病名登録画面において、指定難病（小児慢性を含む）を通知可否の登録を促す。
 - ・判断日付はシステム日付とする
 - ・通知可否が登録されていない指定難病がある場合に登録を促す

5.4 機能仕様（電子カルテ③）

■ 通知文書印刷改修

1. 指定難病の通知許可済みの場合、且つ指定難病（小児慢性を含む）認定証のシステム日付での登録が無い場合、指定難病通知文書を印刷し、患者様に渡す。
2. 指定難病通知文書については、ブロック受付カウンタ、での出力を想定する。
3. ブロック受付カウンタでの通知文書発行（ブロック受付画面）
 - ・ブロック受付カウンタにてブロック受付画面の受付登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・メッセージにて印刷確認を行い、通知文書を印刷する

5.5 機能仕様（医事システム）

通知文書印刷改修

1. 指定難病の通知許可済みの場合、且つ指定難病（小児慢性を含む）認定証のシステム日付での登録が無い場合、指定難病通知文書を印刷し、患者様に渡す。
2. 指定難病通知文書については、会計受付カウンタ、会計支払カウンタ、自動入金機、再来カウンタ、自動再来受付機での出力を想定する。
3. 会計受付カウンタでの通知文書発行（会計受付画面）
 - ・会計受付カウンタにて会計受付画面の精算受付登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・メッセージにて印刷確認を行い、通知文書を印刷する
4. 会計支払カウンタでの通知文書発行（会計登録画面）
 - ・会計支払カウンタにて会計登録画面の会計登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・メッセージにて印刷確認を行い、通知文書を印刷する
5. 自動入金機での新規通知文書発行
 - ・自動入金機での新様式での出力可能とする
 - ・既設の場合は入金機の改修が必要となるため、入金機ベンダへの確認が必要
6. 自動入金機での診療明細書への文言追加
 - ・自動入金機での診療明細書に通知文書を簡易的に印刷する
7. 再来カウンタでの通知文書発行（再来受付画面）
 - ・再来カウンタにて再来受付画面の受付登録時に通知文書対象患者のメッセージ表示
 - ・メッセージにて印刷確認を行い、通知文書を印刷する
8. 自動再来受付機での通知文書発行
 - ・自動再来受付機での新様式での出力可能とする
 - ・既設の場合は再来受付機の改修が必要となるため、再来機ベンダへの確認が必要

6. 金沢大附属病院対応案

6.1 金沢大学附属病院での対応案

■ 通知文書発行フローの選択

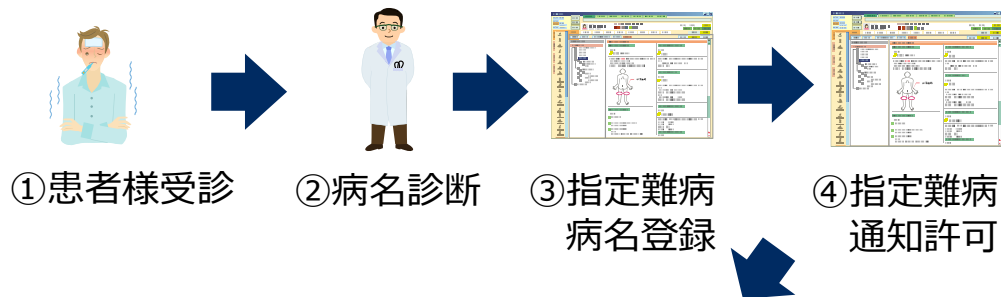
1. 外来での指定難病通知文書は精算受付（会計受付）にて行う
 - 外来運用フローに精算受付が導入されており、外来患者は診察終了後に精算受付を必ず通ることから、外来患者のフォローを行いやすい。
 - 精算受付は外来カウンター(総合受付)またはブロック受付にて行うが通知文書の印刷が必要となるため、既設または新規のプリンタ設置が必要となる。
2. 入院での指定難病通知文書は医事課にて行う
 - 入院運用フローでは医事課にて電子カルテからの通知文書を発行する。

■ 開発範囲（入院・外来）

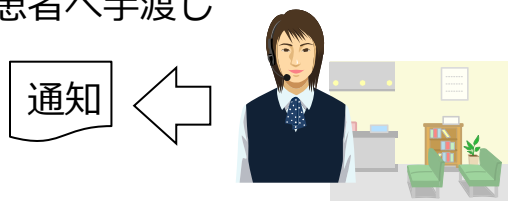
1. 金沢大学附属病院にて運用を行う範囲を対象とする。
 - 指定難病保有者のマーク表示 病名登録画面、患者パネル、外来患者一覧、入院患者一覧
 - 病名登録画面の検索結果への指定難病表示
 - 病名登録画面の指定難病通知許可登録
 - 外来精算会計画面での受付登録時の指定難病通知対象チェックと通知文書発行機能
 - 入院職員の電子カルテ画面にて患者呼出し時の指定難病通知対象チェックと通知文書発行機能
2. 金沢大学附属病院にて運用に供しない機能については開発範囲外とする。

6.1 金沢大学附属病院での外来フロー

運用フローに対するシステム機能



1. 精算受付画面にて通知文書発行ダイアログ表示
2. 職員にて発行選択を行うと通知文書を印刷
3. 職員にて患者へ手渡し



- ⑤ 会計受付時 通知文書発行
(外来精算受付カウンタ)



- ③ 病名登録画面の機能強化
- ・ 病名検索結果の指定難病にマーク
 - ・ 登録済み指定難病にマーク
- 患者パネルの機能強化
- ・ 有効な指定難病がある場合にマーク
- 外来患者一覧
- ・ 有効な指定難病がある場合にマーク
- 入院患者一覧
- ・ 有効な指定難病がある場合にマーク
- ④ 指定難病の患者通知許可登録
- ・ 電子カルテにて患者呼出し時、指定難病ステータスにより、メッセージを表示
 - ・ 患者通知許可を病名登録画面にて登録
- ⑤ 通知文書発行機能 (以下より選択)
- ・ 会計精算受付にて発行
- ⑧ 指定難病保険登録
- ・ 患者の持参した保険証を登録
 - ・ 指定難病ステータス判定条件を変更

 **Orchestrating** a brighter world

NEC

指定難病支援機能とは「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名登録時に患者に対して指定難病であることを通知してよいかどうかの指示（指定難病通知区分の選択）を可能とする機能となります。

指定難病通知区分にて「許可」を選択した場合は、医事会計システムにて指定難病通知文書「指定難病に関するお知らせ」を発行し、患者に手渡すことで、医療費助成の申請を促すことができます。

1. 病名登録

「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名登録時に指定難病通知区分を選択することができます。

病名検索結果が「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の場合、病名選択画面に「難病」や「小慢」マークが表示されます。

難病	小慢	病名コード	診断病名
●	●	01. 4375001	もやもや病
●	●	02. 4375003	成人もやもや病
●	●	03. 4375004	小児もやもや病

病名選択画面にて「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を選択した場合、病名入力画面に指定難病通知区分が表示されます。

※ただし、「疑いサイン」のチェックを入れた場合、指定難病通知区分は表示されません。

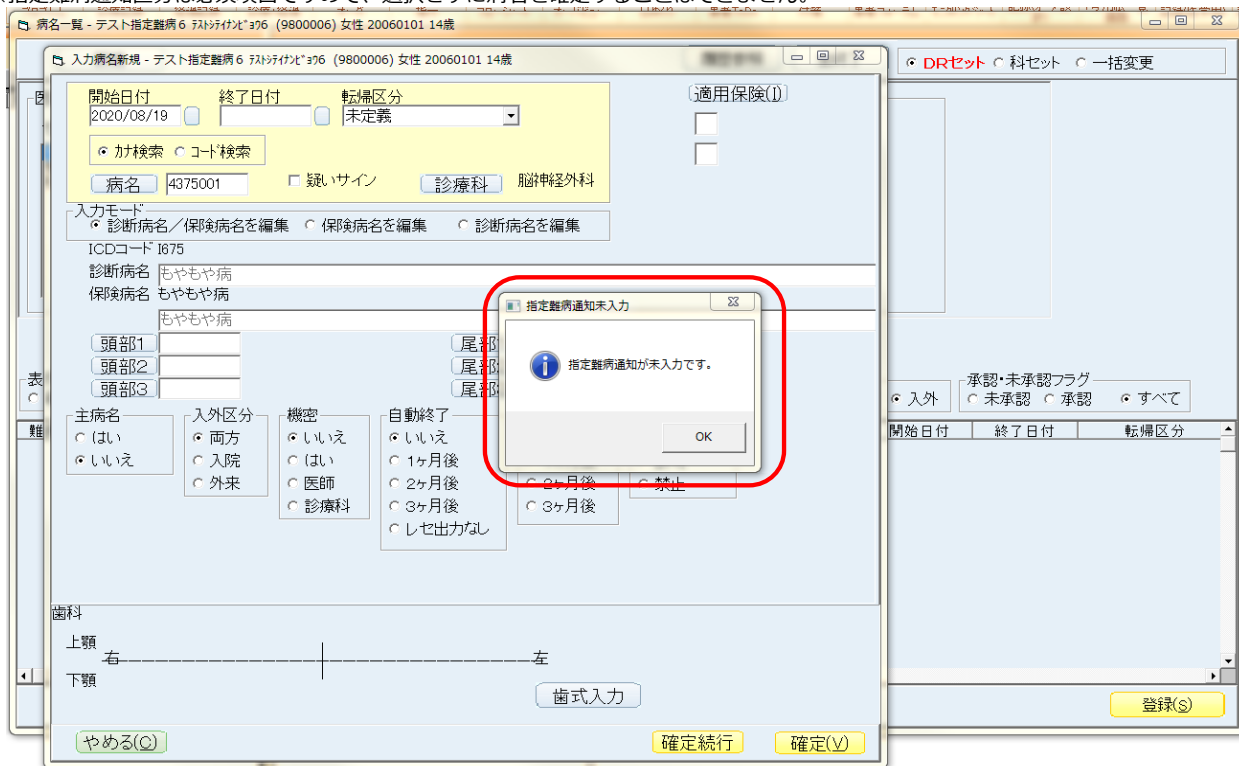
<指定難病通知区分>

- ① 検討中・・・患者に通知するかどうか検討中（医事会計システムにて指定難病通知文書を発行不可）
- ② 許可・・・患者に通知することを許可する（医事会計システムにて指定難病通知文書を発行可能）
- ③ 禁止・・・患者に通知することを禁止する（医事会計システムにて指定難病通知文書を発行不可）

指定難病通知

- 検討中
- 許可
- 禁止

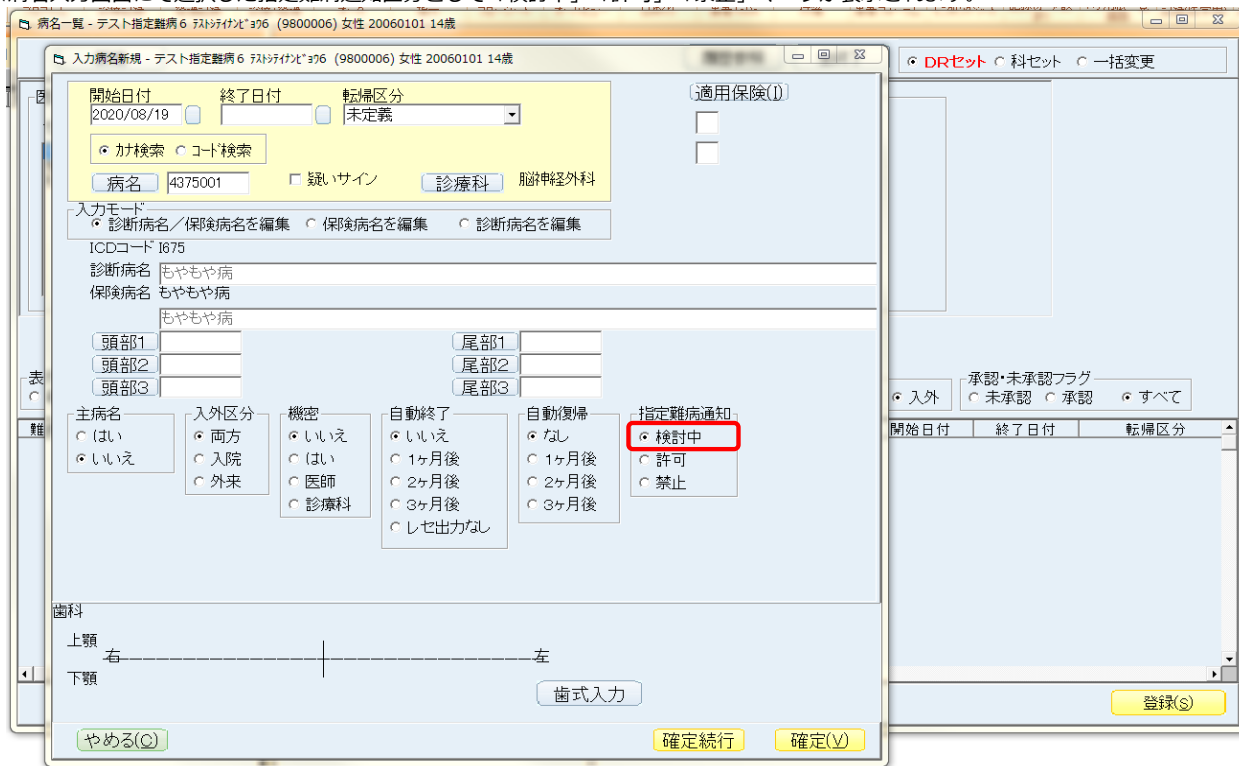
※指定難病通知区分は必須項目ですので、選択せずに病名を確定することはできません。



指定難病通知区分を選択し、病名を確定すると病名一覧画面が表示されます。

※「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の場合、病名一覧画面に「難病」や「小慢」マークが表示されます。

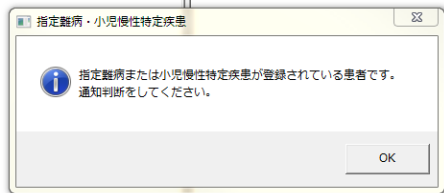
※病名入力画面にて選択した指定難病通知区分として「検討中」「許可」「禁止」マークが表示されます。





指定難病通知区分が「検査中」の場合、病名登録時に通知判断を促すメッセージが表示されます。

※「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有していない場合のみ。



2. 病名削除

「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を削除すると、通知管理情報（指定難病通知区分など）も削除されます。

病名一覧画面にて通知区分がある「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を「削除」操作すると、通知管理情報を削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

「いいえ」を選択すると病名削除の操作がキャンセルされます。

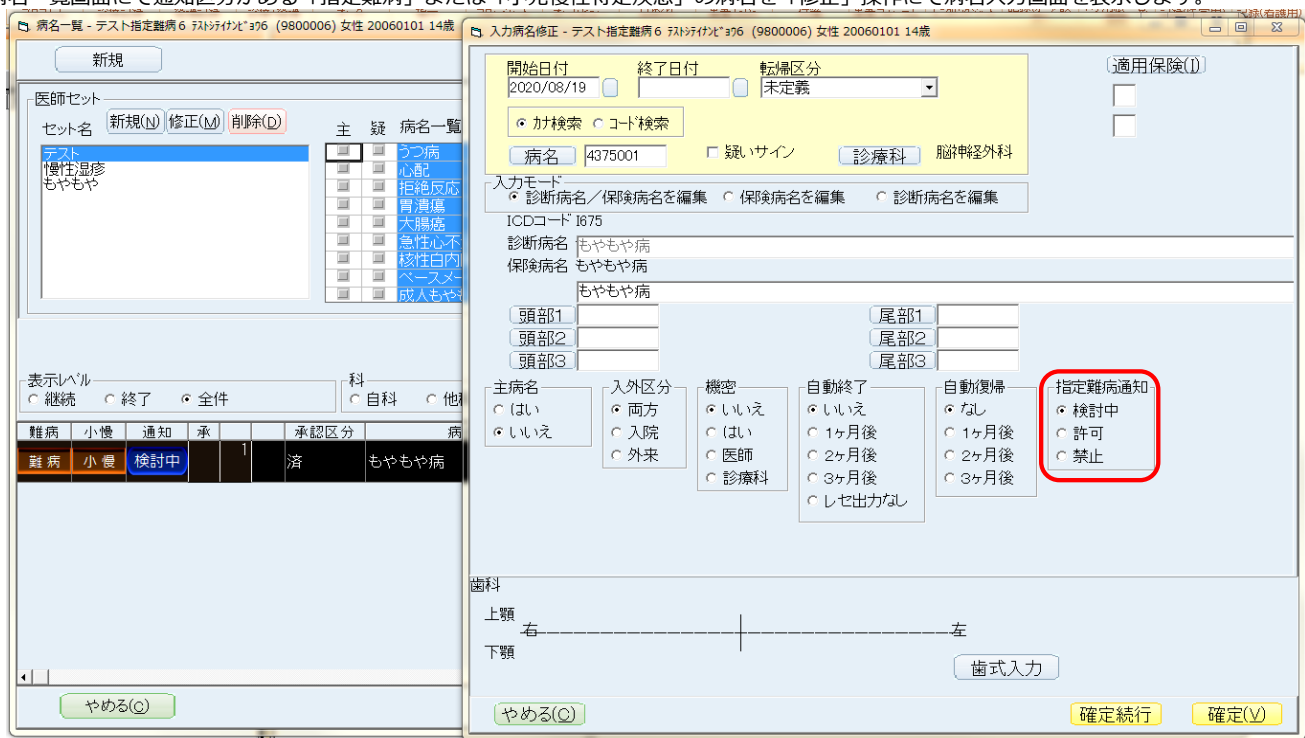


3. 病名修正

「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名修正時に指定難病通知区分を変更することができます。

また、修正時に「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を疑い病名や通常の病名に変更すると、通知管理情報（指定難病通知区分など）も削除されます。

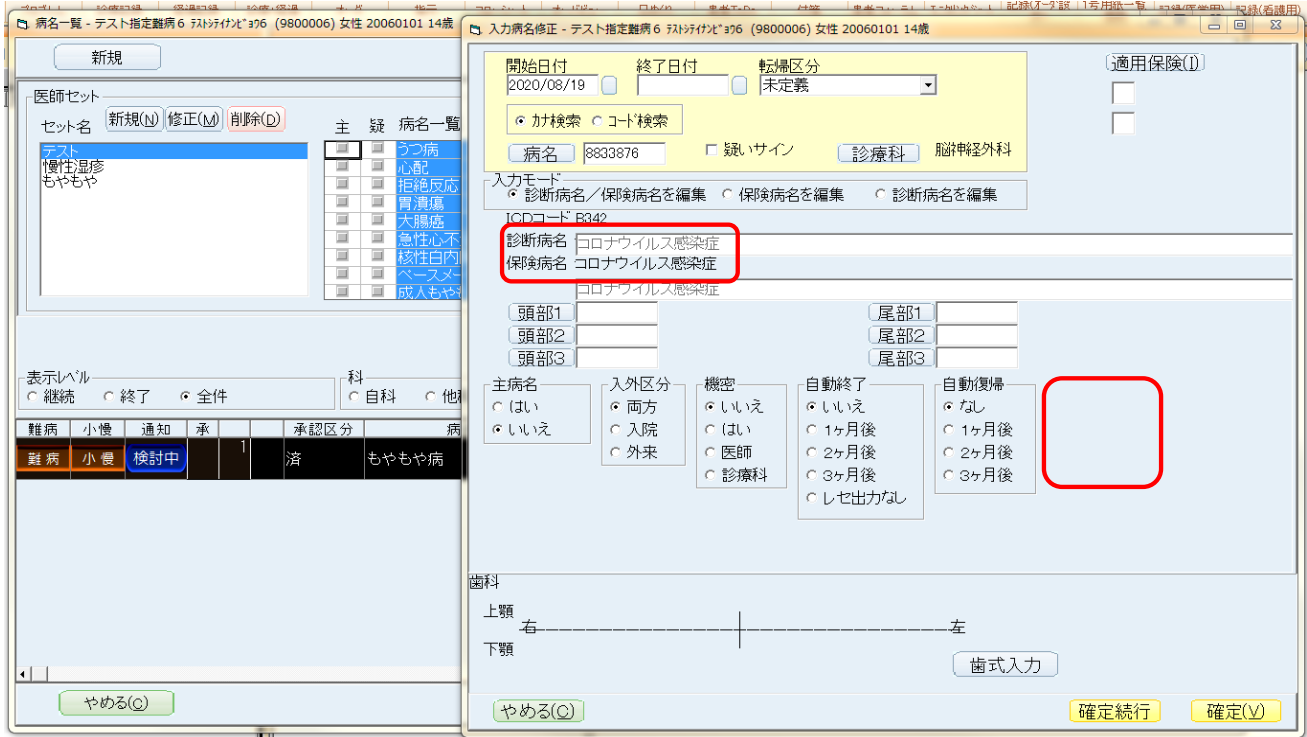
病名一覧画面にて通知区分がある「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を「修正」操作にて病名入力画面を表示します。



「疑いサイン」のチェックを入れると指定難病通知区分は無効状態となります（未選択状態）。

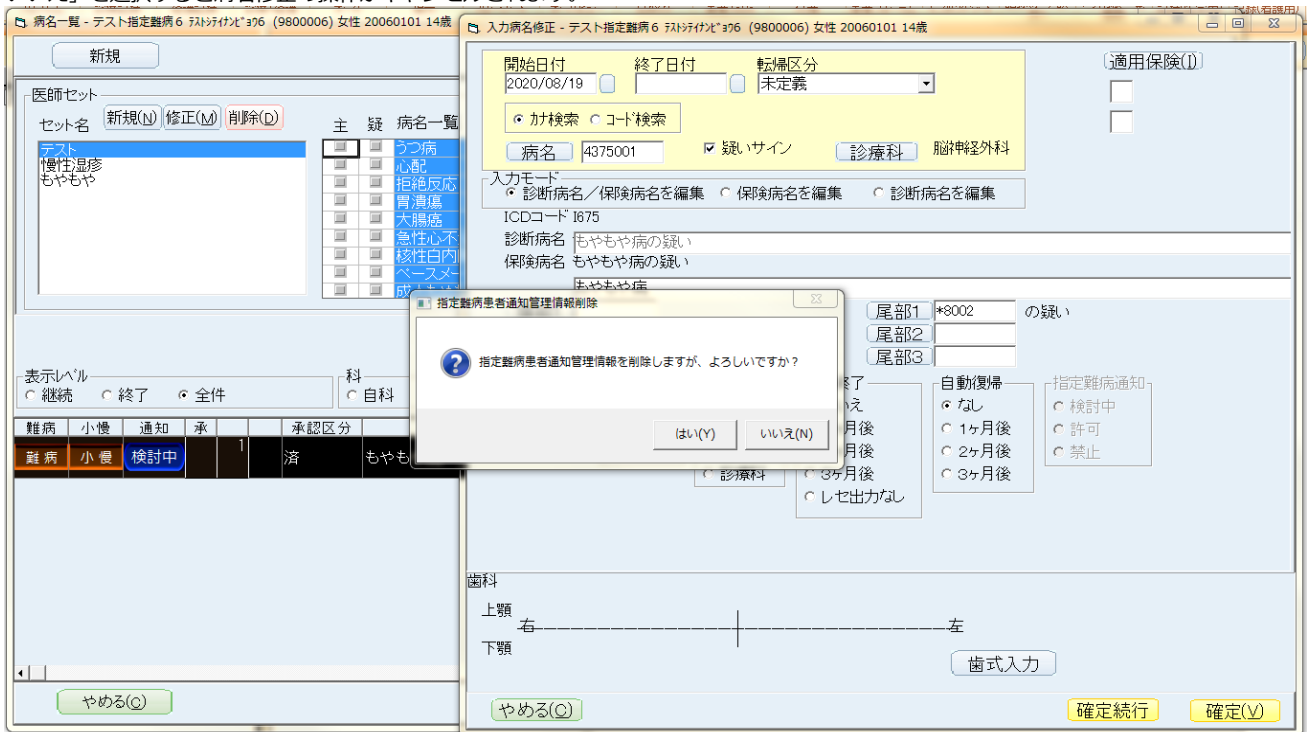


「指定難病」または「小児慢性特定疾患」でない病名に変更した場合、指定難病通知区分は非表示となります（未選択状態）。



「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を疑い病名や通常の病名に変更して確定操作すると、通知管理情報を削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

「いいえ」を選択すると病名修正の操作がキャンセルされます。



※終了日付を過去日で設定した場合、指定難病通知区分は非表示となります。

確定操作しても通知管理情報は削除されません。

通知管理情報を削除するかどうか確認するメッセージも表示されません。

4. 入院患者一覧

入院患者一覧画面にて「指定難病」または「小児慢性特定疾患」を持つ患者が確認できます。

現在有効な「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が1つでもある患者は入院患者一覧画面の「難病」列に「難病」と表示されます。

病棟	難病	同姓	漢字氏名	カナ氏名	患者番号	科	入院日	病棟	病室タイプ	病室
東病棟2F		同	テスト オネスト 患者014	テスト オネスト カンジャ014	9200014	リウマチ内科1	2015/06/12	東病棟3F	無菌1人	E301(無菌)
東病棟3F		同	テスト 徳島02	テスト トクシマ02	9990111	消化器内科	2015/11/12	東病棟3F	無菌1人	E301(無菌)
東病棟4F		同	テスト 輸血7	テスト ユケツ7	9460007	リウマチ内科1	2014/11/21	東病棟3F	無菌1人	E301(無菌)
東病棟5F		同	テスト オネスト 患者402	テスト オネスト カンジャ402	9200402	消化器内科1	2015/01/01	東病棟3F	無菌1人	E302(無菌)
東病棟6F		同	テスト 523	テスト 523	9999523	眼科	2018/02/01	東病棟3F	無菌1人	E305(無菌)
東病棟7F		同	テスト 入院患者	テスト ニュウインカンジャ	9704002	消化器内科1	2014/09/30	東病棟3F	無菌1人	E305(無菌)
東病棟8F		同	テスト 527	テスト 527	9999527	小児科	2018/09/07	東病棟3F	大部屋	E306
東病棟9F		同	テスト オネスト 患者033	テスト オネスト カンジャ033	9200033	消化器内科2	2014/12/25	東病棟3F	大部屋	E306
東病棟10F		同	テスト ナース 51	テスト ナース 51	9997051	放射線治療科	2015/10/01	東病棟3F	大部屋	E306
西病棟2F		同	テスト 患者198	テスト カンジャ198	9999198	消化器内科1	2014/09/11	東病棟3F	大部屋	E307
西病棟3F	難病	同	テスト オネスト 患者034	テスト オネスト カンジャ034	9200034	消化器内科1	2014/12/27	東病棟3F	大部屋	E307
西病棟5F		同	看護 障害調査	看護 ショウガイシャウサ	9991077	小児科	2020/04/24	東病棟3F	大部屋	E307
西病棟6F	難病	同	テスト 指定難病5	テスト シテイナンビョウ5	9800005	脳神経外科	2020/08/17	東病棟3F	個室	E311
西病棟7F		同	テスト オネスト 患者116	テスト オネスト カンジャ116	9200116	消化器内科1	2014/12/17	東病棟3F	個室	E312
西病棟8F			患者 10	カンジャ 10	9999340	消化器内科1	2015/03/11	東病棟3F	無菌1人	E321(無菌)

5. 外来患者一覧

外来患者一覧画面にて「指定難病」または「小児慢性特定疾患」を持つ患者が確認できます。

現在有効な「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が1つでもある患者は外来患者一覧画面の「難病」列に「難病」と表示されます。

SEQ	難病	受付番号	患者氏名	患者カナ氏名	患者番号	性別	年齢	予約区分	予約時刻	来院時刻	診療状態	待ち開...	保留	患者区分	紹介	検査結果
01	難病		テスト 指定難...	テスト シテイナン...	9800006	女	14歳7ヶ月	診察予約	10:00		未来院					なし

6. 患者情報エリア (患者パネル)

患者情報エリア (患者パネル) にて「指定難病」または「小児慢性特定疾患」を持つ患者が確認できます。

「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名 (現在有効) が1つでもある患者は患者情報エリアに「難」アイコンが表示されます。

※「難」アイコンをクリックすることで病名一覧画面を起動することができます。

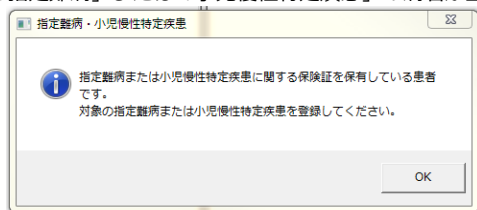
9800006 女性 2006(H18)年01月01日生(14歳7ヶ月) [患者基本] 2020/07/13~入院中
テスト 指定難病6 耳鼻咽喉科頭頸部外科 東病棟6F E613 04
 テスト シテイナン...

7. 病名一覧起動時のメッセージ

患者が保有している保険情報、病名情報、通知管理情報により、病名一覧画面起動時にメッセージが表示されます。

「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有している、かつ、

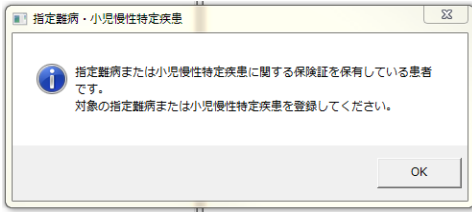
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されていない場合、以下のメッセージが表示されます。



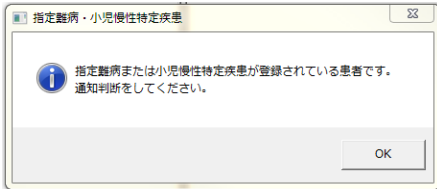
8. 患者カルテ起動時のメッセージ

患者が保有している保険情報、病名情報、通知管理情報により、病名一覧画面起動時にメッセージが表示されます。

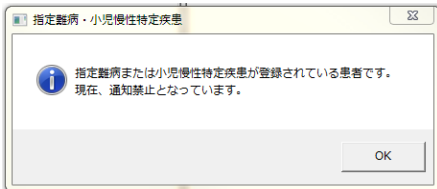
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有している、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されていない場合、以下のメッセージが表示されます。



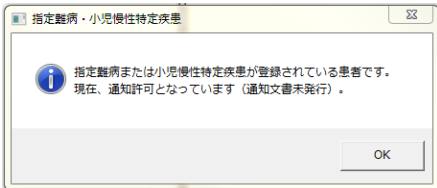
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有していない、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されている場合、以下のメッセージが表示されます。(指定難病通知区分「検討中」)



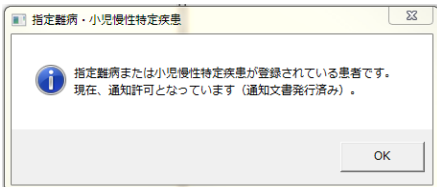
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有していない、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されている場合、以下のメッセージが表示されます。(指定難病通知区分「禁止」)



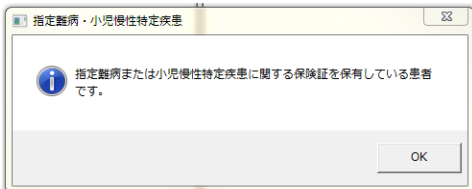
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有していない、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されている場合、以下のメッセージが表示されます。(指定難病通知区分「許可」、指定難病通知文書「未発行」)



「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有していない、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されている場合、以下のメッセージが表示されます。(指定難病通知区分「許可」、指定難病通知文書「発行済み」)



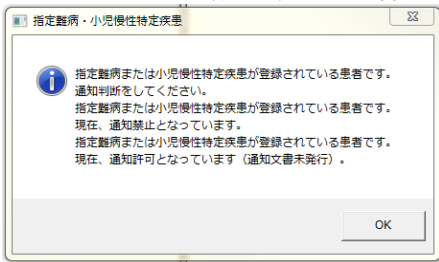
「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有している、かつ、「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名が登録されている場合、以下のメッセージが表示されます。



※「指定難病」または「小児慢性特定疾患」に関する保険証を保有しているとは、有効な患者保有の医療保険の中に以下のいずれかの公費が最低1つ含まれていることを指します。

- ①難病の患者に対する医療等に関する法律による特定医療（法別番号54）
- ②児童福祉法による小児慢性特定疾患研究事業に係る医療の給付（法別番号52）

※「指定難病」または「小児慢性特定疾患」の病名を複数登録した場合、患者カルテ起動時に複数のメッセージ内容が1つのメッセージボックスに集約して表示されます。



9. 参考：指定難病通知文書「指定難病に関するお知らせ」（医事会計システム機能）

指定難病通知文書「指定難病に関するお知らせ」の印字内容は以下の通りです。

指定難病に関するお知らせ

患者ID 9703012
患者氏名 テスト 難病支援 様


**あなたの疾患は指定難病に指定された疾患に
該当する可能性が**あります**。**


**指定難病と診断された場合、申請することで
医療費助成の対象となる可能性が**あります**。**

※この書類を受け取ったことで、指定難病の診断が確定したわけ
はありません。
詳細につきまして必ず主治医へ確認いただきますようお願いいたします。

○指定難病とは？
指定難病とは、1)発病の機構が明らかではなく、2)治療方法が確立していない、3)希少な疾患であって、4)長期の療養を必要とするもの、5)患者数が本邦において一定の人数(人口の約0.1%程度)に達しないこと、6)客観的な判断基準(またはそれに準ずるもの)が成立しているなどの要件をもとに難病法に定められた疾患のことを言います。

○医療費助成について
「指定難病」と診断され、「重症度分類等」に照らして病状の程度が一定程度以上の場合、医療費助成の対象となります。また、症状の程度が疾病ごとの重症度分類等に該当しない軽症者でも、高額な医療を継続することが必要な人は、「軽症高額」として医療費助成の対象となります。

○難病情報センターホームページ
各疾患の詳細等につきましては、難病情報センターHPを参照ください。
(<https://www.nanbyou.or.jp/>) 

○小児慢性特定疾病情報センターホームページ
各疾患の詳細等につきましては、小児慢性特定疾病情報センターHPを参照ください。
(<https://www.shouman.jp/>) 

金沢市宝町13-1 TEL.076-265-2000(代表)
国立大学法人 金沢大学附属病院

指定難病に関するお知らせ

患者ID 9703012
患者氏名 テスト 難病支援 様

あなたの疾患は指定難病に指定された疾患に
該当する可能性があります。

指定難病と診断された場合、申請することで
医療費助成の対象となる可能性があります。

※この書類を受け取ったことで、指定難病の診断が確定したわけ
ではありません。

詳細につきまして必ず主治医へ確認いただきますようお願いいたします。

○指定難病とは？

指定難病とは、1)発病の機構が明らかではなく、2)治療方法が確立していない、3)希少な疾患であって、4)長期の療養を必要とするもの、5)患者数が本邦において一定の人数(人口の約0.1%程度)に達しないこと、6)客観的な判断基準(またはそれに準ずるもの)が成立しているなどの要件をもとに難病法に定められた疾患のことを言います。

○医療費助成について

「指定難病」と診断され、「重症度分類等」に照らして病状の程度が一定程度以上の場合、医療費助成の対象となります。また、症状の程度が疾病ごとの重症度分類等に該当しない軽症者でも、高額な医療を継続することが必要な人は、「軽症高額」として医療費助成の対象となります。

○難病情報センターホームページ

各疾患の詳細等につきましては、難病情報センターHPを参照ください。

(<https://www.nanbyou.or.jp/>)



○小児慢性特定疾病情報センターホームページ

各疾患の詳細等につきましては、小児慢性特定疾病情報センターHPを参照ください。

(<https://www.shouman.jp/>)



[指定難病の普及・啓発に関するアンケート]

【指定難病の普及に関して】

問1. あなたの所属する診療科に関連する指定難病について普及・啓発が十分と考えますか？

- 1) 普及啓発は十分である ()
- 2) 普及啓発は十分でない ()

問2. あなたの所属する診療科は以下のどれですか？

- 1) 内科 () (専門診療科 :)
- 2) 脳神経内科 ()
- 3) 外科 () (専門診療科 :)
- 4) 神経科精神科 ()
- 5) 放射線科 ()
- 6) 皮膚科 ()
- 7) 形成外科 ()
- 8) 整形外科 ()
- 9) 泌尿器科 ()
- 10) 眼科 ()
- 11) 耳鼻咽喉科頭頸部外科 ()
- 12) 産婦人科 ()
- 13) 麻酔蘇生科 ()
- 14) 脳神経外科 ()

問3. 別紙の疾患があなたの所属する診療科に関連する指定難病ですが、診断時に指定難病と認識できますか？

- 1) 全てできる ()
- 2) おおむねできる ()
- 3) ほとんどできない ()

4) 全くできない ()

問4. 問3で1)「全てできる」または2)「おおむねできる」を選んだ方にお聞きします。

どのようにして指定難病について知りましたか？（複数選択可）

- 1) 厚生労働省のホームページや資料 ()
- 2) 都道府県のホームページや資料 ()
- 3) 難病情報センターのホームページや資料 ()
- 4) 学術集会や学会のホームページや学術誌 ()
- 5) 院内における周知(パンフレット、電子カルテの通知など) ()
- 6) その他 ()

問5. 診断した疾患が指定難病に指定されていることをいつの時点で知ることが多いですか？

- 1) 診断時、既に指定難病に指定されていることを認識している ()
- 2) 診断後、自分で難病情報センターなどから情報収集をするとき ()
- 3) 診断後、医療事務から指摘されたとき
- 4) 診断後、看護師から指摘されたとき
- 5) 診断後、患者から指摘されたとき
- 6) 診断後、他の医師から指摘されたとき ()
- 7) その他 ()

【指定難病の申請に関して】

問 6. ご自身の担当患者について、直近 1 年に指定難病の新規の申請をしたことがありますか？

- 1) 申請したことがある ()
- 2) 申請したことがない ()

問 7. あなたは難病指定医ですか？

- 1) 難病指定医である ()
- 2) 難病指定医でない ()

問 8. 問 6 で 1)「申請したことがある」を選んだ方にお聞きします。

問 8-1. 臨床調査個人票はいつのタイミングで作成しますか？

- 1) 外来診療中 ()
- 2) 外来診療後 ()
- 3) 入院中 ()
- 4) 退院後 ()
- 5) その他 ()

問 8-2. 臨床調査個人票の作成環境は？

- 1) メディパピルス等を用いて電子入力 ()
- 2) 難病情報センターHP からダウンロードした用紙に手書きで記載 ()
- 3) 患者に持参させた用紙に手書きで記載
- 4) その他 ()

問 8-3. 直近 1 年の指定難病の新規の申請件数はどれに該当しますか？

- 1) 0~5 件 ()
- 2) 5~10 件 ()

- 3) 10～20 件 ()
- 4) 20～30 件 ()
- 5) 30 件以上 ()

問 8-4. 新規+更新の申請件数はどれに該当しますか？

- 1) 0～5 件 ()
- 2) 5～10 件 ()
- 3) 10～20 件 ()
- 4) 20～30 件 ()
- 5) 30 件以上 ()

問 8-5. 新規申請時の臨床調査個人票 1 部あたりの作成時間は以下のどれに該当しますか？

- 1) 15 分未満 ()
- 2) 15 分以上 30 分未満 ()
- 3) 30 分以上 1 時間未満 ()
- 4) 1 時間以上 ()

問 8-6. 更新申請時の臨床調査個人票 1 部あたりの作成時間は以下のどれに該当しますか？

- 1) 15 分未満 ()
- 2) 15 分以上 30 分未満 ()
- 3) 30 分以上 1 時間未満 ()
- 4) 1 時間以上 ()

問 8-7. 臨床調査個人票を作成する際、難病情報センターHP の該当疾患に関する情報を閲覧しますか？

- 1) 閲覧する ()
- 2) 閲覧しない ()

問 8-8. 問 8-4 で 1) 閲覧すると回答された方は回答ください。難病情報センターHP のどの項目を閲覧して作成しますか？(複数回答可)

- 1) 疾患の概要 ()
- 2) 疾患の原因 ()
- 3) 疾患の症状 ()
- 4) 疾患の治療法 ()
- 5) 疾患の予後 ()
- 6) 診断基準 ()
- 7) 重症度分類 ()

問 9. 問 6 で 2) 「申請したことがない」を選んだ方にお聞きします。
これまで申請を行っていない理由はなんですか？(複数選択可)

- 1) 対象疾患であることを知らないため ()
- 2) 申請の仕方がわからないため ()
- 3) これまでに指定難病対象疾患の患者がいなかったため ()
- 4) 申請方法が煩雑なため ()
- 5) 日常診療を圧迫し、申請する時間的余裕がないため ()
- 6) 指定難病について理解が十分でないため ()
- 7) 患者の方から診断書料金等を理由に断られたため ()
- 8) 診断基準を満たすかどうか自信がないため。
- 9) 重症度基準を満たすかどうか自信がないため。
- 10) 医療費助成が受けられるかどうか自信がないため。
- 11) 軽症高額特例を満たすかどうか自信がないため。
- 12) データベース化されて研究に利用されていることを知らないため。
- 13) その他

問 10. 指定難病の申請において問題点はありますか？（複数選択可）

- 1) 特段の問題はない（ ）
- 2) 疾患数が多く、指定されているか把握できない（ ）
- 3) 記載項目が多く、煩雑であり、日常診療を圧迫する（ ）
- 4) 申請書の取り寄せや提出などの手続きにかかる負担が大きい（ ）
- 5) 記載料が高額である医療費助成が受けられない場合に患者の同意を得にくい。
- 6) その他

問 11. 診察した患者が指定難病の対象患者であることを、診察終了後すぐに把握できれば、申請率は向上すると思いますか？

- 1) そう思う（ ）
- 2) そう思わない（ ）

問 12. 診察した患者が指定難病の対象患者であることを、診察終了後すぐに把握できれば、申請における医師の負担は軽減されると思いますか？

- 1) そう思う（ ）
- 2) そう思わない（ ）

★質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

本アンケートは、〇〇〇までご返送いただきますよう、よろしくお願い致します。

院内アンケート結果(概要)

目的

電子カルテおよび医事会計システムを活用した指定難病制度の普及・啓発のより指定難病の申請率の向上および患者への福音を目指す。

対象

金沢大学附属病院にて指定難病（小児慢性特定疾病は除く）の診療に携わる医師

方法

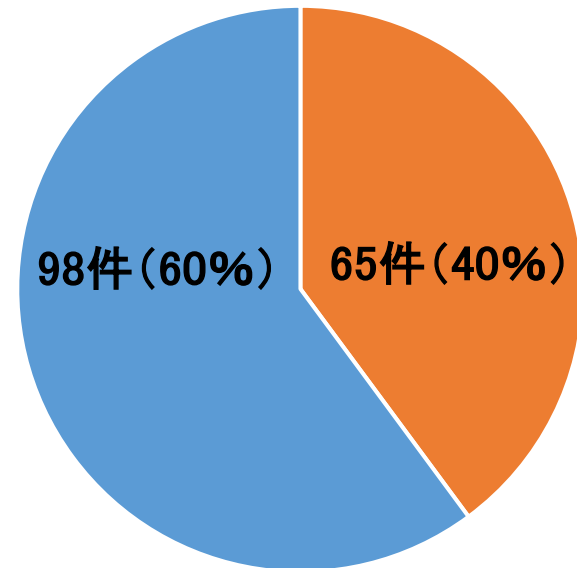
資料3-5のアンケートを病院の職員メールにて送付し、電子入力にて回答

回答数

163人

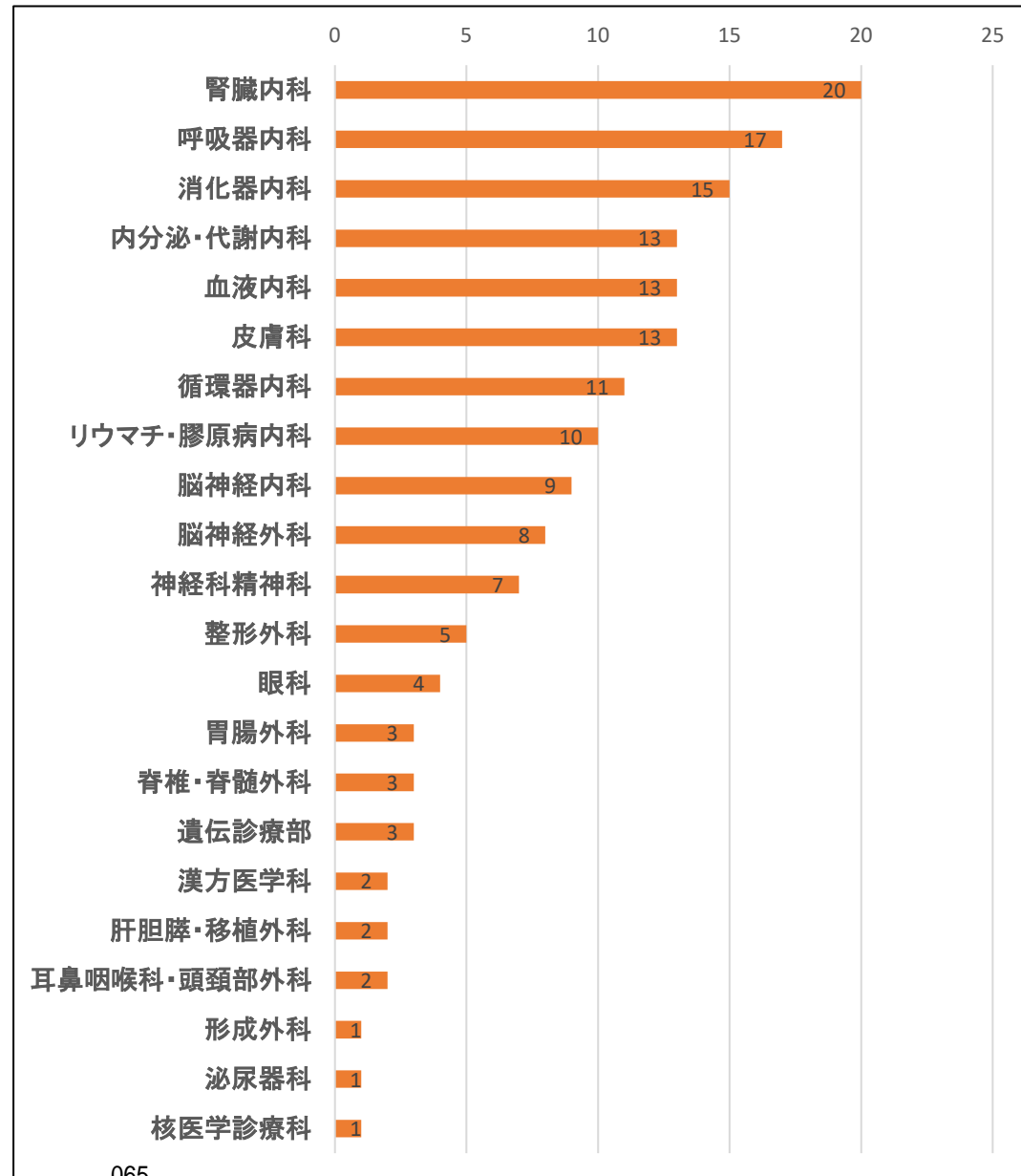
問1

所属する診療科に関連する指定難病について普及啓発が十分か？

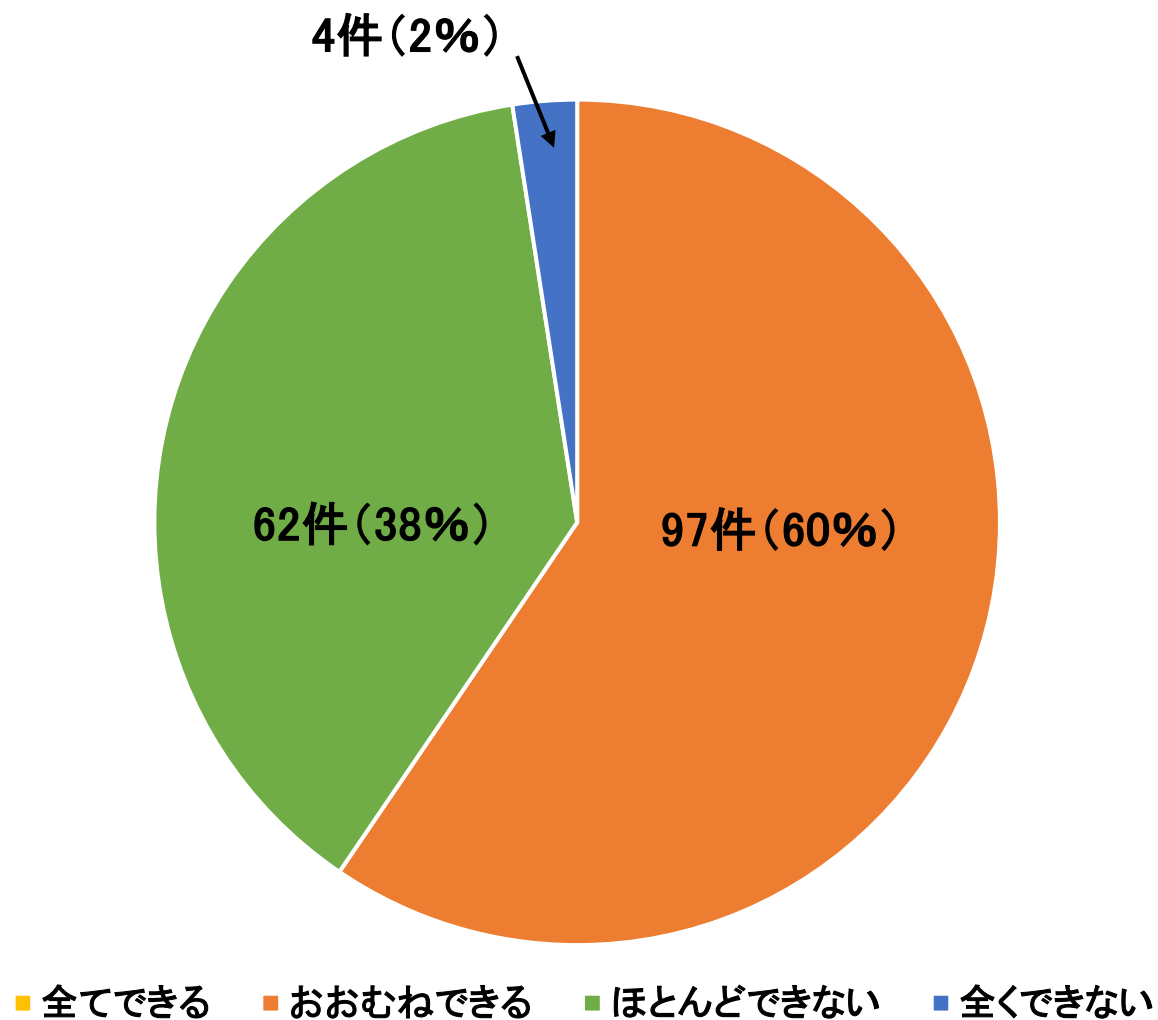


- 普及啓発は十分である。
- 普及啓発は十分でない

問2 所属する診療科は？

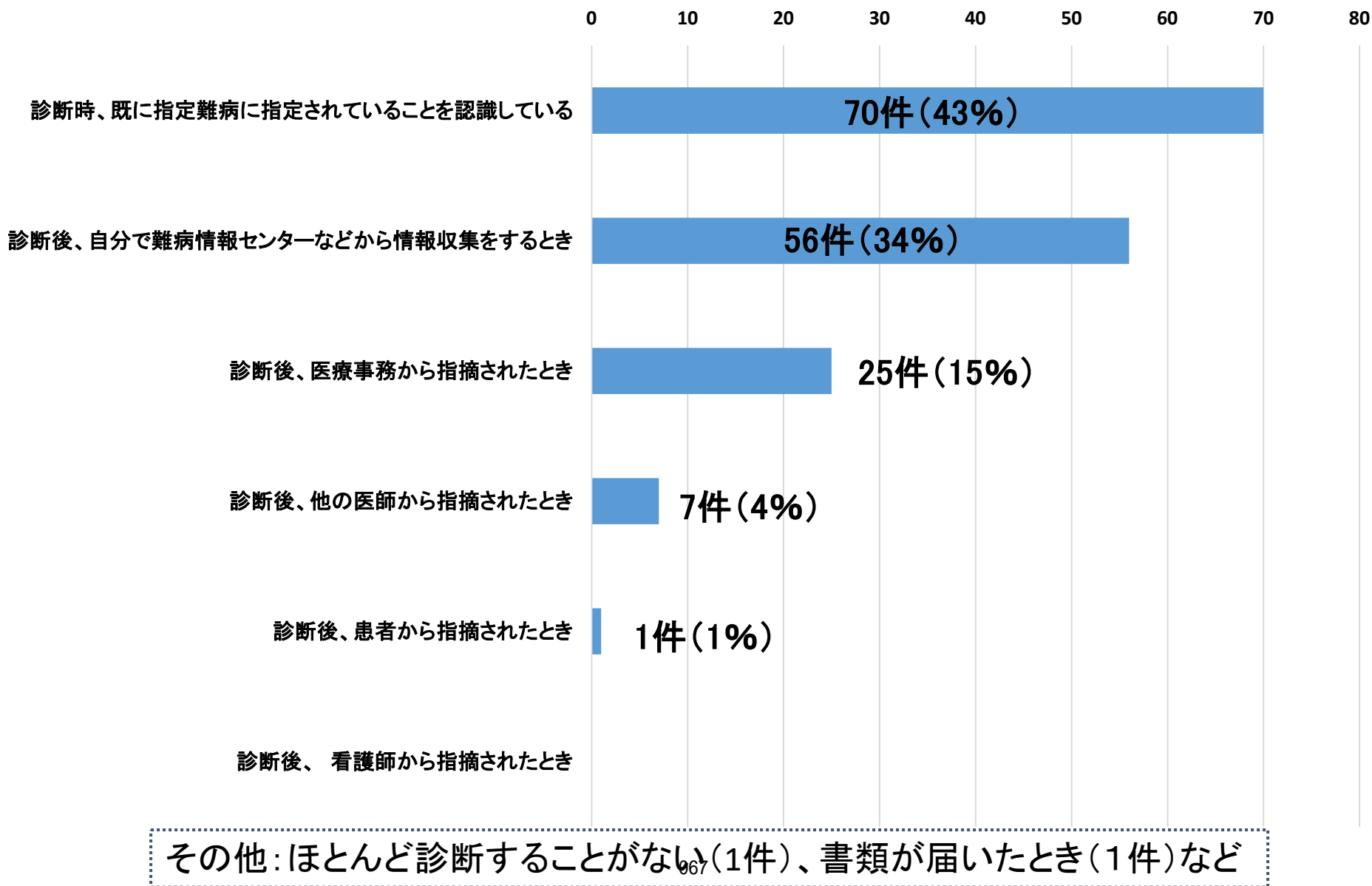


問3 診断時に、その疾患が指定難病であることを認識できますか？

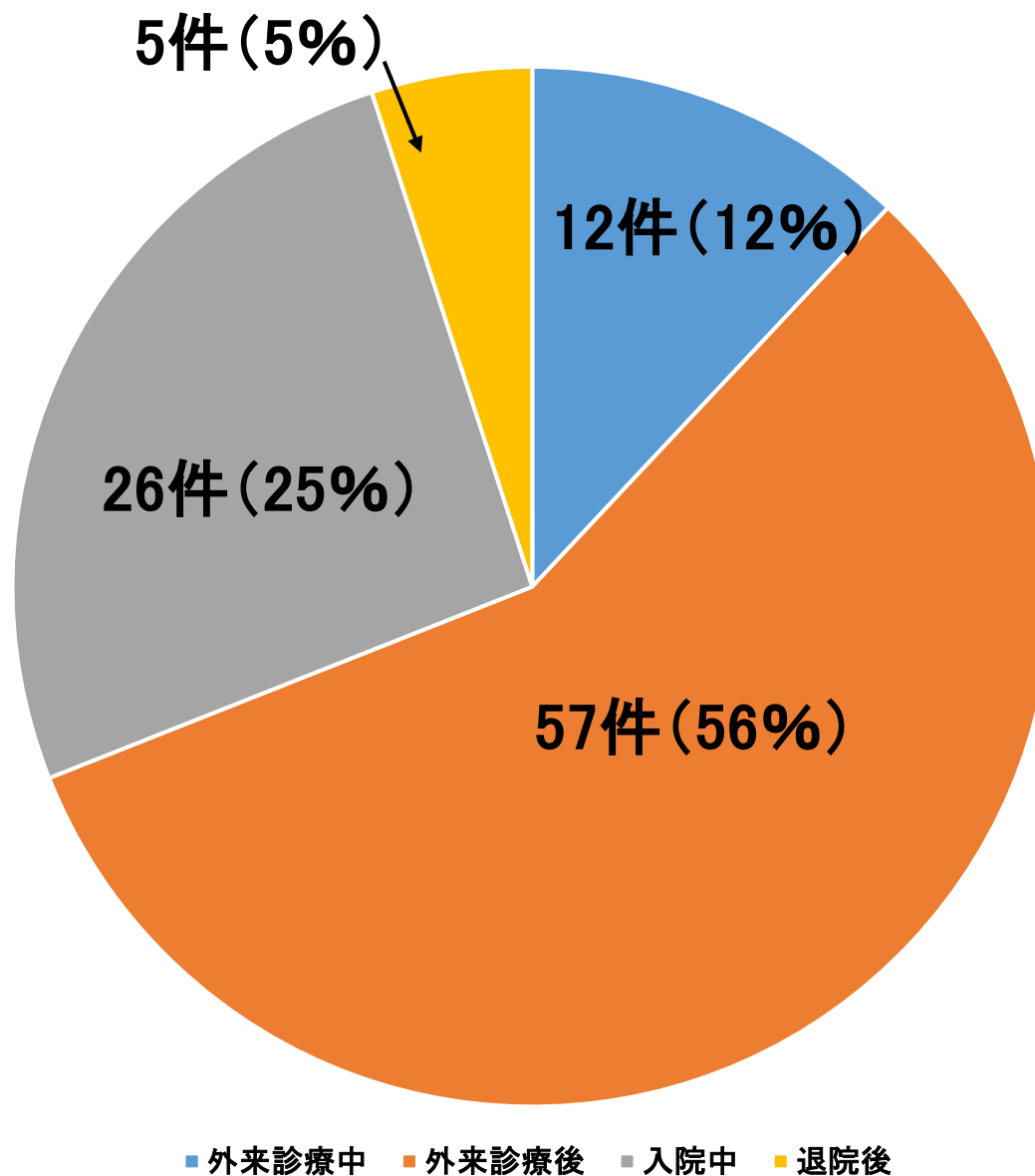


問5

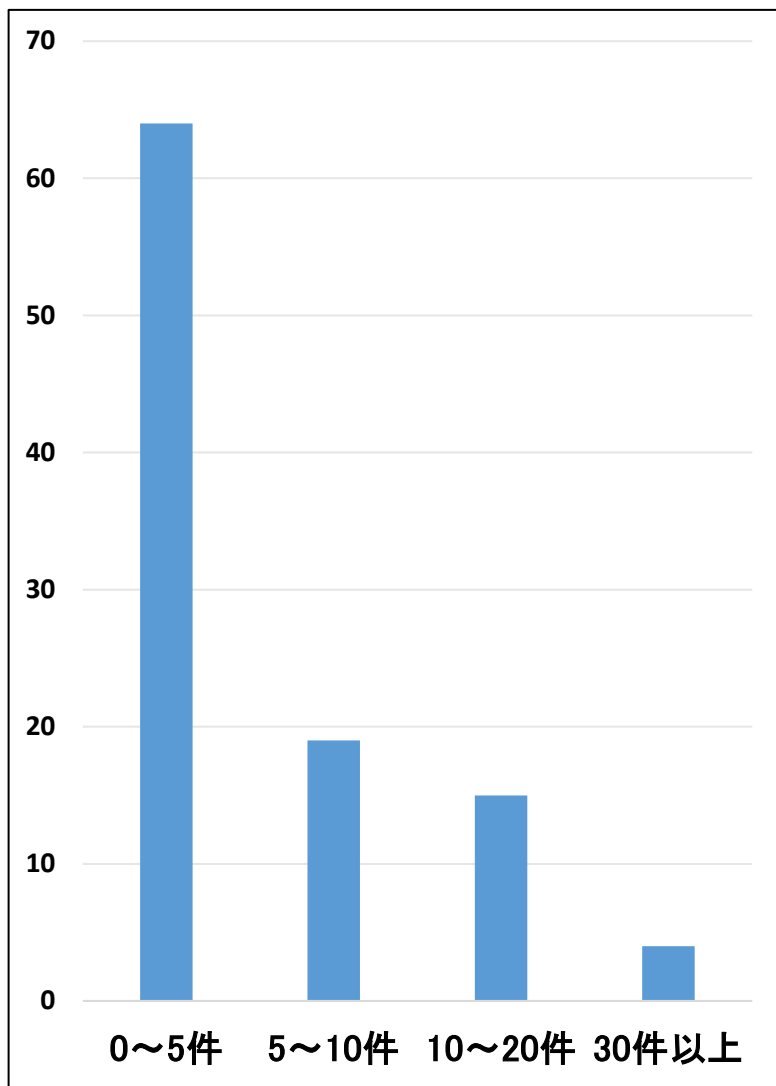
診断した疾患が指定難病に指定されていることをいつの時点で知ることが多いですか？



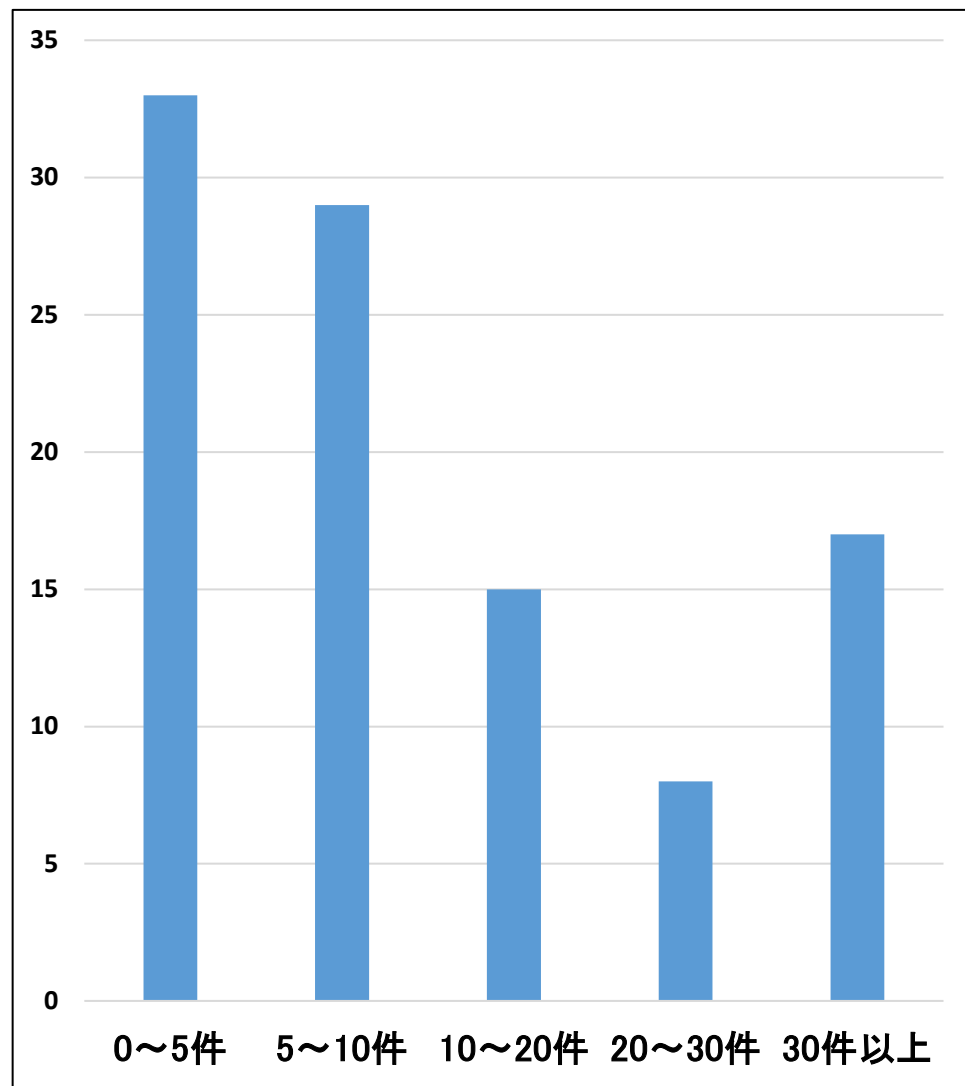
問8-1 臨床調査個人票の作成のタイミングは？



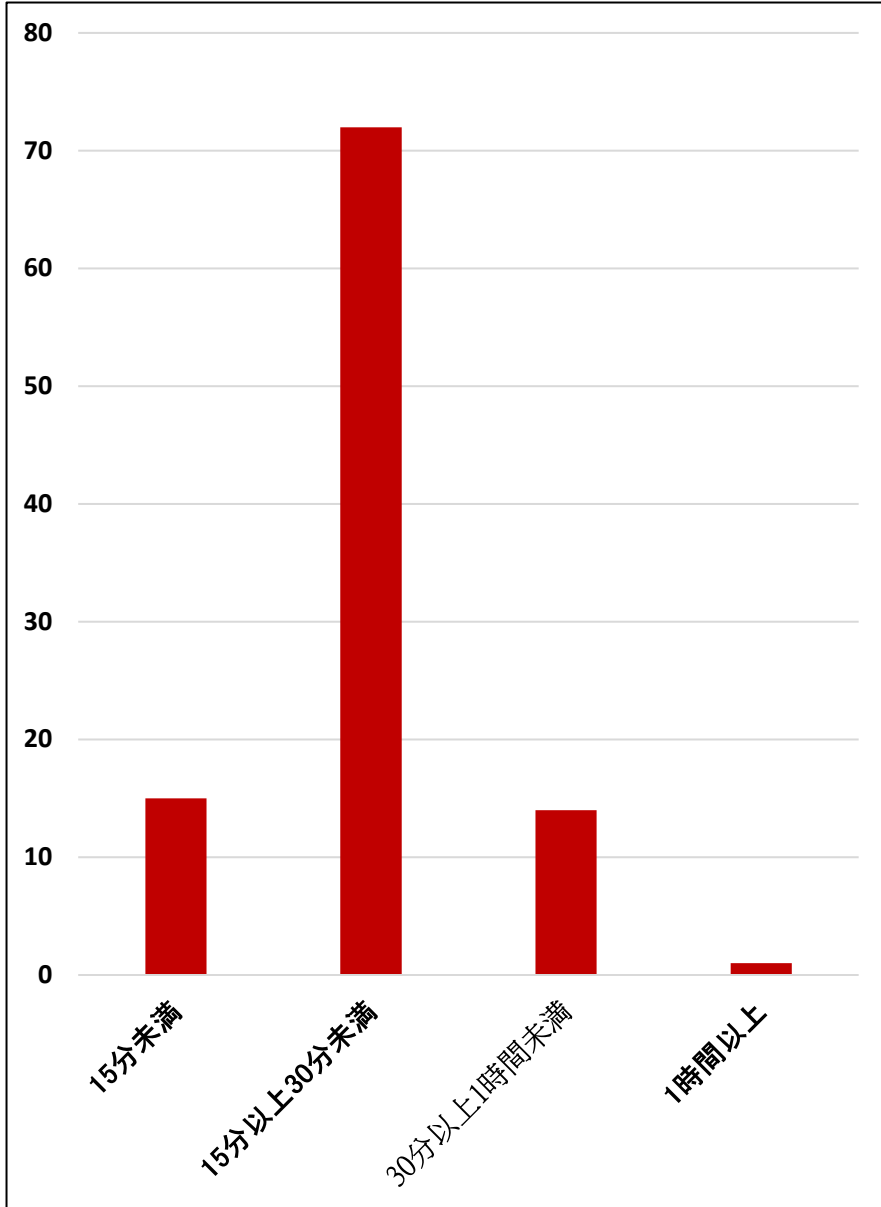
問8-3 直近一年の申請件数は？



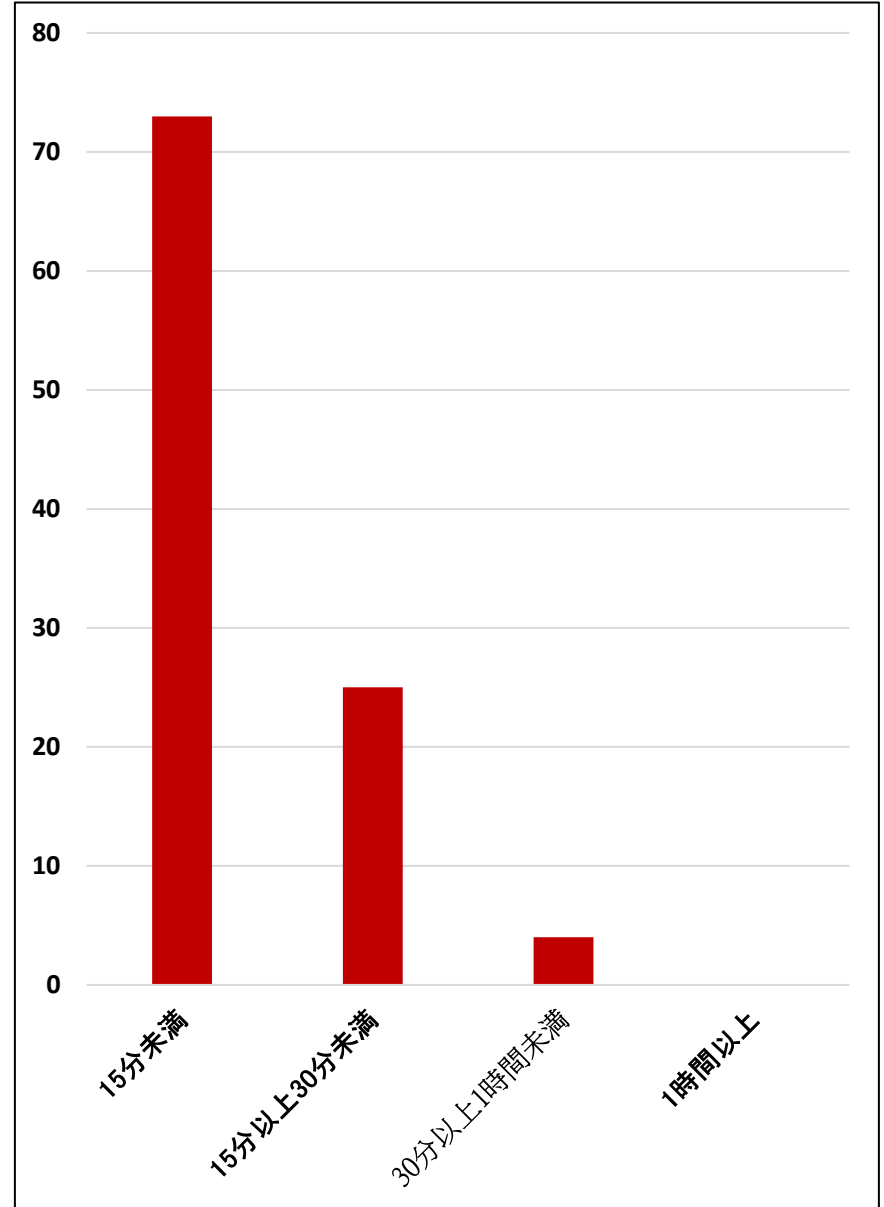
問8-4 直近一年の新規+更新の申請件数は？



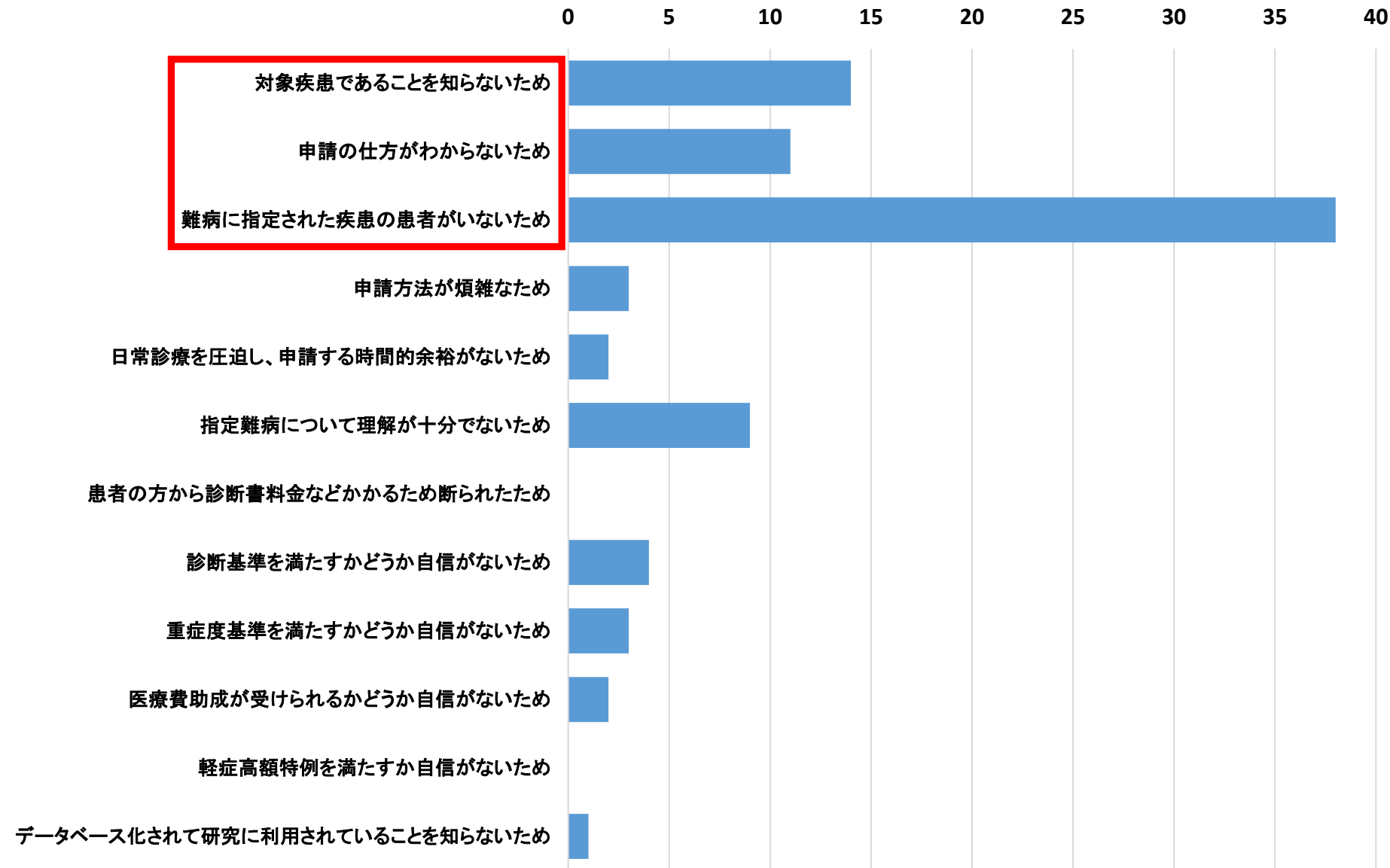
問8-5
新規申請時に臨床調査個人票の作成時間は？



問8-6
更新申請時に臨床調査個人票の作成時間は？



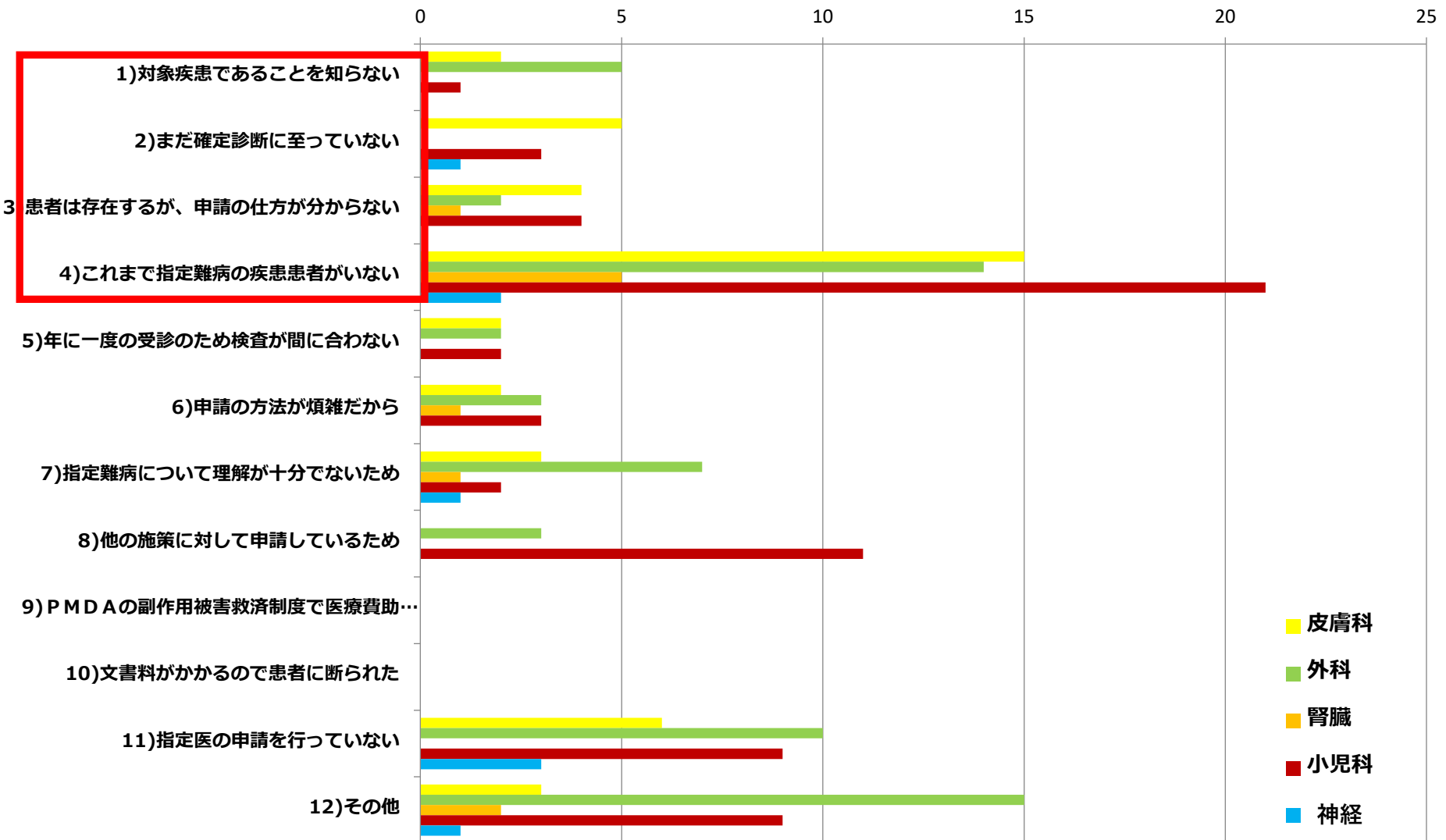
問9 申請を行っていない理由は？



「その他」の主な内容

すでに診断・申請が行われているため、指定医ではないため、自分で診断することがほとんどない、診断した場合は主科に連絡する

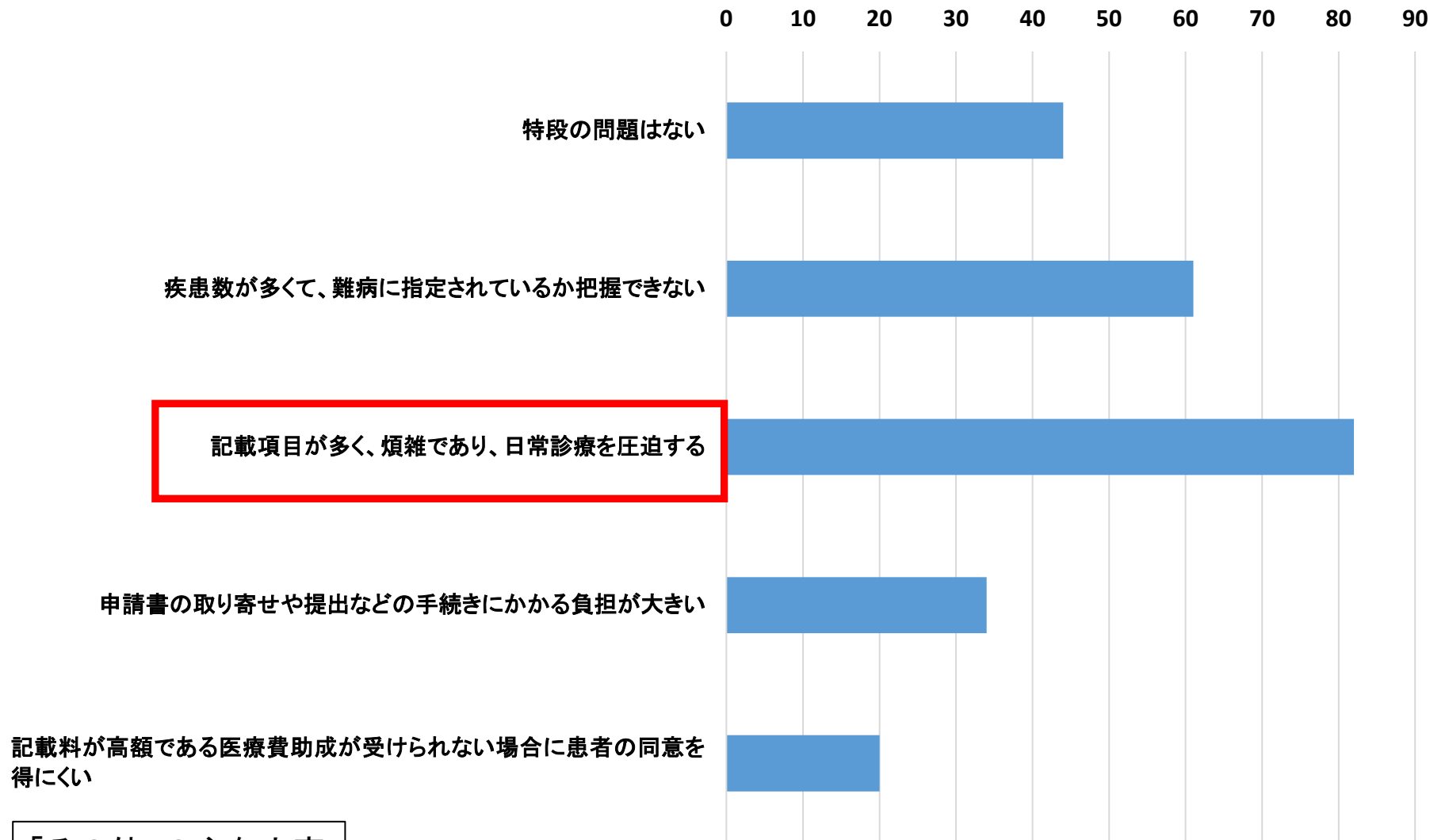
申請を行っていない理由は何ですか？



「その他」の主な内容

- ・担当医・後輩医師が申請しているため (×3件)
- ・他科から申請されているため (×4件)
- ・15歳まで医療費助成があるため (×2件)
- ・小児期の認定基準と指定難病に認定基準に差があるため
- ・指定難病で申請するより、小児慢性疾患で申請するから (×2件)
- ・15歳まで医療費助成があるため (×2件)

問9 申請における問題点は？



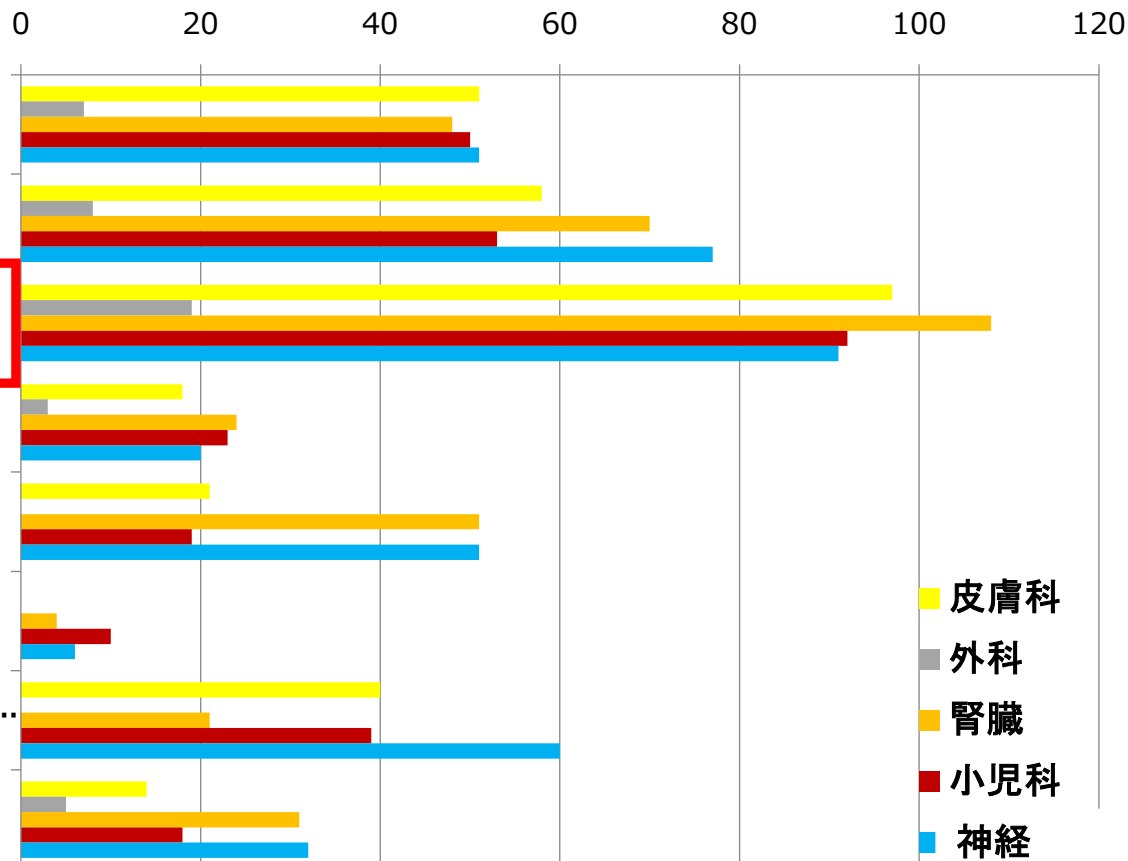
「その他」の主な内容

- ・臨床調査個人票に関すること(3件:不必要な情報が多い、項目がわかりにくい)
- ・対象外になることが増えたため、助成を受けれないと思う人は申請しない
- ・確定診断となる遺伝学的検査を依頼できる施設情報がない

(参考 前和田班アンケートより抜粋)

申請に当たって問題点はありませんでしたか？ (複数回答可)

(件数)



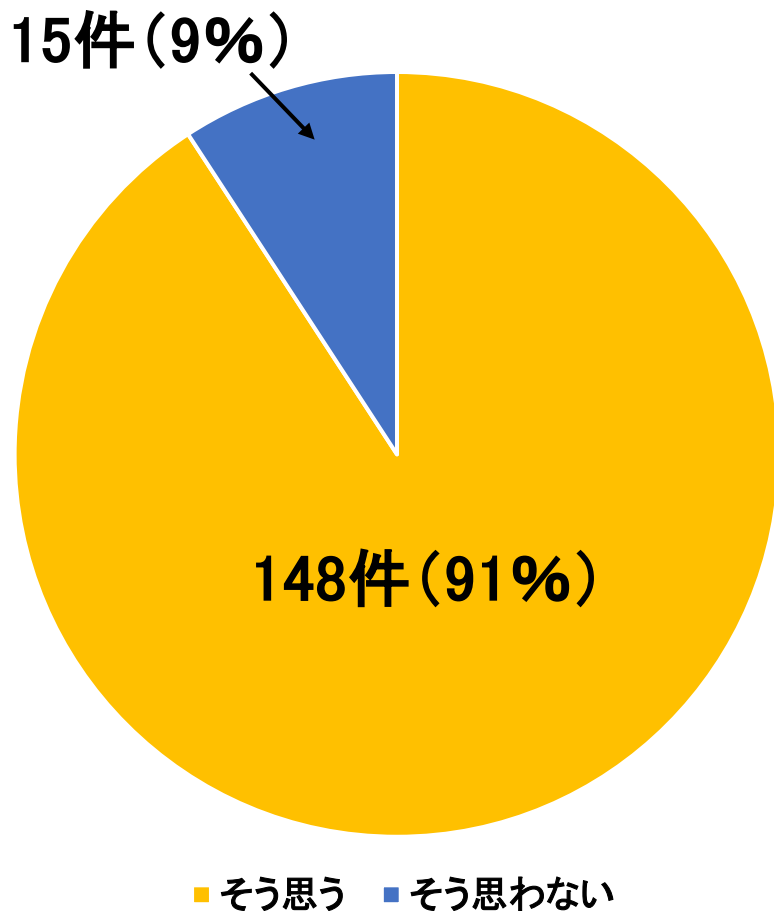
「その他」の主な内容

- ・手書きではなく、パソコン入力にすべき。記載欄が小さい。(×11件)
- ・1割から2割負担の高齢者には申請するメリットがない。(×2件)
- ・重症のシステムが煩雑である(×5件)
- ・申請した患者へのメリット・デメリットについて(×3件)
- ・継続申請の案内がない
- ・認定基準について(厳しい、現状に即していない)(×2件)
- ・小児慢性疾患に関して(他の制度との整合性、移行がスムーズでない)(×4件)
- ・患者救済の制度なのか疫学研究のための制度かよくわからない。

・申請時期が一点に集中していて負担

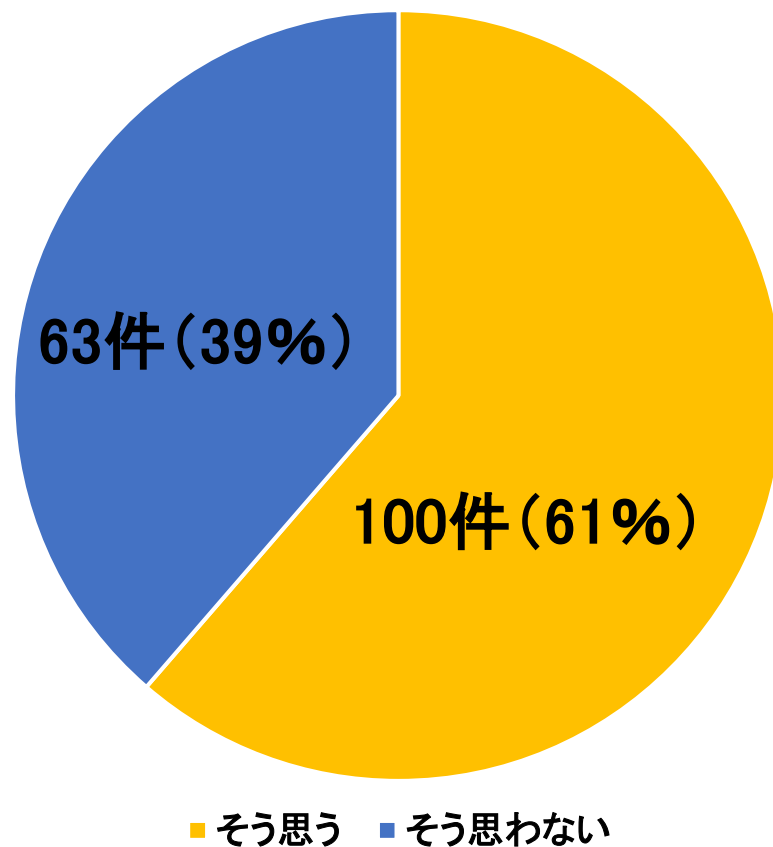
問11

診察後にすぐ指定難病の対象と把握することで申請率は向上すると思う？



問12

診察後にすぐ指定難病の対象と把握することで医師の負担は軽減すると思う？



結果・まとめ

- ・アンケート回答者は指定難病の疾患を多く診療する診療科が多かった。
- ・診断時に指定難病に該当すると認識できるという回答者が意外と多いことがわかった。一方、疾患数が多く把握が十分でないことが申請時の問題点として考える回答者も多くいた。
- ・患者側からの申し出で指定難病と認識する回答者はほとんどいなかった。
- ・申請を行っていない理由は、前研究班で行ったアンケート調査と同様の結果であり、指定難病制度の普及啓発が未だ十分とは言えない。
- ・臨床調査個人票の煩雑さ、記載項目の多さなど「臨床調査個人票」に関する問題点も再確認した。
- ・システムの試験的な改良により、申請率の向上に繋がることが期待される。

資料7. 指定難病-MEDIS病名マッピング

参照 MEDIS ICD10対応標準病名マスターver.5.04(2020/6/1改訂)(<https://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/download2019.html>)

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
1	球脊髄性筋萎縮症	20084039	球脊髄性筋萎縮症	G121		8832469
2	筋萎縮性側索硬化症	20086830	家族性筋萎縮性側索硬化症	G122		8842326
2	筋萎縮性側索硬化症	20059235	筋萎縮性側索硬化症	G122		3352007
2	筋萎縮性側索硬化症	20066120	進行性球麻痺	G122		3352010
2	筋萎縮性側索硬化症	20095475	孤発性筋萎縮性側索硬化症	G122		8846130
3	脊髄性筋萎縮症	20095553	脊髄性筋萎縮症Ⅰ型	G120		8846173
3	脊髄性筋萎縮症	20060357	肩甲胛骨型脊髄性筋萎縮症	G121		8833232
3	脊髄性筋萎縮症	20055593	家族性脊髄性筋萎縮症	G121		3351008
3	脊髄性筋萎縮症	20095555	脊髄性筋萎縮症ⅡⅡ型	G121		8846175
3	脊髄性筋萎縮症	20095520	若年性進行性球麻痺	G121		8846155
3	脊髄性筋萎縮症	20095554	脊髄性筋萎縮症ⅡⅠ型	G121		8846174
3	脊髄性筋萎縮症	20094887	脊髄性筋萎縮症ⅡⅤ型	G121		8845973
3	脊髄性筋萎縮症	20054927	遠位型脊髄性筋萎縮症	G121		8830897
3	脊髄性筋萎縮症	20067011	脊髄性筋萎縮症	G122		8835990
4	原発性側索硬化症	20060472	原発性側索硬化症	G122		3352008
5	進行性核上性麻痺	20066118	進行性核上性麻痺	G231		3318005
6	パーキンソン病	20095522	若年性パーキンソン病Y a h r 3	G20		8846157
6	パーキンソン病	20089098	家族性パーキンソン病Y a h r 3	G20		8843852
6	パーキンソン病	20095521	若年性パーキンソン病	G20		8846156
6	パーキンソン病	20089099	パーキンソン病Y a h r 3	G20		8843952
6	パーキンソン病	20103655	認知症を伴うパーキンソン病	G20	F023	8850077
6	パーキンソン病	20095523	若年性パーキンソン病Y a h r 4	G20		8846158
6	パーキンソン病	20089100	家族性パーキンソン病Y a h r 4	G20		8843853
6	パーキンソン病	20089101	パーキンソン病Y a h r 4	G20		8843953
6	パーキンソン病	20089102	パーキンソン病Y a h r 1	G20		8843950
6	パーキンソン病	20052621	パーキンソン病	G20		3320002
6	パーキンソン病	20095524	若年性パーキンソン病Y a h r 5	G20		8846159
6	パーキンソン病	20089103	家族性パーキンソン病Y a h r 5	G20		8843854
6	パーキンソン病	20089104	家族性パーキンソン病Y a h r 2	G20		8843851
6	パーキンソン病	20089105	パーキンソン病Y a h r 5	G20		8843954
6	パーキンソン病	20089106	家族性パーキンソン病Y a h r 1	G20		8843850
6	パーキンソン病	20086806	家族性パーキンソン病	G20		8842319
6	パーキンソン病	20089107	パーキンソン病Y a h r 2	G20		8843951
7	大脳皮質基底核変性症	20084775	大脳皮質基底核変性症	G238		8841403
8	ハンチントン病	20095515	若年型ハンチントン病	G10		8846154
8	ハンチントン病	20087301	ハンチントン病の認知症	G10	F022	8845600
8	ハンチントン病	20052543	ハンチントン病	G10		8843948
9	神経有棘赤血球症	20100461	神経有棘赤血球症	E786	G26	8848266

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
10	シャルコー・マリー・トゥース病	20052012	シャルコー・マリー・トゥース病	G600		8834519
11	重症筋無力症	20084782	眼筋型重症筋無力症	G700		8841407
11	重症筋無力症	20095444	胸腺腫合併重症筋無力症	G700	D150	8846112
11	重症筋無力症	20095514	若年型重症筋無力症	G700		8846153
11	重症筋無力症	20095445	胸腺摘出後重症筋無力症	G700	E898	8846113
11	重症筋無力症	20095565	全身型重症筋無力症	G700		8846179
11	重症筋無力症	20064101	重症筋無力症	G700		3580006
11	重症筋無力症	20065753	新生児重症筋無力症	P940		7752001
12	先天性筋無力症候群	20100462	先天性筋無力症候群	G702		8848366
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20092913	メラール・バロウ病	E54		8845038
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20083886	脊髄多発性硬化症	G35		8835995
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20073099	脳幹多発性硬化症	G35		8838689
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20083906	無症候性多発性硬化症	G35		8840486
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20079746	多発性硬化症	G35		3409005
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20058508	急性多発性硬化症	G35		8832406
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20104214	視神経脊髄炎スペクトラム	G360		8850192
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20062958	視神経脊髄炎	G360		3410003
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	20084781	バロー病	G375		8844908
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20084771	多巣性運動ニューロパチー	G618		8841400
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20085396	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	G618		8841670
15	封入体筋炎	20075211	封入体筋炎	G724		7104007
16	クローウ・深瀬症候群	20097783	P O E M S 症候群	C900		8847152
17	多系統萎縮症	20068007	線条体黒質変性症	G232		8836114
17	多系統萎縮症	20051405	オリーブ橋小脳萎縮症	G238		8831003
17	多系統萎縮症	20089108	多系統萎縮症	G903		8843934
17	多系統萎縮症	20052001	シャイ・ドレーガー症候群	G903		3330003
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20095396	アプラタキシス欠損症	G111		8846093
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20052895	フリードライヒ運動失調症	G111		8839801
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20084774	マシャド・ジョセフ病	G112		8841402
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20100482	歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症	G112		8848341
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20094874	皮質性小脳萎縮症	G112		8846046
18	脊髄小脳変性症	20100480	脊髄小脳失調症 3 1 型	G112		8848208
18	脊髄小脳変性症	20100478	脊髄小脳失調症 6 型	G112		8848209
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20076942	毛細血管拡張性運動失調症	G113		3348008
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20055614	家族性痙性対麻痺	G114		8845864
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20054373	遺伝性小脳性運動失調症	G119		3342004
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20066992	脊髄小脳変性症	G319		8835986
19	ライソゾーム病	20053249	ポンペ病	E740		2710010
19	ライソゾーム病	20079724	糖原病 2 型	E740		8838010
19	ライソゾーム病	20095549	成人型ポンペ病	E740		8846170

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
19	ライソゾーム病	20095577	ダノン病	E740		8846187
19	ライソゾーム病	20095601	乳児型ポンペ病	E740		8846202
19	ライソゾーム病	20095499	小児型ポンペ病	E740		8846143
19	ライソゾーム病	20095430	神崎病	E742		8846106
19	ライソゾーム病	20095509	シンドラー病	E742		8846151
19	ライソゾーム病	20050181	G M 2 ガングリオシドーシス	E750		8830080
19	ライソゾーム病	20079693	G M 2 ガングリオシドーシス 2 型	E750		8830082
19	ライソゾーム病	20095808	成人型 G M 2 ガングリオシドーシス	E750		8846305
19	ライソゾーム病	20079692	G M 2 ガングリオシドーシス 1 型	E750		8830081
19	ライソゾーム病	20095843	乳児型 G M 2 ガングリオシドーシス	E750		8846323
19	ライソゾーム病	20095511	若年型 G M 2 ガングリオシドーシス	E750		8846296
19	ライソゾーム病	20095842	乳児型 G M 1 ガングリオシドーシス	E751		8846322
19	ライソゾーム病	20095807	成人型 G M 1 ガングリオシドーシス	E751		8846304
19	ライソゾーム病	20084072	ガラクトシアリドーシス	E751		8831888
19	ライソゾーム病	20050180	G M 1 ガングリオシドーシス	E751		8830079
19	ライソゾーム病	20095794	若年型 G M 1 ガングリオシドーシス	E751		8846295
19	ライソゾーム病	20095545	成人型異染性白質ジストロフィー	E752		8846168
19	ライソゾーム病	20095481	ゴーシェ病 2 型	E752		8846134
19	ライソゾーム病	20095637	マルチプルスルファターゼ欠損症	E752		8846221
19	ライソゾーム病	20095513	若年型異染性白質ジストロフィー	E752		8846152
19	ライソゾーム病	20095464	後期乳児型異染性白質ジストロフィー	E752		8846124
19	ライソゾーム病	20095479	ゴーシェ病 1 型	E752		8846133
19	ライソゾーム病	20084068	ファブリー病	E752		8839589
19	ライソゾーム病	20095594	ニーマン・ピック病 C 型	E752		8846200
19	ライソゾーム病	20095592	ニーマン・ピック病 A 型	E752		8846198
19	ライソゾーム病	20051890	ゴーシェ病	E752		2727004
19	ライソゾーム病	20051635	クラッペ病	E752		3300002
19	ライソゾーム病	20095621	ファーバー病	E752		8846212
19	ライソゾーム病	20095547	成人型クラッペ病	E752		8846169
19	ライソゾーム病	20052188	スルファターゼ欠損症	E752		8835765
19	ライソゾーム病	20095593	ニーマン・ピック病 B 型	E752		8846199
19	ライソゾーム病	20095599	乳児型クラッペ病	E752		8846201
19	ライソゾーム病	20095620	びまん性体幹被角血管腫	E752		8846211
19	ライソゾーム病	20052459	ニーマン・ピック病	E752		3302003
19	ライソゾーム病	20054122	異染性白質ジストロフィー	E752		8830484
19	ライソゾーム病	20095483	ゴーシェ病 3 型	E752		8846135
19	ライソゾーム病	20052156	スピルマイヤー・フォクト病	E754		8835748
19	ライソゾーム病	20092947	神経セロイドリポフスチン症	E754		8834938
19	ライソゾーム病	20053463	ヤンスキー・ビールショウスキー病	E754		8840742
19	ライソゾーム病	20104155	神経セロイドリポフスチン症 2 型	E754		8850211

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
19	ライソゾーム病	20095452	クフス病	E754		8846118
19	ライソゾーム病	20104153	神経セロイドリポフスチン症1型	E754		8850210
19	ライソゾーム病	20095477	コレステロールエステル蓄積症	E755		8846132
19	ライソゾーム病	20051283	ウォールマン病	E755		2727003
19	ライソゾーム病	20052002	シャイエ症候群	E760		8834490
19	ライソゾーム病	20095649	ムコ多糖症Ⅰ型	E760		8846225
19	ライソゾーム病	20052515	ハーラー症候群	E760		2775004
19	ライソゾーム病	20095650	ムコ多糖症Ⅱ型	E761		8846226
19	ライソゾーム病	20095653	ムコ多糖症ⅤⅠ型	E762		8846229
19	ライソゾーム病	20095651	ムコ多糖症ⅢⅠ型	E762		8846227
19	ライソゾーム病	20095654	ムコ多糖症ⅤⅡ型	E762		8846230
19	ライソゾーム病	20095652	ムコ多糖症ⅠⅤ型	E762		8846228
19	ライソゾーム病	20100697	ムコ多糖症ⅠⅤⅡ型	E762		8848417
19	ライソゾーム病	20100693	ムコ多糖症ⅠⅤⅠ型	E762		8848416
19	ライソゾーム病	20086699	ムコ多糖症	E763		2775007
19	ライソゾーム病	20084062	Ⅰ細胞病	E770		8830106
19	ライソゾーム病	20079710	ムコリビドーシス3型	E770		8840477
19	ライソゾーム病	20086664	マンノシドーシス	E771		8846223
19	ライソゾーム病	20086644	シアリドーシス	E771		8842242
19	ライソゾーム病	20095486	サラ病	E771		8846137
19	ライソゾーム病	20095393	アスパルチルグルコサミン尿症	E771		8846091
19	ライソゾーム病	20095674	β-マンノシドーシス	E771		8846235
19	ライソゾーム病	20052861	フコース症	E771		8839775
20	副腎白質ジストロフィー	20101077	新生児型副腎白質ジストロフィー	E713		8848556
20	副腎白質ジストロフィー	20095625	副腎脊髄ニューロパチー	E713		8846214
20	副腎白質ジストロフィー	20083901	副腎白質ジストロフィー	E713		8839695
21	ミトコンドリア病	20100646	ピアソン症候群	D640	K868	8846217
21	ミトコンドリア病	20100689	ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症	E744		8848412
21	ミトコンドリア病	20095359	MELAS症候群	E888		8846079
21	ミトコンドリア病	20096779	ミトコンドリア肝症	E888	K778	8846972
21	ミトコンドリア病	20095365	MNGIE	E888		8846084
21	ミトコンドリア病	20095644	ミトコンドリア心筋症	E888	I431	8846224
21	ミトコンドリア病	20095361	MERRF症候群	E888		8846080
21	ミトコンドリア病	20094357	ミトコンドリア病	E888		8845613
21	ミトコンドリア病	20053526	リー症候群	G318		8840933
21	ミトコンドリア病	20084786	ミトコンドリア脳筋症	G713		8841410
21	ミトコンドリア病	20084784	ミトコンドリアミオパチー	G713		8841409
21	ミトコンドリア病	20094888	慢性進行性外眼筋麻痺症候群	H494		8846059
21	ミトコンドリア病	20094889	カーンズ・セイアー症候群	H498		8831018
22	もやもや病	20050703	もやもや病	I675		4375001

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
22	もやもや病	20066586	成人もやもや病	I675		4375003
22	もやもや病	20064475	小児もやもや病	I675		4375004
23	プリオン病	20052517	ハイデンハイン疾患	A810		8838853
23	プリオン病	20085387	致死性家族性不眠症	A810		8841662
23	プリオン病	20051706	クロイツフェルト・ヤコブ病	A810		461004
23	プリオン病	20095476	孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病	A810		8846131
23	プリオン病	20079690	プリオン病	A810		8848413
23	プリオン病	20095427	家族性クロイツフェルト・ヤコブ病	A810		8846103
23	プリオン病	20085386	ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病	A818		8841322
24	亜急性硬化性全脳炎	20053842	亜急性硬化性全脳炎	A811		462001
25	進行性多巣性白質脳症	20066138	進行性多巣性白質脳症	A812		463001
26	HTLV-1関連脊髄症	20100465	H T L V - 1 関連脊髄症	A858	B973	8830102
27	特発性基底核石灰化症	20100434	特発性基底核石灰化症	G238		8848218
27	特発性基底核石灰化症	20100439	家族性特発性基底核石灰化症	G238		8848195
28	全身性アミロイドーシス	20095633	マックル・ウエルズ症候群	D898	E852	8846219
28	全身性アミロイドーシス	20103764	遺伝性腎アミロイドーシス	E850		8849873
28	全身性アミロイドーシス	20055566	家族性アミロイドポリニューロパチー	E851	G633	8831266
28	全身性アミロイドーシス	20055564	家族性アミロイドニューロパチー	E851		8831265
28	全身性アミロイドーシス	20100113	トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー	E851		8848092
28	全身性アミロイドーシス	20055562	家族性アミロイドーシス	E852		2773034
28	全身性アミロイドーシス	20094877	A H アミロイドーシス	E858		8845843
28	全身性アミロイドーシス	20094875	老人性 T T R アミロイドーシス	E858		8846070
28	全身性アミロイドーシス	20094878	A L アミロイドーシス	E858		8845844
28	全身性アミロイドーシス	20060470	原発性全身性アミロイドーシス	E859		2773029
28	全身性アミロイドーシス	20068352	全身性アミロイドーシス	E859		2773013
29	ウルリッヒ病	20100503	ウルリッヒ病	G710		8848192
30	遠位型ミオパチー	20100513	縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー	G710		8848223
30	遠位型ミオパチー	20100509	遠位型ミオパチー	G710		8848193
30	遠位型ミオパチー	20100510	眼咽頭遠位型ミオパチー	G710		8848197
31	ベスレムミオパチー	20100507	ベスレムミオパチー	G710		8848226
32	自己貪食空胞性ミオパチー	20100514	自己貪食空胞性ミオパチー	G718		8848204
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	20085398	シュワルツ・ヤンペル症候群	G711		8841671
34	神経線維腫症	20052855	フォン・レックリングハウゼン病	Q850		2377001
34	神経線維腫症	20085389	神経線維腫症 1 型	Q850		8841666
34	神経線維腫症	20082434	神経線維腫症	Q850		2377005
34	神経線維腫症	20085388	神経線維腫症 2 型	Q850		8841663
35	天疱瘡	20065784	新生児天疱瘡	L00		8835053
35	天疱瘡	20066198	尋常性天疱瘡	L100		6944003
35	天疱瘡	20068621	増殖性天疱瘡	L101		6944005
35	天疱瘡	20077467	落葉状天疱瘡	L102		6944008

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
35	天疱瘡	20052937	ブラジル天疱瘡	L103		8839845
35	天疱瘡	20061445	紅斑性天疱瘡	L104		6944002
35	天疱瘡	20095663	薬剤誘発性天疱瘡	L105		8846234
35	天疱瘡	20095632	疱疹状天疱瘡	L108		8846218
35	天疱瘡	20095492	腫瘍随伴性天疱瘡	L108		8846140
35	天疱瘡	20071366	天疱瘡	L109		6944006
35	天疱瘡	20066426	水疱性類天疱瘡	L120		6945004
35	天疱瘡	20057418	眼性類天疱瘡	L121	H133	8832032
35	天疱瘡	20078451	瘢痕性類天疱瘡	L121		6946007
35	天疱瘡	20077761	良性粘膜類天疱瘡	L121		8841033
35	天疱瘡	20077908	類天疱瘡	L129		6945003
35	天疱瘡	20055611	家族性良性慢性天疱瘡	Q828		7573010
35	天疱瘡	20077723	良性家族性天疱瘡	Q828		8841020
36	表皮水疱症	20100691	単純型表皮水疱症	Q810		8837131
36	表皮水疱症	20095404	ウェーバー・コケイン型単純型表皮水疱症	Q810		8846098
36	表皮水疱症	20070389	致死型表皮水疱症	Q811		8837473
36	表皮水疱症	20095628	ヘルリッツ型接合部型表皮水疱症	Q811		8846216
36	表皮水疱症	20077932	劣性栄養障害型先天性表皮水疱症	Q812		7573091
36	表皮水疱症	20054848	栄養障害型表皮水疱症	Q812		7098033
36	表皮水疱症	20077339	優性栄養障害型先天性表皮水疱症	Q812		7573090
36	表皮水疱症	20080648	接合部型先天性表皮水疱症	Q818		8836048
36	表皮水疱症	20067796	先天性表皮水疱症	Q819		7573032
37	膿疱性乾癬（汎発型）	20095500	小児汎発性膿疱性乾癬	L401		8846144
37	膿疱性乾癬（汎発型）	20094879	汎発性膿疱性乾癬	L401		8846041
37	膿疱性乾癬（汎発型）	20085378	疱疹状膿痂疹	L401		8841654
37	膿疱性乾癬（汎発型）	20095443	急性汎発性膿疱性乾癬	L401		8846111
37	膿疱性乾癬（汎発型）	20095459	稽留性肢端皮膚炎汎発型	L402		8846121
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	20092804	スティーヴンス・ジョンソン症候群	L511		6951003
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	20094266	重症多形滲出性紅斑・急性期	L518		8845563
39	中毒性表皮壊死症	20053469	ライエル症候群型薬疹	L512		8840867
39	中毒性表皮壊死症	20053468	ライエル症候群	L512		8840866
39	中毒性表皮壊死症	20094311	中毒性表皮壊死症	L512		8845586
40	高安動脈炎	20069784	大動脈炎症候群	M314		4467003
40	高安動脈炎	20084097	高安動脈炎	M314		8848380
41	巨細胞性動脈炎	20058726	巨細胞動脈炎	M316		4465001
42	結節性多発動脈炎	20084040	結節性多発動脈炎	M300		8833125
42	結節性多発動脈炎	20095617	皮膚結節性多発動脈炎	M308		8846209
42	結節性多発動脈炎	20102647	皮膚動脈炎	M308		8849445
43	顕微鏡的多発血管炎	20085919	顕微鏡的多発血管炎	M317		8842086
44	多発血管炎性肉芽腫症	20100468	全身型多発血管炎性肉芽腫症	M313		8848371

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
44	多発血管炎性肉芽腫症	20100469	限局型多発血管炎性肉芽腫症	M313		8848336
44	多発血管炎性肉芽腫症	20100470	多発血管炎性肉芽腫症性呼吸器障害	M313	J991	8848382
44	多発血管炎性肉芽腫症	20100467	多発血管炎性肉芽腫症	M313		8848381
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20100471	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	M301		8848338
46	悪性関節リウマチ	20053916	悪性関節リウマチ	M0530		7148003
47	バージャー病	20068398	全身性閉塞性血栓血管炎	I731		8836528
47	バージャー病	20052559	バージャー病	I731		4431001
47	バージャー病	20075797	閉塞性血栓血管炎	I731		4431010
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	20060448	原発性抗リン脂質抗体症候群	D686		7100034
49	全身性エリテマトーデス	20068359	全身性エリテマトーデス精神病	F069		8836514
49	全身性エリテマトーデス	20084833	全身性エリテマトーデス性ミオパチー	M321	G737	8841438
49	全身性エリテマトーデス	20068362	全身性エリテマトーデス脳脊髄炎	M321		8836520
49	全身性エリテマトーデス	20068356	全身性エリテマトーデス性呼吸器障害	M321	J991	8836513
49	全身性エリテマトーデス	20068360	全身性エリテマトーデス脊髄炎	M321		8836518
49	全身性エリテマトーデス	20100582	全身性エリテマトーデス性間質性肺炎	M321	J991	8848278
49	全身性エリテマトーデス	20068357	全身性エリテマトーデス性心膜炎	M321	I398	8836515
49	全身性エリテマトーデス	20094872	リブマン・サックス心内膜炎	M321	I398	8840979
49	全身性エリテマトーデス	20068361	全身性エリテマトーデス脳炎	M321		8836519
49	全身性エリテマトーデス	20050348	S L E 眼底	M321	H368	8830137
49	全身性エリテマトーデス	20068358	全身性エリテマトーデス性脳動脈炎	M321		8836516
49	全身性エリテマトーデス	20095538	ステロイド抵抗性全身性エリテマトーデス	M329		8846167
49	全身性エリテマトーデス	20068354	全身性エリテマトーデス	M329		7100011
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100692	悪性腫瘍合併皮膚筋炎	C809	M360	7103002
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20063637	若年性皮膚筋炎	M330		8835260
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100581	若年性皮膚筋炎性間質性肺炎	M330	J991	8848267
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100578	皮膚筋炎性間質性肺炎	M331	J991	8848302
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20074247	皮膚筋炎性呼吸器障害	M331	J991	8839362
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100648	無筋症性皮膚筋炎	M331		8848307
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100577	多発性筋炎性間質性肺炎	M332	J991	8848283
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20069099	多発性筋炎	M332		7104004
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20069100	多発性筋炎性呼吸器障害	M332	J991	8837013
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20074246	皮膚筋炎	M339		7103007
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	20091802	皮膚筋炎母体より出生した児	P008		8844585
51	全身性強皮症	20095586	特発性喉頭肉芽腫	J387		8846193
51	全身性強皮症	20074041	斑状強皮症	L940		7101020
51	全身性強皮症	20060544	限局性強皮症	L940		7010002
51	全身性強皮症	20095461	剣創状強皮症	L941		8846122
51	全身性強皮症	20068014	線状強皮症	L941		8836112
51	全身性強皮症	20068376	全身性強皮症	M340		7101012
51	全身性強皮症	20051690	クレスト症候群	M341		8832845

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
51	全身性強皮症	20095449	強皮症腎クリーゼ	M348	N085	8846115
51	全身性強皮症	20052291	チビエルジュ・ワイゼンバッハ症候群	M348		8837541
51	全身性強皮症	20091453	全身性強皮症性呼吸器障害	M348		8844510
51	全身性強皮症	20095448	強皮症腎	M348	N085	8846114
51	全身性強皮症	20084834	強皮症性ミオパチー	M348	G737	8841439
51	全身性強皮症	20058871	強皮症	M349		7101001
51	全身性強皮症	20065723	新生児強皮症	P838		8835014
52	混合性結合組織病	20062101	混合性結合組織病	M351		7109008
53	シェーグレン症候群	20100655	二次性シェーグレン症候群	M350		8848298
53	シェーグレン症候群	20051978	シェーグレン症候群性呼吸器障害	M350	J991	8834158
53	シェーグレン症候群	20100653	一次性シェーグレン症候群	M350		8848230
53	シェーグレン症候群	20084835	シェーグレン症候群ミオパチー	M350	G737	8841440
53	シェーグレン症候群	20051976	シェーグレン症候群	M350		7102001
54	成人スチル病	20086579	成人スチル病	M0610		8842190
55	再発性多発軟骨炎	20062246	再発性多発軟骨炎	M9410		8833968
56	ベーチェット病	20094870	眼ベーチェット病	M352	H588	8845881
56	ベーチェット病	20053095	ベーチェット病	M352		1361002
56	ベーチェット病	20086590	腸管ベーチェット病	M352		8842203
56	ベーチェット病	20065936	神経ベーチェット病	M352		1361005
56	ベーチェット病	20094867	不全型ベーチェット病	M352		8846052
56	ベーチェット病	20060970	口腔ベーチェット病	M352		1361010
56	ベーチェット病	20082385	血管ベーチェット病	M352		1361009
56	ベーチェット病	20056032	外陰ベーチェット病	M352		1361011
57	特発性拡張型心筋症	20072030	特発性拡張型心筋症	I420		4254028
58	肥大型心筋症	20095419	拡張相肥大型心筋症	I420		8846101
58	肥大型心筋症	20095506	心室中部閉塞性心筋症	I421		8846149
58	肥大型心筋症	20075808	閉塞性肥大型心筋症	I421		4251008
58	肥大型心筋症	20082599	非閉塞性肥大型心筋症	I422		4254018
58	肥大型心筋症	20074325	肥大型心筋症	I422		4254015
58	肥大型心筋症	20065529	心尖部肥大型心筋症	I422		8846150
59	拘束型心筋症	20065592	心内膜心筋線維症	I423		8835120
59	拘束型心筋症	20065593	心内膜線維弾性症	I424		8835121
59	拘束型心筋症	20095585	特発性拘束型心筋症	I425		8846192
59	拘束型心筋症	20061275	拘束型心筋症	I425		8833543
60	再生不良性貧血	20069317	体質性再生不良性貧血	D610		8836888
60	再生不良性貧血	20067709	先天性低形成貧血	D610		8836310
60	再生不良性貧血	20067555	先天性再生不良性貧血	D610		2840007
60	再生不良性貧血	20077218	薬剤性再生不良性貧血	D611		8840706
60	再生不良性貧血	20057033	肝炎後再生不良性貧血	D612		8831483
60	再生不良性貧血	20072361	二次性再生不良性貧血	D612		8838399

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
60	再生不良性貧血	20072059	特発性再生不良性貧血	D613		8838181
60	再生不良性貧血	20095581	中等症再生不良性貧血	D619		8846189
60	再生不良性貧血	20071292	低形成性貧血	D619		8837870
60	再生不良性貧血	20062217	再生不良性貧血	D619		2849003
60	再生不良性貧血	20095527	重症再生不良性貧血	D619		8846160
60	再生不良性貧血	20095457	軽症再生不良性貧血	D619		8846120
60	再生不良性貧血	20095485	最重症再生不良性貧血	D619		8846136
60	再生不良性貧血	20076160	本態性再生不良性貧血	D619		8840110
61	自己免疫性溶血性貧血	20077219	薬剤性自己免疫性溶血性貧血	D590		8840707
61	自己免疫性溶血性貧血	20063417	自己免疫性溶血性貧血	D591		2830003
61	自己免疫性溶血性貧血	20055059	温式自己免疫性溶血性貧血	D591		8831012
61	自己免疫性溶血性貧血	20077229	薬剤性溶血性貧血	D592		2831004
61	自己免疫性溶血性貧血	20074437	非自己免疫性溶血性貧血	D594		8839277
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	20073869	発作性夜間ヘモグロビン尿症	D595		8840095
63	特発性血小板減少性紫斑病	20095442	急性特発性血小板減少性紫斑病	D693		8846110
63	特発性血小板減少性紫斑病	20095642	慢性特発性血小板減少性紫斑病	D693		8846222
63	特発性血小板減少性紫斑病	20072045	特発性血小板減少性紫斑病	D693		2873013
63	特発性血小板減少性紫斑病	20051339	エバンス症候群	D693		8830887
63	特発性血小板減少性紫斑病	20100206	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠	O991	D693	8848090
64	血栓性血小板減少性紫斑病	20060185	血栓性血小板減少性紫斑病	M311		4466002
64	血栓性血小板減少性紫斑病	20099610	先天性血栓性血小板減少性紫斑病	M311		8847881
64	血栓性血小板減少性紫斑病	20104008	後天性血栓性血小板減少性紫斑病	M311		8849965
65	原発性免疫不全症候群	20076601	慢性皮膚粘膜カンジダ症	B372		1129006
65	原発性免疫不全症候群	20061232	好中球 G 6 P D 欠乏症	D70		8833559
65	原発性免疫不全症候群	20095529	重症先天性好中球減少症	D70		8846162
65	原発性免疫不全症候群	20063922	周期性好中球減少症	D70		8834539
65	原発性免疫不全症候群	20064482	小児遺伝性無顆粒球症	D70		8834775
65	原発性免疫不全症候群	20067544	先天性好中球減少症	D70		8836206
65	原発性免疫不全症候群	20050124	C R 3 欠損症	D71		8830070
65	原発性免疫不全症候群	20076566	慢性肉芽腫症	D71		8840379
65	原発性免疫不全症候群	20066143	進行性敗血症性肉芽腫症	D71		8834976
65	原発性免疫不全症候群	20092598	先天性好中球機能不全症	D71		8844889
65	原発性免疫不全症候群	20067877	先天性貪食能異常症	D71		8836317
65	原発性免疫不全症候群	20095611	白血球接着不全症	D71		8846207
65	原発性免疫不全症候群	20095390	X連鎖無ガンマグロブリン血症	D800		8846088
65	原発性免疫不全症候群	20065170	常染色体性劣性無ガンマグロブリン血症	D800		2790018
65	原発性免疫不全症候群	20067811	先天性無ガンマグロブリン血症	D800		8836374
65	原発性免疫不全症候群	20054388	遺伝性低ガンマグロブリン血症	D800		8830579
65	原発性免疫不全症候群	20076754	無ガンマグロブリン血症	D801		2790008
65	原発性免疫不全症候群	20066599	成人型原発性無ガンマグロブリン血症	D801		8835878

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
65	原発性免疫不全症候群	20095346	I g A 欠損症	D802		8846076
65	原発性免疫不全症候群	20095347	I g G サブクラス欠損症	D803		8846077
65	原発性免疫不全症候群	20095348	I g M 欠損症	D804		8846078
65	原発性免疫不全症候群	20061513	高 I g M 症候群	D805		8833328
65	原発性免疫不全症候群	20095388	X 連鎖高 I g M 症候群	D805		8846086
65	原発性免疫不全症候群	20072492	乳児一過性低ガンマグロブリン血症	D807		2790021
65	原発性免疫不全症候群	20051460	カップ鎖欠乏症	D808		8831381
65	原発性免疫不全症候群	20095657	免疫グロブリン H 鎖欠損症	D808		8846231
65	原発性免疫不全症候群	20050057	A D A 欠乏症	D813		8830053
65	原発性免疫不全症候群	20095374	P N P 欠損症	D815		8846085
65	原発性免疫不全症候群	20094886	露出リンパ球症候群	D816		8846071
65	原発性免疫不全症候群	20095363	M H C クラス I 欠損症	D816		8846081
65	原発性免疫不全症候群	20095364	M H C クラス I I 欠損症	D817		8846083
65	原発性免疫不全症候群	20095362	M H C クラス I ・ I I 欠損症	D818		8846082
65	原発性免疫不全症候群	20095392	Z A P - 7 0 欠損症	D818		8846090
65	原発性免疫不全症候群	20095417	オーメン症候群	D818		8846099
65	原発性免疫不全症候群	20064111	重症複合免疫不全症	D819		2792002
65	原発性免疫不全症候群	20082480	ウイスコット・オールドリッチ症候群	D820		2791001
65	原発性免疫不全症候群	20059017	胸腺無形成性免疫不全症	D821		8832538
65	原発性免疫不全症候群	20052349	デイジョージ症候群	D821		8837955
65	原発性免疫不全症候群	20095389	X 連鎖重症複合免疫不全症	D821		8846087
65	原発性免疫不全症候群	20059016	胸腺無形成症	D821		2791011
65	原発性免疫不全症候群	20095391	X 連鎖リンパ増殖症候群	D823		8846089
65	原発性免疫不全症候群	20061512	高 I g E 症候群	D824		8833327
65	原発性免疫不全症候群	20095455	グリセリ症候群	D828		8846119
65	原発性免疫不全症候群	20095590	ナイミーヘン染色体不安定症候群	D828		8846196
65	原発性免疫不全症候群	20103679	分類不能型免疫不全症	D839		2799003
65	原発性免疫不全症候群	20050248	L F A - 1 欠乏症	D840		8830111
65	原発性免疫不全症候群	20095403	遺伝性血管性浮腫	D841		8846097
65	原発性免疫不全症候群	20103438	先天性補体欠損症	D841		8849802
65	原発性免疫不全症候群	20067820	先天性免疫不全症候群	D848		2793001
65	原発性免疫不全症候群	20060501	原発性免疫不全症候群	D848		2793012
65	原発性免疫不全症候群	20055608	家族性免疫グロブリン異化亢進症	D892		8831288
65	原発性免疫不全症候群	20052283	チェディアック・東症候群	E703		8837461
65	原発性免疫不全症候群	20053313	ミエロペルオキシダーゼ欠損症	E803		8840420
66	IgA 腎症	20050234	I g A 腎症	N028		5831001
67	多発性嚢胞腎	20099465	常染色体劣性多発性のう胞腎	Q611		8847776
67	多発性嚢胞腎	20099464	常染色体優性多発性のう胞腎	Q612		8847775
67	多発性嚢胞腎	20069076	多発性のう胞腎	Q613		8837063
68	黄色靭帯骨化症	20059553	頸椎黄色靭帯骨化症	M4882		7238009

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
68	黄色靱帯骨化症	20059027	胸椎黄色靱帯骨化症	M4884		7237002
68	黄色靱帯骨化症	20104348	胸腰椎黄色靱帯骨化症	M4885		8850154
68	黄色靱帯骨化症	20094894	腰椎黄色靱帯骨化症	M4886		8846065
68	黄色靱帯骨化症	20055009	黄色靱帯骨化症	M4889		7248001
69	後縦靱帯骨化症	20059559	頸椎後縦靱帯骨化症	M4882		7237009
69	後縦靱帯骨化症	20059028	胸椎後縦靱帯骨化症	M4884		7237003
69	後縦靱帯骨化症	20104350	胸腰椎後縦靱帯骨化症	M4885		8850155
69	後縦靱帯骨化症	20061765	腰椎後縦靱帯骨化症	M4886		7248007
69	後縦靱帯骨化症	20060712	後縦靱帯骨化症	M4889		8833497
70	広範脊柱管狭窄症	20061260	広範脊柱管狭窄症	M4800		7249020
71	特発性大腿骨頭壊死症	20079988	特発性大腿骨頭壊死	M8705		8838193
72	下垂体性ADH分泌異常症	20061270	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	E222		8833721
72	下垂体性ADH分泌異常症	20095587	特発性中枢性尿崩症	E232		8846194
72	下垂体性ADH分泌異常症	20070556	中枢性尿崩症	E232		2535006
72	下垂体性ADH分泌異常症	20095420	下垂体性尿崩症	E232		8846102
72	下垂体性ADH分泌異常症	20072371	二次性尿崩症	E232		2535004
72	下垂体性ADH分泌異常症	20095572	続発性中枢性尿崩症	E232		8846185
72	下垂体性ADH分泌異常症	20100517	部分型中枢性尿崩症	E232		8848224
72	下垂体性ADH分泌異常症	20100516	完全型中枢性尿崩症	E232		8848196
72	下垂体性ADH分泌異常症	20095428	家族性中枢性尿崩症	E232		8846104
72	下垂体性ADH分泌異常症	20101412	術後中枢性尿崩症	E232	Y838	8848728
73	下垂体性TSH分泌亢進症	20050392	T S H産生下垂体腺腫	D352		2273020
73	下垂体性TSH分泌亢進症	20094902	下垂体性T S H分泌亢進症	E058		8845862
73	下垂体性TSH分泌亢進症	20094901	下垂体性T S H分泌低下症	E230		8845863
73	下垂体性TSH分泌亢進症	20050394	T S H単独欠損症	E230		2534010
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20052996	プロラクチン産生下垂体腺腫	D352		2399002
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20052850	フォルベス・アルブライト症候群	E221		8839629
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20084044	プロラクチン分泌異常症	E221		8839926
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20103430	下垂体性プロラクチン分泌亢進症	E221		8849734
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20094896	プロラクチン分泌過剰症	E221		8846053
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20051588	キアリ・フロンメル症候群	E221		8832138
74	下垂体性PRL分泌亢進症	20094898	プロラクチン分泌低下症	E230		8846054
75	クッシング病	20050051	A C T H産生下垂体腺腫	E240		2273021
75	クッシング病	20051625	クッシング病	E240		2550002
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	20094900	ゴナドトロピン産生下垂体腺腫	D352		8845931
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	20071262	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	E230		8837874
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	20051897	ゴナドトロピン単独欠損症	E230		8833923
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	20051898	ゴナドトロピン分泌異常	E230		8833924
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20067368	先端巨大症	E220		2530005
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20103431	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	E220		8849733

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
78	下垂体前葉機能低下症	20051509	カルマン症候群	E230		2534002
78	下垂体前葉機能低下症	20055291	下垂体性不妊症	E230		2534005
78	下垂体前葉機能低下症	20050251	L H単独欠損症	E230		2534011
78	下垂体前葉機能低下症	20095528	重症成人成長ホルモン分泌不全	E230		8846161
78	下垂体前葉機能低下症	20055290	下垂体性男子性腺機能低下症	E230		8831251
78	下垂体前葉機能低下症	20095623	複合下垂体ホルモン欠損症	E230		8846213
78	下垂体前葉機能低下症	20103620	後天性下垂体機能低下症	E230		8849746
78	下垂体前葉機能低下症	20066616	成長ホルモン単独欠損症	E230		8835937
78	下垂体前葉機能低下症	20095308	A C T H分泌低下症	E230		8846072
78	下垂体前葉機能低下症	20090058	成長ホルモン分泌不全	E230		8844069
78	下垂体前葉機能低下症	20050053	A C T H単独欠損症	E230		2534001
78	下垂体前葉機能低下症	20087886	成長ホルモン分泌不全性低身長症	E230		8842944
78	下垂体前葉機能低下症	20103619	先天性下垂体機能低下症	E230		8849796
78	下垂体前葉機能低下症	20051970	シーハン症候群	E230		2532001
78	下垂体前葉機能低下症	20095550	成人成長ホルモン分泌不全	E230		8846171
78	下垂体前葉機能低下症	20055277	下垂体機能低下症	E230		8831247
78	下垂体前葉機能低下症	20074056	汎下垂体機能低下症	E230		2532015
78	下垂体前葉機能低下症	20050174	F S H単独欠損症	E230		2534012
78	下垂体前葉機能低下症	20072025	特発性下垂体機能低下症	E230		8838174
78	下垂体前葉機能低下症	20068915	続発性下垂体機能低下症	E230		8836822
78	下垂体前葉機能低下症	20055293	下垂体性卵巣機能低下	E230		8831252
78	下垂体前葉機能低下症	20077282	薬物誘発性下垂体機能低下症	E231		8840724
78	下垂体前葉機能低下症	20064709	照射後下垂体機能低下症	E893		8834748
78	下垂体前葉機能低下症	20064231	術後下垂体機能低下症	E893		8835323
78	下垂体前葉機能低下症	20053756	ローレンス・ムーン症候群	Q878		8841206
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	20094176	家族性高コレステロール血症・ホモ接合体	E780		8845524
80	甲状腺ホルモン不応症	20061309	甲状腺ホルモン不応症	E078		2449035
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20100530	1 7 α -水酸化酵素欠損症	E250		8848177
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20100535	P 4 5 0 オキシドレダクターゼ欠損症	E250		8848188
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20092641	2 1 -水酸化酵素欠損症	E250		8848311
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20100524	1 1 β -水酸化酵素欠損症	E250		8848176
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20100519	先天性リポイド副腎過形成症	E250		8848210
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	20100533	3 β -水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	E250		8848179
82	先天性副腎低形成症	20103491	先天性副腎低形成症	Q891		8849801
83	アジソン病	20059810	結核性アジソン病	A187	E351	8833034
83	アジソン病	20050794	アジソン病	E271		2554005
83	アジソン病	20100544	特発性アジソン病	E271		8848217
84	サルコイドーシス	20073525	肺サルコイドーシス	D860		8838829
84	サルコイドーシス	20053657	リンパ節サルコイドーシス	D861		8841116
84	サルコイドーシス	20074212	皮膚サルコイドーシス	D863		8839374

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
84	サルコイドーシス	20084803	サルコイドミオパチー	D868	G737	8841421
84	サルコイドーシス	20051935	サルコイドーシス性ぶどう膜炎	D868	H221	1359003
84	サルコイドーシス	20057314	眼サルコイドーシス	D868		1359008
84	サルコイドーシス	20095450	筋サルコイドーシス	D868		8846116
84	サルコイドーシス	20051942	サルコイド心筋炎	D868	I418	8834032
84	サルコイドーシス	20065362	心サルコイドーシス	D868		1359009
84	サルコイドーシス	20095493	腫瘤型筋サルコイドーシス	D868		8846141
84	サルコイドーシス	20095472	骨サルコイドーシス	D868		8846129
84	サルコイドーシス	20095619	鼻腔サルコイドーシス	D868		8846210
84	サルコイドーシス	20051938	サルコイドーシス性虹彩毛様体炎	D868	H221	8834028
84	サルコイドーシス	20051941	サルコイド筋炎	D868	M633	8834031
84	サルコイドーシス	20095536	腎サルコイドーシス	D868		8846166
84	サルコイドーシス	20057021	肝サルコイドーシス	D868	K778	1359007
84	サルコイドーシス	20050684	ぶどう膜耳下腺熱	D868		1359001
84	サルコイドーシス	20095505	神経サルコイドーシス	D868		8846148
84	サルコイドーシス	20095399	胃サルコイドーシス	D868		8846095
84	サルコイドーシス	20051940	サルコイド関節障害	D868	M148	8834030
84	サルコイドーシス	20051932	サルコイドーシス	D869		1359002
84	サルコイドーシス	20100457	ブラウ症候群	D898		8848225
85	特発性間質性肺炎	20098543	呼吸細気管支炎関連性間質性肺疾患	J841		8845663
85	特発性間質性肺炎	20053635	リンパ球性間質性肺炎	J841		5168010
85	特発性間質性肺炎	20072032	特発性間質性肺炎	J841		5168009
85	特発性間質性肺炎	20094560	特発性器質化肺炎	J841		8845714
85	特発性間質性肺炎	20094563	非特異性間質性肺炎	J841		8845727
85	特発性間質性肺炎	20058303	急性間質性肺炎	J841		1363003
85	特発性間質性肺炎	20071150	通常型間質性肺炎	J841		5168008
85	特発性間質性肺炎	20072096	特発性肺線維症	J841		5163005
85	特発性間質性肺炎	20094569	剥離性間質性肺炎	J841		8845719
85	特発性間質性肺炎	20094559	びまん性肺胞傷害	J841		8845731
86	肺動脈性肺高血圧症	20092001	肺動脈性肺高血圧症	I270		8844804
86	肺動脈性肺高血圧症	20095588	特発性肺動脈性肺高血圧症	I270		8846195
86	肺動脈性肺高血圧症	20090480	新生児遷延性肺高血圧症	P293		8844234
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	20093556	肺静脈閉塞症	I270		8845466
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	20095610	肺毛細血管腫症	I270		8846206
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	20092967	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	I272		8841669
89	リンパ脈管筋腫症	20088231	リンパ脈管筋腫症	D219		8843635
90	網膜色素変性症	20086603	網膜色素変性	H355		8842213
91	バッド・キアリ症候群	20052579	バッド・キアリ症候群	I820		8839103
92	特発性門脈圧亢進症	20072114	特発性門脈圧亢進症	K766		5723004
93	原発性胆汁性肝硬変	20094884	症候性原発性胆汁性肝硬変	K743		8845947

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
93	原発性胆汁性肝硬変	20102114	症候性原発性胆汁性胆管炎	K743		8849027
93	原発性胆汁性肝硬変	20094882	無症候性原発性胆汁性肝硬変	K743		8846062
93	原発性胆汁性肝硬変	20102157	無症候性原発性胆汁性胆管炎	K743		8849051
93	原発性胆汁性肝硬変	20060477	原発性胆汁性肝硬変	K743		5716001
93	原発性胆汁性肝硬変	20102107	原発性胆汁性胆管炎	K743		8849023
94	原発性硬化性胆管炎	20060451	原発性硬化性胆管炎	K830		5761008
95	自己免疫性肝炎	20063411	自己免疫性肝炎	K754		5733008
95	自己免疫性肝炎	20100651	重症自己免疫性肝炎	K754		8848268
96	クローン病	20051703	クローン病によるビタミンB12欠乏性貧血	D518		8832851
96	クローン病	20064545	小腸クローン病	K500		5550004
96	クローン病	20064015	十二指腸クローン病	K500		5550006
96	クローン病	20055789	回腸クローン病	K500		8831033
96	クローン病	20059380	空腸クローン病	K500		8832789
96	クローン病	20070950	直腸クローン病	K501		8837780
96	クローン病	20069732	大腸クローン病	K501		5551003
96	クローン病	20095580	虫垂クローン病	K501		8846188
96	クローン病	20095470	肛門クローン病	K508		8846128
96	クローン病	20095401	胃十二指腸クローン病	K508		8846096
96	クローン病	20095398	胃クローン病	K508		8846094
96	クローン病	20089144	小腸大腸クローン病	K508		8843906
96	クローン病	20051705	クローン病性若年性関節炎	K509	M0910	8832850
96	クローン病	20104185	クローン病性関節炎	K509	M0740	8850158
96	クローン病	20092806	ステロイド依存性クローン病	K509		8844993
96	クローン病	20051702	クローン病	K509		5559001
97	潰瘍性大腸炎	20094738	重症潰瘍性大腸炎	K510		8845798
97	潰瘍性大腸炎	20094620	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	K510		8845755
97	潰瘍性大腸炎	20094690	劇症型潰瘍性大腸炎	K510		8845782
97	潰瘍性大腸炎	20094659	急性激症型潰瘍性大腸炎	K510		8845772
97	潰瘍性大腸炎	20094622	潰瘍性大腸炎・直腸炎型	K512		8845757
97	潰瘍性大腸炎	20094621	潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型	K513		8845756
97	潰瘍性大腸炎	20094618	潰瘍性大腸炎・左側大腸炎型	K515		8845754
97	潰瘍性大腸炎	20058541	急性潰瘍性大腸炎	K518		91015
97	潰瘍性大腸炎	20094639	活動期潰瘍性大腸炎	K519		8845766
97	潰瘍性大腸炎	20094788	中等症潰瘍性大腸炎	K519		8845816
97	潰瘍性大腸炎	20094729	初回発作型潰瘍性大腸炎	K519		8845793
97	潰瘍性大腸炎	20071176	潰瘍性大腸炎性若年性関節炎	K519	M0920	8831064
97	潰瘍性大腸炎	20094842	慢性持続型潰瘍性大腸炎	K519		8845833
97	潰瘍性大腸炎	20094640	緩解期潰瘍性大腸炎	K519		8845767
97	潰瘍性大腸炎	20094677	軽症潰瘍性大腸炎	K519		8845779
97	潰瘍性大腸炎	20094759	ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎	K519		8845810

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
97	潰瘍性大腸炎	20104184	潰瘍性大腸炎性関節炎	K519	M0750	8850127
97	潰瘍性大腸炎	20094624	潰瘍性大腸炎再燃	K519		8845759
97	潰瘍性大腸炎	20094707	再燃緩解型潰瘍性大腸炎	K519		8845785
97	潰瘍性大腸炎	20092805	ステロイド依存性潰瘍性大腸炎	K519		8844992
97	潰瘍性大腸炎	20071174	潰瘍性大腸炎	K519		5569003
97	潰瘍性大腸炎	20094623	潰瘍性大腸炎合併妊娠	O996	K519	8845758
97	潰瘍性大腸炎	20094625	潰瘍性大腸炎術後	Z904		8845760
98	好酸球性消化管疾患	20099415	好酸球性食道炎	K20		8847750
98	好酸球性消化管疾患	20100441	食物蛋白誘発胃腸炎	K522		8848201
98	好酸球性消化管疾患	20079794	好酸球性胃腸炎	K528		8833448
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	20100448	慢性特発性偽性腸閉塞症	Q438		8848227
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	20100449	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	Q438	Q647	8848199
101	腸管神経節細胞僅少症	20100452	腸管神経節細胞僅少症	Q438		8848216
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	20098027	ルビンスタイン・ティビ症候群	Q872		8841156
103	CFC症候群	20100455	C F C 症候群	Q878		8848183
104	コステロ症候群	20095272	コステロ症候群	Q871		8845927
105	チャージ症候群	20094479	C H A R G E 症候群	Q878		8845627
106	クリオピリン関連周期熱症候群	20100475	クリオピリン関連周期熱症候群	D898		8848332
107	若年性特発性関節炎	20093020	全身型若年性特発性関節炎	M082		8845133
107	若年性特発性関節炎	20101998	全身型若年性特発性関節炎・多関節	M0820		8848936
107	若年性特発性関節炎	20101999	全身型若年性特発性関節炎・肩関節	M0821		8848929
107	若年性特発性関節炎	20102000	全身型若年性特発性関節炎・肘関節	M0822		8848937
107	若年性特発性関節炎	20102001	全身型若年性特発性関節炎・手関節	M0823		8848934
107	若年性特発性関節炎	20102002	全身型若年性特発性関節炎・指関節	M0824		8848931
107	若年性特発性関節炎	20102003	全身型若年性特発性関節炎・股関節	M0825		8848930
107	若年性特発性関節炎	20102004	全身型若年性特発性関節炎・膝関節	M0826		8848933
107	若年性特発性関節炎	20102006	全身型若年性特発性関節炎・趾関節	M0827		8848932
107	若年性特発性関節炎	20102005	全身型若年性特発性関節炎・足関節	M0827		8848935
107	若年性特発性関節炎	20093022	関節型若年性特発性関節炎	M088		8845118
107	若年性特発性関節炎	20102007	関節型若年性特発性関節炎・多関節	M0880		8848858
107	若年性特発性関節炎	20102008	関節型若年性特発性関節炎・肩関節	M0881		8848851
107	若年性特発性関節炎	20102009	関節型若年性特発性関節炎・肘関節	M0882		8848859
107	若年性特発性関節炎	20102010	関節型若年性特発性関節炎・手関節	M0883		8848856
107	若年性特発性関節炎	20102011	関節型若年性特発性関節炎・指関節	M0884		8848853
107	若年性特発性関節炎	20102012	関節型若年性特発性関節炎・股関節	M0885		8848852
107	若年性特発性関節炎	20102013	関節型若年性特発性関節炎・膝関節	M0886		8848855
107	若年性特発性関節炎	20102014	関節型若年性特発性関節炎・足関節	M0887		8848857
107	若年性特発性関節炎	20102015	関節型若年性特発性関節炎・趾関節	M0887		8848854
107	若年性特発性関節炎	20092126	若年性特発性関節炎	M089		8844742
107	若年性特発性関節炎	20102025	若年性特発性関節炎・多関節	M0890		8848920

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
107	若年性特発性関節炎	20102026	若年性特発性関節炎・肩関節	M0891		8848913
107	若年性特発性関節炎	20102027	若年性特発性関節炎・肘関節	M0892		8848921
107	若年性特発性関節炎	20102028	若年性特発性関節炎・手関節	M0893		8848918
107	若年性特発性関節炎	20102029	若年性特発性関節炎・指関節	M0894		8848915
107	若年性特発性関節炎	20102030	若年性特発性関節炎・股関節	M0895		8848914
107	若年性特発性関節炎	20102031	若年性特発性関節炎・膝関節	M0896		8848917
107	若年性特発性関節炎	20102033	若年性特発性関節炎・趾関節	M0897		8848916
107	若年性特発性関節炎	20102032	若年性特発性関節炎・足関節	M0897		8848919
108	TNF受容体関連周期性症候群	20100459	T N F 受容体関連周期性症候群	D898		8848190
109	非典型溶血性尿毒症症候群	20099615	非典型溶血性尿毒症症候群	D593		8847900
110	ブラウ症候群	20100457	ブラウ症候群	D898		8848225
111	先天性ミオパチー	20084815	先天性ミオパチー	G712		8841426
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	20084799	マリネスコ・シェーグレン症候群	G111		8841419
113	筋ジストロフィー	20053101	ベッカー型筋ジストロフィー	G710		3591001
113	筋ジストロフィー	20084796	肢帯型筋ジストロフィー	G710		8841416
113	筋ジストロフィー	20100511	三好型ミオパチー	G710		8848228
113	筋ジストロフィー	20100512	三好型筋ジストロフィー	G710		8849480
113	筋ジストロフィー	20103589	メロシン欠損型先天性筋ジストロフィー	G710		8849843
113	筋ジストロフィー	20064496	小児型筋ジストロフィー	G710		8834778
113	筋ジストロフィー	20052364	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	G710		3591004
113	筋ジストロフィー	20059229	筋ジストロフィー	G710		3591020
113	筋ジストロフィー	20083898	進行性筋ジストロフィー	G710		8834967
113	筋ジストロフィー	20083899	福山型先天性筋ジストロフィー	G710		8839768
113	筋ジストロフィー	20101114	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	G710		8848466
113	筋ジストロフィー	20101116	眼咽頭筋型筋ジストロフィー	G710		8848484
113	筋ジストロフィー	20057662	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	G710		3591011
113	筋ジストロフィー	20092729	偽肥大性筋ジストロフィー	G710		8844958
113	筋ジストロフィー	20066589	成人偽肥大性筋ジストロフィー	G710		8835881
113	筋ジストロフィー	20054926	遠位型筋ジストロフィー	G710		3591008
113	筋ジストロフィー	20059238	筋強直性ジストロフィー	G711		3592016
113	筋ジストロフィー	20083897	先天性筋ジストロフィー	G712		8836190
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	20100934	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	G711		8848658
115	遺伝性周期性四肢麻痺	20055586	家族性周期性四肢麻痺	G723		3593003
116	アトピー性脊髄炎	20101081	アトピー性脊髄炎	G048		8848448
117	脊髄空洞症	20066964	脊髄空洞症	G950		3360003
118	脊髄髄膜瘤	20067006	脊髄髄膜瘤	Q059		7419003
118	脊髄髄膜瘤	20067057	脊髄瘤	Q059		8836003
119	アイザックス症候群	20092961	アイザックス症候群	G711		8830158
120	遺伝性ジストニア	20101204	遺伝性ジストニア	G241		8848454
121	神経フェリチン症	20100939	神経フェリチン症	G238		8848552

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
122	脳表ヘモジデリン沈着症	20100940	脳表ヘモジデリン沈着症	G968		8848652
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	20099813	C A R A S I L	F011	I678	8847913
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	20099811	C A D A S I L	F011	I678	8847912
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	20101024	H D L S	G318		8848436
126	ペリー症候群	20101027	ペリー症候群	G238	R068	8848668
127	前頭側頭葉変性症	20101029	前頭側頭葉変性症	G310		8848596
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	20101031	ピッカースタッフ脳幹脳炎	G610		8848661
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	20101033	痙攣重積型二相性急性脳症	G934		8848501
130	先天性無痛無汗症	20099284	先天性無痛無汗症	G608		8847711
131	アレキサンダー病	20051050	アレキサンダー病	E752		3300016
132	先天性核上性球麻痺	20103085	先天性核上性球麻痺	G122		8849541
133	メビウス症候群	20053407	メビウス症候群	Q870		8840547
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	20093523	中隔視神経形成異常症	Q044		8845421
135	アイカルディ症候群	20083716	アイカルディ症候群	Q878		8830323
136	片側巨脳症	20095881	片側巨脳症	Q045		8846338
137	限局性皮質異形成	20103088	限局性皮質異形成	Q048		8849527
138	神経細胞移動異常症	20076839	無脳回症	Q043		8840501
138	神経細胞移動異常症	20101205	皮質下帯状異所性灰白質	Q043		8848657
138	神経細胞移動異常症	20060912	厚脳回症	Q043		8833654
138	神経細胞移動異常症	20101207	多小脳回	Q043		8848604
138	神経細胞移動異常症	20077943	裂脳症	Q046		8841168
138	神経細胞移動異常症	20061238	孔脳症	Q046		7424001
138	神経細胞移動異常症	20054060	異所性灰白質	Q048		7424016
138	神経細胞移動異常症	20090654	ミラー・ディカー症候群	Q878		8844328
139	先天性大脳白質形成不全症	20101035	先天性大脳白質形成不全症	G378		8848586
140	ドラベ症候群	20098826	乳児重症ミオクロニーてんかん	G404		8847543
140	ドラベ症候群	20103125	ドラベ症候群	G404		8849546
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	20103090	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	G402		8849521
142	ミオクロニー欠神てんかん	20103092	ミオクロニー欠神てんかん	G404		8849552
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	20103093	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	G404		8849553
144	レノックス・ガストー症候群	20053719	レノックス・ガストー症候群	G404		8841171
145	ウエスト症候群	20051277	ウエスト症候群	G404		3456001
145	ウエスト症候群	20071426	點頭てんかん	G404		3456004
146	大田原症候群	20103098	大田原症候群	G404		8849520
147	早期ミオクロニー脳症	20103108	早期ミオクロニー脳症	G404		8849542
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	20103109	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	G401		8849555
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	20083713	片側痙攣片麻痺てんかん症候群	G405		8840001
150	環状20番染色体症候群	20103110	環状20番染色体症候群	Q932		8849524
151	ラスムッセン脳炎	20103111	ラスムッセン脳炎	G048	G405	8849556
152	P C D H19関連症候群	20103115	P C D H 1 9 関連症候群	G404		8849519

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	20103116	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	G405		8849547
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	20103118	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	G408		8849538
155	ランドウ・クレフナー症候群	20053506	ランドウ・クレフナー症候群	F803		8840927
156	レット症候群	20053717	レット症候群	F842		2991004
156	レット症候群	20052091	ジル・ドゥ・ラ・トゥーレット症候群	F952		8835572
157	スタージ・ウェーバー症候群	20052101	スタージ・ウェーバー症候群	Q858		8835730
158	結節性硬化症	20059967	結節性硬化症	Q851		7595005
159	色素性乾皮症	20065211	色素性乾皮症	Q821		8834194
160	先天性魚鱗癬	20101134	表皮融解性魚鱗癬	Q803		8848660
160	先天性魚鱗癬	20101130	常染色体劣性先天性魚鱗癬	Q808		8848566
160	先天性魚鱗癬	20067499	先天性魚鱗癬様紅皮症	Q808		7571005
160	先天性魚鱗癬	20067497	先天性魚鱗癬	Q809		7571003
161	家族性良性慢性天疱瘡	20055611	家族性良性慢性天疱瘡	Q828		7573010
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20066426	水疱性類天疱瘡	L120		6945004
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20057418	眼性類天疱瘡	L121	H133	8832032
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20078451	癩痕性類天疱瘡	L121		6946007
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20077761	良性粘膜類天疱瘡	L121		8841033
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20060778	後天性表皮水疱症	L123		7098008
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	20077908	類天疱瘡	L129		6945003
163	特発性後天性全身性無汗症	20101034	特発性後天性全身性無汗症	L744		8848635
164	眼皮膚白皮症	20057450	眼皮膚白皮症	E703		8832047
165	肥厚性皮膚骨膜炎	20100967	肥厚性皮膚骨膜炎	M8949		8848656
166	弾性線維性仮性黄色腫	20100966	弾性線維性仮性黄色腫	Q828		8848612
167	マルファン症候群	20053297	マルファン症候群	Q874		7598010
168	エーラス・ダンロス症候群	20100961	エーラス・ダンロス症候群	Q796		7568002
168	エーラス・ダンロス症候群	20100962	血管型エーラス・ダンロス症候群	Q796		8848504
169	メンケス病	20098007	メンケス病	E830		8848674
170	オクシピタル・ホーン症候群	20101148	オクシピタル・ホーン症候群	E830		8848471
171	ウィルソン病	20051245	ウィルソン病	E830		8830765
172	低ホスファターゼ症	20092590	低ホスファターゼ症	E833		8837885
173	VATER症候群	20100928	V A T E R 症候群	Q872		8848445
174	那須・ハコラ病	20083754	那須・ハコラ病	E881		8838339
175	ウィーバー症候群	20051188	ウィーバー症候群	Q873		8830737
176	コフィン・ローリー症候群	20101174	コフィン・ローリー症候群	Q898		8848525
177	ジュベール症候群関連疾患	20100313	ジュベール症候群	Q043		8848146
177	ジュベール症候群関連疾患	20103449	ジュベール症候群関連疾患	Q048		8849767
178	モワット・ウィルソン症候群	20101183	モワット・ウィルソン症候群	Q870	F729	8848676
179	ウィリアムズ症候群	20087409	ウィリアムズ症候群	Q253		8842554
180	A T R - X 症候群	20101171	A T R - X 症候群	Q870	F729	8848429
181	クルーゾン症候群	20092606	クルーゾン症候群	Q751		8844862

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
182	アペール症候群	20050898	アペール症候群	Q870		7555001
183	ファイファー症候群	20094829	ファイファー症候群	Q870		8845830
184	アントレー・ビクスラー症候群	20101176	アントレー・ビクスラー症候群	Q870		8848453
185	コフィン・シリス症候群	20101181	コフィン・シリス症候群	Q870	F799	8848524
186	ロスマンド・トムソン症候群	20100929	ロスマンド・トムソン症候群	Q828		8841262
187	歌舞伎症候群	20090188	歌舞伎症候群	Q870		8848477
188	多脾症候群	20069222	多脾症候群	Q890		7590001
189	無脾症候群	20076861	無脾症候群	Q890		7590002
190	鰓耳腎症候群	20101178	鰓耳腎症候群	Q898		8848527
191	ウェルナー症候群	20051268	ウェルナー症候群	E348		2598001
192	コケイン症候群	20095404	ウェーバー・コケイン型単純性表皮水疱症	Q810		8846098
192	コケイン症候群	20051842	コケイン症候群	Q871		8833769
193	プラダー・ウィリ症候群	20052978	プラダー・ウィリー症候群	Q871		8839918
194	ソトス症候群	20052229	ソトス症候群	Q873		8836812
195	ヌーナン症候群	20052481	ヌーナン症候群	Q871		8838638
196	ヤング・シンプソン症候群	20101189	ヤング・シンプソン症候群	Q870	F719	8848678
197	1 p36欠失症候群	20101149	1 p 3 6 欠失症候群	Q935		8848426
198	4 p欠失症候群	20101151	4 p 欠失症候群	Q933		8848427
199	5 p欠失症候群	20101157	5 p 欠失症候群	Q934		8848428
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	20101167	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	Q998		8848606
201	アンジェルマン症候群	20083715	アンジェルマン症候群	Q935		8830402
202	スミス・マギニス症候群	20101186	スミス・マギニス症候群	Q938		8848573
203	22q11.2欠失症候群	20095677	2 2 q 1 1. 2 欠失症候群	Q938		8846236
204	エマヌエル症候群	20101162	エマヌエル症候群	Q928		8848465
205	脆弱X症候群関連疾患	20101051	脆弱X症候群関連疾患	Q992		8848592
206	脆弱X症候群	20090185	脆弱X症候群	Q992		8844072
207	総動脈幹遺残症	20068598	総動脈幹	Q200		7450002
207	総動脈幹遺残症	20068599	総動脈幹遺残症	Q200		8848599
208	修正大血管転位症	20063960	修正大血管転位	Q205		7451011
209	完全大血管転位症	20101057	完全大血管転位症 2 型	Q203		8848481
209	完全大血管転位症	20101056	完全大血管転位症 1 型	Q203		8848480
209	完全大血管転位症	20056829	完全大血管転位症	Q203		8831636
209	完全大血管転位症	20101058	完全大血管転位症 3 型	Q203		8848482
210	単心室症	20054781	右室型単心室症	Q204		8830784
210	単心室症	20062124	左室型単心室症	Q204		8834011
210	単心室症	20070096	単心室症	Q204		8837116
211	左心低形成症候群	20062132	左心低形成症候群	Q234		8834015
212	三尖弁閉鎖症	20062373	三尖弁閉鎖症	Q224		8834112
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	20100665	純型肺動脈閉鎖	Q255		8848269
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	20101192	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	Q255		8848554

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	20101191	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	Q213		8848553
215	ファロー四徴症	20052810	ファロー四徴症	Q213		8839593
216	両大血管右室起始症	20077716	両大血管右室起始症	Q201		7451001
217	エプスタイン病	20101124	エプスタイン病	Q225		8848464
218	アルポート症候群	20051046	アルポート症候群	Q878		8830377
219	ギャロウェイ・モワト症候群	20101065	ギャロウェイ・モワト症候群	Q897		8848496
220	急速進行性糸球体腎炎	20058687	急速進行性糸球体腎炎	N019		8832470
221	抗糸球体基底膜腎炎	20101068	抗糸球体基底膜腎炎	N017		8848508
222	一次性ネフローゼ症候群	20103432	一次性ネフローゼ症候群	N049		8849711
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	20103433	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055		8849712
224	紫斑病性腎炎	20062864	紫斑病腎炎	D690	N082	2878004
225	先天性腎性尿崩症	20100946	先天性腎性尿崩症	N251		8848582
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	20101069	間質性膀胱炎（ハンナ型）	N301		8848479
227	オスラー病	20084231	オスラー病	I780		8848472
228	閉塞性細気管支炎	20075799	閉塞性細気管支炎	J448		4912004
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	20101072	自己免疫性肺胞蛋白症	J840		8848559
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	20101070	先天性肺胞蛋白症	J840		8848588
230	肺胞低換気症候群	20073693	肺胞低換気症候群	E662		7942008
230	肺胞低換気症候群	20083720	原発性肺胞低換気症候群	G473		8833313
230	肺胞低換気症候群	20103483	先天性中枢性低換気症候群	G473		8849799
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	20100930	α 1-アンチトリプシン欠乏症	E880		8848451
232	カーニー複合	20100958	カーニー複合	Q897		8848473
233	ウォルフラム症候群	20090166	ウォルフラム症候群	Q878		8844011
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	20101074	ペルオキシソーム病	E713		8848671
235	副甲状腺機能低下症	20083025	特発性副甲状腺機能低下症	E200		2521003
235	副甲状腺機能低下症	20090899	家族性単発性副甲状腺機能低下症	E208		8844379
235	副甲状腺機能低下症	20085019	副甲状腺機能低下症	E209		8844593
235	副甲状腺機能低下症	20083024	続発性副甲状腺機能低下症	E892		2521002
235	副甲状腺機能低下症	20083026	術後副甲状腺機能低下症	E892		2521010
235	副甲状腺機能低下症	20083517	新生児性副甲状腺機能低下症	P714		7754007
235	副甲状腺機能低下症	20090778	一過性新生児副甲状腺機能低下症	P714		8844356
236	偽性副甲状腺機能低下症	20082475	偽性副甲状腺機能低下症	E201		2754022
236	偽性副甲状腺機能低下症	20083059	偽性副甲状腺機能低下症 2 型	E201		2754024
236	偽性副甲状腺機能低下症	20082476	偽性偽性副甲状腺機能低下症	E201		2754025
236	偽性副甲状腺機能低下症	20083058	偽性副甲状腺機能低下症 1 型	E201		2754023
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	20100932	副腎皮質刺激ホルモン不応症	E274		8848663
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	20052739	ビタミンD抵抗性くる病	E833		8839503
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	20104159	X染色体連鎖性低リン血症性くる病	E833		8850120
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	20103678	原発性低リン血症性くる病	E833		8833309
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	20093146	ビタミンD依存性くる病	E550		8845185

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
240	フェニルケトン尿症	20060576	古典的フェニルケトン尿症	E700		8833852
240	フェニルケトン尿症	20052834	フェニルケトン尿症	E701		8839619
240	フェニルケトン尿症	20097996	母性フェニルケトン尿症	E701		8847254
241	高チロシン血症1型	20100667	高チロシン血症 1 型	E702		8848509
242	高チロシン血症2型	20097854	高チロシン血症 2 型	E702		8848510
243	高チロシン血症3型	20100926	高チロシン血症 3 型	E702		8848511
244	メープルシロップ尿症	20053377	メープルシロップ尿症	E710		2703002
245	プロピオン酸血症	20052994	プロピオン酸血症	E711		8839924
246	メチルマロン酸血症	20097982	ビタミンB 1 2 反応型メチルマロン酸血症	E711		8847252
246	メチルマロン酸血症	20053392	メチルマロン酸血症	E711		8840544
247	イソ吉草酸血症	20051126	イソ吉草酸血症	E711		8830486
248	グルコーストランスポーター1欠損症	20101193	グルコーストランスポーター 1 欠損症	E748	G948	8848499
249	グルタル酸血症1型	20097831	グルタル酸血症 1 型	E723		8847169
250	グルタル酸血症2型	20097833	グルタル酸血症 2 型	E713		8847170
251	尿素サイクル異常症	20101194	尿素サイクル異常症	E722		8848648
252	リジン尿性蛋白不耐症	20092920	リジン尿性蛋白不耐症	E723		8845042
253	先天性葉酸吸収不全	20067833	先天性葉酸吸収不全	D528		8836383
254	ポルフィリン症	20052992	プロトポルフィリン症	E800		8839923
254	ポルフィリン症	20054382	遺伝性赤芽球増殖性ポルフィリン症	E800		8830577
254	ポルフィリン症	20067148	赤芽球増殖性プロトポルフィリン症	E800		8835970
254	ポルフィリン症	20074118	晩発性皮膚ポルフィリン症	E801		8839150
254	ポルフィリン症	20057094	肝性ポルフィリン症	E802		2771007
254	ポルフィリン症	20054348	遺伝性コプロポルフィリン症	E802		8830573
254	ポルフィリン症	20058179	急性ポルフィリン症	E802		8832451
254	ポルフィリン症	20067412	先天性ポルフィリン症	E802		8836372
254	ポルフィリン症	20053244	ポルフィリン症	E802		2771002
254	ポルフィリン症	20058301	急性間欠性ポルフィリン症	E802		8832312
254	ポルフィリン症	20054040	異型性ポルフィリン症	E802		8830426
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	20097985	複合カルボキシラーゼ欠損症	D818		8848662
256	筋型糖原病	20101209	筋型糖原病	E740	G736	8848494
257	肝型糖原病	20101208	肝型糖原病	E740	K778	8848478
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	20101242	G A L T 欠損症	E742		8848434
259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	20103120	L C A T 欠損症	E786		8849518
260	シトステロール血症	20103122	シトステロール血症	E780		8849534
261	タンジール病	20080786	アルファリポ蛋白欠乏症	E786		8830371
262	原発性高カイロミクロン血症	20103123	原発性高カイロミクロン血症	E783		8849528
263	脳髄黄色腫症	20079731	脳髄黄色腫症	E755		8838707
264	無βリポタンパク血症	20080791	無ベータリポ蛋白血症	E786		8840506
265	脂肪萎縮症	20101253	後天性全身性脂肪萎縮症	E881		8848512
265	脂肪萎縮症	20101255	家族性部分性脂肪萎縮症	E881		8848475

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
265	脂肪萎縮症	20101250	小児腹壁遠心性脂肪萎縮症	E881		8848546
265	脂肪萎縮症	20101252	先天性全身性脂肪萎縮症	E881	E13	8848583
265	脂肪萎縮症	20053618	リポジストロフィー	E881		2726001
265	脂肪萎縮症	20062890	脂肪萎縮症	E881		8848541
265	脂肪萎縮症	20101254	部分的脂肪萎縮症	E881		8848666
265	脂肪萎縮症	20101251	全身性脂肪萎縮症	E881		8848595
265	脂肪萎縮症	20067564	先天性脂肪萎縮症	E881		8848581
265	脂肪萎縮症	20101256	後天性部分性脂肪萎縮症	E881		8848513
266	家族性地中海熱	20055600	家族性地中海熱	E850		8831283
267	高IgD症候群	20100358	高IgD症候群	D898		8848134
268	中條・西村症候群	20101260	中條・西村症候群	D898		8848643
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	20101257	PAPA症候群	D898		8848441
270	慢性再発性多発性骨髄炎	20101259	慢性再発性多発性骨髄炎	D898		8848673
271	強直性脊椎炎	20063608	若年性強直性脊椎炎	M0810		8835248
271	強直性脊椎炎	20058844	強直性脊椎炎性呼吸器障害	M45-4	J998	8832542
271	強直性脊椎炎	20058843	強直性脊椎炎	M45-9		7200001
272	進行性骨化性線維異形成症	20066127	進行性骨化性線維異形成症	M6119		8834971
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	20101261	肋骨異常を伴う先天性側弯症	Q675	Q766	8848685
274	骨形成不全症	20071628	頭蓋顔面骨形成不全症	Q751		7560064
274	骨形成不全症	20100012	骨形成不全症1型	Q780		8848048
274	骨形成不全症	20100013	骨形成不全症2型	Q780		8848049
274	骨形成不全症	20061910	骨形成不全症	Q780		8833798
274	骨形成不全症	20100014	骨形成不全症3型	Q780		8848050
275	タナトフォリック骨異形成症	20099632	タナトフォリック骨異形成症	Q771		8847883
276	軟骨無形成症	20072282	軟骨異栄養症	Q774		8838352
276	軟骨無形成症	20072289	軟骨形成不全症	Q774		8838356
276	軟骨無形成症	20072296	軟骨無形成症	Q774		8847892
276	軟骨無形成症	20103183	偽性軟骨無形成症	Q778		8849600
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	20093632	癌性リンパ管症	C798		8845248
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	20101263	リンパ管腫症	M8950		8848683
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	20101270	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	Q288		8848493
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	20101271	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	Q278		8848490
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	20101273	巨大動静脈奇形(四肢病変)	Q273		8848492
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	20101272	巨大動静脈奇形(頸部顔面病変)	Q273		8848491
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	20084234	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	Q872		8832833
282	先天性赤血球形成異常性貧血	20067647	先天性赤血球形成異常性貧血	D644		8836270
283	後天性赤芽球癆	20083804	慢性後天性赤芽球ろう	D600		8840342
283	後天性赤芽球癆	20083807	一過性後天性赤芽球ろう	D601		8830520
283	後天性赤芽球癆	20083806	後天性赤芽球ろう	D609		8833581
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	20100927	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	D610		8848607

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
285	ファンコニ貧血	20101023	ファンコニ貧血	D610		2840001
286	遺伝性鉄芽球性貧血	20054389	遺伝性鉄芽球性貧血	D640		8830580
287	エプスタイン症候群	20101126	エプスタイン症候群	D696	H905	8848463
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	20102903	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	D684		8849353
289	クロンカイト・カナダ症候群	20088831	クロンカイト・カナダ症候群	D139		8843694
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	20103492	非特異性多発性小腸潰瘍症	K633		5349014
291	ヒルシウスプルング病（全結腸型又は小腸型）	20100948	全結腸型ヒルシウスプルング病	Q431		8848594
291	ヒルシウスプルング病（全結腸型又は小腸型）	20100950	小腸型ヒルシウスプルング病	Q431		8848545
292	総排泄腔外反症	20093210	総排泄腔外反症	Q641		8845173
293	総排泄腔遺残	20068601	総排泄腔遺残	Q437		8836688
294	先天性横隔膜ヘルニア	20067431	先天性横隔膜ヘルニア	Q790		8836145
295	乳幼児肝巨大血管腫	20103435	乳幼児肝巨大血管腫	D180		8849819
296	胆道閉鎖症	20057047	肝外胆道閉鎖症	Q442		5762011
296	胆道閉鎖症	20082643	胆道閉鎖症	Q442		5762012
296	胆道閉鎖症	20100417	胆道閉鎖症術後	Z090		8848384
297	アラジール症候群	20050947	アラジール症候群	Q447		8830321
298	遺伝性膵炎	20101274	遺伝性膵炎	K861		8848455
299	嚢胞性線維症	20050596	のう胞性線維症	E849		8838762
300	I g G 4 関連疾患	20100243	I g G 4 関連疾患	M359		8848113
301	黄斑ジストロフィー	20083896	卵黄状黄斑ジストロフィー	H355		8840886
301	黄斑ジストロフィー	20083900	黄斑ジストロフィー	H355		8830978
302	レーベル遺伝性視神経症	20100931	レーベル遺伝性視神経症	H472		8848684
303	アッシャー症候群	20090293	アッシャー症候群	Q878		8844121
304	若年発症型両側性感音難聴	20103436	若年発症型両側性感音難聴	H903		8849766
305	遅発性内リンパ水腫	20101275	遅発性内リンパ水腫	H810		8848614
306	好酸球性副鼻腔炎	20093168	好酸球性副鼻腔炎	J328		8845156
307	カナバン病	20102685	カナバン病	E752		8849258
308	進行性白質脳症	20102880	卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症	G318		8849489
308	進行性白質脳症	20102875	進行性白質脳症	G319		8849351
309	進行性ミオクローヌステんかん	20066110	進行性ミオクローヌステんかん	G403		8834977
310	先天異常症候群	20102694	先天異常症候群	Q897		8849374
311	先天性三尖弁狭窄症	20067558	先天性三尖弁狭窄症	Q224		8836222
312	先天性僧帽弁狭窄症	20067654	先天性僧帽弁狭窄症	Q232		8836278
313	先天性肺静脈狭窄症	20102697	先天性肺静脈狭窄症	Q268		8849377
314	左肺動脈右肺動脈起始症	20102698	左肺動脈右肺動脈起始症	Q257		8849444
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／L M X 1 B 関連腎症	20103437	L M X 1 B 関連腎症	N079		8849701
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／L M X 1 B 関連腎症	20071191	爪・膝蓋骨症候群	Q872		8837843
316	カルニチン回路異常症	20102699	カルニチン回路異常症	E713		8849259
316	カルニチン回路異常症	20100644	カルニチンパルミトイル転換酵素欠損症	E713		8848235
317	三頭酵素欠損症	20097864	三頭酵素欠損症	E713		8849309

番号	病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10-2013複数分類コード	レセ電算コード
318	シトリン欠損症	20101197	シトリン欠損症	E722		8848539
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	20102881	セピアプテリン還元酵素欠損症	E708		8849371
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	20102883	先天性GPI欠損症	E748		8849375
321	非ケトーシス型高グリシン血症	20074366	非ケトン性高グリシン血症	E725		8839213
321	非ケトーシス型高グリシン血症	20097879	新生児型非ケトン性高グリシン血症	E725		8847199
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	20102885	β -ケトチオラーゼ欠損症	E713		8849462
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	20102888	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	E708		8849463
324	メチルグルタコン酸尿症	20097753	3-メチルグルタコン酸尿症	E711		8847143
325	遺伝性自己炎症疾患	20102891	遺伝性自己炎症疾患	D899		8849246
326	大理石骨病	20069863	大理石骨病	Q782		8837412
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	20102898	遺伝性血栓性素因による特発性血栓症	D689	I829	8849245
328	前眼部形成異常	20102899	前眼部形成異常	Q139		8849378
329	無虹彩症	20103493	無虹彩症	Q131		8840473
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	20067631	先天性声門下狭窄症	Q311		8836260
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	20084089	先天性気管狭窄症	Q321		8836173
331	特発性多中心性キャスルマン病	20103494	特発性多中心性キャスルマン病	D477		8849813
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	20078863	膠様滴状角膜ジストロフィー	H185		8838374
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	20068568	早老症	E348		8836702
	特定疾患治療研究事業	20095311	A型劇症肝炎	B150		8846073
	特定疾患治療研究事業	20050101	B型劇症肝炎	B162		8830063
	特定疾患治療研究事業	20095319	C型劇症肝炎	B171		8846074
	特定疾患治療研究事業	20095325	E型劇症肝炎	B172		8846075
	特定疾患治療研究事業	20059789	劇症肝炎	B190		5700002
	特定疾患治療研究事業	20052183	スモン	G620		8835762
	特定疾患治療研究事業	20095661	薬剤性劇症肝炎	K711		8846233
	特定疾患治療研究事業	20064100	重症急性膵炎	K859		5770022

資料8. 小児慢性特定疾病-MEDIS病名マッピング

参照 MEDIS ICD10対応標準病名マスターver.5.04(2020/6/1改訂)(<https://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/download2019.html>)

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	1	白血病	70	急性巨核芽球性白血病	20058322	急性巨核芽球性白血病	C942	
1	悪性新生物群	1	白血病	71	急性骨髄性白血病、最末分化	20103388	急性骨髄性白血病・最末分化型	C920	
1	悪性新生物群	1	白血病	72	急性骨髄単球性白血病	20058375	急性骨髄単球性白血病	C925	
1	悪性新生物群	1	白血病	73	急性赤白血病	20067168	赤白血病	C940	
1	悪性新生物群	1	白血病	74	急性前骨髄球性白血病	20058495	急性前骨髄球性白血病	C924	
1	悪性新生物群	1	白血病	75	急性単球性白血病	20058515	急性単球性白血病	C930	
1	悪性新生物群	1	白血病	76	若年性骨髄単球性白血病	20087839	若年性骨髄単球性白血病	C933	
1	悪性新生物群	1	白血病	77	成熟B細胞急性リンパ性白血病	20098401	パーキット白血病	C918	
1	悪性新生物群	1	白血病	78	成熟を伴う急性骨髄性白血病	20103398	成熟を伴う急性骨髄性白血病	C920	
1	悪性新生物群	1	白血病	79	成熟を伴わない急性骨髄性白血病	20103392	成熟を伴わない急性骨髄性白血病	C920	
1	悪性新生物群	1	白血病	80	前駆B細胞急性リンパ性白血病	20098195	Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	81	T細胞急性リンパ性白血病	20098279	Tリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	82	NK（ナチュラルキラー）細胞白血病	20103404	NK細胞白血病	C947	
1	悪性新生物群	1	白血病	82	NK（ナチュラルキラー）細胞白血病	20098055	アグレッシブNK細胞白血病	C947	
1	悪性新生物群	1	白血病	83	慢性骨髄性白血病	20087837	非定型慢性骨髄性白血病	C922	
1	悪性新生物群	1	白血病	83	慢性骨髄性白血病	20076446	慢性骨髄性白血病	C921	
1	悪性新生物群	1	白血病	83	慢性骨髄性白血病	20085377	慢性骨髄性白血病移行期	C921	
1	悪性新生物群	1	白血病	83	慢性骨髄性白血病	20085375	慢性骨髄性白血病急性転化	C921	
1	悪性新生物群	1	白血病	83	慢性骨髄性白血病	20085376	慢性骨髄性白血病慢性期	C921	
1	悪性新生物群	1	白血病	84	慢性骨髄単球性白血病	20076448	慢性骨髄単球性白血病	C931	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098206	B C R - A B L 1 陽性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098203	B C R - A B L 1 陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098192	Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20076331	慢性リンパ性白血病	C911	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098295	B細胞性前リンパ球性白血病	C913	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20066518	髄膜白血病	C793	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098268	E 2 A - P B X 1 陽性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098262	E 2 A - P B X 1 陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098217	T E L - A M L 1 陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20103922	F L T 3 - I T D 変異陽性急性骨髄性白血病	C920	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098258	I L 3 - I G H 陽性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098255	I L 3 - I G H 陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098213	M L L 再構成型Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098210	M L L 再構成型Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20095908	P h 陽性急性リンパ性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098223	T E L - A M L 1 陽性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098276	Tリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098042	T細胞性前リンパ球白血病	C916	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098047	T細胞性大顆粒リンパ球白血病	C917	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20050498	くすぶり型白血病	C915	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20062093	混合型白血病	C950	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20059437	形質細胞白血病	C901	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20092898	ヘアリー細胞白血病	C914	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098312	ヘアリー細胞白血病亜型	C830	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20053654	リンパ性白血病	C919	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20086037	リンパ性白血病骨髄浸潤	C795	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20058585	急性白血病	C950	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20058195	急性リンパ性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20058373	急性骨髄性白血病	C920	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061206	好塩基性白血病	C927	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098233	高2倍体性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098227	高2倍体性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20103551	骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	C928	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061935	骨髄性白血病	C929	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20086035	骨髄性白血病骨髄浸潤	C795	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061940	骨髄単球性白血病	C931	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20087846	顆粒球肉腫	C923	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20064495	小児急性リンパ性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20068064	前リンパ球性白血病	C913	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20070033	単球性白血病	C939	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098247	低2倍体性Bリンパ芽球性白血病	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098241	低2倍体性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20071291	低形成性白血病	C929	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20072373	二次性白血病	C927	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20073782	白血病	C959	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20073783	白血病性関節症	C959	M361
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20085766	皮膚白血病	C792	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20079591	肥満細胞性白血病	C943	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20074479	非定型的白血病	C929	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20076535	慢性単球性白血病	C931	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20076594	慢性白血病	C951	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20098305	脾B細胞性リンパ腫／白血病・分類不能型	C830	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20053639	リンパ球性類白血病反応	D728	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20077911	類白血病反応	D728	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061216	好酸球性白血病	D475	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061236	好中球性白血病	D471	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20061936	骨髄性類白血病反応	D728	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20070034	単球性類白血病反応	D728	
1	悪性新生物群	1	白血病	85	70から84までに掲げるもののほか、白血病	20072495	乳児偽白血病	D648	
1	悪性新生物群	2	骨髄異形成症候群	44	骨髄異形成症候群	20098113	5q-症候群	D466	
1	悪性新生物群	2	骨髄異形成症候群	44	骨髄異形成症候群	20061922	骨髄異形成症候群	D469	
1	悪性新生物群	2	骨髄異形成症候群	44	骨髄異形成症候群	20098118	小児骨髄異形成症候群	D467	
1	悪性新生物群	2	骨髄異形成症候群	44	骨髄異形成症候群	20098111	分類不能型骨髄異形成症候群	D469	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	86	成熟B細胞リンパ腫	20102577	B細胞性非ホジキンリンパ腫	C851	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	87	Tリンパ芽球性リンパ腫	20098282	Tリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098208	BCR-ABL1陽性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098198	Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098272	E2A-PBX1陽性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098260	IL3-IGH陽性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098215	MLL再構成型Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098225	TEL-AML1陽性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098237	高2倍体性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	88	Bリンパ芽球性リンパ腫	20098251	低2倍体性Bリンパ芽球性リンパ腫	C835	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20050204	H I V非ホジキンリンパ腫	B212	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20074368	非ホジキンリンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20084300	濾胞性リンパ腫	C829	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20053174	ホジキンリンパ腫	C819	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098187	リンパ球減少型古典的ホジキンリンパ腫	C813	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098175	リンパ球豊富型古典的ホジキンリンパ腫	C814	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20054163	胃悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098178	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	C811	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098171	結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫	C810	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098173	古典的ホジキンリンパ腫	C817	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	89	ホジキンリンパ腫	20098183	混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫	C812	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	90	未分化大細胞リンパ腫	20098093	A L K陰性未分化大細胞リンパ腫	C847	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	90	未分化大細胞リンパ腫	20098091	A L K陽性未分化大細胞リンパ腫	C846	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	90	未分化大細胞リンパ腫	20098077	皮膚原発性未分化大細胞リンパ腫	C866	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	90	未分化大細胞リンパ腫	20098361	未分化大細胞リンパ腫	C846	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098389	A L K陽性大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098203	B C R - A B L 1陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20052557	パーキットリンパ腫	C837	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098192	Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098288	小リンパ球性リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20100274	C C R 4陽性皮膚T細胞リンパ腫	C848	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20100275	C C R 4陽性末梢性T細胞リンパ腫	C844	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098408	びまん性大細胞型・ホジキン中間型分類不能B細胞性リンパ腫	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098404	びまん性大細胞型・パーキット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098262	E 2 A - P B X 1陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098217	T E L - A M L 1陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098394	H H V 8多中心性キャスルマン病随伴大細胞型B細胞性リンパ腫	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098087	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	C865	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098255	I L 3 - I G H陽性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20086799	M A L Tリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098210	M L L再構成型Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20050398	Tゾーンリンパ腫	C844	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098276	Tリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098363	T細胞組織球豊富型大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098308	脾びまん性赤脾髄小B細胞性リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098359	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20095896	マントル細胞リンパ腫	C831	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20079586	リンパ芽球性リンパ腫	C835	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098317	リンパ形質細胞性リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20053644	リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20053645	リンパ腫様丘疹症	C866	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098379	リンパ腫様肉芽腫症	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20053740	レンネルトリンパ腫	C844	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20053902	悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20090752	悪性リンパ腫骨髄浸潤	C795	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20094982	胃M A L Tリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098069	肝脾T細胞リンパ腫	C861	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20057558	眼窩悪性リンパ腫	C859	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098381	縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫	C852	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098392	形質芽球性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20059665	頸部悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20089937	結腸悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098386	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20061310	甲状腺悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098397	原発性滲出性リンパ腫	C838	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20064020	十二指腸悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20064073	縦隔悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20064546	小腸悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20089933	心臓悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20069736	大腸悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20089940	直腸悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098080	皮膚原発性γδT細胞リンパ腫	C848	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098354	原発性皮膚濾胞中心リンパ腫	C826	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20078683	脾悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20094992	甲状腺MALTLリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098227	高2倍体性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098374	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20061887	骨悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098347	濾胞性リンパ腫・グレード2	C821	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098062	種痘様水疱症様リンパ腫	C848	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098339	小児節性辺縁帯リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098353	小児濾胞性リンパ腫	C827	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20095276	精巣悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098064	節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型	C860	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098333	節性辺縁帯リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098351	濾胞性リンパ腫・グレード3b	C824	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20094989	大腸MALTLリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098345	濾胞性リンパ腫・グレード1	C820	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098367	中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098067	腸管症関連T細胞リンパ腫	C862	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20094990	直腸MALTLリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098241	低2倍体性Bリンパ芽球性白血病／リンパ腫	C910	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098084	末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	C844	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20073061	脳悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20095275	膿胸関連リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20094991	肺MALTLリンパ腫	C884	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098071	皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫	C863	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20100273	皮膚T細胞リンパ腫	C848	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098370	皮膚原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫・下肢型	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20076259	末梢性T細胞リンパ腫	C844	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098377	慢性炎症関連びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	C833	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20078236	扁桃悪性リンパ腫	C859	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098349	濾胞性リンパ腫・グレード3a	C823	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098305	脾B細胞性リンパ腫／白血病・分類不能型	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20098298	脾辺縁帯リンパ腫	C830	
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20099660	メソトレキセート関連リンパ増殖性疾患	D477	Y433

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	3	リンパ腫	91	86から90までに掲げるもののほか、リンパ腫	20085783	リンパ腫関連血球貪食症候群	D763	
1	悪性新生物群	4	組織球症	45	血球貪食性リンパ組織球症	20060138	血球貪食性リンパ組織球症	D761	
1	悪性新生物群	4	組織球症	46	ランゲルハンス細胞組織球症	20053502	ランゲルハンス細胞組織球症	C966	
1	悪性新生物群	4	組織球症	47	45及び46に掲げるもののほか、組織球症	20053953	悪性組織球症	C968	
1	悪性新生物群	4	組織球症	47	45及び46に掲げるもののほか、組織球症	20053954	悪性組織球症性関節症	C968	M361
1	悪性新生物群	4	組織球症	47	45及び46に掲げるもののほか、組織球症	20068443	組織球症症候群	D763	
1	悪性新生物群	4	組織球症	47	45及び46に掲げるもののほか、組織球症	20096784	多中心性細網組織球症	D763	E788
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	1	悪性胸腺腫	20053919	悪性胸腺腫	C37	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20100701	B R A F 遺伝子変異陽性悪性黒色腫	C439	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087622	ぶどう膜悪性黒色腫	C694	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20053928	悪性黒色腫	C439	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20054164	胃悪性黒色腫	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20100104	陰のう悪性黒色腫	C632	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20100105	陰茎悪性黒色腫	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094446	下顎部悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096070	下眼瞼悪性黒色腫	C431	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096068	下口唇悪性黒色腫	C430	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087250	下肢悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094466	下腿部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20056035	外陰悪性黒色腫	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096091	環指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087247	眼瞼悪性黒色腫	C431	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094447	顔面悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094450	胸部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094448	頸部悪性黒色腫	C434	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096083	肩部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20088427	口腔悪性黒色腫	C069	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087246	口唇悪性黒色腫	C430	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094449	項部悪性黒色腫	C434	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094452	腰部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096087	示指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094441	耳介悪性黒色腫	C432	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096074	耳前部悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094462	手指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094463	手指爪下悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094461	手掌部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094460	手背部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096084	手部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096093	小指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096069	上眼瞼悪性黒色腫	C431	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096067	上口唇悪性黒色腫	C430	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087249	上肢悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094458	上腕部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087522	食道悪性黒色腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096078	仙骨部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094443	前額部悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096076	前胸部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094457	前腕部悪性黒色腫	C436	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096077	側胸部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094469	足底部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094470	足背部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094468	足部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094464	大腿部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096085	母指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096095	母趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096097	第2趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096089	中指悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096098	第3趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096099	第4趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096100	第5趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20070953	直腸悪性黒色腫	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094453	殿部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094442	頭部悪性黒色腫	C434	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087600	乳頭悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094451	背部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20074245	皮膚境界部悪性黒色腫	C438	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087248	鼻腔悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096072	鼻尖悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096073	鼻背悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094444	鼻部悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096071	鼻翼悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094465	膝部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094459	肘部悪性黒色腫	C436	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094455	腹部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094445	頬部悪性黒色腫	C433	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20076722	脈絡膜悪性黒色腫	C693	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096080	肛門部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20087497	肛門悪性黒色腫	C210	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20096075	腋窩悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20078872	腔悪性黒色腫	C52	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094456	臍部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094471	趾悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094472	趾爪下悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094467	踵部悪性黒色腫	C437	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	2	悪性黒色腫	20094454	崟径部悪性黒色腫	C435	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	3	悪性骨巨細胞腫	20103353	悪性骨巨細胞腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	4	悪性ラブドイド腫瘍	20103355	悪性ラブドイド腫瘍	C809	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	5	ウィルムス腫瘍／腎芽腫	20066214	腎芽腫	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20054993	横紋筋肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095158	下顎部横紋筋肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095169	下腿横紋筋肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095179	眼窩横紋筋肉腫	C696	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095159	顔面横紋筋肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095172	胸壁横紋筋肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095160	頸部横紋筋肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095166	肩部横紋筋肉腫	C491	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095157	後腹膜横紋筋肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095168	手部横紋筋肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095164	上腕横紋筋肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20087523	食道横紋筋肉腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20065538	心臓横紋筋肉腫	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095178	精巣横紋筋肉腫	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095177	前立腺横紋筋肉腫	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095165	前腕横紋筋肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095170	足部横紋筋肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095171	大腿横紋筋肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095174	殿部横紋筋肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095162	頭部横紋筋肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095176	背部横紋筋肉腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095173	腹壁横紋筋肉腫	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095163	頬部横紋筋肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	6	横紋筋肉腫	20095175	鼠径部横紋筋肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	7	褐色細胞腫	20053911	悪性褐色細胞腫	C741	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	7	褐色細胞腫	20054061	異所性褐色細胞腫	D447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	7	褐色細胞腫	20056732	褐色細胞腫	D350	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	7	褐色細胞腫	20090344	褐色細胞腫性高血圧症	D350	I152
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095202	下腿滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20056725	滑膜肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095188	頸部滑膜肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095192	肩部滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095206	股関節部滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095194	手関節部滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095196	手部滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095191	上腕滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095197	前腕滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095199	足関節部滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095201	足部滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095203	大腿滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095209	殿部滑膜肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095190	頭部滑膜肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095204	膝関節部滑膜肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095198	肘部滑膜肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	8	滑膜肉腫	20095208	鼠径部滑膜肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	9	肝芽腫	20057039	肝芽腫	C222	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	10	肝細胞癌	20057070	肝細胞癌	C220	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	10	肝細胞癌	20087874	混合型肝癌	C227	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	10	肝細胞癌	20099318	肝細胞癌破裂	C220	K768
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	11	気管支腫瘍				
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	12	胸膜肺芽腫	20103363	小児胸膜肺芽腫	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	13	甲状腺癌	20061317	甲状腺癌	C73	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	13	甲状腺癌	20087496	甲状腺癌骨転移	C795	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	13	甲状腺癌	20064243	術後甲状腺機能低下症	E890	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	13	甲状腺癌	20075235	副甲状腺癌	C750	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095718	顎関節滑膜骨軟骨腫症	D481	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095706	滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095703	肩関節滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095770	股関節滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20103992	骨軟骨腫症	D480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095814	足関節滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095778	膝関節滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	14	骨軟骨腫症	20095831	肘関節滑膜骨軟骨腫症	D481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096032	下顎骨骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103778	下顎骨骨膜性骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103772	下顎骨低悪性中心性骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103774	下顎骨軟骨芽細胞型骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103776	下顎骨傍骨性骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096028	距骨骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096038	胸骨骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096035	胸椎骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096033	頸椎骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096019	肩甲骨骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20061771	腰椎骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20061912	骨原性肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20061980	骨肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096039	骨盤骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20087502	骨膜性骨肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096037	鎖骨骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096018	尺骨骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096020	手指骨骨肉腫	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096031	上顎骨骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103777	上顎骨骨膜性骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103771	上顎骨低悪性中心性骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103773	上顎骨軟骨芽細胞型骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20103775	上顎骨傍骨性骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096016	上腕骨骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096041	仙骨骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096021	大腿骨遠位端骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096022	大腿骨近位端骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20069619	大腿骨骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096040	恥骨骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096029	頭蓋骨骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096030	頭蓋底骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20076085	傍骨性骨肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096036	肋骨骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096017	橈骨骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096024	脛骨近位端骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096023	脛骨骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096025	腓骨骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096026	趾骨骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	15	骨肉腫	20096027	踵骨骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	16	混合性胚細胞腫瘍	20103357	混合性胚細胞腫瘍	C809	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092675	胃脂肪肉腫	C169	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092681	陰のう内脂肪肉腫	C632	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092692	下腿脂肪肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092704	肝脂肪肉腫	C224	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092727	巨大後腹膜脂肪肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092725	胸壁脂肪肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092726	胸膜脂肪肉腫	C384	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092734	頸部脂肪肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092738	結腸脂肪肉腫	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092742	肩甲部脂肪肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20101710	後縦隔脂肪肉腫	C382	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092752	後腹膜脂肪肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092918	腰部脂肪肉腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092765	坐骨直腸窩脂肪肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20062908	脂肪肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092792	縦隔脂肪肉腫	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092781	小腸脂肪肉腫	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092794	上咽頭脂肪肉腫	C119	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092796	上腕脂肪肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092785	食道脂肪肉腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092789	心臓脂肪肉腫	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092799	腎周囲脂肪肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092811	精索脂肪肉腫	C631	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092824	舌脂肪肉腫	C029	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20067988	線維脂肪肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20101734	前縦隔脂肪肉腫	C381	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20069710	大腿部脂肪肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092842	大網脂肪肉腫	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092852	腸間膜脂肪肉腫	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092854	直腸脂肪肉腫	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092863	頭部脂肪肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092871	乳房脂肪肉腫	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092877	背部脂肪肉腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20074260	皮膚脂肪肉腫	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092894	腹部脂肪肉腫	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092886	脾脂肪肉腫	C261	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092801	臍脂肪肉腫	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	17	脂肪肉腫	20092830	峯径部脂肪肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20098437	胃原発絨毛癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20101487	縦隔絨毛癌	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20066819	精巣絨毛癌	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20101486	胎盤内絨毛癌	C58	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20101488	肺絨毛癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20077598	卵巣絨毛癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	18	絨毛癌	20078504	絨毛癌	C58	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	19	上咽頭癌	20064773	上咽頭癌	C119	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20087475	眼窩神経芽腫	C696	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20059092	胸部神経芽腫	C761	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20059716	頸部神経芽腫	C760	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20100102	後腹膜神経芽腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20062027	骨盤部神経芽腫	C763	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20064087	縦隔神経芽腫	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20065949	神経芽腫	C749	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20078196	嗅神経芽腫	C300	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20100103	副腎神経芽腫	C749	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	20	神経芽腫	20075410	腹部神経芽腫	C762	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	21	神経節芽腫	20066064	神経節芽細胞腫	C729	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	22	腎細胞癌	20066244	腎細胞癌	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	23	腎明細胞肉腫	20100573	腎明細胞肉腫	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	24	睥芽腫	20088712	睥芽腫	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	25	性索間質性腫瘍	20103360	性索間質性腫瘍	D489	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	25	性索間質性腫瘍	20103362	精巣性索間質性腫瘍	D401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	25	性索間質性腫瘍	20103361	卵巣性索間質性腫瘍	D391	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	26	線維形成性小円形細胞腫瘍	20100398	線維形成性小円形細胞腫瘍	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095127	下腿線維肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098473	下腿隆起性皮膚線維肉腫	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098457	顔面隆起性皮膚線維肉腫	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098469	胸部隆起性皮膚線維肉腫	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095128	胸壁線維肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098459	頸部隆起性皮膚線維肉腫	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095122	肩部線維肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098463	肩隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095121	後腹膜線維肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20061956	骨線維肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098461	鎖骨部隆起性皮膚線維肉腫	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098468	手指隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098467	手部隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095124	上腕線維肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098464	上腕隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20065561	心臓線維肉腫	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20066068	神経線維肉腫	C479	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20068005	線維肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095125	前腕線維肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098466	前腕隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098474	足部隆起性皮膚線維肉腫	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095018	大腿線維肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098472	大腿隆起性皮膚線維肉腫	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095130	殿部線維肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098471	殿部隆起性皮膚線維肉腫	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098456	頭部隆起性皮膚線維肉腫	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20101332	乳房線維肉腫	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098470	背部隆起性皮膚線維肉腫	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20074274	皮膚線維肉腫	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095126	肘部線維肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098465	肘部隆起性皮膚線維肉腫	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20090071	腹部皮膚線維肉腫	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20090072	腹部隆起性皮膚線維肉腫	C445	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20095129	腹壁線維肉腫	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098458	頬部隆起性皮膚線維肉腫	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20077668	隆起性皮膚線維肉腫	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	27	線維肉腫	20098475	趾隆起性皮膚線維肉腫	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	28	胎児性癌	20066803	精巣胎児性癌	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	28	胎児性癌	20069424	胎児性癌	C809	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	28	胎児性癌	20077566	卵巣胎児性癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	29	唾液腺癌	20064541	小唾液腺癌	C069	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	29	唾液腺癌	20069239	唾液腺癌	C089	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	29	唾液腺癌	20069557	大唾液腺癌	C089	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	30	多胎芽腫				
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	31	軟骨芽細胞腫	20103784	下顎骨軟骨芽細胞腫	D165	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	31	軟骨芽細胞腫	20103783	上顎骨軟骨芽細胞腫	D164	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	31	軟骨芽細胞腫	20072285	軟骨芽細胞腫	D169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20103770	下顎骨間葉性軟骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100606	下顎骨軟骨肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100612	胸骨軟骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100607	胸椎軟骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100608	頸椎軟骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100587	肩甲骨軟骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100610	腰椎軟骨肉腫	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20079582	骨軟骨肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100615	骨盤軟骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100613	鎖骨軟骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100593	指骨軟骨肉腫	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100589	尺骨軟骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100591	手根骨軟骨肉腫	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20103769	上顎骨間葉性軟骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100605	上顎骨軟骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100588	上腕骨軟骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20067323	仙骨軟骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100600	足根骨軟骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100601	趾骨軟骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100595	大腿骨軟骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20070381	恥骨軟骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100592	中手骨軟骨肉腫	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100599	中足骨軟骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100614	腸骨軟骨肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100603	頭蓋底軟骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20072294	軟骨肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100598	膝蓋骨軟骨肉腫	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100604	副鼻腔軟骨肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100611	肋骨軟骨肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100590	橈骨軟骨肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100596	脛骨軟骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	32	軟骨肉腫	20100597	腓骨軟骨肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	33	副腎皮質癌	20075281	副腎皮質癌	C740	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20054304	胃平滑筋肉腫	C169	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095153	下腿平滑筋肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20057157	肝平滑筋肉腫	C224	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20101326	胸部平滑筋肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095151	後腹膜平滑筋肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20062727	子宮平滑筋肉腫	C542	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20064061	十二指腸平滑筋肉腫	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095149	小腸平滑筋肉腫	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20064868	上行結腸平滑筋肉腫	C182	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20101324	上腕平滑筋肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20065316	食道平滑筋肉腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20101325	前腕平滑筋肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095154	大腿平滑筋肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20069766	大腸肉腫	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095152	腸間膜平滑筋肉腫	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095150	直腸平滑筋肉腫	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095156	殿部平滑筋肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20101327	背部平滑筋肉腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20095155	腹部平滑筋肉腫	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	34	平滑筋肉腫	20075659	平滑筋肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095234	下腿胞巣状軟部肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095230	肩部胞巣状軟部肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095232	上腕胞巣状軟部肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095233	前腕胞巣状軟部肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095235	大腿胞巣状軟部肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095237	殿部胞巣状軟部肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20095236	膝部胞巣状軟部肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	35	胞巣状軟部肉腫	20076060	胞巣状軟部肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	36	未分化神経外胚葉性腫瘍（末梢性のものに限る。）	20087491	原始神経外胚葉腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	37	未分化肉腫	20103356	未分化肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	38	未分化胚細胞腫	20079672	松果体未分化胚細胞腫	C753	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	38	未分化胚細胞腫	20066762	精巣セミノーマ	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	38	未分化胚細胞腫	20077587	卵巣未分化胚細胞腫	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095256	下腿淡明細胞肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095260	胸壁淡明細胞肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095246	肩部淡明細胞肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095250	手部淡明細胞肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095252	上腕淡明細胞肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095258	足部淡明細胞肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095262	淡明細胞肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	39	明細胞肉腫（腎明細胞肉腫を除く。）	20095254	膝部淡明細胞肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	40	網膜芽細胞腫	20077043	網膜芽細胞腫	C692	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20053464	ユーイング肉腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096690	肩甲骨ユーイング肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096692	骨盤ユーイング肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096689	上腕骨ユーイング肉腫	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096693	仙骨ユーイング肉腫	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096691	大腿骨ユーイング肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096694	腸骨ユーイング肉腫	C414	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096688	肋骨ユーイング肉腫	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	41	ユーイング肉腫	20096687	脛骨ユーイング肉腫	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	42	卵黄嚢腫	20098138	縦隔卵黄のう腫瘍	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	42	卵黄嚢腫	20098140	精巣卵黄のう腫瘍	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	42	卵黄嚢腫	20077471	卵黄のう腫瘍	C809	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	42	卵黄嚢腫	20098136	卵巣卵黄のう腫瘍	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を除く。）				
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098126	A L K 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099364	E G F R 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103584	H E R 2 陽性胃癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103582	H E R 2 陽性乳癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099774	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性胃消化管間質腫瘍	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099775	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性結腸消化管間質腫瘍	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087104	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性消化管間質腫瘍	C269	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099776	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性小腸消化管間質腫瘍	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099777	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性食道消化管間質腫瘍	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099778	K I T （ C D 1 1 7 ） 陽性直腸消化管間質腫瘍	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099789	K R A S 遺伝子野生型結腸癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099790	K R A S 遺伝子野生型直腸癌	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102637	R O S 1 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20050367	S 状結腸癌	C187	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102441	S 状結腸神経内分泌細胞癌	C187	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102418	S 状結腸神経内分泌腫瘍	C187	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053898	悪性エナメル上皮腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053975	悪性顆粒細胞腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053915	悪性間葉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087439	悪性胸膜中皮腫	C450	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053900	悪性グロームス腫瘍	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053922	悪性血管外皮腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053929	悪性骨腫瘍	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099608	悪性小脳腫瘍	C716	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053944	悪性神経膠腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087440	悪性心膜中皮腫	C452	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053940	悪性縦隔腫瘍	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053974	悪性膵内分泌腫瘍	C254	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053952	悪性線維性組織球腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093011	悪性ソマトスタチノーマ	C254	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053958	悪性虫垂粘液瘤	C181	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053957	悪性中皮腫	C459	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087441	悪性停留精巣	C620	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101323	悪性軟部腫瘍	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053962	悪性脳腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087444	悪性腹膜中皮腫	C451	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087445	悪性葉状腫瘍	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101690	アポクリン腺癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098130	鞍上部胚細胞腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095694	胃悪性間葉系腫瘍	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054155	胃カルチノイド	C169	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087446	胃管癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054178	胃癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054180	胃癌末期	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096539	異形成母斑症候群	C439	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099750	胃消化管間質腫瘍	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20094946	胃小弯部癌	C165	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101549	異所性乳癌	C508	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102410	胃神経内分泌細胞癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102409	胃神経内分泌腫瘍	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054219	胃進行癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054210	胃重複癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100038	胃前庭部癌	C163	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054248	胃体部癌	C162	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20094948	胃大弯部癌	C166	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054280	胃底部癌	C161	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054384	遺伝性大腸癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087449	遺伝性非ポリポーシス大腸癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054287	胃肉腫	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098434	胃胚細胞腫瘍	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099747	イマチニブ耐性消化管間質腫瘍	C269	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054311	胃幽門部癌	C164	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054641	陰核癌	C512	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101692	陰茎アポクリン腺癌	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054657	陰茎癌	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079573	陰茎亀頭部癌	C601	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079574	陰茎体部癌	C602	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054683	陰茎肉腫	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20094518	陰茎バジェット病	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079572	陰茎包皮部癌	C600	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100111	陰茎有棘細胞癌	C609	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054571	咽頭癌	C140	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054613	咽頭肉腫	C140	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079354	陰のう癌	C632	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20094519	陰のうバジェット病	C632	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100109	陰のう有棘細胞癌	C632	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087456	会陰部バジェット病	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101694	腋窩アポクリン腺癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096287	腋窩基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096460	腋窩バジェット病	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096113	腋窩皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101696	腋窩部乳癌	C506	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096189	腋窩有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20091949	エクリン汗孔癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103921	遠位胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101089	円蓋部血管周皮腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054921	炎症性乳癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054888	延髄神経膠腫	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098902	延髄星細胞腫	C717	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054983	横行結腸癌	C184	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102437	横行結腸神経内分泌細胞癌	C184	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102417	横行結腸神経内分泌腫瘍	C184	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096686	回腸カルチノイド	C172	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055793	回腸癌	C172	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099753	回腸消化管間質腫瘍	C172	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102465	回腸神経内分泌細胞癌	C172	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102422	回腸神経内分泌腫瘍	C172	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055868	海綿芽細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055809	回盲部癌	C180	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055085	下咽頭癌	C139	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055088	下咽頭後部癌	C132	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055094	下咽頭肉腫	C139	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099309	下咽頭破裂喉頭蓋ひだ癌	C131	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090319	下顎悪性エナメル上皮腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103496	下顎エナメル上皮癌	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103504	下顎幻影細胞性歯原性癌	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103498	下顎原発性骨内癌	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103500	下顎硬化性歯原性癌	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090322	下顎骨悪性腫瘍	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103505	下顎歯原性癌肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103507	下顎歯原性肉腫	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087231	下顎歯肉癌	C031	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087236	下顎歯肉頬移行部癌	C061	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096277	下顎部基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096110	下顎部皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099827	下顎部メルケル細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096179	下顎部有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103502	下顎明細胞性歯原性癌	C411	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096261	下眼瞼基底細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096104	下眼瞼皮膚癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096163	下眼瞼有棘細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056500	角膜の悪性腫瘍	C691	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055164	下行結腸癌	C186	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102449	下行結腸神経内分泌細胞癌	C186	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102419	下行結腸神経内分泌腫瘍	C186	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096257	下口唇基底細胞癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096102	下口唇皮膚癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096159	下口唇有棘細胞癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055245	下肢皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055266	下唇癌	C004	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087215	下唇赤唇部癌	C001	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103959	下唇腺房細胞癌	C004	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103948	下唇腺様のう胞癌	C004	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103937	下唇粘表皮癌	C004	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055548	仮声帯癌	C321	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095140	下腿悪性線維性組織球腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093702	下腿悪性軟部腫瘍	C492	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096357	下腿基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096147	下腿皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099859	下腿メルケル細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096383	下腿有棘細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095242	下腿類上皮肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056723	滑膜腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055410	下部食道癌	C155	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087468	下部胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20051482	カボジ肉腫	C469	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098996	下葉小細胞肺癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20055431	下葉肺癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099003	下葉肺腺癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099010	下葉肺大細胞癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098988	下葉肺扁平上皮癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099018	下葉非小細胞肺癌	C343	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057026	肝悪性腫瘍	C229	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057020	肝カルチノイド	C229	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057045	肝外胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057051	肝癌	C220	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057052	肝奇形腫	C227	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057064	肝血管肉腫	C223	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096345	環指基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096141	環指皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096247	環指有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056946	汗腺癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102096	肝胎芽性肉腫	C224	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057132	肝内胆管癌	C221	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057016	肝のう胞腺癌	C227	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057160	肝門部癌	C229	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20085367	肝門部胆管癌	C248	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057165	肝彎曲部癌	C183	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20083853	外陰悪性腫瘍	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056042	外陰癌	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101699	外陰部アポクリン腺癌	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087473	外陰部パジェット病	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100106	外陰部有棘細胞癌	C519	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056144	外耳道癌	C442	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20056623	顎下腺癌	C080	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103951	顎下腺腺房細胞癌	C080	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103940	顎下腺腺様のう胞癌	C080	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103929	顎下腺粘表皮癌	C080	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057559	眼窩悪性腫瘍	C696	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099723	眼角基底細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099719	眼角皮膚癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099727	眼角有棘細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099299	眼瞼脂腺癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057524	眼瞼皮膚の悪性腫瘍	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099817	眼瞼メルケル細胞癌	C441	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096279	顔面基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102773	顔面骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099303	顔面脂腺癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093098	顔面皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099821	顔面メルケル細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096181	顔面有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057867	気管癌	C33	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096684	気管支カルチノイド	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057888	気管支癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20057787	基底細胞癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20054805	臼後部癌	C062	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078199	嗅神経上皮腫	C300	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102779	胸骨悪性腫瘍	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20058899	橋神経膠腫	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20058999	胸腺カルチノイド	C37	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059003	胸腺癌	C37	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102776	胸椎悪性腫瘍	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20076119	頬粘膜癌	C060	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103957	頬粘膜腺房細胞癌	C060	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103946	頬粘膜腺様のう胞癌	C060	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103935	頬粘膜粘表皮癌	C060	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093695	胸部悪性軟部腫瘍	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101702	胸部アポクリン腺癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087479	胸部下部食道癌	C151	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096265	頬部基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096293	胸部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095181	頬部血管肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059089	胸部食道癌	C151	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087480	胸部上部食道癌	C151	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087481	胸部中部食道癌	C151	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093099	頬部皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096116	胸部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099825	頬部メルケル細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099835	胸部メルケル細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096167	頬部有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096195	胸部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095143	胸壁悪性線維性組織球腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095186	胸壁血管肉腫	C493	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059167	胸膜悪性腫瘍	C384	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059181	胸膜中皮腫	C450	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102813	距骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100081	去勢抵抗性前立腺癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096685	空腸カルチノイド	C171	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059381	空腸癌	C171	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099755	空腸消化管間質腫瘍	C171	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102461	空腸神経内分泌細胞癌	C171	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102421	空腸神経内分泌腫瘍	C171	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20051714	クロム親和性芽細胞腫	C749	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100788	グループ膵癌	C250	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102805	脛骨悪性腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102807	脛骨遠位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102806	脛骨近位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102808	脛骨骨幹部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102775	頸椎悪性腫瘍	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087488	頸動脈小体悪性腫瘍	C754	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095132	頸部悪性線維性組織球腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093691	頸部悪性軟部腫瘍	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096283	頸部基底細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095182	頸部血管肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099295	頸部脂腺癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059714	頸部食道癌	C150	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059752	頸部肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087490	頸部皮膚悪性腫瘍	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096111	頸部皮膚癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099831	頸部メルケル細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096185	頸部有棘細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060128	血管肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100349	結腸間膜悪性腫瘍	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20059997	結腸癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099758	結腸消化管間質腫瘍	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102427	結腸神経内分泌細胞癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102416	結腸神経内分泌腫瘍	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060017	結膜の悪性腫瘍	C690	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102788	肩甲骨悪性腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095135	肩部悪性線維性組織球腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101319	肩部悪性軟部腫瘍	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096319	肩部基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096128	肩部皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099845	肩部メルケル細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096221	肩部有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060538	限局性悪性胸膜中皮腫	C450	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100074	限局性前立腺癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060554	限局性中皮腫	C459	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098921	原線維性星細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099606	原発性悪性脳腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060439	原発性肝癌	C220	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060458	原発性骨腫瘍	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060483	原発性脳腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060485	原発性肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060922	口蓋癌	C059	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060923	口蓋弓癌	C091	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060931	口蓋垂癌	C052	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103954	口蓋腺房細胞癌	C059	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103943	口蓋腺様のう胞癌	C059	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103934	口蓋粘表皮癌	C059	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060977	口腔癌	C069	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060987	口腔前庭癌	C061	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060992	口腔底癌	C049	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061403	硬口蓋癌	C050	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103955	硬口蓋腺房細胞癌	C050	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103944	硬口蓋腺様のう胞癌	C050	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103932	硬口蓋粘表皮癌	C050	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061056	口唇癌	C009	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087223	口唇境界部癌	C008	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087218	口唇赤唇部癌	C002	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061079	口唇皮膚悪性腫瘍	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099815	口唇メルケル細胞癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087495	後縦隔悪性腫瘍	C382	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061379	甲状軟骨の悪性腫瘍	C323	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090425	口底癌	C049	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061138	喉頭蓋癌	C321	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061146	喉頭蓋蓋谷癌	C100	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061143	喉頭蓋前面癌	C101	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061154	喉頭癌	C329	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102772	後頭骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060832	後頭葉悪性腫瘍	C714	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096788	後頭葉神経膠腫	C714	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098933	膠肉腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20060849	後腹膜悪性腫瘍	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095131	後腹膜悪性線維性組織球腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095180	後腹膜血管肉腫	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098135	後腹膜胚細胞腫瘍	C480	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096285	項部基底細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096112	項部皮膚癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099833	項部メルケル細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096187	項部有棘細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078542	肛門管癌	C211	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078545	肛門癌	C210	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20094520	肛門周囲パジェット病	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078573	肛門部癌	C210	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096313	肛門部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087499	肛門部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096215	肛門部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087500	肛門扁平上皮癌	C210	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20061889	骨悪性線維性組織球腫	C419	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102783	骨盤骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093692	骨盤内悪性軟部腫瘍	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093693	骨盤部悪性軟部腫瘍	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062275	細気管支肺胞上皮癌	C348	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079193	鯉原性癌	C104	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101465	再発卵巣癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096299	臍部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096119	臍部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096201	臍部有棘細胞癌	C445	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102780	鎖骨悪性腫瘍	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102787	坐骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062484	残胃癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102797	指基節骨悪性腫瘍	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102819	趾基節骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065212	色素性基底細胞癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062576	子宮癌	C55	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062578	子宮癌再発	C55	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095776	子宮癌肉腫	C549	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099432	子宮峡部癌	C540	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062598	子宮頸管癌	C530	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062607	子宮頸癌	C539	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101987	子宮頸部境界部癌	C538	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20092155	子宮頸部腺癌	C539	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087517	子宮頸部微小浸潤癌	C539	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062664	子宮体癌	C549	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062665	子宮体癌再発	C549	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101514	子宮体部悪性腫瘍	C549	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079583	子宮断端癌	C538	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062739	子宮腔部癌	C531	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099433	子宮底癌	C543	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062698	子宮内膜間質肉腫	C541	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062699	子宮内膜癌	C541	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062710	子宮肉腫	C542	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101512	子宮類内膜腺癌	C541	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102796	指骨悪性腫瘍	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102818	趾骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078497	篩骨洞癌	C311	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098900	視床下部星細胞腫	C710	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098898	視床星細胞腫	C710	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20062883	脂腺癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102798	指中節骨悪性腫瘍	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102820	趾中節骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102804	膝蓋骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095142	膝部悪性線維性組織球腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101322	膝部悪性軟部腫瘍	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096355	膝部基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096146	膝部皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099857	膝部メルケル細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096381	膝部有棘細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063139	歯肉癌	C039	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102799	指末節骨悪性腫瘍	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102821	趾末節骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099863	趾メルケル細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102794	尺骨悪性腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063653	主気管支の悪性腫瘍	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099853	手指メルケル細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096329	手掌基底細胞癌	C446	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096133	手掌皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096231	手掌有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096134	手背皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096331	手背部基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096233	手背有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095137	手部悪性線維性組織球腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101321	手部悪性軟部腫瘍	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096327	手部基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096132	手部皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099851	手部メルケル細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096229	手部有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095238	手部類上皮肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064419	小陰唇癌	C511	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064664	消化管カルチノイド	C269	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087521	松果体悪性腫瘍	C753	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064656	松果体芽腫	C753	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098435	松果体胚細胞腫瘍	C753	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102817	踵骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20086575	小細胞肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096349	小指基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096143	小指皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096251	小指有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103953	小唾液腺腺房細胞癌	C069	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103942	小唾液腺腺様う胞癌	C069	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103931	小唾液腺粘表皮癌	C069	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096680	小腸カルチノイド	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064548	小腸癌	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099757	小腸消化管間質腫瘍	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102457	小腸神経内分泌細胞癌	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102420	小腸神経内分泌腫瘍	C179	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096789	小脳神経膠腫	C716	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098908	小脳星細胞腫	C716	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101105	小脳テント血管周皮腫	C700	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096363	踵部基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079144	踵部皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096389	踵部有棘細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095785	食道悪性間葉系腫瘍	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100037	食道胃接合部癌	C158	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087525	食道カルチノイド	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065271	食道癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065272	食道癌肉腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087526	食道基底細胞癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087527	食道偽肉腫	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099749	食道消化管間質腫瘍	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087529	食道小細胞癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102405	食道神経内分泌細胞癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102404	食道神経内分泌腫瘍	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087531	食道腺癌	C159	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087833	食道腺様のう胞癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087533	食道粘表皮癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087534	食道表在癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087535	食道未分化癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066095	神経膠腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100075	進行性前立腺癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087536	進行乳癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065355	唇交連癌	C006	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065869	浸潤型胸腺腫	C37	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101552	浸潤性乳管癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065532	心臓悪性腫瘍	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065545	心臓血管肉腫	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065568	心臓粘液肉腫	C380	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065634	心膜中皮腫	C452	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063284	耳介癌	C442	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102658	耳介基底細胞癌	C442	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099819	耳介メルケル細胞癌	C442	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063262	耳下腺癌	C07	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103950	耳下腺腺房細胞癌	C07	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103939	耳下腺腺様のう胞癌	C07	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103928	耳下腺粘表皮癌	C07	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063275	耳下部肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20063323	耳管癌	C301	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096337	示指基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096137	示指皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096239	示指有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096275	耳前部基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096109	耳前部皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096177	耳前部有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064076	縦隔癌	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101493	縦隔セミノーマ	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098134	縦隔胚細胞腫瘍	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102534	充実性偽乳頭状腫瘍	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20097882	十二指腸悪性ソマトスタチノーマ	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064014	十二指腸カルチノイド	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064025	十二指腸癌	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099751	十二指腸消化管間質腫瘍	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102453	十二指腸神経内分泌細胞癌	C170	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064052	十二指腸乳頭癌	C241	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064055	十二指腸乳頭部癌	C241	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064279	術後乳癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064769	上衣芽細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064771	上咽頭悪性腫瘍	C119	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064775	上咽頭後壁癌	C111	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064776	上咽頭上壁癌	C110	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064777	上咽頭前壁癌	C113	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064778	上咽頭側壁癌	C112	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090487	上顎悪性エナメル上皮腫	C410	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103495	上顎エナメル上皮癌	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064790	上顎癌	C310	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087239	上顎結節部癌	C062	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103503	上顎幻影細胞性歯原性癌	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103497	上顎原発性骨肉癌	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103499	上顎硬化性歯原性癌	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064794	上顎骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103506	上顎歯原性肉腫	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087229	上顎歯肉癌	C030	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087233	上顎歯肉頬移行部癌	C061	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064821	上顎洞癌	C310	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103501	上顎明細胞性歯原性癌	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096259	上眼瞼基底細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096103	上眼瞼皮膚癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096161	上眼瞼有棘細胞癌	C441	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20091351	上行結腸カルチノイド	C182	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064863	上行結腸癌	C182	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102433	上行結腸神経内分泌細胞癌	C182	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102414	上行結腸神経内分泌腫瘍	C182	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096255	上口唇基底細胞癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096101	上口唇皮膚癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096157	上口唇有棘細胞癌	C440	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064929	上肢皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064952	上唇癌	C003	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087212	上唇赤唇部癌	C000	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103958	上唇腺房細胞癌	C003	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103947	上唇腺様のう胞癌	C003	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103936	上唇粘表皮癌	C003	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065005	上部食道癌	C153	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087547	上部胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098992	上葉小細胞肺癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20065013	上葉肺癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098999	上葉肺腺癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099006	上葉肺大細胞癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098984	上葉肺扁平上皮癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099014	上葉非小細胞肺癌	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095138	上腕悪性線維性組織球腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093699	上腕悪性軟部腫瘍	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096321	上腕基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102789	上腕骨悪性腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102790	上腕骨遠位部悪性骨腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102791	上腕骨近位部悪性骨腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102792	上腕骨骨幹部悪性骨腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096129	上腕皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099847	上腕メルケル細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096223	上腕有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095239	上腕類上皮肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20064396	女性性器癌	C579	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20086802	痔瘻癌	C211	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066204	腎悪性腫瘍	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066331	腎盂癌	C65	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093687	腎盂腺癌	C65	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066336	腎盂乳頭状癌	C65	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093606	腎盂尿路上皮癌	C65	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093686	腎盂扁平上皮癌	C65	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096683	腎カルチノイド	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066218	腎癌	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066310	腎肉腫	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078949	膵管癌	C253	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090512	膵管内管状腺癌	C253	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090515	膵管内乳頭粘液性腺癌	C253	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078952	膵癌	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078957	膵頸部癌	C257	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090518	膵漿液性のう胞腺癌	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087551	膵腺房細胞癌	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090520	膵体尾部癌	C258	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078989	膵体部癌	C251	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096682	膵頭部カルチノイド	C250	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078994	膵頭部癌	C250	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078998	膵内胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090522	膵粘液性のう胞腺癌	C259	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079007	膵尾部癌	C252	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20086008	スキルス胃癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066622	星細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066709	精索肉腫	C631	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066623	星状芽細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066764	精巣悪性腫瘍	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066772	精巣癌	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066773	精巣奇形癌	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066774	精巣奇形腫	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066787	精巣上体癌	C630	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066807	精巣肉腫	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098133	精巣胚細胞腫瘍	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096769	正中型口腔底癌	C040	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096770	正中型口底癌	C040	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079355	精のう癌	C637	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079356	精のう肉腫	C637	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101729	精母細胞性セミノーマ	C629	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066866	声門下癌	C322	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066872	声門癌	C320	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20066878	声門上癌	C321	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102774	脊椎悪性腫瘍	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102778	仙骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096307	仙骨部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096123	仙骨部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096209	仙骨部有棘細胞癌	C445	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067250	舌下腺癌	C081	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103952	舌下腺腺房細胞癌	C081	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20104065	舌下腺腺様のう胞癌	C081	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103930	舌下腺粘表皮癌	C081	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067265	舌根部癌	C01	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087226	舌尖癌	C021	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067239	舌縁癌	C021	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067256	舌下面癌	C022	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067259	舌癌	C029	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20067301	舌背癌	C020	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096263	前額部基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068087	前額部皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099823	前額部メルケル細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096165	前額部有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096289	前胸部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096114	前胸部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096191	前胸部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087558	前縦隔悪性腫瘍	C381	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101494	前縦隔セミノーマ	C381	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102770	前頭骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068181	前頭洞癌	C312	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068200	前頭葉悪性腫瘍	C711	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096785	前頭葉神経膠腫	C711	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098890	前頭葉星細胞腫	C711	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068229	前立腺癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20100076	前立腺癌再発	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095281	前立腺小細胞癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087566	前立腺神経内分泌癌	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068241	前立腺肉腫	C61	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095139	前腕悪性線維性組織球腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093700	前腕悪性軟部腫瘍	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096325	前腕基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096131	前腕皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099849	前腕メルケル細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096227	前腕有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095240	前腕類上皮肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20071205	爪下黒色腫	C438	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068519	早期胃癌	C169	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068527	早期食道癌	C159	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20068584	総胆管癌	C240	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096291	側胸部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096115	側胸部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096193	側胸部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102814	足根骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102815	足舟状骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096361	足底基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096149	足底皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096387	足底有棘細胞癌	C447	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20069521	大陰唇癌	C510	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095141	大腿悪性線維性組織球腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093701	大腿悪性軟部腫瘍	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096353	大腿基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095185	大腿血管肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102800	大腿骨悪性腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102801	大腿骨遠位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102802	大腿骨近位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102803	大腿骨骨幹部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096145	大腿皮膚癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099855	大腿メルケル細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096379	大腿有棘細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095244	大腿類上皮肉腫	C492	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20069731	大腸カルチノイド	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20069739	大腸癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102423	大腸神経内分泌細胞癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102412	大腸神経内分泌腫瘍	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087578	大腸粘液癌	C189	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20069833	大脳悪性腫瘍	C710	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101097	大脳鎌血管周皮腫	C700	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20069839	大脳深部神経膠腫	C710	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099762	大網消化管間質腫瘍	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103949	唾液腺腺房細胞癌	C089	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20104068	唾液腺腺様う胞癌	C089	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103927	唾液腺粘表皮癌	C089	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070318	男性性器癌	C639	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102784	恥骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078880	腔癌	C52	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070416	中咽頭癌	C109	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095006	中咽頭後壁癌	C103	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070420	中咽頭側壁癌	C102	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070421	中咽頭肉腫	C109	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096341	中指基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096139	中指皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102795	中手骨悪性腫瘍	C401	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096243	中指有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070480	中耳悪性腫瘍	C301	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087581	中縦隔悪性腫瘍	C383	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070684	虫垂癌	C181	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20097516	虫垂杯細胞カルチノイド	C181	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102469	虫垂神経内分泌腫瘍	C181	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102816	中足骨悪性腫瘍	C403	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101093	中頭蓋窩血管周皮腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070650	中脳神経膠腫	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070657	中皮腫	C459	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096323	肘部基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070661	中部食道癌	C154	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087583	中部胆管癌	C240	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096130	肘部皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096225	肘部有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095241	肘部類上皮肉腫	C491	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098994	中葉小細胞肺癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070663	中葉肺癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099001	中葉肺腺癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099008	中葉肺大細胞癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098986	中葉肺扁平上皮癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099016	中葉非小細胞肺癌	C342	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070806	腸間膜悪性腫瘍	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099760	腸間膜消化管間質腫瘍	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070820	腸間膜肉腫	C481	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102768	蝶形骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070900	蝶形骨洞癌	C313	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102785	腸骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101507	直腸S状部悪性腫瘍	C19	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087584	直腸S状部結腸癌	C19	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070949	直腸カルチノイド	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070958	直腸癌	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070961	直腸癌術後再発	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20070962	直腸癌穿孔	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099759	直腸消化管間質腫瘍	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102445	直腸神経内分泌細胞癌	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102415	直腸神経内分泌腫瘍	C20	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101477	低分化型セルトリ・ライディック細胞腫	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101101	テント上血管周皮腫	C710	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20052337	テント上下神経膠腫	C700	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095146	殿部悪性線維性組織球腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093697	殿部悪性軟部腫瘍	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096309	殿部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095187	殿部血管肉腫	C495	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096124	殿部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099843	殿部メルケル細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096211	殿部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20071634	頭蓋骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102767	頭蓋底悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101085	頭蓋内血管周皮腫	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102793	橈骨悪性腫瘍	C400	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098564	透析腎癌	C64	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102769	頭頂骨悪性腫瘍	C410	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20071759	頭頂葉悪性腫瘍	C713	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096787	頭頂葉神経膠腫	C713	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098894	頭頂葉星細胞腫	C713	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095134	頭部悪性線維性組織球腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096281	頭部基底細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095184	頭部血管肉腫	C490	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099301	頭部脂腺癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20071862	頭部軟部組織悪性腫瘍	C490	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20071877	頭部皮膚癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099829	頭部メルケル細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096183	頭部有棘細胞癌	C444	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072179	内耳癌	C301	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102064	内リンパのう腫瘍	C301	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072270	軟口蓋癌	C051	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103956	軟口蓋腺房細胞癌	C051	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103945	軟口蓋腺様う胞癌	C051	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103933	軟口蓋粘表皮癌	C051	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072311	軟部悪性巨細胞腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072408	肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072471	乳癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103572	乳癌局所再発	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072473	乳癌再発	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103570	乳癌術後胸壁再発	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072530	乳腺悪性腫瘍	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102235	乳腺硬癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102233	乳腺充実腺管癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096295	乳頭基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101553	乳頭腺管癌	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096117	乳頭皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093766	乳頭部乳癌	C500	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096197	乳頭有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072606	乳房悪性腫瘍	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079571	乳房下外側部乳癌	C505	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079569	乳房下内側部乳癌	C503	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072615	乳房外バジェット病	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093765	乳房境界部乳癌	C508	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101331	乳房血管肉腫	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079570	乳房上外側部乳癌	C504	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079568	乳房上内側部乳癌	C502	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079567	乳房中央部乳癌	C501	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072647	乳房肉腫	C509	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072604	乳房バジェット病	C500	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093767	乳輪部乳癌	C500	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072698	尿管癌	C66	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079581	尿管口部膀胱癌	C676	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093604	尿管尿路上皮癌	C66	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072763	尿道癌	C680	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093608	尿道尿路上皮癌	C680	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072805	尿道傍腺の悪性腫瘍	C681	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20072827	尿管癌	C677	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073088	脳幹悪性腫瘍	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073095	脳幹神経膠腫	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098896	脳幹部星細胞腫	C717	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073160	脳室悪性腫瘍	C715	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073333	脳胚細胞腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073521	肺カルチノイド*	C349	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073570	肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087606	肺癌肉腫	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20097962	肺癌による閉塞性肺炎	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073636	肺腺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087607	肺腺扁平上皮癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087608	肺腺様のう胞癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073639	肺大細胞癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20085856	肺大細胞神経内分泌癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073676	肺肉腫	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087609	肺粘表皮癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095148	背部悪性線維性組織球腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093694	背部悪性軟部腫瘍	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096301	背部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096120	背部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099839	背部メルケル細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096203	背部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073713	肺扁平上皮癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073690	肺胞上皮癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20073696	肺未分化癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098990	肺門部小細胞癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098998	肺門部腺癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099005	肺門部大細胞癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087610	肺門部肺癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099012	肺門部非小細胞癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098983	肺門部扁平上皮癌	C340	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20090611	バレット食道癌	C155	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093144	バンコースト症候群	C341	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102809	腓骨悪性腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102810	腓骨遠位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102811	腓骨近位部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102812	腓骨骨幹部悪性骨腫瘍	C402	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20085788	非小細胞肺癌	C349	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078680	脾の悪性腫瘍	C261	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20085767	皮膚悪性腫瘍	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087616	皮膚悪性線維性組織球腫	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20074243	皮膚癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20074297	皮膚付属器癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099305	披裂喉頭蓋ひだ下咽頭面癌	C131	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099307	披裂喉頭蓋ひだ喉頭面癌	C321	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078716	脾彎曲部癌	C185	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20074638	鼻腔癌	C300	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102786	尾骨悪性腫瘍	C414	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096271	鼻尖基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096107	鼻尖皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096173	鼻尖有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20074683	鼻前庭癌	C300	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20074692	鼻中隔癌	C300	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096273	鼻背基底細胞癌	C443	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096108	鼻背皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096175	鼻背有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096267	鼻部基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096105	鼻部皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096169	鼻部有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20050642	びまん性中皮腫	C459	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096269	鼻翼基底細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096106	鼻翼皮膚癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096171	鼻翼有棘細胞癌	C443	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20104385	鼻涙管癌	C695	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20097559	副咽頭間隙悪性腫瘍	C140	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20091823	副甲状腺悪性腫瘍	C750	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075251	副腎悪性腫瘍	C749	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075256	副腎癌	C749	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075260	副腎髄質の悪性腫瘍	C741	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075278	副腎皮質の悪性腫瘍	C740	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075310	副鼻腔癌	C319	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093696	腹部悪性軟部腫瘍	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096297	腹部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075409	腹部食道癌	C152	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096118	腹部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20099837	腹部メルケル細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096199	腹部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095144	腹壁悪性線維性組織球腫	C494	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075476	腹膜悪性腫瘍	C482	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075478	腹膜癌	C482	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075484	腹膜中皮腫	C451	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20075639	噴門癌	C160	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20103133	噴門食道接合部癌	C160	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078259	扁桃窩癌	C090	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078242	扁桃癌	C099	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078254	扁桃肉腫	C099	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053196	ホルモン産生精巣腫瘍	C621	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079576	膀胱円蓋部膀胱癌	C671	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078788	膀胱癌	C679	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079580	膀胱頸部膀胱癌	C675	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079579	膀胱後壁部膀胱癌	C674	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079575	膀胱三角部膀胱癌	C670	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079578	膀胱前壁部膀胱癌	C673	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20079577	膀胱側壁部膀胱癌	C672	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20078839	膀胱肉腫	C679	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093602	膀胱尿路上皮癌	C679	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20093688	膀胱扁平上皮癌	C679	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20076107	紡錘形細胞肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096333	母指基底細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096365	母趾基底細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096135	母指皮膚癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096150	母趾皮膚癌	C447	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096235	母指有棘細胞癌	C446	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096391	母趾有棘細胞癌	C447	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20076251	末梢神経悪性腫瘍	C479	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20091897	メルケル細胞癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20091898	盲腸カルチノイド	C180	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077012	盲腸癌	C180	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102431	盲腸神経内分泌細胞癌	C180	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102413	盲腸神経内分泌腫瘍	C180	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20076978	毛包癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077148	網膜膠腫	C692	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20087642	毛様体悪性腫瘍	C694	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077380	有棘細胞癌	C449	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077341	幽門癌	C164	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077345	幽門前庭部癌	C163	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102777	腰椎悪性腫瘍	C412	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095145	腰部悪性線維性組織球腫	C496	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096303	腰部基底細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096121	腰部皮膚癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096205	腰部有棘細胞癌	C445	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077480	卵管癌	C570	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20082398	卵巢悪性腫瘍	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20096679	卵巢カルチノイド	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077532	卵巢癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095897	卵巢癌肉腫	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101469	卵巢漿液性腺癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101482	卵巢小細胞癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102087	卵巢成熟のう胞性奇形腫・悪性転化	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077573	卵巢肉腫	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101767	卵巢粘液性腺癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20098132	卵巢胚細胞腫瘍	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101476	卵巢扁平上皮癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101478	卵巢未熟奇形腫	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101475	卵巢明細胞腺癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20101473	卵巢類内膜腺癌	C56	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077608	梨状陥凹癌	C12	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20077831	輪状後部癌	C130	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20053627	リンパ管肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20095245	類上皮肉腫	C499	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20104235	涙のう悪性腫瘍	C695	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102782	肋軟骨悪性腫瘍	C413	
1	悪性新生物群	5	固形腫瘍（中枢神経系腫瘍を	43	1から42までに掲げるもののほか、固形腫瘍（中枢神経系	20102781	肋骨悪性腫瘍	C413	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095019	悪性末梢神経鞘腫	C479	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095222	胸壁悪性末梢神経鞘腫	C473	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095210	頸部悪性末梢神経鞘腫	C470	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095216	肩部悪性末梢神経鞘腫	C471	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095226	後腹膜悪性末梢神経鞘腫	C475	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095214	上腕悪性末梢神経鞘腫	C471	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095220	大腿悪性末梢神経鞘腫	C472	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095228	殿部悪性末梢神経鞘腫	C475	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	48	悪性神経鞘腫	20095224	腋窩悪性末梢神経鞘腫	C473	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	49	異型奇形腫瘍／ラブドイド腫瘍	20101397	非定型奇形腫瘍／ラブドイド腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	49	異型奇形腫瘍／ラブドイド腫瘍	20100575	腎ラブドイド腫瘍	C64	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20050051	A C T H産生下垂体腺腫	E240	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20092562	F S H産生下垂体腺腫	D352	E228
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20050392	T S H産生下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20094900	ゴナドトロピン産生下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20052996	プロラクチン産生下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20087438	悪性下垂体腫瘍	C751	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20055295	下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20066614	成長ホルモン産生下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	50	下垂体腺腫	20074423	非機能性下垂体腺腫	D352	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	51	奇形腫（頭蓋内及び脊柱管内に限る。）	20103406	頭蓋内奇形腫	D432	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	51	奇形腫（頭蓋内及び脊柱管内に限る。）	20103407	脊柱管内奇形腫	D434	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20096796	後頭葉膠芽腫	C714	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20104384	視床膠芽腫	C710	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20096799	小脳膠芽腫	C716	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20098932	松果体部膠芽腫	C753	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20078858	膠芽腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20096790	前頭葉膠芽腫	C711	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20087569	側頭葉膠芽腫	C712	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20096793	頭頂葉膠芽腫	C713	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20096800	脳幹膠芽腫	C717	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	52	膠芽腫	20103134	脳梁膠芽腫	C718	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20064770	上衣腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20096951	小脳上衣腫	C716	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20096950	脊髄上衣腫	C720	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20087684	退形成性上衣腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20096949	第4脳室上衣腫	C717	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20099670	乳頭状上衣腫	D432	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20099669	粘液乳頭状上衣腫	D432	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20073167	脳室上衣腫	C715	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	53	上衣腫	20073426	馬尾上衣腫	C721	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	54	松果体腫	20064658	松果体細胞腫	D445	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	54	松果体腫	20064660	松果体腫瘍	D445	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20052336	テント上下神経鞘腫	D333	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20052341	テント上神経鞘腫	D330	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101898	胃神経鞘腫	D131	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20057598	眼窩内神経鞘腫	D316	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101900	顔面神経鞘腫	D333	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101899	喉頭神経鞘腫	D141	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20062349	三叉神経鞘腫	D333	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20066005	神経鞘腫	D361	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20066979	脊髄硬膜外神経鞘腫	D361	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20066983	脊髄硬膜内髄外神経鞘腫	D321	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20066997	脊髄神経鞘腫	D334	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20067027	脊髄多発性神経鞘腫	D321	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20069135	多発性神経鞘腫	D361	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20070724	聴神経鞘腫	D333	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20073198	脳神経鞘腫	D333	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101901	馬尾神経鞘腫	D334	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101330	背部悪性末梢神経鞘腫	C476	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101328	膝部悪性末梢神経鞘腫	C472	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	55	神経鞘腫	20101329	腹部悪性末梢神経鞘腫	C474	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	56	神経節膠腫	20066066	神経節膠腫	D489	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	57	神経節腫	20099705	悪性傍神経節腫	C755	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	57	神経節腫	20060877	交感神経節腫瘍	D482	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	57	神経節腫	20066065	神経節細胞腫	D361	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	57	神経節腫	20070495	中耳傍神経節腫	D385	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	57	神経節腫	20076087	傍神経節腫	D447	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	58	髄芽腫	20066475	髄芽腫	C716	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20050595	のう胞性髄膜腫	D329	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20050637	びまん性髄膜腫症	D429	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20052043	シルビウス裂髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20052335	テント上下悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20052338	テント上下髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20052432	トルコ鞍部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100897	円蓋部悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20053947	悪性髄膜腫	C709	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20053951	悪性脊髄髄膜腫	C701	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20087443	悪性脳室髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20053963	悪性脳髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100903	鞍結節部悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20054005	鞍結節部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20054131	移行型髄膜腫	D329	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20054864	円蓋部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20057600	眼窩内髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20084139	穹隆部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20060802	後頭蓋窩髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20102600	骨内髄膜腫	D429	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20063537	斜台髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20088704	嗅窩髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20064580	小脳テント髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20064583	小脳円蓋部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100902	小脳橋角部悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20064588	小脳橋角部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20091397	錐体斜台部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20066508	髄膜腫	D329	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20066510	髄膜腫瘍	D429	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20066980	脊髄硬膜外髄膜腫	D321	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20066984	脊髄硬膜内髄外髄膜腫	D321	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20067003	脊髄髄膜腫	D321	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20067004	脊髄髄膜腫瘍	D421	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20067028	脊髄多発性髄膜腫	D321	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20067984	線維芽細胞性髄膜腫	D329	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20068174	前頭髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20073170	脳室髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20069141	多発性髄膜腫	D329	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20069543	大孔髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100900	大脳鎌悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20069835	大脳鎌髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20070600	中頭蓋窩髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100901	蝶形骨縁悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20070896	蝶形骨髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20070901	蝶形骨平面髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20070902	蝶形骨稜髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20071747	頭頂部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20072409	肉腫性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20073211	脳髄膜腫瘍	D420	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20100899	傍矢状洞悪性髄膜腫	C700	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20076089	傍矢状洞髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	59	髄膜腫	20078194	嗅溝部髄膜腫	D320	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	60	頭蓋咽頭腫	20087442	悪性頭蓋咽頭腫	C752	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	60	頭蓋咽頭腫	20071621	頭蓋咽頭腫	D444	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	60	頭蓋咽頭腫	20087649	良性頭蓋咽頭腫	D353	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	61	頭蓋内胚細胞腫瘍	20098131	頭蓋内胚細胞腫瘍	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20066940	脊索腫	C809	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20096012	胸椎脊索腫	C412	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20096010	頸椎脊索腫	C412	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20096013	腰椎脊索腫	C412	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20063468	軸椎脊索腫	C412	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20096008	斜台部脊索腫	C410	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20067331	仙骨部脊索腫	C414	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20096007	頭蓋底脊索腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	62	脊索腫	20071712	頭蓋部脊索腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	63	退形成性星細胞腫	20098927	前頭葉退形成性星細胞腫	C711	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	63	退形成性星細胞腫	20098929	側頭葉退形成性星細胞腫	C712	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	63	退形成性星細胞腫	20098924	退形成性星細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	64	びまん性星細胞腫	20098919	びまん性星細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101523	小脳乏突起神経膠腫	C716	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101527	前頭葉退形成性乏突起膠腫	C711	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101515	前頭葉乏突起神経膠腫	C711	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101529	側頭葉退形成性乏突起膠腫	C712	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101517	側頭葉乏突起神経膠腫	C712	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101525	退形成性乏突起膠腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101521	大脳乏突起神経膠腫	C710	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101531	頭頂葉退形成性乏突起膠腫	C713	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20101519	頭頂葉乏突起神経膠腫	C713	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	65	乏突起神経膠腫	20076082	乏突起神経膠腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	66	未分化神経外胚葉性腫瘍（中枢性のものに限る。）				
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	67	脈絡叢乳頭腫	20068661	側脳室脈絡叢乳頭腫	D330	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	67	脈絡叢乳頭腫	20069954	第3脳室脈絡叢乳頭腫	D330	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	67	脈絡叢乳頭腫	20069967	第4脳室脈絡叢乳頭腫	D331	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	67	脈絡叢乳頭腫	20076717	脈絡叢乳頭腫	D330	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	68	毛様細胞性星細胞腫	20098915	小脳毛様細胞性星細胞腫	C716	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	68	毛様細胞性星細胞腫	20098912	側頭葉毛様細胞性星細胞腫	C712	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	68	毛様細胞性星細胞腫	20098909	毛様細胞性星細胞腫	C719	
1	悪性新生物群	6	中枢神経系腫瘍	69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍				
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20053950	悪性脊髄腫瘍	C720	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20098906	頸髄星細胞腫	C720	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20062979	視神経膠腫	C723	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20066999	脊髄神経膠腫	C720	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20098904	脊髄星細胞腫	C720	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20079584	聴神経膠腫	C724	
1	悪性新生物群	6		69	48から68までに掲げるもののほか、中枢神経系腫瘍	20073194	脳神経悪性腫瘍	C725	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	20	巣状分節性糸球体硬化症	20100264	巣状分節性糸球体硬化症	N051	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	20	巣状分節性糸球体硬化症	20104223	巣状分節性糸球体硬化症ネフローゼ症候群	N041	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	21	微小変化型ネフローゼ症候群	20074573	微小変化型ネフローゼ症候群	N040	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	22	びまん性メサンギウム硬化症	20103455	びまん性メサンギウム硬化症	N048	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	23	フィンランド型先天性ネフローゼ症候群	20103454	フィンランド型先天性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	24	膜性腎症	20076228	膜性腎症	N052	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20050625	びまん性管内増殖性糸球体腎炎ネフローゼ症候群	N044	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20050654	びまん性膜性糸球体腎炎ネフローゼ症候群	N042	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20052120	ステロイド依存性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20052126	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20052373	デンスデポジット病ネフローゼ症候群	N046	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20052494	ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20103432	一次性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20064480	小児ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20067406	先天性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20072347	二次性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20072326	難治性ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	1	ネフローゼ症候群	25	20から24までに掲げるもののほか、ネフローゼ症候群	20075074	頻回再発型ネフローゼ症候群	N049	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	29	IgA腎症	20050234	I g A 腎症	N028	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	30	エプスタイン症候群	20101126	エプスタイン症候群	D696	H905
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	31	急速進行性糸球体腎炎（顕微鏡的多発血管炎によるもの）	20058687	急速進行性糸球体腎炎	N019	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	32	急速進行性糸球体腎炎（多発血管炎性肉芽腫症によるもの）	20058687	急速進行性糸球体腎炎	N019	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	33	抗糸球体基底膜腎炎（グッドパスチャー 症候群）	20101068	抗糸球体基底膜腎炎	N017	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	33	抗糸球体基底膜腎炎（グッドパスチャー 症候群）	20051726	グッドパスチャー症候群	M310	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	34	紫斑病性腎炎	20062864	紫斑病腎炎	D690	N082
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	35	ネイル・パテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）	20071191	爪・膝蓋骨症候群	Q872	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	36	非典型溶血性尿毒症症候群	20099615	非典型溶血性尿毒症症候群	D593	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	37	フィブロネクチン腎症	20103456	フィブロネクチン腎症	N078	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	38	膜性増殖性糸球体腎炎	20103433	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	38	膜性増殖性糸球体腎炎	20076229	膜性増殖性糸球体腎炎	N055	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	38	膜性増殖性糸球体腎炎	20079996	膜性増殖性糸球体腎炎 1 型	N055	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	38	膜性増殖性糸球体腎炎	20076230	膜性増殖性糸球体腎炎 2 型	N056	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	38	膜性増殖性糸球体腎炎	20076231	膜性増殖性糸球体腎炎 3 型	N055	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	39	慢性糸球体腎炎（アルポート 症候群によるものに限る。）	20076461	慢性糸球体腎炎	N039	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	40	メサンギウム増殖性糸球体腎炎（IgA腎症を除く。）	20053383	メサンギウム増殖性糸球体腎炎	N053	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	40	メサンギウム増殖性糸球体腎炎（IgA腎症を除く。）	20058139	急性びまん性メサンギウム増殖性糸球体腎炎	N003	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	40	メサングウム増殖性糸球体腎炎（IgA腎症を除く。）	20076289	慢性びまん性メサングウム増殖性糸球体腎炎	N033	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	41	リポタンパク糸球体症	20103457	リポタンパク糸球体症	N078	
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	42	ループス腎炎	20053692	ループス腎炎	M321	N085
2	慢性腎疾患	2	慢性糸球体腎炎	43	29から42までに掲げるもののほか、慢性糸球体腎炎				
2	慢性腎疾患	3	慢性尿細管間質性腎炎（尿路	47	慢性尿細管間質性腎炎（尿路奇形が原因のものを除く。）	20076575	慢性尿細管間質性腎炎	N119	
2	慢性腎疾患	4	慢性腎盂腎炎	44	慢性腎盂腎炎	20058109	逆流性腎症	N110	
2	慢性腎疾患	4	慢性腎盂腎炎	44	慢性腎盂腎炎	20074531	非閉塞性慢性腎盂腎炎	N118	
2	慢性腎疾患	4	慢性腎盂腎炎	44	慢性腎盂腎炎	20076511	慢性腎盂腎炎	N119	
2	慢性腎疾患	5	アミロイド腎	1	アミロイド腎	20066203	腎アミロイドーシス	E850	N298
2	慢性腎疾患	5	アミロイド腎	1	アミロイド腎	20103764	遺伝性腎アミロイドーシス	E850	
2	慢性腎疾患	6	家族性若年性高尿酸血症性腎	3	家族性若年性高尿酸血症性腎症	20100724	家族性若年性高尿酸血症性腎症	E790	N189
2	慢性腎疾患	7	ネフロン癆	26	ネフロン癆	20103459	ネフロンろう	Q615	
2	慢性腎疾患	7	ネフロン癆	26	ネフロン癆	20086905	家族性若年性ネフロンろう	Q615	
2	慢性腎疾患	7	ネフロン癆	26	ネフロン癆	20103468	思春期ネフロンろう	Q615	
2	慢性腎疾患	7	ネフロン癆	26	ネフロン癆	20103465	若年性ネフロンろう	Q615	
2	慢性腎疾患	7	ネフロン癆	26	ネフロン癆	20103462	乳児ネフロンろう	Q615	
2	慢性腎疾患	8	腎血管性高血圧	12	腎血管性高血圧	20066231	腎血管性高血圧症	I150	
2	慢性腎疾患	9	腎静脈血栓症	13	腎静脈血栓症	20066274	腎静脈血栓症	I823	
2	慢性腎疾患	10	腎動静脈瘻	14	腎動静脈瘻	20100747	腎動静脈瘻	I770	
2	慢性腎疾患	10	腎動静脈瘻	14	腎動静脈瘻	20100749	先天性腎動静脈瘻	Q273	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20097589	1型尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20080006	遠位尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20097552	2型尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20080000	近位尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20097618	4型尿細管性アシドーシス	E274	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20080002	一次性近位尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20060482	原発性尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20072731	尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	11	尿細管性アシドーシス	16	尿細管性アシドーシス	20080003	二次性近位尿細管性アシドーシス	N258	
2	慢性腎疾患	12	ギッテルマン症候群	4	ギッテルマン症候群	20086525	ギッテルマン症候群	E268	
2	慢性腎疾患	13	パーター症候群	27	パーター症候群	20052560	パーター症候群	E268	
2	慢性腎疾患	13	パーター症候群	27	パーター症候群	20087123	偽性パーター症候群	E876	
2	慢性腎疾患	14	腎尿管結石	15	腎尿管結石	20066312	腎尿管結石	N202	
2	慢性腎疾患	15	慢性腎不全	45	慢性腎不全（急性尿細管壊死または腎虚血によるものに限る。）	20076509	慢性腎不全	N189	
2	慢性腎疾患	15	慢性腎不全	46	慢性腎不全（腎腫瘍によるものに限る。）	20076509	慢性腎不全	N189	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	5	寡巨大糸球体症	20103471	寡巨大糸球体症	Q604	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	6	腎無形成	20066322	腎無形成	Q602	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	7	多嚢胞性異形成腎	20102135	多のう胞性異形成腎	Q614	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	8	多発性嚢胞腎	20099464	常染色体優性多発性のう胞腎	Q612	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	8	多発性嚢胞腎	20099465	常染色体劣性多発性のう胞腎	Q611	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	8	多発性嚢胞腎	20069076	多発性のう胞腎	Q613	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	9	低形成腎	20071290	低形成腎	Q605	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	10	ポッター症候群	20053233	ポッター症候群	Q606	
2	慢性腎疾患	16	腎奇形	11	5から10までに掲げるもののほか、腎奇形	20066219	腎奇形	Q639	
2	慢性腎疾患	17	尿路奇形	17	閉塞性尿路疾患	20072846	尿路閉塞	N139	
2	慢性腎疾患	17	尿路奇形	18	膀胱尿管逆流（下部尿路の閉塞性尿路疾患による場合を除く。）	20067865	先天性膀胱尿管逆流	Q627	
2	慢性腎疾患	17	尿路奇形	18	膀胱尿管逆流（下部尿路の閉塞性尿路疾患による場合を除く。）	20078842	膀胱尿管逆流	N137	
2	慢性腎疾患	17	尿路奇形	19	17及び18に掲げるもののほか、尿路奇形	20072835	尿路奇形	Q649	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
2	慢性腎疾患	18	萎縮腎（尿路奇形が原因のもの	2	萎縮腎（尿路奇形が原因のものを除く。）	20054317	萎縮腎	N26	
2	慢性腎疾患	18	萎縮腎（尿路奇形が原因のもの	2	萎縮腎（尿路奇形が原因のものを除く。）	20098870	多のう胞化萎縮腎	N281	Z992
2	慢性腎疾患	18	萎縮腎（尿路奇形が原因のもの	2	萎縮腎（尿路奇形が原因のものを除く。）	20062309	細動脈硬化性萎縮腎	I129	
2	慢性腎疾患	18	萎縮腎（尿路奇形が原因のもの	2	萎縮腎（尿路奇形が原因のものを除く。）	20071915	動脈硬化性萎縮腎	I129	
2	慢性腎疾患	19	ファンコーニ症候群	28	ファンコーニ症候群	20080004	ファンコーニ症候群	E720	
2	慢性腎疾患	20	ロウ症候群	48	ロウ症候群	20053762	ロウ症候群	E720	
2	慢性腎疾患	20	ロウ症候群	48	ロウ症候群	20053763	ロウ症候群緑内障	E720	H420
3	慢性呼吸器疾患	1	気道狭窄	6	気道狭窄	20057949	気道狭窄	J988	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20050861	アトピー性喘息	J450	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20092807	ステロイド依存性喘息	J459	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20095556	咳喘息	J459	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20085358	運動誘発性喘息	J459	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20056864	感染型気管支喘息	J451	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20057913	気管支喘息	J459	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20057914	気管支喘息重積発作	J46	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20057915	気管支喘息発作	J46	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20062096	混合型喘息	J458	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20064525	小児喘息	J450	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20065444	心因性喘息	J451	
3	慢性呼吸器疾患	2	気管支喘息	5	気管支喘息	20072332	難治性喘息	J459	
3	慢性呼吸器疾患	3	先天性中枢性低換気症候群	8	先天性中枢性低換気症候群	20103483	先天性中枢性低換気症候群	G473	
3	慢性呼吸器疾患	4	間質性肺炎	1	先天性肺胞蛋白症（遺伝子異常が原因の間質性肺疾患を含む）	20101070	先天性肺胞蛋白症	J840	
3	慢性呼吸器疾患	4	間質性肺炎	2	特発性間質性肺炎	20072032	特発性間質性肺炎	J841	
3	慢性呼吸器疾患	4	間質性肺炎	3	肺胞微石症	20073695	肺胞微石症	J840	
3	慢性呼吸器疾患	5	線毛機能不全症候群	10	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	20102272	線毛機能不全症候群	Q348	
3	慢性呼吸器疾患	5	線毛機能不全症候群	10	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	20051501	カルタゲナー症候群	Q878	
3	慢性呼吸器疾患	6	嚢胞性線維症	12	嚢胞性線維症	20050596	のう胞性線維症	E849	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20079405	のう状気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20050629	びまん性気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20054871	円柱状気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20055430	下葉気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20057887	気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20059839	結核性気管支拡張症	A162	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20060543	限局性気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20062274	細気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20067480	先天性気管支拡張症	Q334	
3	慢性呼吸器疾患	7	気管支拡張症	4	気管支拡張症	20076408	慢性気管支拡張症	J47	
3	慢性呼吸器疾患	8	特発性肺ヘモジデロシス	11	特発性肺ヘモジデロシス	20100943	特発性肺ヘモジデロシス	E831	J998
3	慢性呼吸器疾患	9	慢性肺疾患	14	慢性肺疾患	20092570	新生児慢性肺疾患	P279	
3	慢性呼吸器疾患	10	閉塞性細気管支炎	13	閉塞性細気管支炎	20075799	閉塞性細気管支炎	J448	
3	慢性呼吸器疾患	11	先天性横隔膜ヘルニア	7	先天性横隔膜ヘルニア	20067431	先天性横隔膜ヘルニア	Q790	
3	慢性呼吸器疾患	12	先天性嚢胞性肺疾患	9	先天性嚢胞性肺疾患	20103485	先天性のう胞性肺疾患	Q330	
4	慢性心疾患	1	洞不全症候群	72	洞不全症候群	20071978	洞不全症候群	I495	
4	慢性心疾患	2	モビッツ2型ブロック	95	モビッツ2型ブロック	20087107	モビッツ2型第2度房室ブロック	I441	
4	慢性心疾患	3	完全房室ブロック	9	完全房室ブロック	20056836	完全房室ブロック	I442	
4	慢性心疾患	3	完全房室ブロック	9	完全房室ブロック	20069951	第3度房室ブロック	I442	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20054432	一過性脚ブロック	I454	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20054777	右脚ブロック	I451	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20056817	完全右脚ブロック	I451	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20056818	完全脚ブロック	I454	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20056824	完全左脚ブロック	I447	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20058091	脚ブロック	I454	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20062118	左脚ブロック	I447	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20075109	不完全右脚ブロック	I451	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20075110	不完全脚ブロック	I454	
4	慢性心疾患	4	脚ブロック	13	脚ブロック	20075114	不完全左脚ブロック	I447	
4	慢性心疾患	5	多源性心室期外収縮	67	多源性心室期外収縮	20095820	多源性心室期外収縮	I493	
4	慢性心疾患	6	上室頻拍	26	上室頻拍（WPW症候群によるものに限る。）	20050405	WPW症候群	I456	
4	慢性心疾患	6	上室頻拍	27	多源性心房頻拍	20103228	多源性心房頻拍	I471	
4	慢性心疾患	6	上室頻拍	28	26及び27に掲げるもののほか、上室頻拍	20095799	上室頻拍	I471	
4	慢性心疾患	6	上室頻拍	28	26及び27に掲げるもののほか、上室頻拍	20092901	発作性上室頻拍	I471	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	32	カテコラミン誘発多形性心室頻拍	20103231	カテコラミン誘発多形性心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	33	ベラパミル感受性心室頻拍	20103230	ベラパミル感受性心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	34	32及び33に掲げるもののほか、心室頻拍	20099452	持続性心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	34	32及び33に掲げるもののほか、心室頻拍	20065516	心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	34	32及び33に掲げるもののほか、心室頻拍	20093001	非持続性心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	7	心室頻拍	34	32及び33に掲げるもののほか、心室頻拍	20099559	無脈性心室頻拍	I472	
4	慢性心疾患	8	心房粗動	47	心房粗動	20054449	一過性心房粗動	I489	
4	慢性心疾患	8	心房粗動	47	心房粗動	20065614	心房粗動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096671	家族性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20073859	発作性心房細動	I480	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20099551	発作性頻脈性心房細動	I480	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096758	永続性心房細動	I482	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096670	孤立性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096665	持続性心房細動	I481	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20099461	術後心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20091393	徐脈性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20065610	心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096668	非弁膜症性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20099544	非弁膜症性発作性心房細動	I480	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20075078	頻拍型心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20099545	頻脈性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20096666	弁膜症性心房細動	I489	
4	慢性心疾患	9	心房細動	46	心房細動	20076501	慢性心房細動	I482	
4	慢性心疾患	10	心室細動	30	心室細動	20054446	一過性心室細動	I490	
4	慢性心疾患	10	心室細動	30	心室細動	20065506	心室細動	I490	
4	慢性心疾患	11	QT延長症候群	14	QT延長症候群	20050318	QT延長症候群	I458	
4	慢性心疾患	11	QT延長症候群	14	QT延長症候群	20085404	遺伝性QT延長症候群	I458	
4	慢性心疾患	11	QT延長症候群	14	QT延長症候群	20085406	特発性QT延長症候群	I458	
4	慢性心疾患	11	QT延長症候群	14	QT延長症候群	20085405	二次性QT延長症候群	I458	
4	慢性心疾患	11	QT延長症候群	14	QT延長症候群	20087195	薬物性QT延長症候群	I458	
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20095419	拡張相肥大型心筋症	I420	
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20095506	心室中部閉塞性心筋症	I421	
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20065529	心尖部肥大型心筋症	I422	
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20074325	肥大型心筋症	I422	
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20082599	非閉塞性肥大型心筋症	I422	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	12	肥大型心筋症	88	肥大型心筋症	20075808	閉塞性肥大型心筋症	I421	
4	慢性心疾患	13	不整脈源性右室心筋症	91	不整脈源性右室心筋症	20087187	不整脈源性右室心筋症	I428	
4	慢性心疾患	14	心筋緻密化障害	29	心筋緻密化障害	20100486	孤立性心筋緻密化障害	I424	
4	慢性心疾患	14	心筋緻密化障害	29	心筋緻密化障害	20100483	心筋緻密化障害	I424	
4	慢性心疾患	15	拡張型心筋症	4	拡張型心筋症	20072030	特発性拡張型心筋症	I420	
4	慢性心疾患	16	拘束型心筋症	20	拘束型心筋症	20061275	拘束型心筋症	I425	
4	慢性心疾患	16	拘束型心筋症	20	拘束型心筋症	20095585	特発性拘束型心筋症	I425	
4	慢性心疾患	17	心室瘤	35	心室瘤	20065517	心室瘤	I253	
4	慢性心疾患	17	心室瘤	35	心室瘤	20084034	心室瘤内血栓症	I513	
4	慢性心疾患	18	心内膜線維弾性症	45	心内膜線維弾性症	20065593	心内膜線維弾性症	I424	
4	慢性心疾患	19	心臓腫瘍	36	心臓腫瘍	20065548	心臓腫瘍	D487	
4	慢性心疾患	20	慢性心筋炎	92	慢性心筋炎	20076497	慢性心筋炎	I514	
4	慢性心疾患	21	慢性心膜炎	93	慢性心膜炎	20098777	放射線慢性心膜炎	I319	Y842
4	慢性心疾患	21	慢性心膜炎	93	慢性心膜炎	20076502	慢性心膜炎	I319	
4	慢性心疾患	22	収縮性心膜炎	25	収縮性心膜炎	20063912	収縮性心膜炎	I311	
4	慢性心疾患	22	収縮性心膜炎	25	収縮性心膜炎	20076483	慢性収縮性心膜炎	I311	
4	慢性心疾患	23	先天性心膜欠損症	53	先天性心膜欠損症	20067608	先天性心膜欠損症	Q248	
4	慢性心疾患	24	乳児特発性僧帽弁腱索断裂	76	乳児特発性僧帽弁腱索断裂	20103233	乳児特発性僧帽弁腱索断裂	I348	
4	慢性心疾患	25	冠動脈起始異常	10	左冠動脈肺動脈起始症	20102670	左冠動脈肺動脈起始症	Q245	
4	慢性心疾患	25	冠動脈起始異常	11	右冠動脈肺動脈起始症	20102674	右冠動脈肺動脈起始症	Q245	
4	慢性心疾患	25	冠動脈起始異常	12	10及び11に掲げるもののほか、冠動脈起始異常	20102668	冠動脈起始異常	Q245	
4	慢性心疾患	27	冠動脈狭窄症（川崎病による	6	冠動脈狭窄症（川崎病によるものを除く。）	20056779	冠状動脈狭窄症	I251	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20054038	異型狭心症	I201	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20054001	安静時狭心症	I208	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20099602	安定狭心症	I209	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20093103	冠攣縮性狭心症	I201	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20058911	狭心症	I209	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20097441	狭心症3枝病変	I209	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20101392	梗塞後狭心症	I238	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20064373	初発労作型狭心症	I200	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20068612	増悪労作型狭心症	I200	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20075097	不安定狭心症	I200	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20091806	微小血管性狭心症	I208	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20077191	夜間狭心症	I208	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20077956	労作性狭心症	I208	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	15	狭心症	20077955	労作時兼安静時狭心症	I208	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097410	S T上昇型急性心筋梗塞	I219	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20088384	急性右室梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058236	急性下後壁心筋梗塞	I211	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058237	急性下側壁心筋梗塞	I211	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058238	急性下壁心筋梗塞	I211	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058300	急性貫壁性心筋梗塞	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058310	急性基部側壁心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058345	急性後基部心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058346	急性後側部心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058348	急性後壁心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058349	急性後壁中隔心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097438	急性広範前壁心筋梗塞	I210	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058368	急性高位側壁心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20083957	急性心筋梗塞	I219	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058444	急性心筋梗塞後心室中隔穿孔	I232	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20084100	急性心筋梗塞後心室内血栓症	I236	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058446	急性心筋梗塞後心破裂	I233	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058447	急性心筋梗塞後心房中隔穿孔	I231	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20084091	急性心筋梗塞後心房内血栓症	I236	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058449	急性心筋梗塞後心膜血腫	I230	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058450	急性心筋梗塞後乳頭筋断裂	I235	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058451	急性心筋梗塞後乳頭筋不全症	I235	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058452	急性心筋梗塞後腱索断裂	I234	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097439	急性心尖部側壁心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058457	急性心内膜下梗塞	I214	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058496	急性前側壁心筋梗塞	I210	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058499	急性前壁心筋梗塞	I210	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097440	急性前壁心尖部心筋梗塞	I210	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058501	急性前壁中隔心筋梗塞	I210	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058506	急性側壁心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20058523	急性中隔心筋梗塞	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062227	再発性下壁心筋梗塞	I221	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062234	再発性後壁心筋梗塞	I228	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062245	再発性側壁心筋梗塞	I228	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062238	再発性心筋梗塞	I229	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062242	再発性前壁心筋梗塞	I220	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20062249	再発性中隔心筋梗塞	I220	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20083958	陳旧性心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20083960	心筋梗塞	I219	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20065481	心筋梗塞後症候群	I241	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20052447	ドレッシングラー症候群	I241	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097480	心室中隔穿孔・急性心筋梗塞に合併	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097481	心室内血栓症・急性心筋梗塞に合併	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097485	心尖部血栓症・急性心筋梗塞に合併	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097490	心破裂・急性心筋梗塞に合併	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097491	心房中隔穿孔・急性心筋梗塞に合併	I212	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097492	心房内血栓症・急性心筋梗塞に合併	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097493	心膜血腫・急性心筋梗塞に合併	I213	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20071011	陳旧性下壁心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20071025	陳旧性後壁心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20098832	陳旧性前壁心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20071045	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20071049	陳旧性側壁心筋梗塞	I252	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097523	乳頭筋断裂・急性心筋梗塞に合併	I211	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097524	乳頭筋不全症・急性心筋梗塞に合併	I211	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097526	非Q波心筋梗塞	I219	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097527	非S T上昇型心筋梗塞	I219	
4	慢性心疾患	28	虚血性心疾患	16	心筋梗塞	20097450	腱索断裂・急性心筋梗塞に合併	I211	
4	慢性心疾患	29	左心低形成症候群	22	左心低形成症候群	20062132	左心低形成症候群	Q234	
4	慢性心疾患	30	単心室症	68	単心室症	20054781	右室型単心室症	Q204	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	30	単心室症	68	単心室症	20062124	左室型単心室症	Q204	
4	慢性心疾患	30	単心室症	68	単心室症	20070096	単心室症	Q204	
4	慢性心疾患	31	三尖弁閉鎖症	24	三尖弁閉鎖症	20062373	三尖弁閉鎖症	Q224	
4	慢性心疾患	32	肺動脈閉鎖症	84	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	20101191	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	Q213	
4	慢性心疾患	32	肺動脈閉鎖症	85	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	20101192	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	Q255	
4	慢性心疾患	32	肺動脈閉鎖症	85	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	20100665	純型肺動脈閉鎖	Q255	
4	慢性心疾患	33	ファロー四徴症	89	ファロー四徴症	20052810	ファロー四徴症	Q213	
4	慢性心疾患	33	ファロー四徴症	89	ファロー四徴症	20093491	極型ファロー四徴	Q213	
4	慢性心疾患	34	両大血管右室起始症	96	タウジッヒ・ピング奇形	20087574	タウジッヒ・ピング症候群	Q201	
4	慢性心疾患	34	両大血管右室起始症	97	両大血管右室起始症（タウジッヒ・ピング奇形を除く。）	20077716	両大血管右室起始症	Q201	
4	慢性心疾患	35	両大血管左室起始症	98	両大血管左室起始症	20077717	両大血管左室起始症	Q202	
4	慢性心疾患	36	川崎病性冠動脈瘤	5	川崎病性冠動脈瘤	20067901	川崎病性冠動脈瘤	M303	
4	慢性心疾患	36	完全大血管転位症	8	完全大血管転位症	20056829	完全大血管転位症	Q203	
4	慢性心疾患	36	完全大血管転位症	8	完全大血管転位症	20101056	完全大血管転位症 1 型	Q203	
4	慢性心疾患	36	完全大血管転位症	8	完全大血管転位症	20101057	完全大血管転位症 2 型	Q203	
4	慢性心疾患	36	完全大血管転位症	8	完全大血管転位症	20101058	完全大血管転位症 3 型	Q203	
4	慢性心疾患	37	先天性修正大血管転位症	52	先天性修正大血管転位症	20063960	修正大血管転位	Q205	
4	慢性心疾患	38	エプスタイン病	3	エプスタイン病	20101124	エプスタイン病	Q225	
4	慢性心疾患	39	総動脈幹遺残症	54	総動脈幹遺残症	20068598	総動脈幹	Q200	
4	慢性心疾患	39	総動脈幹遺残症	54	総動脈幹遺残症	20068599	総動脈幹遺残症	Q200	
4	慢性心疾患	40	大動脈肺動脈窓	63	大動脈肺動脈窓	20069810	大動脈肺動脈窓	Q214	
4	慢性心疾患	41	三心房心	23	三心房心	20062364	三心房心	Q242	
4	慢性心疾患	42	動脈管開存症	73	動脈管開存症	20071905	動脈管開存症	Q250	
4	慢性心疾患	42	動脈管開存症	73	動脈管開存症	20103130	未熟児動脈管開存症	Q250	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	48	静脈洞型心房中隔欠損症	20090348	冠静脈洞型心房中隔欠損症	Q211	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	48	静脈洞型心房中隔欠損症	20103991	静脈洞型心房中隔欠損症	Q211	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	49	単心房症	20070097	単心房症	Q212	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	50	二次孔型心房中隔欠損症	20103989	二次孔型心房中隔欠損症	Q211	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	51	不完全型房室中隔欠損症（不完全型心内膜床欠損症）	20085385	不完全型房室中隔欠損症	Q212	
4	慢性心疾患	43	心房中隔欠損症	51	不完全型房室中隔欠損症（不完全型心内膜床欠損症）	20075111	不完全型心内膜床欠損症	Q212	
4	慢性心疾患	44	完全型房室中隔欠損症	7	完全型房室中隔欠損症（完全型心内膜床欠損症）	20085384	完全型房室中隔欠損症	Q212	
4	慢性心疾患	44	完全型房室中隔欠損症	7	完全型房室中隔欠損症（完全型心内膜床欠損症）	20056820	完全型心内膜床欠損症	Q212	
4	慢性心疾患	45	心室中隔欠損症	31	心室中隔欠損症	20068939	続発性心室中隔欠損	I510	
4	慢性心疾患	45	心室中隔欠損症	31	心室中隔欠損症	20065511	心室中隔欠損症	Q210	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	77	総肺静脈還流異常症	20055411	下部心臓型総肺静脈還流異常症	Q262	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	77	総肺静脈還流異常症	20062089	混合型総肺静脈還流異常症	Q262	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	77	総肺静脈還流異常症	20065006	上部心臓型総肺静脈還流異常症	Q262	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	77	総肺静脈還流異常症	20065542	心臓型総肺静脈還流異常症	Q262	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	77	総肺静脈還流異常症	20068604	総肺静脈還流異常	Q262	
4	慢性心疾患	46	肺静脈還流異常症	78	部分肺静脈還流異常症	20075205	部分肺静脈還流異常	Q263	
4	慢性心疾患	47	肺静脈狭窄症	79	肺静脈狭窄症	20102697	先天性肺静脈狭窄症	Q268	
4	慢性心疾患	47	肺静脈狭窄症	79	肺静脈狭窄症	20093555	肺静脈狭窄症	I288	
4	慢性心疾患	48	左室右房交通症	21	左室右房交通症	20101426	後天性左室右房交通症	I510	
4	慢性心疾患	48	左室右房交通症	21	左室右房交通症	20101425	左室右房交通症	Q210	
4	慢性心疾患	48	左室右房交通症	21	左室右房交通症	20101427	弁下型左室右房交通症	Q210	
4	慢性心疾患	49	右室二腔症	2	右室二腔症	20097801	右室二腔症	Q248	
4	慢性心疾患	50	肺動脈弁下狭窄症	86	肺動脈弁下狭窄症	20083964	肺動脈弁下狭窄症	Q243	
4	慢性心疾患	51	大動脈弁下狭窄症	64	大動脈弁下狭窄症	20069816	大動脈弁下部狭窄症	Q244	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	52	肺動脈狭窄症	80	肺動脈弁上狭窄症	20088988	肺動脈弁上狭窄症	Q256	
4	慢性心疾患	52	肺動脈狭窄症	81	末梢性肺動脈狭窄症	20089061	末梢性肺動脈狭窄症	Q256	
4	慢性心疾患	53	肺動脈弁欠損	87	肺動脈弁欠損	20093495	肺動脈弁欠損	Q223	
4	慢性心疾患	54	肺動脈上行大動脈起始症	82	肺動脈上行大動脈起始症	20103234	右肺動脈上行大動脈起始症	Q257	
4	慢性心疾患	54	肺動脈上行大動脈起始症	82	肺動脈上行大動脈起始症	20103235	左肺動脈上行大動脈起始症	Q257	
4	慢性心疾患	55	一側肺動脈欠損	1	一側肺動脈欠損				
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	58	ウィリアムズ症候群	20087409	ウィリアムズ症候群	Q253	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	59	大動脈縮窄症	20069801	大動脈縮窄症	Q251	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	60	大動脈縮窄複合	20103240	大動脈縮窄複合	Q251	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	61	大動脈弁上狭窄症	20087579	大動脈弁上狭窄症	Q253	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	62	58から61までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症	20084060	結節状石灰化大動脈狭窄症	I700	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	62	58から61までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症	20084086	石灰沈着性大動脈狭窄症	I700	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	62	58から61までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症	20084076	大動脈狭窄症	Q253	
4	慢性心疾患	56	大動脈狭窄症	62	58から61までに掲げるもののほか、大動脈狭窄症	20072497	乳児型大動脈狭窄症	Q253	
4	慢性心疾患	57	大動脈弓閉塞症	56	大動脈弓閉塞症（大動脈弓離断複合を除く。）	20103489	大動脈弓閉塞症	Q254	
4	慢性心疾患	57	大動脈弓閉塞症	57	大動脈弓離断複合	20103241	大動脈弓離断複合	Q251	
4	慢性心疾患	58	血管輪	17	左肺動脈右肺動脈起始症	20102698	左肺動脈右肺動脈起始症	Q257	
4	慢性心疾患	58	血管輪	18	重複大動脈弓症	20064140	重複大動脈弓	Q254	
4	慢性心疾患	58	血管輪	19	17及び18に掲げるもののほか、血管輪	20103573	血管輪	Q254	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20087463	下行胸部大動脈瘤	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055759	解離性胸部大動脈瘤	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055763	解離性大動脈瘤	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055764	解離性大動脈瘤 De B a k e y l	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055765	解離性大動脈瘤 De B a k e y l l	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055766	解離性大動脈瘤 De B a k e y l l l a	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20055767	解離性大動脈瘤 De B a k e y l l l b	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20087115	解離性大動脈瘤 S t a n f o r d A	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20087116	解離性大動脈瘤 S t a n f o r d B	I710	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20093682	感染性胸部大動脈瘤	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20093683	感染性腹部大動脈瘤	I714	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20087478	弓部大動脈瘤	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20059108	胸部大動脈瘤	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20059109	胸部大動脈瘤切迫破裂	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20059110	胸部大動脈瘤破裂	I711	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20059142	胸腹部大動脈瘤	I716	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20079326	胸腹部大動脈瘤破裂	I715	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20064858	上行胸部大動脈瘤	I712	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20067494	先天性巨大動脈瘤	Q278	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20067673	先天性大動脈瘤	Q254	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20069832	大動脈瘤	I719	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20075418	腹部大動脈瘤	I714	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20073414	破裂性胸部大動脈瘤	I711	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20073415	破裂性胸腹部大動脈瘤	I715	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20073419	破裂性腹部大動脈瘤	I713	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20073749	梅毒性大動脈瘤	A520	I790
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20075419	腹部大動脈瘤切迫破裂	I714	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	65	大動脈瘤（バルサルバ洞動脈瘤を除く。）	20075420	腹部大動脈瘤破裂	I713	
4	慢性心疾患	59	大動脈瘤	66	バルサルバ洞動脈瘤	20052588	バルサルバ洞動脈瘤	Q254	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	69	冠動脈瘻	20103726	先天性冠動脈瘻	Q245	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	70	肺動静脈瘻	20067771	先天性肺動静脈瘻	Q257	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	70	肺動静脈瘻	20073645	肺動静脈瘻	I280	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20056276	外傷性硬膜動静脈瘻	T145	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20056334	外傷性動静脈瘻	T145	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20056791	冠動静脈瘻	I254	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20057712	顔面動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20087489	頸部動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20100753	後天性脊髄硬膜動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20060772	後天性動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20060777	後天性脳動静脈瘻	I671	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20088061	硬膜動静脈瘻	I671	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20091977	先天性硬膜動静脈瘻	Q282	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20088938	脊髄硬膜動静脈瘻	Q273	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20067036	脊髄動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20100752	脊髄辺縁部動静脈瘻	Q273	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20067719	先天性動静脈瘻	Q273	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20071892	動静脈瘻	I770	
4	慢性心疾患	60	動静脈瘻	71	69及び70に掲げるもののほか、動静脈瘻	20073282	脳動静脈瘻	I671	
4	慢性心疾患	61	肺動脈性肺高血圧症	83	肺動脈性肺高血圧症	20095588	特発性肺動脈性肺高血圧症	I270	
4	慢性心疾患	61	肺動脈性肺高血圧症	83	肺動脈性肺高血圧症	20092001	肺動脈性肺高血圧症	I270	
4	慢性心疾患	62	慢性肺性心	94	慢性肺性心	20076591	慢性肺性心	I279	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20053535	リウマチ性三尖弁狭窄症	I070	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20062368	三尖弁狭窄症	I070	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20101950	三尖弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20067558	先天性三尖弁狭窄症	Q224	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20101930	僧帽弁狭窄症兼三尖弁狭窄症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20101918	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁狭窄症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20101948	大動脈弁狭窄症兼三尖弁狭窄症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20101946	大動脈弁閉鎖不全症兼三尖弁狭窄症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	37	三尖弁狭窄症	20074371	非リウマチ性三尖弁狭窄症	I360	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20053537	リウマチ性三尖弁閉鎖不全症	I071	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20062366	三尖弁逆流	I071	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20062374	三尖弁閉鎖不全症	I071	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101944	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101942	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20091409	先天性三尖弁閉鎖不全症	Q228	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101928	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101916	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101940	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101967	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101969	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101938	大動脈弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101971	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20101973	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	38	三尖弁閉鎖不全症	20074373	非リウマチ性三尖弁閉鎖不全症	I361	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20067654	先天性僧帽弁狭窄症	Q232	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20083986	僧帽弁狭窄症	I050	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101930	僧帽弁狭窄症兼三尖弁狭窄症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101928	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101936	僧帽弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101959	大動脈弁狭窄症兼閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101934	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101967	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101932	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20101971	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	39	僧帽弁狭窄症	20074374	非リウマチ性僧帽弁狭窄症	I342	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20053551	リウマチ性僧帽弁閉鎖不全症	I051	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20067656	先天性僧帽弁閉鎖不全症	Q233	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20068461	僧帽弁逆流症	I340	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20068470	僧帽弁閉鎖不全症	I340	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101918	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁狭窄症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101916	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I081	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101926	僧帽弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101924	僧帽弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101961	大動脈弁狭窄症兼閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101922	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101969	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101920	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	40	僧帽弁閉鎖不全症	20101973	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101956	リウマチ性大動脈弁狭窄症	I060	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20084090	先天性大動脈弁狭窄症	Q230	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101963	僧帽弁狭窄症兼閉鎖不全症兼大動脈弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20069819	大動脈弁狭窄症	I350	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101948	大動脈弁狭窄症兼三尖弁狭窄症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101940	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101934	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101967	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101922	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101969	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	41	大動脈弁狭窄症	20101957	大動脈弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20053559	リウマチ性大動脈弁閉鎖不全症	I061	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20067672	先天性大動脈弁閉鎖不全症	Q231	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101965	僧帽弁狭窄症兼閉鎖不全症兼大動脈弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20069818	大動脈弁逆流症	I351	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20069827	大動脈弁閉鎖不全症	I351	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101946	大動脈弁閉鎖不全症兼三尖弁狭窄症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101938	大動脈弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I082	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101932	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101971	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101920	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	I080	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101973	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	I083	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101954	大動脈弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20101952	大動脈弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	42	大動脈弁閉鎖不全症	20073748	梅毒性大動脈弁閉鎖不全症	A520	I391
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	43	肺動脈弁狭窄症	20101944	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	43	肺動脈弁狭窄症	20084079	先天性肺動脈弁狭窄症	Q221	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	43	肺動脈弁狭窄症	20101926	僧帽弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	43	肺動脈弁狭窄症	20101954	大動脈弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	43	肺動脈弁狭窄症	20073663	肺動脈弁狭窄症	I370	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101950	三尖弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101942	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20083967	先天性肺動脈弁閉鎖不全症	Q222	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101936	僧帽弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101924	僧帽弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101957	大動脈弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20101952	大動脈弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	I088	
4	慢性心疾患	63	心臓弁膜症	44	肺動脈弁閉鎖不全症	20073668	肺動脈弁閉鎖不全症	I371	
4	慢性心疾患	64	僧帽弁弁上輪	55	僧帽弁弁上輪	20103242	僧帽弁弁上輪	Q232	
4	慢性心疾患	65	内臓錯位症候群	74	多脾症候群	20069222	多脾症候群	Q890	
4	慢性心疾患	65	内臓錯位症候群	75	無脾症候群	20076861	無脾症候群	Q890	
4	慢性心疾患	66	フォンタン術後症候群	90	フォンタン術後症候群	20102667	フォンタン術後症候群	I971	
5	内分泌疾患	1	下垂体機能低下症	4	後天性下垂体機能低下症	20103620	後天性下垂体機能低下症	E230	
5	内分泌疾患	1	下垂体機能低下症	5	先天性下垂体機能低下症	20103619	先天性下垂体機能低下症	E230	
5	内分泌疾患	2	下垂体性巨人症	6	下垂体性巨人症	20055285	下垂体性巨人症	E220	
5	内分泌疾患	3	先端巨大症	55	先端巨大症	20067368	先端巨大症	E220	
5	内分泌疾患	4	成長ホルモン分泌不全性低身	45	成長ホルモン（GH）分泌不全性低身長症（脳の器質的異常	20087886	成長ホルモン分泌不全性低身長症	E230	
5	内分泌疾患	4	成長ホルモン分泌不全性低身	46	成長ホルモン（GH）分泌不全性低身長症（脳の器質的異常	20087886	成長ホルモン分泌不全性低身長症	E230	
5	内分泌疾患	5	成長ホルモン不応性症候群	43	インスリン様成長因子1（IGF-1）不応症	20103480	インスリン様成長因子1不応症	E343	
5	内分泌疾患	5	成長ホルモン不応性症候群	44	成長ホルモン不応性症候群（インスリン様成長因子1不応	20087887	ラロン型低身長症	E343	
5	内分泌疾患	6	高プロラクチン血症	33	高プロラクチン血症	20061566	高プロラクチン血症	E221	
5	内分泌疾患	6	高プロラクチン血症	33	高プロラクチン血症	20061567	高プロラクチン血症性無月経	E221	N911
5	内分泌疾患	6	高プロラクチン血症	33	高プロラクチン血症	20094931	潜在性高プロラクチン血症	E221	
5	内分泌疾患	6	高プロラクチン血症	33	高プロラクチン血症	20094929	薬剤性高プロラクチン血症	E221	
5	内分泌疾患	7	抗利尿ホルモン（ADH）不適	34	抗利尿ホルモン（ADH）不適切分泌症候群	20061270	抗利尿ホルモン不適切分泌症候群	E222	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	73	口渇中枢障害を伴う高ナトリウム血症（本態性高ナトリウ	20076156	本態性高ナトリウム血症	E870	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	74	腎性尿崩症	20100946	先天性腎性尿崩症	N251	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	74	腎性尿崩症	20066269	腎性尿崩症	N251	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20095428	家族性中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20100516	完全型中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20101412	術後中枢性尿崩症	E232	Y838
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20095572	続発性中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20072371	二次性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20070556	中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20095587	特発性中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	8	尿崩症	75	中枢性尿崩症	20100517	部分型中枢性尿崩症	E232	
5	内分泌疾患	9	中枢性塩喪失症候群	67	中枢性塩喪失症候群	20103478	中枢性塩喪失症候群	E871	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20054442	一過性甲状腺機能亢進症	E059	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20054452	一過性新生児甲状腺機能亢進症	P721	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20055287	下垂体性甲状腺機能亢進症	E058	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20072356	二次性甲状腺機能亢進症	E058	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20058037	偽性甲状腺機能亢進症	E059	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20060450	原発性甲状腺機能亢進症	E059	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20061330	甲状腺機能亢進症	E059	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20065738	新生児甲状腺機能亢進症	P721	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	23	甲状腺機能亢進症（バセドウ病を除く。）	20075549	分娩後甲状腺機能亢進症	O992	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	24	バセドウ病	20051767	グレーブス病	E050	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	24	バセドウ病	20052576	バセドウ病	E050	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	24	バセドウ病	20084238	バセドウ病眼症	E050	H588
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	24	バセドウ病	20052577	バセドウ病術後再発	E050	
5	内分泌疾患	10	甲状腺機能亢進症	24	バセドウ病	20089146	バセドウ病母体児	P008	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	25	萎縮性甲状腺炎	20054327	萎縮性甲状腺炎	E063	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	26	橋本病	20063413	自己免疫性甲状腺炎	E063	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	26	橋本病	20058902	橋本病	E063	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	26	橋本病	20076440	慢性甲状腺炎	E063	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	26	橋本病	20091747	橋本病母体より出生した児	P008	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	27	25及び26に掲げるもののほか、後天性甲状腺機能低下症	20061326	甲状腺機能低下症	E039	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	28	異所性甲状腺	20086635	異所性甲状腺	Q892	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	28	異所性甲状腺	20054062	異所性甲状腺腫	E049	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	29	甲状腺刺激ホルモン（TSH）分泌低下症（先天性に限る。）	20103479	先天性TSH分泌低下症	E230	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	30	無甲状腺症	20061377	甲状腺無形成	E031	
5	内分泌疾患	11	甲状腺機能低下症	31	28から30までに掲げるもののほか、先天性甲状腺機能低下症	20067547	先天性甲状腺機能低下症	E031	
5	内分泌疾患	12	甲状腺ホルモン不応症	32	甲状腺ホルモン不応症	20061309	甲状腺ホルモン不応症	E078	
5	内分泌疾患	13	腺腫様甲状腺腫	54	腺腫様甲状腺腫	20068027	腺腫様甲状腺腫	E049	
5	内分泌疾患	14	副甲状腺機能亢進症	78	副甲状腺機能亢進症	20082458	原発性副甲状腺機能亢進症	E210	
5	内分泌疾患	14	副甲状腺機能亢進症	78	副甲状腺機能亢進症	20091396	腎原性続発性副甲状腺機能亢進症	N258	
5	内分泌疾患	14	副甲状腺機能亢進症	78	副甲状腺機能亢進症	20098805	遷延性副甲状腺機能亢進症	N258	Z940
5	内分泌疾患	14	副甲状腺機能亢進症	78	副甲状腺機能亢進症	20082460	続発性副甲状腺機能亢進症	E211	
5	内分泌疾患	14	副甲状腺機能亢進症	78	副甲状腺機能亢進症	20082459	副甲状腺機能亢進症	E213	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20090778	一過性新生児副甲状腺機能低下症	P714	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20090899	家族性単発性副甲状腺機能低下症	E208	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20083026	術後副甲状腺機能低下症	E892	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20083517	新生児性副甲状腺機能低下症	P714	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20083024	続発性副甲状腺機能低下症	E892	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20083025	特発性副甲状腺機能低下症	E200	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	79	副甲状腺機能低下症（副甲状腺欠損症を除く。）	20085019	副甲状腺機能低下症	E209	
5	内分泌疾患	15	副甲状腺機能低下症	80	副甲状腺欠損症	20091826	副甲状腺欠損症	E892	
5	内分泌疾患	16	自己免疫性多内分泌腺症候群	35	自己免疫性多内分泌腺症候群 1型				
5	内分泌疾患	16	自己免疫性多内分泌腺症候群	36	自己免疫性多内分泌腺症候群 2型				
5	内分泌疾患	17	偽性副甲状腺機能低下症	8	偽性偽性副甲状腺機能低下症	20082476	偽性偽性副甲状腺機能低下症	E201	
5	内分泌疾患	17	偽性副甲状腺機能低下症	9	偽性副甲状腺機能低下症（偽性偽性副甲状腺機能低下症を	20082475	偽性副甲状腺機能低下症	E201	
5	内分泌疾患	17	偽性副甲状腺機能低下症	9	偽性副甲状腺機能低下症（偽性偽性副甲状腺機能低下症を	20083058	偽性副甲状腺機能低下症 1 型	E201	
5	内分泌疾患	17	偽性副甲状腺機能低下症	9	偽性副甲状腺機能低下症（偽性偽性副甲状腺機能低下症を	20083059	偽性副甲状腺機能低下症 2 型	E201	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	10	異所性副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）産生症候群	20054053	異所性ACTH産生腫瘍	E243	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	10	異所性副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）産生症候群	20103473	異所性ACTH産生症候群	E243	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	11	クッシング病	20051625	クッシング病	E240	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	12	副腎腺腫	20075272	副腎腺腫	D350	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	13	副腎皮質結節性過形成	20103476	副腎皮質結節性過形成	E248	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	14	10から13までに掲げるもののほか、クッシング症候群	20050980	アルコール性偽性クッシング症候群	E244	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	14	10から13までに掲げるもののほか、クッシング症候群	20051624	クッシング症候群	E249	
5	内分泌疾患	18	クッシング症候群	14	10から13までに掲げるもののほか、クッシング症候群	20077277	薬物誘発性クッシング症候群	E242	
5	内分泌疾患	19	慢性副腎皮質機能低下症	81	グルココルチコイド抵抗症	20103621	グルココルチコイド抵抗症	E258	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
5	内分泌疾患	19	慢性副腎皮質機能低下症	82	先天性副腎低形成症	20103491	先天性副腎低形成症	Q891	
5	内分泌疾患	19	慢性副腎皮質機能低下症	83	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 単独欠損症	20050053	A C T H単独欠損症	E230	
5	内分泌疾患	19	慢性副腎皮質機能低下症	84	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 不応症	20100932	副腎皮質刺激ホルモン不応症	E274	
5	内分泌疾患	19	慢性副腎皮質機能低下症	85	81から84までに掲げるもののほか、慢性副腎皮質機能低下症 (アジソン病)				
5	内分泌疾患	20	アルドステロン症	1	アルドステロン症	20061522	高アルドステロン症	E269	
5	内分泌疾患	20	アルドステロン症	1	アルドステロン症	20102660	偽アルドステロン症	I158	Y579
5	内分泌疾患	20	アルドステロン症	1	アルドステロン症	20060429	原発性アルドステロン症	E260	
5	内分泌疾患	20	アルドステロン症	1	アルドステロン症	20068908	続発性アルドステロン症	E261	
5	内分泌疾患	20	アルドステロン症	1	アルドステロン症	20072019	特発性アルドステロン症	E260	
5	内分泌疾患	21	見かけの鉱質コルチコイド過剰症	86	見かけの鉱質コルチコイド過剰症候群 (AME症候群)	20103622	A M E 症候群	E270	
5	内分泌疾患	22	リドル症候群	87	リドル症候群	20102662	リドル症候群	I152	
5	内分泌疾患	23	低アルドステロン症	68	アルドステロン合成酵素欠損症	20103349	アルドステロン合成酵素欠損症	E274	
5	内分泌疾患	23	低アルドステロン症	69	低レニン性低アルドステロン症	20085943	低レニン性低アルドステロン症	E274	
5	内分泌疾患	23	低アルドステロン症	70	68及び69に掲げるもののほか、低アルドステロン症	20071243	低アルドステロン症	E274	
5	内分泌疾患	24	偽性低アルドステロン症	7	偽性低アルドステロン症	20087124	偽性低アルドステロン症	E878	
5	内分泌疾患	24	偽性低アルドステロン症	7	偽性低アルドステロン症	20102979	偽性低アルドステロン症 1 型	E871	
5	内分泌疾患	24	偽性低アルドステロン症	7	偽性低アルドステロン症	20102981	偽性低アルドステロン症 2 型	E875	I151
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	56	11β-水酸化酵素欠損症	20100524	1 1 β -水酸化酵素欠損症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	57	3β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症	20100533	3 β -水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	58	17α-水酸化酵素欠損症	20100530	1 7 α -水酸化酵素欠損症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	59	21-水酸化酵素欠損症	20092641	2 1 -水酸化酵素欠損症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	60	P450酸化還元酵素欠損症	20100535	P 4 5 0 オキシドレダクターゼ欠損症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	61	リポイド副腎過形成症	20100519	先天性リポイド副腎過形成症	E250	
5	内分泌疾患	25	先天性副腎過形成症	62	56から61までに掲げるもののほか、先天性副腎過形成症				
5	内分泌疾患	26	思春期早発症	37	ゴナドトロピン依存性思春期早発症	20103366	ゴナドトロピン依存性思春期早発症	E228	
5	内分泌疾患	26	思春期早発症	37	ゴナドトロピン依存性思春期早発症	20070551	中枢性思春期早発症	E228	
5	内分泌疾患	26	思春期早発症	38	ゴナドトロピン非依存性思春期早発症	20103368	ゴナドトロピン非依存性思春期早発症	E301	
5	内分泌疾患	27	エストロゲン過剰症 (思春期)	3	エストロゲン過剰症 (ゴナドトロピン依存性思春期早発症)	20051318	エストロジェン過剰症	E280	
5	内分泌疾患	28	アンドロゲン過剰症 (思春期)	2	アンドロゲン過剰症 (ゴナドトロピン依存性思春期早発症)	20051106	アンドロゲン過剰症	E281	
5	内分泌疾患	29	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	71	カルマン症候群	20051509	カルマン症候群	E230	
5	内分泌疾患	29	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	72	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症 (カルマン症候群を除く)	20071262	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	E230	
5	内分泌疾患	30	高ゴナドトロピン性性腺機能低下症	20	精巣形成不全	20103369	精巣形成不全	Q551	
5	内分泌疾患	30	高ゴナドトロピン性性腺機能低下症	21	卵巣形成不全	20103370	卵巣形成不全	Q503	
5	内分泌疾患	30	高ゴナドトロピン性性腺機能低下症	22	20及び21に掲げるもののほか、高ゴナドトロピン性性腺機能低下症				
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	47	アンドロゲン不応症	20103380	アンドロゲン不応症	E345	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	48	17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症	20103377	1 7 β -ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症	Q561	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	49	5α-還元酵素欠損症	20103375	5 アルファー還元酵素欠損症	E291	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	50	47から49までに掲げるもののほか、46,XY性分化疾患	20103374	4 6 X Y 性分化疾患	Q561	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	51	混合性性腺異形成症	20103371	混合性性腺異形成症	Q998	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	52	46,XX性分化疾患	20103381	4 6 X X 性分化疾患	Q562	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	53	卵精巣性性分化疾患	20103382	4 6 X X 卵精巣性性分化疾患	Q991	
5	内分泌疾患	31	性分化疾患	53	卵精巣性性分化疾患	20103372	卵精巣性性分化疾患	Q560	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	40	ガストリノーマ	20097791	悪性ガストリノーマ	C254	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	40	ガストリノーマ	20051554	ガストリノーマ	D377	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	40	ガストリノーマ	20097881	十二指腸悪性ガストリノーマ	C170	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	40	ガストリノーマ	20097883	十二指腸ガストリノーマ	D372	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	41	カルチノイド症候群	20051504	カルチノイド症候群	E340	
5	内分泌疾患	32	消化管ホルモン産生腫瘍	42	VIP産生腫瘍	20092662	V I P 産生腫瘍	C254	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
5	内分泌疾患	33	グルカゴノーマ	15	グルカゴノーマ	20097792	悪性グルカゴノーマ	C254	
5	内分泌疾患	33	グルカゴノーマ	15	グルカゴノーマ	20051756	グルカゴノーマ	D377	
5	内分泌疾患	33	グルカゴノーマ	15	グルカゴノーマ	20102163	良性グルカゴノーマ	D137	
5	内分泌疾患	34	高インスリン血性低血糖症	17	インスリノーマ	20053897	悪性インスリノーマ	C254	
5	内分泌疾患	34	高インスリン血性低血糖症	17	インスリノーマ	20051136	インスリノーマ	D377	
5	内分泌疾患	34	高インスリン血性低血糖症	17	インスリノーマ	20102162	良性インスリノーマ	D137	
5	内分泌疾患	34	高インスリン血性低血糖症	18	先天性高インスリン血症	20103350	先天性高インスリン血症	E161	
5	内分泌疾患	34	高インスリン血性低血糖症	19	17及び18に掲げるもののほか、高インスリン血性低血糖症				
5	内分泌疾患	35	ビタミンD依存性くる病	76	ビタミンD依存性くる病	20093146	ビタミンD依存性くる病	E550	
5	内分泌疾患	36	ビタミンD抵抗性骨軟化症	77	ビタミンD抵抗性骨軟化症	20052739	ビタミンD抵抗性くる病	E833	
5	内分泌疾患	37	原発性低リン血症性くる病	16	原発性低リン血症性くる病	20103678	原発性低リン血症性くる病	E833	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20101254	部分的脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20062890	脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20053618	リポジストロフィー	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20101250	小児腹壁遠心性脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20101256	後天性部分性脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20067564	先天性脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	38	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	39	脂肪異栄養症（脂肪萎縮症）	20101251	全身性脂肪萎縮症	E881	
5	内分泌疾患	39	多発性内分泌腫瘍	64	多発性内分泌腫瘍1型（ウェルマー 症候群）	20079645	多発性内分泌腫瘍1型	D448	
5	内分泌疾患	39	多発性内分泌腫瘍	65	多発性内分泌腫瘍2型（シップル症候群）	20079646	多発性内分泌腫瘍2型	D448	
5	内分泌疾患	39	多発性内分泌腫瘍	66	64及び65に掲げるもののほか、多発性内分泌腫瘍	20069158	多発性内分泌腫瘍3型	D448	
5	内分泌疾患	40	多嚢胞性卵巣症候群	63	多嚢胞性卵巣症候群	20069001	多のう胞性卵巣症候群	E282	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20051392	オステルライヒ・ターナー症候群	Q872	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052236	ターナー症候群	Q969	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052237	ターナー症候群4 6 X Y	Q963	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052238	ターナー症候群モザイク	Q969	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052239	ターナー症候群モザイク4 5 X	Q963	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20102056	ターナー症候群モザイク4 5 X / 4 7 X X X	Q964	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052240	ターナー症候群モザイク4 6 X X	Q963	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20052241	ターナー症候群核型4 5 X	Q960	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	88	ターナー症候群	20079757	神経痛性筋萎縮症	G545	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	89	ヌーナン症候群	20052481	ヌーナン症候群	Q871	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	90	バルデー・ビードル症候群	20053756	ローレンス・ムーン症候群	Q878	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	91	プラダー・ウィリー症候群	20052978	プラダー・ウィリー症候群	Q871	
5	内分泌疾患	41	内分泌疾患を伴うその他の症	92	マクキューン・オルブライト症候群	20053267	マクキューン・オルブライト症候群	Q781	
6	膠原病	1	膠原病疾患	6	抗リン脂質抗体症候群	20060448	原発性抗リン脂質抗体症候群	D686	
6	膠原病	1	膠原病疾患	6	抗リン脂質抗体症候群	20061263	抗リン脂質抗体症候群	D686	
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20051976	シェーグレン症候群	M350	
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20084835	シェーグレン症候群ミオパチー	M350	G737
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20051978	シェーグレン症候群性呼吸器障害	M350	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20084799	マリネスコ・シェーグレン症候群	G111	
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20100653	一次性シェーグレン症候群	M350	
6	膠原病	1	膠原病疾患	7	シェーグレン症候群	20100655	二次性シェーグレン症候群	M350	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20093022	関節型若年性特発性関節炎	M088	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102008	関節型若年性特発性関節炎・肩関節	M0881	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102012	関節型若年性特発性関節炎・股関節	M0885	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102011	関節型若年性特発性関節炎・指関節	M0884	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102010	関節型若年性特発性関節炎・手関節	M0883	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102014	関節型若年性特発性関節炎・足関節	M0887	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102007	関節型若年性特発性関節炎・多関節	M0880	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102013	関節型若年性特発性関節炎・膝関節	M0886	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102009	関節型若年性特発性関節炎・肘関節	M0882	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102015	関節型若年性特発性関節炎・趾関節	M0887	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20092126	若年性特発性関節炎	M089	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102026	若年性特発性関節炎・肩関節	M0891	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102030	若年性特発性関節炎・股関節	M0895	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102029	若年性特発性関節炎・指関節	M0894	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102028	若年性特発性関節炎・手関節	M0893	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102032	若年性特発性関節炎・足関節	M0897	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102025	若年性特発性関節炎・多関節	M0890	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102031	若年性特発性関節炎・膝関節	M0896	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102027	若年性特発性関節炎・肘関節	M0892	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102033	若年性特発性関節炎・趾関節	M0897	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20093020	全身型若年性特発性関節炎	M082	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20101999	全身型若年性特発性関節炎・肩関節	M0821	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102003	全身型若年性特発性関節炎・股関節	M0825	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102002	全身型若年性特発性関節炎・指関節	M0824	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102001	全身型若年性特発性関節炎・手関節	M0823	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102005	全身型若年性特発性関節炎・足関節	M0827	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20101998	全身型若年性特発性関節炎・多関節	M0820	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102004	全身型若年性特発性関節炎・膝関節	M0826	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102000	全身型若年性特発性関節炎・肘関節	M0822	
6	膠原病	1	膠原病疾患	8	若年性特発性関節炎	20102006	全身型若年性特発性関節炎・趾関節	M0827	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20095538	ステロイド抵抗性全身性エリテマトーデス	M329	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068354	全身性エリテマトーデス	M329	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20084833	全身性エリテマトーデス性ミオパチー	M321	G737
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20100582	全身性エリテマトーデス性間質性肺炎	M321	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068356	全身性エリテマトーデス性呼吸器障害	M321	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068357	全身性エリテマトーデス性心膜炎	M321	I398
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20094872	リブマン・サックス心内膜炎	M321	I398
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068358	全身性エリテマトーデス性脳動脈炎	M321	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068359	全身性エリテマトーデス精神病	F069	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068360	全身性エリテマトーデス脊髄炎	M321	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068361	全身性エリテマトーデス脳炎	M321	
6	膠原病	1	膠原病疾患	9	全身性エリテマトーデス	20068362	全身性エリテマトーデス脳脊髄炎	M321	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100692	悪性腫瘍合併皮膚筋炎	C809	M360
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100578	皮膚筋炎性間質性肺炎	M331	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20063637	若年性皮膚筋炎	M330	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100581	若年性皮膚筋炎性間質性肺炎	M330	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20074246	皮膚筋炎	M339	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20074247	皮膚筋炎性呼吸器障害	M331	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20091802	皮膚筋炎母体より出生した児	P008	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100648	無筋症性皮膚筋炎	M331	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20069099	多発性筋炎	M332	
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20100577	多発性筋炎性間質性肺炎	M332	J991
6	膠原病	1	膠原病疾患	10	皮膚筋炎／多発性筋炎	20069100	多発性筋炎性呼吸器障害	M332	J991

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20053095	ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20056032	外陰ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20094870	眼ベーチェット病	M352	H588
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20082385	血管ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20060970	口腔ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20065936	神経ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20086590	腸管ベーチェット病	M352	
6	膠原病	1	膠原病疾患	11	ベーチェット病	20094867	不全型ベーチェット病	M352	
6	膠原病	2	血管炎症候群	1	結節性多発動脈炎	20084040	結節性多発動脈炎	M300	
6	膠原病	2	血管炎症候群	1	結節性多発動脈炎	20095617	皮膚結節性多発動脈炎	M308	
6	膠原病	2	血管炎症候群	1	結節性多発動脈炎	20102647	皮膚動脈炎	M308	
6	膠原病	2	血管炎症候群	2	顕微鏡的多発血管炎	20085919	顕微鏡的多発血管炎	M317	
6	膠原病	2	血管炎症候群	3	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20100471	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	M301	
6	膠原病	2	血管炎症候群	4	高安動脈炎	20084097	高安動脈炎	M314	
6	膠原病	2	血管炎症候群	4	高安動脈炎	20069784	大動脈炎症候群	M314	
6	膠原病	2	血管炎症候群	5	多発血管炎性肉芽腫症	20100469	限局型多発血管炎性肉芽腫症	M313	
6	膠原病	2	血管炎症候群	5	多発血管炎性肉芽腫症	20100468	全身型多発血管炎性肉芽腫症	M313	
6	膠原病	2	血管炎症候群	5	多発血管炎性肉芽腫症	20100467	多発血管炎性肉芽腫症	M313	
6	膠原病	2	血管炎症候群	5	多発血管炎性肉芽腫症	20100470	多発血管炎性肉芽腫症性呼吸器障害	M313	J991
6	膠原病	3	再発性多発軟骨炎	12	再発性多発軟骨炎	20062246	再発性多発軟骨炎	M9410	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20058871	強皮症	M349	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20095448	強皮症腎	M348	N085
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20095449	強皮症腎クリーゼ	M348	N085
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20084834	強皮症性ミオパチー	M348	G737
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20095461	剣創状強皮症	L941	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20060544	限局性強皮症	L940	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20095586	特発性喉頭肉芽腫	J387	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20065723	新生児強皮症	P838	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20068376	全身性強皮症	M340	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20068014	線状強皮症	L941	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20091453	全身性強皮症性呼吸器障害	M348	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	24	強皮症	20074041	斑状強皮症	L940	
6	膠原病	4	皮膚・結合組織疾患	25	混合性結合組織病	20062101	混合性結合組織病	M351	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	13	インターロイキン1受容体拮抗分子欠損症	20103351	インターロイキン1受容体拮抗分子欠損症	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	14	家族性地中海熱	20055600	家族性地中海熱	E850	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	15	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	20101257	P A P A 症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	16	クリオピリン関連周期熱症候群	20100475	クリオピリン関連周期熱症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	17	高IgD症候群（メバロン酸キナーゼ欠損症）	20100358	高 I g D 症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	18	TNF受容体関連周期性症候群	20100459	T N F 受容体関連周期性症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	19	中條・西村症候群	20101260	中條・西村症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	20	ブラウ症候群／若年発症サルコイドーシス	20100457	ブラウ症候群	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	21	慢性再発性多発性骨髄炎	20101259	慢性再発性多発性骨髄炎	D898	
6	膠原病	5	自己炎症性疾患	22	13から21までに掲げるもののほか、自己炎症性疾患				
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083022	1型糖尿病	E10	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085409	1型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085414	1型糖尿病・関節合併症あり	E106	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085411	1型糖尿病・眼合併症あり	E103	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085408	1型糖尿病・昏睡合併あり	E100	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085412	1型糖尿病・神経学的合併症あり	E104	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085410	1型糖尿病・腎合併症あり	E102	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085416	1型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E107	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085415	1型糖尿病・糖尿病性合併症あり	E106	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085417	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	E109	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20085413	1型糖尿病・末梢循環合併症あり	E105	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093026	1型糖尿病黄斑症	E103	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090011	1型糖尿病性黄斑浮腫	E103	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20091936	1型糖尿病性水疱	E106	L14
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093052	1型糖尿病性そう痒症	E106	L298
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093027	1型糖尿病性アンドーシス	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093028	1型糖尿病性アセトン血症	E101	R798
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20096984	1型糖尿病性ケトーシス	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083655	1型糖尿病性ケトアシドーシス	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083657	1型糖尿病性ニューロパチー	E104	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20095009	1型糖尿病性胃腸症	E106	K938
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20088188	1型糖尿病性壊疽	E105	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093030	1型糖尿病性肝障害	E106	K778
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093031	1型糖尿病性関節症	E106	M142
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093032	1型糖尿病性眼筋麻痺	E103	H588
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093033	1型糖尿病性筋萎縮症	E104	G730
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093034	1型糖尿病性血管障害	E105	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093039	1型糖尿病性高コレステロール血症	E106	E780
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20103262	1型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	E106	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093042	1型糖尿病性骨症	E106	M908
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083653	1型糖尿病性昏睡	E100	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093045	1型糖尿病性自律神経ニューロパチー	E104	G990
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093043	1型糖尿病性神経因性膀胱	E104	N312
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093044	1型糖尿病性神経痛	E104	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093049	1型糖尿病性腎硬化症	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083649	1型糖尿病性腎症	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090044	1型糖尿病性腎症第1期	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090045	1型糖尿病性腎症第2期	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090046	1型糖尿病性腎症第3期	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090047	1型糖尿病性腎症第3期A	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090048	1型糖尿病性腎症第3期B	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090049	1型糖尿病性腎症第4期	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090050	1型糖尿病性腎症第5期	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093050	1型糖尿病性腎不全	E102	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093051	1型糖尿病性精神障害	E106	F068
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093046	1型糖尿病性多発ニューロパチー	E104	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093047	1型糖尿病性単ニューロパチー	E104	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093041	1型糖尿病性中心性網膜症	E103	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093029	1型糖尿病性潰瘍	E105	L984
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093053	1型糖尿病性低血糖性昏睡	E100	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093037	1型糖尿病性動脈硬化症	E105	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093038	1型糖尿病性動脈閉塞症	E105	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093040	1型糖尿病性虹彩炎	E103	H221

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090714	1型糖尿病性白内障	E103	H280
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20091938	1型糖尿病性浮腫性硬化症	E106	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093054	1型糖尿病性皮膚障害	E106	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093035	1型糖尿病性末梢血管症	E105	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093036	1型糖尿病性末梢血管障害	E105	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20093048	1型糖尿病性末梢神経障害	E104	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20083652	1型糖尿病性網膜症	E103	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090028	緩徐進行1型糖尿病	E10	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090034	緩徐進行1型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090032	緩徐進行1型糖尿病・関節合併症あり	E106	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090033	緩徐進行1型糖尿病・眼合併症あり	E103	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090035	緩徐進行1型糖尿病・昏睡合併あり	E100	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090036	緩徐進行1型糖尿病・神経学的合併症あり	E104	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090037	緩徐進行1型糖尿病・腎合併症あり	E102	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090038	緩徐進行1型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E107	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090039	緩徐進行1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	E109	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090040	緩徐進行1型糖尿病・末梢循環合併症あり	E105	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20090024	劇症1型糖尿病	E101	
7	糖尿病	1	糖尿病	1	1型糖尿病	20091571	増殖性糖尿病性網膜症・1型糖尿病	E103	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	2	インスリン受容体異常症	20094051	B型インスリン受容体異常症	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	2	インスリン受容体異常症	20103676	インスリン受容体異常症	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	3	脂肪萎縮性糖尿病	20062891	脂肪萎縮性糖尿病	E881	E13
7	糖尿病	1	糖尿病	4	若年発症成人型糖尿病 (MODY)	20083643	若年2型糖尿病	E11	
7	糖尿病	1	糖尿病	5	新生児糖尿病	20065789	新生児糖尿病	P702	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20050020	2型糖尿病	E11	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085419	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E111	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085424	2型糖尿病・関節合併症あり	E116	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085421	2型糖尿病・眼合併症あり	E113	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085418	2型糖尿病・昏睡合併あり	E110	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085422	2型糖尿病・神経学的合併症あり	E114	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085420	2型糖尿病・腎合併症あり	E112	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085426	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E117	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085425	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	E116	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085427	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	E119	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20085423	2型糖尿病・末梢循環合併症あり	E115	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093055	2型糖尿病黄斑症	E113	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090012	2型糖尿病性黄斑浮腫	E113	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20091942	2型糖尿病性水疱	E116	L14
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093081	2型糖尿病性そう痒症	E116	L298
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093056	2型糖尿病性アシドーシス	E111	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093057	2型糖尿病性アセトン血症	E111	R798
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20096985	2型糖尿病性ケトosis	E111	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083648	2型糖尿病性ケトアシドーシス	E111	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083644	2型糖尿病性ニューロパチー	E114	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083654	2型糖尿病性ミオパチー	E114	G736
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20100339	2型糖尿病性胃腸症	E116	K938
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20088189	2型糖尿病性壊疽	E115	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093059	2型糖尿病性肝障害	E116	K778

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093060	2型糖尿病性関節症	E116	M142
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093061	2型糖尿病性眼筋麻痺	E113	H588
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093062	2型糖尿病性筋萎縮症	E114	G730
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093063	2型糖尿病性血管障害	E115	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093068	2型糖尿病性高コレステロール血症	E116	E780
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20103261	2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	E116	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093071	2型糖尿病性骨症	E116	M908
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083651	2型糖尿病性昏睡	E110	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093074	2型糖尿病性自律神経ニューロパチー	E114	G990
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093072	2型糖尿病性神経因性膀胱	E114	N312
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093073	2型糖尿病性神経痛	E114	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093078	2型糖尿病性腎硬化症	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083650	2型糖尿病性腎症	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090051	2型糖尿病性腎症第1期	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090052	2型糖尿病性腎症第2期	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090053	2型糖尿病性腎症第3期	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090054	2型糖尿病性腎症第3期A	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090055	2型糖尿病性腎症第3期B	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090056	2型糖尿病性腎症第4期	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090057	2型糖尿病性腎症第5期	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093079	2型糖尿病性腎不全	E112	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093080	2型糖尿病性精神障害	E116	F068
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093075	2型糖尿病性多発ニューロパチー	E114	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093076	2型糖尿病性単ニューロパチー	E114	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093070	2型糖尿病性中心性網膜症	E113	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093058	2型糖尿病性潰瘍	E115	L984
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093082	2型糖尿病性低血糖性昏睡	E110	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093066	2型糖尿病性動脈硬化症	E115	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093067	2型糖尿病性動脈閉塞症	E115	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093069	2型糖尿病性虹彩炎	E113	H221
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20090718	2型糖尿病性白内障	E113	H280
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20091944	2型糖尿病性浮腫性硬化症	E116	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093083	2型糖尿病性皮膚障害	E116	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093064	2型糖尿病性末梢血管症	E115	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093065	2型糖尿病性末梢血管障害	E115	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20093077	2型糖尿病性末梢神経障害	E114	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083647	2型糖尿病性網膜症	E113	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20083643	若年2型糖尿病	E11	
7	糖尿病	1	糖尿病	6	2型糖尿病	20091572	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病	E113	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20051146	インスリン抵抗性糖尿病	E11	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20051229	ウイルス性糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088200	ウイルス性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088201	ウイルス性糖尿病・眼合併症あり	E133	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088202	ウイルス性糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088203	ウイルス性糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088204	ウイルス性糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088205	ウイルス性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088206	ウイルス性糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088207	ウイルス性糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088208	ウイルス性糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20052128	ステロイド糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088211	ステロイド糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088212	ステロイド糖尿病・眼合併症あり	E133	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088213	ステロイド糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088214	ステロイド糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088215	ステロイド糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088216	ステロイド糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088217	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088218	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088219	ステロイド糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20075098	不安定型糖尿病	E10	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20066896	青銅性糖尿病	E831	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102579	ミトコンドリア糖尿病	E888	E13
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102582	ミトコンドリア糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E888	E131
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102584	ミトコンドリア糖尿病・眼合併症あり	E888	E133
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102581	ミトコンドリア糖尿病・昏睡合併あり	E888	E130
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102585	ミトコンドリア糖尿病・神経学的合併症あり	E888	E134
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102583	ミトコンドリア糖尿病・腎合併症あり	E888	E132
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102588	ミトコンドリア糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E888	E137
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102587	ミトコンドリア糖尿病・糖尿病性合併症あり	E888	E136
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102589	ミトコンドリア糖尿病・糖尿病性合併症なし	E888	E139
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20102586	ミトコンドリア糖尿病・末梢循環合併症あり	E888	E135
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20054002	安定型糖尿病	E11	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20054862	栄養不良関連糖尿病	E12	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071565	糖尿病性血管障害	E145	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20055447	化学的糖尿病	R730	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103188	肝性糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103190	肝性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103192	肝性糖尿病・眼合併症あり	E133	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103189	肝性糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103193	肝性糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103191	肝性糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103196	肝性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103195	肝性糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103197	肝性糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103194	肝性糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20058830	境界型糖尿病	R730	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071549	糖尿病	E14	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20065704	新生児一過性糖尿病	P702	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20066267	腎性糖尿	E748	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20067917	潜在性糖尿病	R730	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20068622	増殖性糖尿病性網膜症	E143	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20068165	前糖尿病	R730	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088529	糖尿病・糖尿病性合併症なし	E149	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071557	糖尿病性ニューロパチー	E144	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071550	糖尿病黄斑症	E143	H360

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20090009	糖尿病黄斑浮腫	E143	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20101280	糖尿病足病変	E144	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071551	糖尿病合併症	E14	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20091981	糖尿病性水疱	E146	L14
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071552	糖尿病性そう痒症	E146	L298
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071553	糖尿病性アシドーシス	E141	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071554	糖尿病性アセトン血症	E141	R798
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20096986	糖尿病性ケトーシス	E141	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071555	糖尿病性ケトアシドーシス	E141	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071558	糖尿病性壊疽	E145	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071559	糖尿病性肝障害	E146	K778
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071560	糖尿病性関節症	E146	M142
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071562	糖尿病性眼筋麻痺	E143	H588
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071603	糖尿病網膜症	E143	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071564	糖尿病性筋萎縮症	E144	G730
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071566	糖尿病性高コレステロール血症	E146	E780
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20061632	高浸透圧性非ケトン性昏睡	E140	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071568	糖尿病性骨症	E146	M908
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071569	糖尿病性昏睡	E140	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071571	糖尿病性自律神経ニューロパチー	E144	G990
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071572	糖尿病性神経因性膀胱	E144	N312
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20101362	糖尿病性神経障害性疼痛	E144	G98
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071576	糖尿病性神経痛	E144	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071577	糖尿病性腎硬化症	E142	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071578	糖尿病性腎症	E142	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20103999	糖尿病性腎臓病	E142	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071580	糖尿病性腎不全	E142	N083
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071581	糖尿病性精神障害	E146	F068
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20101278	糖尿病足壊疽	E145	I743
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20101276	糖尿病足潰瘍	E145	I739
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071583	糖尿病性多発ニューロパチー	E144	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071586	糖尿病性単ニューロパチー	E144	G590
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071587	糖尿病性中心性網膜症	E143	H360
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071588	糖尿病性潰瘍	E145	L984
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071589	糖尿病性低血糖性昏睡	E140	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071590	糖尿病性動脈硬化症	E145	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071591	糖尿病性動脈閉塞症	E145	I798
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071592	糖尿病性虹彩炎	E143	H221
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071593	糖尿病性白内障	E143	H280
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071596	糖尿病性皮膚障害	E146	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20091983	糖尿病性浮腫性硬化症	E146	L998
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071597	糖尿病性末梢血管症	E145	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071598	糖尿病性末梢血管障害	E145	I792
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071600	糖尿病性末梢神経障害	E144	G632
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20071602	糖尿病母体児	P701	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20072370	二次性糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088537	二次性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088538	二次性糖尿病・眼合併症あり	E133	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088539	二次性糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088540	二次性糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088541	二次性糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088542	二次性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088543	二次性糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088544	二次性糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088545	二次性糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20074484	非糖尿病性低血糖性昏睡	E15	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20077225	薬剤性糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088687	薬剤性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088688	薬剤性糖尿病・眼合併症あり	E133	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088689	薬剤性糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088690	薬剤性糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088691	薬剤性糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088692	薬剤性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088693	薬剤性糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088694	薬剤性糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088695	薬剤性糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20078965	臍性糖尿病	E13	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088713	臍性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	E131	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088714	臍性糖尿病・眼合併症あり	E133	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088715	臍性糖尿病・昏睡合併あり	E130	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088716	臍性糖尿病・神経学的合併症あり	E134	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088717	臍性糖尿病・腎合併症あり	E132	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088718	臍性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	E137	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088719	臍性糖尿病・糖尿病性合併症あり	E136	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088720	臍性糖尿病・糖尿病性合併症なし	E139	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20088721	臍性糖尿病・末梢循環合併症あり	E135	
7	糖尿病	1	糖尿病	7	1から6までに掲げるもののほか、糖尿病	20078972	臍全摘後二次性糖尿病	E891	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	1	アルギニノコハク酸合成酵素欠損症（シトルリン血症）	20092773	シトルリン血症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	1	アルギニノコハク酸合成酵素欠損症（シトルリン血症）	20101195	シトルリン血症 1 型	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	2	アルギニノコハク酸血症	20092671	アルギニノコハク酸血症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	3	N-アセチルグルタミン酸合成酵素欠損症	20101202	N-アセチルグルタミン酸合成酵素欠損症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	4	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	20092687	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	E724	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	5	カルバミルリン酸合成酵素欠損症	20092698	カルバミルリン酸合成酵素欠損症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	6	高アルギニン血症	20061520	高アルギニン血症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	7	高オルニチン血症	20061529	高オルニチン血症	E724	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	8	高チロシン血症 1 型	20100667	高チロシン血症 1 型	E702	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	9	高チロシン血症 2 型	20097854	高チロシン血症 2 型	E702	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	10	高チロシン血症 3 型	20100926	高チロシン血症 3 型	E702	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	11	高プロリン血症	20061569	高プロリン血症	E725	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	12	高メチオニン血症	20061574	高メチオニン血症	E721	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	13	シスチン尿症	20051988	シスチン尿症	E720	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	13	シスチン尿症	20055567	家族性シスチン尿症	E720	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	14	シトルリン欠損症	20101197	シトルリン欠損症	E722	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	15	ハートナップ病	20052511	ハートナップ病	E720	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	16	非ケトーシス型高グリシン血症	20097879	新生児型非ケトン性高グリシン血症	E725	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	16	非ケトーシス型高グリシン血症	20074366	非ケトン性高グリシン血症	E725	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	17	フェニルケトン尿症（高フェニルアラニン血症）	20052834	フェニルケトン尿症	E701	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	17	フェニルケトン尿症（高フェニルアラニン血症）	20060576	古典的フェニルケトン尿症	E700	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	17	フェニルケトン尿症（高フェニルアラニン血症）	20097996	母性フェニルケトン尿症	E701	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	17	フェニルケトン尿症（高フェニルアラニン血症）	20094143	B H 4 反応性高フェニルアラニン血症	E701	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	17	フェニルケトン尿症（高フェニルアラニン血症）	20097856	高フェニルアラニン血症	E701	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	18	プロリダーゼ欠損症	20103285	プロリダーゼ欠損症	E728	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	19	ホモシスチン尿症	20053186	ホモシスチン尿症	E721	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	20	メーブルシロップ尿症	20053377	メーブルシロップ尿症	E710	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	21	リジン尿性蛋白不耐症	20092920	リジン尿性蛋白不耐症	E723	
8	先天性代謝異常	1	アミノ酸代謝異常症	22	1から21までに掲げるもののほか、アミノ酸代謝異常症	20050905	アミノ酸代謝異常症	E729	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	95	アルカプトン尿症	20050948	アルカプトン尿症	E702	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	95	アルカプトン尿症	20098121	アルカプトン尿性関節症	E702	M145
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	96	イソ吉草酸血症	20051126	イソ吉草酸血症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	97	グリセロール尿症	20103291	グリセロール尿症	E748	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	98	グルタル酸血症1型	20097831	グルタル酸血症1型	E723	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	99	グルタル酸血症2型	20097833	グルタル酸血症2型	E713	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	100	原発性高シュウ酸尿症	20101080	原発性高シュウ酸尿症	E748	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	101	スクシニル-CoA：3-ケト酸CoAトランスフェラーゼ（SCC	20103289	S C O T 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	102	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタルCoA合成酵素欠損症	20103286	H M G - C o A 合成酵素欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	103	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸血症				
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	104	3-メチルクロトニルCoAカルボキシラーゼ欠損症	20098004	メチルクロトニルグリシン尿症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	105	先天性胆汁酸代謝異常症	20103294	先天性胆汁酸代謝異常症	E755	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	106	複合カルボキシラーゼ欠損症	20097985	複合カルボキシラーゼ欠損症	D818	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	107	プロピオン酸血症	20052994	プロピオン酸血症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	108	β-ケトチオラーゼ欠損症	20102885	β-ケトチオラーゼ欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	109	メチルグルタコン酸尿症	20097753	3-メチルグルタコン酸尿症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	110	メチルマロン酸血症	20097982	ビタミンB12反応型メチルマロン酸血症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	110	メチルマロン酸血症	20053392	メチルマロン酸血症	E711	
8	先天性代謝異常	2	有機酸代謝異常症	111	95から110までに掲げるもののほか、有機酸代謝異常症				
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	40	カルニチンアシルカルニチントランスロカーゼ欠損症	20102701	C A C T 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	41	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼI欠損症	20097768	C P T 1 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	42	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼII欠損症	20097770	C P T 2 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	43	極長鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症	20097789	V L C A D 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	44	三頭酵素欠損症	20097864	三頭酵素欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	45	3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素欠損症	20103295	H A D H 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	46	全身性カルニチン欠損症	20096978	一次性カルニチン欠乏症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	47	短鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症	20097786	S C A D 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	48	中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症	20097777	M C A D 欠損症	E713	
8	先天性代謝異常	3	脂肪酸代謝異常症	49	40から48までに掲げるもののほか、脂肪酸代謝異常症				
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	86	スクシニル-CoAリガーゼ欠損症	20103413	スクシニル-CoAリガーゼ欠損症	E888	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	87	ピルビン酸カルボキシラーゼ欠損症	20103299	ピルビン酸カルボキシラーゼ欠損症	E744	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	88	ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症	20100689	ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症	E744	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	89	フマラーゼ欠損症	20103300	フマラーゼ欠損症	E888	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	90	ミトコンドリア呼吸鎖複合体欠損症	20103408	ミトコンドリア呼吸鎖複合体欠損症	E888	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	91	ミトコンドリアDNA欠失（カーンズ・セイヤー症候群を含む	20094889	カーンズ・セイヤー症候群	H498	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	92	ミトコンドリアDNA枯渇症候群	20103411	ミトコンドリアDNA枯渇症候群	E888	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	93	ミトコンドリアDNA突然変異（リー（Leigh）症候群、MI	20053526	リー症候群	G318	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	93	ミトコンドリアDNA突然変異（リー（Leigh）症候群、MI	20095359	M E L A S 症候群	E888	

疾患群番号	疾患群名	大分類番号	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	93	ミトコンドリアDNA突然変異（リー（Leigh）症候群、MI	20095361	M E R R F 症候群	E888	
8	先天性代謝異常	4	ミトコンドリア病	94	86から93までに掲げるもののほか、ミトコンドリア病	20094357	ミトコンドリア病	E888	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	58	遺伝性フルクトース不耐症	20054357	遺伝性果糖不耐症	E741	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	59	ウリジルニリン酸ガラクトース-4-エピメラーゼ欠損症	20101414	G A L E 欠損症	E742	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	60	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	20101242	G A L T 欠損症	E742	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	61	ガラクトキナーゼ欠損症	20051566	ガラクトキナーゼ欠損症	E742	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	62	グリコーゲン合成酵素欠損症（糖原病0型）	20101211	糖原病 0 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	63	グルコーストランスポーター1（GLUT1）欠損症	20101193	グルコーストランスポーター 1 欠損症	E748	G948
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	64	糖原病 I 型	20079723	糖原病 1 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	65	糖原病 III 型	20051856	コリ病	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	65	糖原病 III 型	20079725	糖原病 3 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	65	糖原病 III 型	20052839	フォーブス病	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	66	糖原病 IV 型	20051104	アンダーソン病	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	66	糖原病 IV 型	20079726	糖原病 4 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	67	糖原病 V 型	20079727	糖原病 5 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	67	糖原病 V 型	20053280	マックアードル病	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	68	糖原病 VI 型	20079729	糖原病 6 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	68	糖原病 VI 型	20079728	ハース病	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	69	糖原病 VII 型	20079730	糖原病 7 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	70	糖原病 IX 型	20101219	糖原病 9 型	E740	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	71	フルクトース-1, 6-ビスホスファターゼ欠損症	20103301	F B P a s e 欠損症	E741	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	72	ホスホエノールピルビン酸カルボキシキナーゼ欠損症	20103304	P E P C K 欠損症	E744	
8	先天性代謝異常	5	糖質代謝異常症	73	58から72までに掲げるもののほか、糖質代謝異常症	20071546	糖代謝障害	E749	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	112	アスパルチルグルコサミン尿症	20095393	アスパルチルグルコサミン尿症	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	113	異染性白質ジストロフィー	20054122	異染性白質ジストロフィー	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	113	異染性白質ジストロフィー	20095464	後期乳児型異染性白質ジストロフィー	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	113	異染性白質ジストロフィー	20095513	若年型異染性白質ジストロフィー	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	114	ガラクトシアリドーシス	20084072	ガラクトシアリドーシス	E751	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	115	クラッペ病	20051635	クラッペ病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	115	クラッペ病	20095599	乳児型クラッペ病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	116	ゴーシェ病	20095479	ゴーシェ病 1 型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	116	ゴーシェ病	20095481	ゴーシェ病 2 型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	116	ゴーシェ病	20095483	ゴーシェ病 3 型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	116	ゴーシェ病	20051890	ゴーシェ病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	117	酸性リパーゼ欠損症	20103306	酸性リパーゼ欠損症	E755	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	118	シアリドーシス	20086644	シアリドーシス	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	119	GM1-ガングリオシドーシス	20050180	G M 1 ガングリオシドーシス	E751	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	119	GM1-ガングリオシドーシス	20095794	若年型 G M 1 ガングリオシドーシス	E751	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	119	GM1-ガングリオシドーシス	20095842	乳児型 G M 1 ガングリオシドーシス	E751	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	120	GM2-ガングリオシドーシス	20050181	G M 2 ガングリオシドーシス	E750	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	120	GM2-ガングリオシドーシス	20079692	G M 2 ガングリオシドーシス 1 型	E750	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	120	GM2-ガングリオシドーシス	20079693	G M 2 ガングリオシドーシス 2 型	E750	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	120	GM2-ガングリオシドーシス	20095511	若年型 G M 2 ガングリオシドーシス	E750	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	120	GM2-ガングリオシドーシス	20095843	乳児型 G M 2 ガングリオシドーシス	E750	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	121	シスチン症	20051986	シスチン症	E720	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	121	シスチン症	20100414	腎性シスチン症	E720	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	121	シスチン症	20100415	非腎性シスチン症	E720	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	122	神経セロイドリポフスチン症	20092947	神経セロイドリポフスチン症	E754	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	122	神経セロイドリポフスチン症	20104153	神経セロイドリポフスチン症1型	E754	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	122	神経セロイドリポフスチン症	20104155	神経セロイドリポフスチン症2型	E754	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	122	神経セロイドリポフスチン症	20053463	ヤンスキー・ビールショウスキー病	E754	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	123	ニーマン・ピック病	20095592	ニーマン・ピック病A型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	123	ニーマン・ピック病	20095593	ニーマン・ピック病B型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	123	ニーマン・ピック病	20095594	ニーマン・ピック病C型	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	123	ニーマン・ピック病	20052459	ニーマン・ピック病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	124	ファーバー病	20095621	ファーバー病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	125	ファブリー病	20084068	ファブリー病	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	126	フコシドーシス	20052861	フコース症	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	127	ボンベ病	20079724	糖原病2型	E740	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	127	ボンベ病	20053249	ボンベ病	E740	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	127	ボンベ病	20095499	小児型ボンベ病	E740	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	127	ボンベ病	20095601	乳児型ボンベ病	E740	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	128	マルチプルスルファターゼ欠損症	20095637	マルチプルスルファターゼ欠損症	E752	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	129	マンノシドーシス	20095674	β -マンノシドーシス	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	129	マンノシドーシス	20086664	マンノシドーシス	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	130	ムコ多糖症I型	20095649	ムコ多糖症I型	E760	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	131	ムコ多糖症II型	20095650	ムコ多糖症II型	E761	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	132	ムコ多糖症III型	20095651	ムコ多糖症III型	E762	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	133	ムコ多糖症IV型	20095652	ムコ多糖症IV型	E762	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	134	ムコ多糖症VI型	20095653	ムコ多糖症VI型	E762	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	135	ムコ多糖症VII型	20095654	ムコ多糖症VII型	E762	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	136	ムコリピドーシスII型 (I-cell病)	20084062	I細胞病	E770	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	137	ムコリピドーシスIII型	20079710	ムコリピドーシス3型	E770	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	138	遊離シアル酸蓄積症	20103307	遊離シアル酸蓄積症	E771	
8	先天性代謝異常	6	ライソゾーム病	139	112から138までに掲げるもののほか、ライソゾーム病				
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	82	副腎白質ジストロフィー	20101077	新生児型副腎白質ジストロフィー	E713	
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	82	副腎白質ジストロフィー	20083901	副腎白質ジストロフィー	E713	
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	83	ペルオキシソーム形成異常症	20101075	ペルオキシソーム形成異常症	E713	
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	84	レフサム病	20053724	レフサム病	G601	
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	84	レフサム病	20101078	乳児レフサム病	E713	
8	先天性代謝異常	7	ペルオキシソーム病	85	82から84までに掲げるもののほか、ペルオキシソーム病	20101074	ペルオキシソーム病	E713	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	24	亜硫酸酸化酵素欠損症	20053887	亜硫酸酸化酵素欠損症	E721	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	25	ウィルソン病	20051245	ウィルソン病	E830	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	26	オクシピタル・ホーン症候群	20101148	オクシピタル・ホーン症候群	E830	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	27	先天性腸性肢端皮膚炎	20103680	先天性腸性肢端皮膚炎	E832	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	28	無セルロプラスミン血症	20076755	無セルロプラスミン血症	E830	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	29	メンケス病	20098007	メンケス病	E830	
8	先天性代謝異常	8	金属代謝異常症	30	24から29までに掲げるもののほか、金属代謝異常症				
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	76	アデニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症	20102664	アデニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症	E798	
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	77	オロチン酸尿症	20051415	オロチン酸尿症	E798	
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	78	キサントシン尿症	20051596	キサントシン尿症	E798	
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	79	尿酸トランスポーター異常症	20103308	尿酸トランスポーター異常症	E799	
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	80	ヒポキサントグアニンホスホリボシルトランスフェラー	20053715	レッシュ・ナイハン症候群	E791	
8	先天性代謝異常	9	プリンピリミジン代謝異常症	81	76から80までに掲げるもののほか、プリンピリミジン代謝異常症				
8	先天性代謝異常	10	ビタミン代謝異常症	74	先天性葉酸吸収不全症	20067833	先天性葉酸吸収不全	D528	
8	先天性代謝異常	10	ビタミン代謝異常症	75	74に掲げるもののほか、ビタミン代謝異常症				

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	50	GABAアミノ基転移酵素欠損症	20103314	G A B A アミノ基転移酵素欠損症	E888	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	51	コハク酸セミアルデヒド脱水素酵素欠損症	20103316	コハク酸セミアルデヒド脱水素酵素欠損症	E711	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	52	チロシン水酸化酵素欠損症	20103311	チロシン水酸化酵素欠損症	G241	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	53	ドーパミンβ-水酸化酵素欠損症	20103312	ドーパミンβ-水酸化酵素欠損症	E888	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	54	ビオプテリン代謝異常症	20103309	ビオプテリン代謝異常症	E708	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	55	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	20102888	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	E708	
8	先天性代謝異常	11	神経伝達物質異常症	56	50から55までに掲げるもののほか、神経伝達物質異常症				
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	34	家族性高コレステロール血症	20094175	家族性高コレステロール血症・ヘテロ接合体	E780	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	34	家族性高コレステロール血症	20094176	家族性高コレステロール血症・ホモ接合体	E780	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	34	家族性高コレステロール血症	20055578	家族性高コレステロール血症	E780	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	35	家族性複合型高脂血症	20055605	家族性複合型高脂血症	E784	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	36	原発性高カイロミクロン血症	20103123	原発性高カイロミクロン血症	E783	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	37	高比重リポタンパク (HDL) 欠乏症	20080783	高比重リポ蛋白欠乏症	E786	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	38	無β-リポタンパク血症	20080791	無ベータリポ蛋白血症	E786	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	39	34から38までに掲げるもののほか、脂質代謝異常症	20062877	脂質代謝異常	E789	
8	先天性代謝異常	12	脂質代謝異常症	39	34から38までに掲げるもののほか、脂質代謝異常症	20067563	先天性脂質代謝異常	E789	
8	先天性代謝異常	13	結合組織異常症	31	エーラス・ダンロス症候群	20100961	エーラス・ダンロス症候群	Q796	
8	先天性代謝異常	13	結合組織異常症	31	エーラス・ダンロス症候群	20100962	血管型エーラス・ダンロス症候群	Q796	
8	先天性代謝異常	13	結合組織異常症	32	リポイドタンパク症	20103318	リポイドタンパク症	E788	
8	先天性代謝異常	13	結合組織異常症	33	31及び32に掲げるもののほか、結合組織異常症				
8	先天性代謝異常	14	先天性ポルフィリン症	57	先天性ポルフィリン症	20067412	先天性ポルフィリン症	E802	
8	先天性代謝異常	15	α1-アンチトリプシン欠損症	23	α1-アンチトリプシン欠損症	20100930	α1-アンチトリプシン欠乏症	E880	
9	血液疾患	1	巨赤芽球性貧血	10	巨赤芽球性貧血	20054227	胃切除後巨赤芽球性貧血	D518	
9	血液疾患	1	巨赤芽球性貧血	10	巨赤芽球性貧血	20054363	遺伝性巨赤芽球性貧血	D511	
9	血液疾患	1	巨赤芽球性貧血	10	巨赤芽球性貧血	20054853	栄養性巨赤芽球性貧血	D520	
9	血液疾患	1	巨赤芽球性貧血	10	巨赤芽球性貧血	20058734	巨赤芽球性貧血	D531	
9	血液疾患	1	巨赤芽球性貧血	10	巨赤芽球性貧血	20064716	症候性巨赤芽球性貧血	D531	
9	血液疾患	2	赤芽球癆	26	後天性赤芽球癆	20083807	一過性後天性赤芽球ろう	D601	
9	血液疾患	2	赤芽球癆	26	後天性赤芽球癆	20083806	後天性赤芽球ろう	D609	
9	血液疾患	2	赤芽球癆	26	後天性赤芽球癆	20083804	慢性後天性赤芽球ろう	D600	
9	血液疾患	2	赤芽球癆	27	先天性赤芽球癆 (ダイヤモンド・ブラックファン貧血)	20100927	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	D610	
9	血液疾患	3	先天性赤血球形成異常性貧血	43	先天性赤血球形成異常性貧血	20067647	先天性赤血球形成異常性貧血	D644	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20054389	遺伝性鉄芽球性貧血	D640	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20098101	環状鉄芽球を伴う不応性貧血	D461	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20060770	後天性鉄芽球性貧血	D641	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20071353	鉄芽球性貧血	D643	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20073910	伴性低色素性鉄芽球性貧血	D640	
9	血液疾患	4	鉄芽球性貧血	46	鉄芽球性貧血	20077224	薬剤性鉄芽球性貧血	D642	
9	血液疾患	5	無トランスフェリン血症	50	無トランスフェリン血症	20067812	先天性無トランスフェリン血症	E880	
9	血液疾患	5	無トランスフェリン血症	50	無トランスフェリン血症	20076756	無トランスフェリン血症	E880	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	21	寒冷凝集素症	20056807	寒冷凝集素症	D591	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	22	発作性寒冷ヘモグロビン尿症	20073854	発作性寒冷ヘモグロビン尿症	D596	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	23	21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (A	20055059	温式自己免疫性溶血性貧血	D591	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	23	21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (A	20063417	自己免疫性溶血性貧血	D591	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	23	21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (A	20074437	非自己免疫性溶血性貧血	D594	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	23	21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (A	20077219	薬剤性自己免疫性溶血性貧血	D590	
9	血液疾患	6	自己免疫性溶血性貧血	23	21及び22に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血 (A	20077229	薬剤性溶血性貧血	D592	
9	血液疾患	7	発作性夜間ヘモグロビン尿症	48	発作性夜間ヘモグロビン尿症	20073869	発作性夜間ヘモグロビン尿症	D595	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	1	遺伝性球状赤血球症	20054362	遺伝性球状赤血球症	D580	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	2	鎌状赤血球症	20056737	鎌状赤血球症	D571	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	3	グルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏症	20050176	G 6 P D 欠乏性貧血	D550	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	4	口唇赤血球症	20061066	口唇赤血球症	D588	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20051034	アルファサラセミア	D560	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20056736	鎌状赤血球ベータサラセミア	D572	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20051928	サラセミア	D569	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20051930	サラセミア保因者	D563	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20051619	クーリー貧血	D561	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20070431	中間型サラセミア	D561	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20052369	デルタ・ベータサラセミア	D562	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	5	サラセミア	20053092	ベータサラセミア	D561	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	6	ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血	20052781	ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血	D552	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	7	不安定ヘモグロビン症	20075096	不安定ヘモグロビン症	D582	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	8	1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血	20055609	家族性溶血性貧血	D589	
9	血液疾患	8	遺伝性溶血性貧血	8	1から7までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血	20061480	酵素異常による遺伝性溶血性貧血	D559	
9	血液疾患	9	溶血性貧血（脾機能亢進症に	52	溶血性貧血（脾機能亢進症によるものに限る。）				
9	血液疾患	10	微小血管障害性溶血性貧血	47	微小血管障害性溶血性貧血	20074570	微小血管障害性溶血性貧血	D594	
9	血液疾患	11	真性多血症	25	真性多血症	20065920	真性赤血球増加症	D45	
9	血液疾患	12	家族性赤血球増加症	9	家族性赤血球増加症	20055594	家族性赤血球増加症	D750	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	16	免疫性血小板減少性紫斑病	20072045	特発性血小板減少性紫斑病	D693	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	17	16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	20095442	急性特発性血小板減少性紫斑病	D693	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	17	16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	20060152	血小板減少性紫斑病	D694	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	17	16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	20068925	続発性血小板減少性紫斑病	D695	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	17	16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	20095642	慢性特発性血小板減少性紫斑病	D693	
9	血液疾患	13	血小板減少性紫斑病	17	16に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	20077214	薬剤性血小板減少性紫斑病	D695	
9	血液疾患	14	血栓性血小板減少性紫斑病	18	血栓性血小板減少性紫斑病	20060185	血栓性血小板減少性紫斑病	M311	
9	血液疾患	14	血栓性血小板減少性紫斑病	18	血栓性血小板減少性紫斑病	20104008	後天性血栓性血小板減少性紫斑病	M311	
9	血液疾患	14	血栓性血小板減少性紫斑病	18	血栓性血小板減少性紫斑病	20099610	先天性血栓性血小板減少性紫斑病	M311	
9	血液疾患	15	血小板減少症（脾機能亢進症	15	血小板減少症（脾機能亢進症によるものに限る。）				
9	血液疾患	16	先天性骨髄不全症候群	41	先天性無巨核球性血小板減少症	20103414	先天性無巨核球性血小板減少症	D694	
9	血液疾患	16	先天性骨髄不全症候群	42	ファンconi貧血	20101023	ファンconi貧血	D610	
9	血液疾患	17	周期性血小板減少症	24	周期性血小板減少症	20063920	周期性血小板減少症	D696	
9	血液疾患	18	メイ・ヘグリン異常症	51	メイ・ヘグリン異常症	20103416	メイ・ヘグリン異常症	D694	
9	血液疾患	20	本態性血小板血症	49	本態性血小板血症	20076152	本態性血小板血症	D473	
9	血液疾患	21	血小板機能異常症	11	血小板放出機構異常症	20060157	血小板放出機構異常症	D691	
9	血液疾患	21	血小板機能異常症	12	血小板無力症	20060158	血小板無力症	D691	
9	血液疾患	21	血小板機能異常症	13	ベルナール・スーリエ症候群	20086541	ベルナール・スーリエ症候群	D691	
9	血液疾患	21	血小板機能異常症	14	11から13までに掲げるもののほか、血小板機能異常症	20060147	血小板機能異常症	D691	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	29	血友病A	20060219	血友病A	D66	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	29	血友病A	20094473	後天性血友病A	D684	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	30	血友病B	20060220	血友病B	D67	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	30	血友病B	20094476	後天性血友病B	D684	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	31	先天性フィブリノーゲン欠乏症	20104012	先天性フィブリノーゲン欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	32	先天性プロトロンビン欠乏症	20104013	先天性プロトロンビン欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	33	第V因子欠乏症	20069984	第V因子欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	33	第V因子欠乏症	20104014	後天性第V因子欠乏症	D684	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	34	第VII因子欠乏症	20097920	第VII因子欠乏症	D682	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	35	第X因子欠乏症	20069986	第X因子欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	36	第XI因子欠乏症	20069985	第X I 因子欠乏症	D681	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	37	第XII因子欠乏症	20104015	第X I I 因子欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	38	第XIII因子欠乏症	20099497	第X I I I 因子欠乏症	D682	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	38	第XIII因子欠乏症	20099422	後天性第X I I I 因子欠乏症	D684	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	39	フォンウィルブランド病	20094551	フォンウィルブランド病	D680	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	39	フォンウィルブランド病	20102904	自己免疫性後天性フォンウィルブランド病	D684	
9	血液疾患	22	先天性血液凝固因子異常	40	29から39までに掲げるもののほか、先天性血液凝固因子異常	20082491	先天性血液凝固因子異常	D689	
9	血液疾患	23	先天性プロテインC欠乏症	44	先天性プロテインC欠乏症	20084152	プロテインC欠乏症	D685	
9	血液疾患	24	先天性プロテインS欠乏症	45	先天性プロテインS欠乏症	20084177	プロテインS欠乏症	D685	
9	血液疾患	25	先天性アンチトロンビン欠乏症	28	先天性アンチトロンビン欠乏症	20051105	アンチトロンビン I I I 欠乏症	D685	
9	血液疾患	25	先天性アンチトロンビン欠乏症	28	先天性アンチトロンビン欠乏症	20097795	アンチトロンビン欠乏症	D685	
9	血液疾患	27	骨髄線維症	19	骨髄線維症	20058374	急性骨髄線維症	C944	
9	血液疾患	27	骨髄線維症	19	骨髄線維症	20060459	原発性骨髄線維症	D474	
9	血液疾患	27	骨髄線維症	19	骨髄線維症	20061937	骨髄線維症	D474	
9	血液疾患	27	骨髄線維症	19	骨髄線維症	20068933	続発性骨髄線維症	D474	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20067555	先天性再生不良性貧血	D610	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20057033	肝炎後再生不良性貧血	D612	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20095457	軽症再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20062217	再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20095485	最重症再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20095527	重症再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20069317	体質性再生不良性貧血	D610	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20095581	中等症再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20072059	特発性再生不良性貧血	D613	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20072361	二次性再生不良性貧血	D612	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20076160	本態性再生不良性貧血	D619	
9	血液疾患	28	再生不良性貧血	20	再生不良性貧血	20077218	薬剤性再生不良性貧血	D611	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	29	アデノシンデアミナーゼ (ADA) 欠損症	20050057	A D A 欠乏症	D813	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	30	X連鎖重症複合免疫不全症	20095389	X連鎖重症複合免疫不全症	D821	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	31	オーメン症候群	20095417	オーメン症候群	D818	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	32	細網異形成症	20103320	細網異形成症	D810	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	33	ZAP-70欠損症	20095392	Z A P - 7 0 欠損症	D818	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	34	CD8欠損症	20103322	C D 8 欠損症	D818	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	35	プリヌクレオシドホスホリラーゼ欠損症	20095374	P N P 欠損症	D815	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	36	MHCクラスI欠損症	20095363	M H C クラス I 欠損症	D816	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	37	MHCクラスII欠損症	20095364	M H C クラス I I 欠損症	D817	
10	免疫疾患	1	複合免疫不全症	38	29から37までに掲げるもののほか、複合免疫不全症	20064111	重症複合免疫不全症	D819	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	45	ICF症候群	20103323	I C F 症候群	D800	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	46	ウィスコット・オールドリッチ症候群	20082480	ウィスコット・オールドリッチ症候群	D820	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	47	肝中心静脈閉鎖症を伴う免疫不全症	20103439	肝中心静脈閉鎖症を伴う免疫不全症	D848	K768
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	48	胸腺低形成 (ディ・ジョージ症候群/22q11.2欠失症候群)	20052349	ディジョージ症候群	D821	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	48	胸腺低形成 (ディ・ジョージ症候群/22q11.2欠失症候群)	20095677	2 2 q 1 1 . 2 欠失症候群	Q938	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	49	高IgE症候群	20061512	高 I g E 症候群	D824	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	50	シムケ症候群	20103326	シムケ症候群	D848	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	51	先天性角化異常症	20067452	先天性角化異常症	Q828	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	52	ナイミーヘン染色体不安定症候群	20095590	ナイミーヘン染色体不安定症候群	D828	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候群	53	PMS2異常症	20103325	P M S 2 異常症	D848	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候	54	ブルーム症候群	20090216	ブルーム症候群	Q828	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候	55	毛細血管拡張性運動失調症	20076942	毛細血管拡張性運動失調症	G113	
10	免疫疾患	2	免疫不全を伴う特徴的な症候	56	RIDDLE症候群	20102662	リドル症候群	I152	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	1	IgGサブクラス欠損症	20095347	I g Gサブクラス欠損症	D803	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	2	X連鎖無ガンマグロブリン血症	20095390	X連鎖無ガンマグロブリン血症	D800	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	3	高IgM症候群	20095388	X連鎖高I g M症候群	D805	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	3	高IgM症候群	20061513	高I g M症候群	D805	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	4	選択的IgA欠損	20095346	I g A欠損症	D802	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	5	特異抗体産生不全症	20103328	特異抗体産生不全症	D806	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	6	乳児一過性低ガンマグロブリン血症	20072492	乳児一過性低ガンマグロブリン血症	D807	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	7	分類不能型免疫不全症	20103679	分類不能型免疫不全症	D839	
10	免疫疾患	3	液性免疫不全を主とする疾患	8	1から7までに掲げるもののほか、液性免疫不全を主とする疾患				
10	免疫疾患	4	免疫調節障害	41	X連鎖リンパ増殖症候群	20095391	X連鎖リンパ増殖症候群	D823	
10	免疫疾患	4	免疫調節障害	42	自己免疫性リンパ増殖症候群 (ALPS)	20103442	R A S関連自己免疫性リンパ増殖症候群様疾患	D763	
10	免疫疾患	4	免疫調節障害	42	自己免疫性リンパ増殖症候群 (ALPS)	20103329	自己免疫性リンパ増殖症候群	D763	
10	免疫疾患	4	免疫調節障害	43	チェディアック・東症候群	20052283	チェディアック・東症候群	E703	
10	免疫疾患	4	免疫調節障害	44	41から43までに掲げるもののほか、免疫調節障害				
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	9	周期性好中球減少症	20063922	周期性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	10	重症先天性好中球減少症	20095529	重症先天性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	10	重症先天性好中球減少症	20064482	小児遺伝性無顆粒球症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20054451	一過性新生児好中球減少症	P615	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20061234	好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20063412	自己免疫性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20067544	先天性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20070621	中毒性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20072051	特発性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20086903	発熱性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20098099	不応性好中球減少症	D460	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20076637	慢性本態性好中球減少症症候群	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20077231	薬剤性顆粒球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	11	9及び10に掲げるもののほか、慢性の経過をたどる好中球	20078701	脾性好中球減少症	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	12	シュワツハマン・ダイヤモンド症候群	20103802	シュワツハマン・ダイヤモンド症候群	D70	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	13	白血球接着不全症	20095611	白血球接着不全症	D71	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	14	慢性肉芽腫症	20076566	慢性肉芽腫症	D71	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	15	ミエロペルオキシダーゼ欠損症	20053313	ミエロペルオキシダーゼ欠損症	E803	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	16	メンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症	20103332	メンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症	D848	
10	免疫疾患	5	原発性食細胞機能不全症および	17	12から16までに掲げるもののほか、白血球機能異常				
10	免疫疾患	6	自然免疫異常	21	IRAK4欠損症	20103335	I R A K 4欠損症	D848	
10	免疫疾患	6	自然免疫異常	22	慢性皮膚粘膜カンジダ症	20076601	慢性皮膚粘膜カンジダ症	B372	
10	免疫疾患	6	自然免疫異常	23	MyD88欠損症	20103336	M y D 8 8欠損症	D848	
10	免疫疾患	6	自然免疫異常	24	免疫不全を伴う無汗性外胚葉形成異常症	20103440	免疫不全を伴う無汗性外胚葉形成異常症	Q824	D848
10	免疫疾患	6	自然免疫異常	25	21から24までに掲げるもののほか、自然免疫異常				
10	免疫疾患	7	先天性補体欠損症	26	遺伝性血管性浮腫 (C1インヒビター欠損症)	20095403	遺伝性血管性浮腫	D841	
10	免疫疾患	7	先天性補体欠損症	27	先天性補体欠損症	20103438	先天性補体欠損症	D841	
10	免疫疾患	7	先天性補体欠損症	28	26及び27に掲げるもののほか、先天性補体欠損症				
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20051075	アレルギー性好酸球増加症	D721	
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20054367	遺伝性好酸球増加症	D721	
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20061222	好酸球増加症	D721	

疾患群番号	疾患群名	大分類番号	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20076439	慢性好酸球性肺炎	J82	
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20079770	単純性肺好酸球増加症	J82	
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20072987	熱帯性肺好酸球増多症	J82	
10	免疫疾患	8	好酸球増加症	18	好酸球増加症	20061215	好酸球性肺炎	J82	
10	免疫疾患	9	慢性活動性EBウイルス感染症	40	慢性活動性EBウイルス感染症	20103337	慢性活動性EBウイルス感染症	C845	
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	19	後天性免疫不全症候群（HIV感染によるものに限る。）	20090021	H I V 網膜症	B238	H320
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	19	後天性免疫不全症候群（HIV感染によるものに限る。）	20050063	A I D S	B24	
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	19	後天性免疫不全症候群（HIV感染によるものに限る。）	20060783	後天性免疫不全症候群	B24	
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	19	後天性免疫不全症候群（HIV感染によるものに限る。）	20050202	H I V 脳症	B220	
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	19	後天性免疫不全症候群（HIV感染によるものに限る。）	20065661	新生児H I V 感染症	B24	
10	免疫疾患	10	後天性免疫不全症	20	後天的な免疫系障害による免疫不全症	20103441	後天的な免疫系障害による免疫不全症	D849	
10	免疫疾患	11	慢性移植片対宿主病	39	慢性移植片対宿主病	20095895	慢性移植片対宿主病	T860	
11	神経・筋疾患	1	脊髄髄膜瘤	37	脊髄脂肪腫	20094761	脊髄脂肪腫	D177	
11	神経・筋疾患	1	脊髄髄膜瘤	38	髄膜脳瘤	20066517	髄膜脳瘤	Q019	
11	神経・筋疾患	1	脊髄髄膜瘤	39	脊髄髄膜瘤	20067006	脊髄髄膜瘤	Q059	
11	神経・筋疾患	1	脊髄髄膜瘤	39	脊髄髄膜瘤	20067057	脊髄瘤	Q059	
11	神経・筋疾患	2	仙尾部奇形腫	55	仙尾部奇形腫	20092161	仙尾部奇形腫	D481	
11	神経・筋疾患	2	仙尾部奇形腫	55	仙尾部奇形腫	20103226	胎児仙尾部奇形腫による骨盤不均衡	O337	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	66	滑脳症	20056717	滑脳症	Q043	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	67	巨脳症－毛細血管奇形症候群				
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	68	全前脳胞症	20068419	全前脳胞症	Q042	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	69	先天性水頭症	20067625	先天性水頭症	Q039	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	70	ダンディー・ウォーカー症候群	20052271	ダンディー・ウォーカー症候群	Q031	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	71	中隔視神経形成異常症（ドモルシア症候群）	20093523	中隔視神経形成異常症	Q044	
11	神経・筋疾患	3	脳形成障害	72	裂脳症	20077943	裂脳症	Q046	
11	神経・筋疾患	4	ジュベール症候群関連疾患	21	ジュベール症候群関連疾患	20100313	ジュベール症候群	Q043	
11	神経・筋疾患	4	ジュベール症候群関連疾患	21	ジュベール症候群関連疾患	20103449	ジュベール症候群関連疾患	Q048	
11	神経・筋疾患	5	レット症候群	81	レット症候群	20053717	レット症候群	F842	
11	神経・筋疾患	6	神経皮膚症候群	24	結節性硬化症	20059967	結節性硬化症	Q851	
11	神経・筋疾患	6	神経皮膚症候群	25	ゴーリン症候群（基底細胞母斑症候群）	20086636	基底細胞母斑症候群	Q859	
11	神経・筋疾患	6	神経皮膚症候群	26	神経皮膚黒色症	20066087	神経皮膚黒色症	L814	
11	神経・筋疾患	6	神経皮膚症候群	27	スタージ・ウェーバー症候群	20052101	スタージ・ウェーバー症候群	Q858	
11	神経・筋疾患	6	神経皮膚症候群	28	フォンヒッペル・リンダウ病	20096618	フォンヒッペル・リンダウ病	Q858	
11	神経・筋疾患	7	早老症	56	ウェルナー症候群	20051268	ウェルナー症候群	E348	
11	神経・筋疾患	7	早老症	57	コケイン症候群	20051842	コケイン症候群	Q871	
11	神経・筋疾患	7	早老症	58	ハッチンソン・ギルフォード症候群	20068568	早老症	E348	
11	神経・筋疾患	8	遺伝子異常による白質脳症	2	アレキサンダー病	20051050	アレキサンダー病	E752	
11	神経・筋疾患	8	遺伝子異常による白質脳症	3	カナバン病	20102685	カナバン病	E752	
11	神経・筋疾患	8	遺伝子異常による白質脳症	4	先天性大脳白質形成不全症	20101035	先天性大脳白質形成不全症	G378	
11	神経・筋疾患	8	遺伝子異常による白質脳症	5	白質消失病	20102879	白質消失病	G934	
11	神経・筋疾患	8	遺伝子異常による白質脳症	6	皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症	20102876	皮質下のう胞をもつ大頭型白質脳症	E752	G378
11	神経・筋疾患	9	ATR-X症候群	8	ATR-X症候群	20101171	A T R - X 症候群	Q870	F729
11	神経・筋疾患	10	脆弱X症候群	35	脆弱X症候群	20090185	脆弱X症候群	Q992	
11	神経・筋疾患	10	脆弱X症候群	35	脆弱X症候群	20101051	脆弱X症候群関連疾患	Q992	
11	神経・筋疾患	11	先天性グリコシルホスファチ	45	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠	20102883	先天性G P I 欠損症	E748	
11	神経・筋疾患	12	脳クレアチン欠乏症候群	65	脳クレアチン欠乏症候群	20103588	脳クレアチン欠乏症候群	E728	
11	神経・筋疾患	13	頭蓋骨縫合早期癒合症	31	アペール症候群	20050898	アペール症候群	Q870	
11	神経・筋疾患	13	頭蓋骨縫合早期癒合症	32	クルーゾン病	20092606	クルーゾン症候群	Q751	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
11	神経・筋疾患	13	頭蓋骨縫合早期癒合症	33	非症候性頭蓋骨縫合早期癒合症	20102666	非症候性頭蓋骨縫合早期癒合症	Q750	
11	神経・筋疾患	13	頭蓋骨縫合早期癒合症	34	31から33までに掲げるもののほか、重度の頭蓋骨早期癒合	20071662	頭蓋骨癒合症	Q750	
11	神経・筋疾患	14	もやもや病	79	もやもや病	20050703	もやもや病	I675	
11	神経・筋疾患	14	もやもや病	79	もやもや病	20064475	小児もやもや病	I675	
11	神経・筋疾患	15	脳動静脈奇形	73	脳動静脈奇形	20061431	硬膜脳動静脈奇形	Q282	
11	神経・筋疾患	15	脳動静脈奇形	73	脳動静脈奇形	20073281	脳動静脈奇形	Q282	
11	神経・筋疾患	15	脳動静脈奇形	73	脳動静脈奇形	20099703	脳動静脈奇形破裂	I608	
11	神経・筋疾患	15	脳動静脈奇形	73	脳動静脈奇形	20099698	脳動静脈奇形破裂によるくも膜下出血	I608	
11	神経・筋疾患	15	脳動静脈奇形	73	脳動静脈奇形	20099700	脳動静脈奇形破裂による脳出血	I619	
11	神経・筋疾患	16	海綿状血管腫（脳脊髄）	9	海綿状血管腫（脳脊髄）	20095501	小脳海綿状血管腫	Q283	
11	神経・筋疾患	16	海綿状血管腫（脳脊髄）	9	海綿状血管腫（脳脊髄）	20104017	脳海綿状血管腫	Q283	
11	神経・筋疾患	16	海綿状血管腫（脳脊髄）	9	海綿状血管腫（脳脊髄）	20066961	脊髄海綿状血管腫	Q281	
11	神経・筋疾患	16	海綿状血管腫（脳脊髄）	9	海綿状血管腫（脳脊髄）	20104018	脳脊髄海綿状血管腫	Q288	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20095554	脊髄性筋萎縮症ⅠⅠ型	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20095555	脊髄性筋萎縮症ⅠⅠⅠ型	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20054927	遠位型脊髄性筋萎縮症	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20055593	家族性脊髄性筋萎縮症	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20084039	球脊髄性筋萎縮症	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20060357	肩甲胛骨型脊髄性筋萎縮症	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20067011	脊髄性筋萎縮症	G122	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20094887	脊髄性筋萎縮症ⅠⅤ型	G121	
11	神経・筋疾患	17	脊髄性筋萎縮症	40	脊髄性筋萎縮症	20095553	脊髄性筋萎縮症Ⅰ型	G120	
11	神経・筋疾患	18	先天性ニューロパチー	46	遺伝性運動感覚ニューロパチー	20085400	遺伝性運動感覚性ニューロパチー	G600	
11	神経・筋疾患	18	先天性ニューロパチー	47	先天性無痛無汗症	20099284	先天性無痛無汗症	G608	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	10	ウルリヒ型先天性筋ジストロフィー（類縁疾患を含む。）	20100503	ウルリッヒ病	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	11	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	20101114	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	12	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	20057662	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	13	肢帯型筋ジストロフィー	20084796	肢帯型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	14	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	20052364	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	15	福山型先天性筋ジストロフィー	20083899	福山型先天性筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	16	メロシン欠損型先天性筋ジストロフィー	20103589	メロシン欠損型先天性筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20053101	ベッカー型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20059229	筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20083898	進行性筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20054926	遠位型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20092729	偽肥大型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20101116	眼咽頭筋型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20059238	筋強直性ジストロフィー	G711	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20100512	三好型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20100511	三好型ミオパチー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20064496	小児型筋ジストロフィー	G710	
11	神経・筋疾患	19	筋ジストロフィー	17	10から16までに掲げるもののほか、筋ジストロフィー	20083897	先天性筋ジストロフィー	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	48	先天性筋線維不均等症	20103590	先天性筋線維不均等症	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	49	セントラルコア病	20079766	セントラルコア病	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	50	ネマリンミオパチー	20084814	ネマリンミオパチー	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	51	マルチコア病	20079765	マルチコア病	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	52	ミオチューブラーミオパチー	20084818	ミオチューブラーミオパチー	G712	
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	53	ミニコア病	20103730	ミニコア病	G712	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
11	神経・筋疾患	20	先天性ミオパチー	54	48から53までに掲げるもののほか、先天性ミオパチー	20084815	先天性ミオパチー	G712	
11	神経・筋疾患	21	シュワルツ・ヤンベル症候群	22	シュワルツ・ヤンベル症候群	20085398	シュワルツ・ヤンベル症候群	G711	
11	神経・筋疾患	22	難治てんかん脳症	60	点頭てんかん（ウエスト症候群）	20051277	ウエスト症候群	G404	
11	神経・筋疾患	22	難治てんかん脳症	60	点頭てんかん（ウエスト症候群）	20071426	点頭てんかん	G404	
11	神経・筋疾患	22	難治てんかん脳症	61	乳児重症ミオクロニーてんかん	20103125	ドラベ症候群	G404	
11	神経・筋疾患	22	難治てんかん脳症	61	乳児重症ミオクロニーてんかん	20098826	乳児重症ミオクロニーてんかん	G404	
11	神経・筋疾患	22	難治てんかん脳症	62	レノックス・ガストー症候群	20053719	レノックス・ガストー症候群	G404	
11	神経・筋疾患	23	進行性ミオクロヌステんか	29	ウンフェルリヒト・ルントボルグ病	20102687	ウンフェルリヒト・ルントボルグ病	G403	
11	神経・筋疾患	23	進行性ミオクロヌステんか	30	ラフォラ病	20102691	ラフォラ病	G403	
11	神経・筋疾患	24	脊髄小脳変性症	36	脊髄小脳変性症	20066992	脊髄小脳変性症	G319	
11	神経・筋疾患	25	小児交互性片麻痺	23	小児交互性片麻痺	20103593	小児交互性片麻痺	G819	
11	神経・筋疾患	26	変形性筋ジストニー	76	瀬川病	20086807	瀬川病	G241	
11	神経・筋疾患	26	変形性筋ジストニー	77	変形性筋ジストニー	20083846	変形性筋ジストニア	G241	
11	神経・筋疾患	27	脳の鉄沈着を伴う神経変性疾	74	乳児神経軸索ジストロフィー	20100937	乳児神経軸索ジストロフィー	G318	
11	神経・筋疾患	27	脳の鉄沈着を伴う神経変性疾	75	パントテン酸キナーゼ関連神経変性症	20100688	パントテン酸キナーゼ関連神経変性症	G230	
11	神経・筋疾患	28	乳児両側線条体壊死	64	乳児両側線条体壊死	20103595	乳児両側線条体壊死	G232	
11	神経・筋疾患	29	先天性感染症	41	先天性サイトメガロウイルス感染症	20067400	先天性サイトメガロウイルス感染症	P351	
11	神経・筋疾患	29	先天性感染症	42	先天性トキソプラズマ感染症	20103224	先天性トキソプラズマ症	P371	
11	神経・筋疾患	29	先天性感染症	43	先天性風疹症候群	20067800	先天性風疹症候群	P350	
11	神経・筋疾患	29	先天性感染症	44	先天性ヘルペスウイルス感染症	20067411	先天性ヘルペスウイルス感染症	P352	
11	神経・筋疾患	30	エカルディ・グティエール症	7	エカルディ・グティエール症候群	20102896	エカルディ・グティエール症候群	D898	
11	神経・筋疾患	31	亜急性硬化性全脳炎	1	亜急性硬化性全脳炎	20053842	亜急性硬化性全脳炎	A811	
11	神経・筋疾患	32	ラスムッセン脳炎	80	ラスムッセン脳炎	20103111	ラスムッセン脳炎	G048	G405
11	神経・筋疾患	33	痙攣重積型急性脳症	18	痙攣重積型（二相性）急性脳症	20101033	痙攣重積型二相性急性脳症	G934	
11	神経・筋疾患	34	自己免疫介在性脳炎・脳症	19	自己免疫介在性脳炎・脳症	20103597	自己免疫介在性脳炎・脳症	G934	
11	神経・筋疾患	35	難治頻回部分発作重積型急性	63	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	20103116	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	G405	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20058508	急性多発性硬化症	G35	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20062958	視神経脊髄炎	G360	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20083886	脊髄多発性硬化症	G35	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20079746	多発性硬化症	G35	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20073099	脳幹多発性硬化症	G35	
11	神経・筋疾患	36	多発性硬化症	59	多発性硬化症	20083906	無症候性多発性硬化症	G35	
11	神経・筋疾患	37	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	78	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20085396	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	G618	
11	神経・筋疾患	37	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	78	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20084771	多巣性運動ニューロパチー	G618	
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20065753	新生児重症筋無力症	P940	
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20084782	眼筋型重症筋無力症	G700	
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20095444	胸腺腫合併重症筋無力症	G700	D150
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20095445	胸腺摘出後重症筋無力症	G700	E898
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20095514	若年型重症筋無力症	G700	
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20064101	重症筋無力症	G700	
11	神経・筋疾患	38	重症筋無力症	20	重症筋無力症	20095565	全身型重症筋無力症	G700	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	23	アミラーゼ欠損症	20103602	アミラーゼ欠損症	E743	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	24	エンテロキナーゼ欠損症	20103601	エンテロキナーゼ欠損症	K908	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	25	ショ糖イソ麦芽糖分解酵素欠損症	20103598	ショ糖イソ麦芽糖分解酵素欠損症	E743	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	26	先天性グルコース・ガラクトース吸収不良症	20051760	グルコース・ガラクトース吸収不良症	E743	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	27	腸リンパ管拡張症	20103677	腸リンパ管拡張症	I890	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	28	乳糖不耐症	20067417	先天性ラクターゼ欠損症	E730	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	28	乳糖不耐症	20072552	乳糖不耐症	E739	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	29	微絨毛封入体病	20103605	微絨毛封入体病	K908	
12	慢性消化器疾患	1	難治性下痢症	30	リパーゼ欠損症	20103604	リパーゼ欠損症	E788	
12	慢性消化器疾患	2	ポリポーシス	38	カウデン症候群	20090318	カウデン病	Q858	
12	慢性消化器疾患	2	ポリポーシス	39	家族性腺腫性ポリポーシス	20055597	家族性大腸ポリポーシス	D126	
12	慢性消化器疾患	2	ポリポーシス	40	若年性ポリポーシス	20103607	若年性ポリポーシス	D126	
12	慢性消化器疾患	2	ポリポーシス	41	ポイツ・ジェガース症候群	20090651	ポイツ・ジェガース症候群	Q858	
12	慢性消化器疾患	3	周期性嘔吐症候群	19	周期性嘔吐症候群	20103608	周期性嘔吐症候群	R11	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20092805	ステロイド依存性潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094759	ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094639	活動期潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094640	緩解期潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094659	急性激症型潰瘍性大腸炎	K510	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20058541	急性潰瘍性大腸炎	K518	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094677	軽症潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094690	劇症型潰瘍性大腸炎	K510	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094618	潰瘍性大腸炎・左側大腸炎型	K515	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094707	再燃緩解型潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094738	重症潰瘍性大腸炎	K510	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094729	初回発作型潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094620	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	K510	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094788	中等症潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094621	潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型	K513	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094622	潰瘍性大腸炎・直腸炎型	K512	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20071174	潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094624	潰瘍性大腸炎再燃	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094625	潰瘍性大腸炎術後	Z904	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20104184	潰瘍性大腸炎性関節炎	K519	M0750
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20071176	潰瘍性大腸炎性若年性関節炎	K519	M0920
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	1	潰瘍性大腸炎	20094842	慢性持続型潰瘍性大腸炎	K519	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20051702	クローン病	K509	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20051703	クローン病によるビタミンB12欠乏性貧血	D518	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20104185	クローン病性関節炎	K509	M0740
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20051705	クローン病性若年性関節炎	K509	M0910
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20092806	ステロイド依存性クローン病	K509	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20095398	胃クローン病	K508	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20095401	胃十二指腸クローン病	K508	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20055789	回腸クローン病	K500	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20059380	空腸クローン病	K500	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20069732	大腸クローン病	K501	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20064015	十二指腸クローン病	K500	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20089144	小腸大腸クローン病	K508	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20064545	小腸クローン病	K500	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20095580	虫垂クローン病	K501	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20070950	直腸クローン病	K501	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	2	クローン病	20095470	肛門クローン病	K508	
12	慢性消化器疾患	4	自己免疫性腸症 (IPEX症候群)	3	自己免疫性腸症 (IPEX症候群を含む。)	20103447	自己免疫性腸症	K908	
12	慢性消化器疾患	4	炎症性腸疾患	4	早期発症型炎症性腸疾患	20103612	早期発症型炎症性腸疾患	K529	
12	慢性消化器疾患	5	非特異性多発性小腸潰瘍症	33	非特異性多発性小腸潰瘍症	20103492	非特異性多発性小腸潰瘍症	K633	

疾患群番号	疾患群名	大分類番号	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
12	慢性消化器疾患	6	急性肝不全（昏睡型）	17	急性肝不全（昏睡型）	20103613	急性肝不全・昏睡型	K720	
12	慢性消化器疾患	7	原発性硬化性胆管炎	42	原発性硬化性胆管炎	20060451	原発性硬化性胆管炎	K830	
12	慢性消化器疾患	7	自己免疫性肝炎	43	自己免疫性肝炎	20063411	自己免疫性肝炎	K754	
12	慢性消化器疾患	7	自己免疫性肝炎	43	自己免疫性肝炎	20100651	重症自己免疫性肝炎	K754	
12	慢性消化器疾患	7	新生児ヘモクロマトーシス	44	新生児ヘモクロマトーシス	20100944	新生児ヘモクロマトーシス	E831	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	11	アラジール症候群	20050947	アラジール症候群	Q447	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	12	肝内胆管減少症	20103617	肝内胆管減少症	Q445	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	13	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	20087661	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	K710	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	13	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	20100419	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 1型	K710	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	13	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	20100421	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 2型	K710	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	13	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	20100423	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 3型	K710	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	14	先天性多発肝内胆管拡張症（カロリ病）	20067465	先天性肝内胆管拡張症	Q444	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	15	先天性胆道拡張症	20067689	先天性胆道拡張症	Q444	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	16	胆道閉鎖症	20057047	肝外胆道閉鎖症	Q442	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	16	胆道閉鎖症	20082643	胆道閉鎖症	Q442	
12	慢性消化器疾患	8	肝内胆汁うっ滞性疾患	16	胆道閉鎖症	20100417	胆道閉鎖症術後	Z090	
12	慢性消化器疾患	9	肝硬変症	9	肝硬変症	20050975	アルコール性肝硬変	K703	
12	慢性消化器疾患	9	肝硬変症	9	肝硬変症	20057068	肝硬変症	K746	
12	慢性消化器疾患	9	肝硬変症	9	肝硬変症	20060477	原発性胆汁性肝硬変	K743	
12	慢性消化器疾患	9	肝硬変症	9	肝硬変症	20102107	原発性胆汁性胆管炎	K743	
12	慢性消化器疾患	9	肝硬変症	9	肝硬変症	20074455	非代償性肝硬変	K746	
12	慢性消化器疾患	9	先天性肝線維症	10	先天性肝線維症	20067463	先天性肝線維症	Q447	
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	6	先天性門脈欠損症	20103618	先天性門脈欠損症	Q265	
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20064001	住血吸虫症性門脈圧亢進症	B659	K770
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20072114	特発性門脈圧亢進症	K766	
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20077171	門脈圧亢進症	K766	
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20088064	門脈圧亢進症性胃症	K766	
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20093515	門脈圧亢進症性胃腸症	K766	K928
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	7	門脈圧亢進症（バンチ症候群を含む。）	20093513	門脈圧亢進症性腸症	K766	K638
12	慢性消化器疾患	10	肝血行異常症	8	門脈・肝動脈脈瘻	20086679	肝動脈門脈瘻	Q266	
12	慢性消化器疾患	11	クリグラー・ナジャー症候群	18	クリグラー・ナジャー症候群	20051663	クリグラー・ナジャー症候群	E805	
12	慢性消化器疾患	12	難治性膵炎	31	遺伝性膵炎	20101274	遺伝性膵炎	K861	
12	慢性消化器疾患	12	難治性膵炎	32	自己免疫性膵炎	20100245	1型自己免疫性膵炎	K861	
12	慢性消化器疾患	12	難治性膵炎	32	自己免疫性膵炎	20100247	2型自己免疫性膵炎	K861	
12	慢性消化器疾患	12	難治性膵炎	32	自己免疫性膵炎	20086727	自己免疫性膵炎	K861	
12	慢性消化器疾患	13	短腸症	22	短腸症	20085369	短腸症候群	K918	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	34	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	20100449	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	Q438	Q647
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	35	腸管神経節細胞僅少症	20100452	腸管神経節細胞僅少症	Q438	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20100954	S状結腸型ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20052705	ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20096049	ヒルシュスブルング病類縁疾患	Q432	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20100956	左右結腸型ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20100950	小腸型ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20100948	全結腸型ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	36	ヒルシュスブルング病	20100952	直腸下部型ヒルシュスブルング病	Q431	
12	慢性消化器疾患	14	ヒルシュスブルング病及び類	37	慢性特発性偽性腸閉塞症	20100448	慢性特発性偽性腸閉塞症	Q438	
12	慢性消化器疾患	15	肝巨大血管腫	5	肝巨大血管腫	20103435	乳幼児肝巨大血管腫	D180	
12	慢性消化器疾患	16	総排泄腔遺残	20	総排泄腔遺残	20068601	総排泄腔遺残	Q437	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
12	慢性消化器疾患	16	総排泄腔外反症	21	総排泄腔外反症	20093210	総排泄腔外反症	Q641	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	1	アンジェルマン症候群	20083715	アンジェルマン症候群	Q935	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	2	5 p 欠症候群	20101157	5 p 欠失症候群	Q934	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	3	13トリソミー症候群	20083697	トリソミー 1 3	Q917	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	3	13トリソミー症候群	20083691	減数分裂性不分離トリソミー 1 3	Q914	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	3	13トリソミー症候群	20083687	転座トリソミー 1 3	Q916	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	3	13トリソミー症候群	20083695	モザイクトリソミー 1 3	Q915	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	3	13トリソミー症候群	20083688	有糸分裂性不分離トリソミー 1 3	Q915	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	4	18トリソミー症候群	20083701	トリソミー 1 8	Q913	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	4	18トリソミー症候群	20083699	減数分裂性不分離トリソミー 1 8	Q910	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	4	18トリソミー症候群	20083694	転座トリソミー 1 8	Q912	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	4	18トリソミー症候群	20083702	モザイクトリソミー 1 8	Q911	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	4	18トリソミー症候群	20083690	有糸分裂性不分離トリソミー 1 8	Q911	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	5	ダウン症候群	20052260	ダウン症候群	Q909	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	6	4 p 欠症候群	20101151	4 p 欠失症候群	Q933	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	7	1から6までに掲げるもののほか、常染色体異常（ウィリアムズ症候群）	20050004	1 8 常染色体異常	Q913	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	7	1から6までに掲げるもののほか、常染色体異常（ウィリアムズ症候群）	20065168	常染色体異常	Q999	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	8	アントレー・ピクスラー症候群	20101176	アントレー・ピクスラー症候群	Q870	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	9	ウィーバー症候群	20051188	ウィーバー症候群	Q873	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	10	MECP2重複症候群	20104019	M E C P 2 重複症候群	F848	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	11	歌舞伎症候群	20090188	歌舞伎症候群	Q870	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	12	カムラティ・エンゲルマン症候群	20051484	カムラチ・エンゲルマン症候群	Q783	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	13	コステロ症候群	20095272	コステロ症候群	Q871	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	14	コフィン・シリス症候群	20101181	コフィン・シリス症候群	Q870	F799
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	15	コフィン・ローリー症候群	20101174	コフィン・ローリー症候群	Q898	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	16	コルネリア・デランゲ症候群	20093003	コルネリアデランゲ症候群	Q871	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	17	CFC症候群	20100455	C F C 症候群	Q878	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	18	色素失調症	20065209	色素失調症	Q823	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	18	色素失調症	20069994	脱色素性色素失調症	Q823	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	19	シンプソン・ゴラビ・ベームル症候群	20090482	シンプソン・ゴラビ・ベームル症候群	Q878	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	20	スミス・マギニス症候群	20101186	スミス・マギニス症候群	Q938	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	21	スミス・レムリ・オピッツ症候群	20052179	スミス・レムリ・オピッツ症候群	Q871	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	22	ソトス症候群	20052229	ソトス症候群	Q873	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	23	武内・小崎症候群	20104020	武内・小崎症候群	Q878	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	24	チャージ症候群	20094479	C H A R G E 症候群	Q878	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	25	ハーラマン・ストライフ症候群	20052534	ハラーマン・ストライフ症候群	Q870	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	26	VATER症候群	20100928	V A T E R 症候群	Q872	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	27	ファイファー症候群	20094829	ファイファー症候群	Q870	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	28	ベックウィズ・ヴィーデマン症候群	20092618	ベックウィズ・ウィーデマン症候群	Q873	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	29	マルファン症候群	20053297	マルファン症候群	Q874	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	30	メビウス症候群	20053407	メビウス症候群	Q870	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	31	モワット・ウィルソン症候群	20101183	モワット・ウィルソン症候群	Q870	F729
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	32	ヤング・シンプソン症候群	20101189	ヤング・シンプソン症候群	Q870	F719
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	33	ルビンシュタイン・ティビ症候群	20098027	ルビンスタイン・ティビ症候群	Q872	
13	染色体又は遺伝子異常	1	染色体又は遺伝子に変化を伴	34	ロイス・ディーツ症候群	20103181	ロイス・ディーツ症候群	Q875	
14	皮膚疾患	1	眼皮膚白皮症（先天性白皮症）	1	眼皮膚白皮症（先天性白皮症）	20057450	眼皮膚白皮症	E703	
14	皮膚疾患	1	眼皮膚白皮症（先天性白皮症）	1	眼皮膚白皮症（先天性白皮症）	20067779	先天性白皮症	E703	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	4	ケラチン症性魚鱗癬（表皮融解性魚鱗癬（優性／劣性）及	20101133	ケラチン症性魚鱗癬	Q808	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	4	ケラチン症性魚鱗癬（表皮融解性魚鱗癬（優性／劣性）及	20101134	表皮融解性魚鱗癬	Q803	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	4	ケラチン症性魚鱗癬（表皮融解性魚鱗癬（優性／劣性）及	20101135	表在性表皮融解性魚鱗癬	Q803	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	5	シェーグレン・ラルソン症候群	20101139	シェーグレン・ラルソン症候群	Q871	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	6	常染色体劣性遺伝性魚鱗癬（道化師様魚鱗癬を除く。）	20101130	常染色体劣性先天性魚鱗癬	Q808	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	7	道化師様魚鱗癬	20101132	道化師様魚鱗癬	Q804	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	8	ネザートン症候群	20094323	ネザートン症候群	Q808	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	9	4から8までに掲げるもののほか、先天性魚鱗癬	20067497	先天性魚鱗癬	Q809	
14	皮膚疾患	2	先天性魚鱗癬	9	4から8までに掲げるもののほか、先天性魚鱗癬	20067499	先天性魚鱗癬様紅皮症	Q808	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20095628	ヘルリッツ型接合部型表皮水疱症	Q811	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20095404	ウェーバー・コケイン型単純性表皮水疱症	Q810	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20054848	栄養障害型表皮水疱症	Q812	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20080648	接合部型先天性表皮水疱症	Q818	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20060778	後天性表皮水疱症	L123	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20067796	先天性表皮水疱症	Q819	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20100691	単純型表皮水疱症	Q810	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20070389	致死型表皮水疱症	Q811	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20077339	優性栄養障害型先天性表皮水疱症	Q812	
14	皮膚疾患	3	表皮水疱症	12	表皮水疱症	20077932	劣性栄養障害型先天性表皮水疱症	Q812	
14	皮膚疾患	4	膿疱性乾癬（汎発型）	10	膿疱性乾癬（汎発型）	20094879	汎発性膿疱性乾癬	L401	
14	皮膚疾患	5	色素性乾皮症	2	色素性乾皮症	20065211	色素性乾皮症	Q821	
14	皮膚疾患	6	レックリングハウゼン病（神	14	レックリングハウゼン病（神経線維腫症Ⅰ型）	20085389	神経線維腫症Ⅰ型	Q850	
14	皮膚疾患	6	レックリングハウゼン病（神	14	レックリングハウゼン病（神経線維腫症Ⅰ型）	20052855	フォン・レックリングハウゼン病	Q850	
14	皮膚疾患	7	肥厚性皮膚骨膜炎	11	肥厚性皮膚骨膜炎	20100967	肥厚性皮膚骨膜炎	M8949	
14	皮膚疾患	8	無汗性外胚葉形成不全	13	無汗性外胚葉形成不全	20099287	無汗性外胚葉形成不全	Q824	
14	皮膚疾患	9	スティーブンス・ジョンソン	3	スティーブンス・ジョンソン症候群	20092804	スティーブンス・ジョンソン症候群	L511	
15	骨系統疾患	1	胸郭不全症候群	1	胸郭不全症候群	20101262	胸郭不全症候群	Q678	Q675
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	2	偽性軟骨無形成症	20103183	偽性軟骨無形成症	Q778	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	3	骨形成不全症	20061910	骨形成不全症	Q780	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	3	骨形成不全症	20100012	骨形成不全症Ⅰ型	Q780	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	3	骨形成不全症	20100013	骨形成不全症Ⅱ型	Q780	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	3	骨形成不全症	20100014	骨形成不全症Ⅲ型	Q780	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	3	骨形成不全症	20071628	頭蓋顔面骨形成不全症	Q751	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	4	骨硬化性疾患	20103550	骨硬化性疾患	Q789	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	5	進行性骨化性線維異形成症	20066127	進行性骨化性線維異形成症	M6119	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	6	大理石骨病	20069863	大理石骨病	Q782	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	7	多発性軟骨性外骨腫症	20103994	多発性軟骨性外骨腫症	Q786	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	8	低ホスファターゼ症	20092590	低ホスファターゼ症	E833	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	9	TRPV4異常症	20103452	TRPV4異常症	Q799	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	10	点状軟骨異形成症（ペルオキシソーム病を除く。）	20071420	点状軟骨異形成症	Q773	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	11	内軟骨腫症	20103997	内軟骨腫症	Q784	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	12	軟骨低形成症	20072292	軟骨低形成症	Q774	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	13	軟骨無形成症	20072282	軟骨異栄養症	Q774	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	13	軟骨無形成症	20072289	軟骨形成不全症	Q774	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	13	軟骨無形成症	20072296	軟骨無形成症	Q774	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	14	Ⅱ型コラーゲン異常症関連疾患	20103451	Ⅱ型コラーゲン異常症関連疾患	Q779	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	15	ピールズ症候群	20094480	ピールズ症候群	Q874	
15	骨系統疾患	2	骨系統疾患	16	ラーセン症候群	20090195	ラーセン症候群	Q872	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	3	青色ゴムまり様母斑症候群	20086040	青色ゴムまり様母斑症候群	Q828	

疾患群番号	疾患群名	大分類番	大分類	番号	疾病名	病名管理番号	病名表記	ICD10-2013	ICD10複数分類コード
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	4	巨大静脈奇形	20103419	巨大静脈奇形	Q278	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	4	巨大静脈奇形	20101271	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	Q278	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	5	巨大動静脈奇形	20103420	巨大動静脈奇形	Q273	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	5	巨大動静脈奇形	20101272	巨大動静脈奇形（頸部顔面病変）	Q273	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	5	巨大動静脈奇形	20101273	巨大動静脈奇形（四肢病変）	Q273	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	6	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	20084234	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	Q872	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	7	原発性リンパ浮腫	20103482	原発性リンパ浮腫	Q820	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20050593	のう胞性リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20053626	リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20086897	頸部のう胞性リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20060083	血管リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20090475	食道リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20068097	前胸部リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20086838	足関節部のう胞性リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20069560	大腿リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20073483	背部リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20092538	背部リンパ管腫摘出後遺症	T983	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20086846	膝窩部のう胞性リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20074967	肘関節部リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20086842	肘関節部のう胞性リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20075357	腹腔内リンパ管腫	D181	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	8	リンパ管腫	20078649	腋窩リンパ管腫	D360	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	9	リンパ管腫症	20093632	癌性リンパ管症	C798	
16	脈管系疾患	1	脈管奇形	9	リンパ管腫症	20101263	リンパ管腫症	M8950	
16	脈管系疾患	2	遺伝性出血性末梢血管拡張症	1	遺伝性出血性末梢血管拡張症	20084231	オスラー病	I780	
16	脈管系疾患	3	カサバツハ・メリット症候群	2	カサバツハ・メリット現象（症候群）	20051435	カサバツハ・メリット症候群	D694	

MEDISへの病名登録について

MEDISに登録を依頼した疾病一覧

ライゾーム病	好酸球性消化管疾患	若年発症型両側性感音難聴
下垂体性ADH分泌異常症	神経細胞移動異常症	ネイルパテラ症候群
下垂体性PRL分泌亢進症 (下垂体性プロラクチン分泌亢進症 として登録)	一次性ネフローゼ症候群	爪膝蓋骨症候群
下垂体性ゴナドトロピン 分泌亢進症	一次性膜性増殖性 糸球体腎炎	LMX1B関連腎症
下垂体性成長ホルモン 分泌亢進症	ビタミンD依存性骨軟化症 (ビタミンD依存性くる病の 同義語として登録)	シトリン欠損症 (2015年10月に登録済)
先天性副腎皮質酵素欠損症	非特異性多発性小腸潰瘍症	無虹彩症
先天性副腎低形成症	乳幼児肝巨大血管腫	特発性多中心性 キャッスルマン病

まとめ

- ・ **赤字の疾患(12疾患)**が2019年6月に更新するマスターで、新たにMEDIS病名として追加された。
- ・ **黒字の疾患(3疾患)**は、同義語として登録された。
 - ①「爪膝蓋骨症候群」、「ネイルパテラ症候群」⇨「爪・膝蓋骨症候群」
 - ②「ビタミンD依存性骨軟化症」⇨「ビタミンD依存性くる病」
- ・ **緑字の疾患(6疾患)**は、指定難病告示病名が包括的な病名であり、下位病名がすでに登録されている。
⇒ 包括的な病名を登録すると、詳細な病名で、正確な統計をとることの支障になる。

(対応)

病名マスターではなく、索引マスターへの登録を検討いただいた。

病名マスター 要望等フォーム

2008.7.23 更新
MEDIS-DC

御蔭さまで、多くのご要望やご質問を頂いておりますが、同時に対応が遅いとお叱りも頂いております。そこで、対応効率を上げるため、要望等フォームを作成し、受付のチェックを厳密にさせて頂くことにしました。

ご要望およびご質問の際には以下の事項を厳守ください。特別な理由もなく記載漏れがある場合、受け付けられないことがあります。

1. 病名マスターに対するご要望およびご質問が5件以上ある場合に、ご使用ください。
2. 全件に対して、(1)～(5)、(13)、(16)を記載してください。
3. 全件に対して、(6)～(12)、(14)、(15)は条件が一致した場合、記載してください。
4. (4)、(5)、(10)、(14)、(15)、(16)は欄外の選択肢から選択してください。
5. 各項目のセルのスペースが足りない場合、拡大して記載してください。

6. (13)はできるだけ具体的に記述してください。(13)の記述内容により、取り扱いの優先順位が変わることがあります。
7. (14)は最新版マスターの病名基本テーブル、索引テーブル、修飾語テーブルに取載済みかどうかを必ず確認してください。(確認は、オンライン病名検索:http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/Scripts/Search/index_search.asp または、病名くん:<http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/byomei/byomei-kun/index.html> をご利用ください。)
8. 病名表記の追加要望に対して、既存病名の同義または類義の索引用語として取載する場合があります。(15)はそれを可とするか、どうしても病名表記にしたいかを記載してください。後者(否)の場合は(13)にも理由を明記してください。

以上、ご理解とご協力をお願いいたします。

項番	(1) お名前	(2) ご所属機関・部署	(3) メール	(4) 職業	(5) 要望 種別	(6) 追加表記 (5)=1～3の場合)	(7) 現在表記 (5)=4,5の場合)	(8) 変更表記 (5)=4,5の場合)	(9) 病名表記 (5)=6の場合)	(10) 表記の 出典分類 (5)=1～ 5の場合)	(11) 表記の出典名称(10)=1～4,9の場合)	(12) 表記の出典URL (10)=5の場合)	(13) 要望の理由、質問内容など (要望理由や質問内容はできるだけ具体的に記述してください。 当欄の記述により、取り扱いの優先順位が変わることがあります。)	(14) 既取載の 有無等 (5)=1～3 の場合)	(15) 索引用語 での採用 可否(5)=1 の場合)	(16) 要望の 発生源
例	メディス太郎	メディス 標準化推進部	medis@medis.or.jp	2	1	非アルコール性脂肪肝炎				4	標準消化器病学 第1版(2006年4月1日)		飲酒歴が乏しいが、組織学的に脂肪肝に加えアルコール性肝障害に類似する病理組織像を呈する病態。肥満者が多い欧米で患者数も多く注目されてきた。日本でも近年食習慣の変化で患者数が増加。	1	1	1
1	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	ラインゾーム病				9	難病の患者に対する医療等に関する法律第五条第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する指定難病及び同法第七条第一項第一号の規定に基づき厚生労働大臣が定める病状の程度(平成26年10月21日厚生労働省告示第393号)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	当班は、厚生労働省の指定研究班であり、指定難病の普及・啓発に向けた統合研究を推進する研究班を担当している。難病法において国は難病の研究や施策を推進することとされており、患者の治療状況等を把握することはこれにおいて非常に重要であると考え。一方で、現在、指定難病の告示病名として指定されている病名が、MEDIS病名マスタに登録されていないという現状がある。難病患者のMEDIS病名並びに傷病名マスタを整備することは、指定難病患者と診断された患者を正確に把握することに繋がる。そして、この指定難病患者の正確な把握は、治療状況等を把握する上で必要不可欠である。MEDIS病名マスタを整備することは、傷病名マスタの整備にも繋がるため、今般、MEDISへの病名登録の検討を要望する。	2	1	9
2	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	下垂体性ADH分泌異常症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
3	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	下垂体性PRL分泌亢進症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
4	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
5	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
6	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	先天性副腎皮質酵素欠損症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
7	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	先天性副腎低形成症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
8	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	好酸性球性消化管疾患				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
9	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	神経細胞移動異常症				9	難病の患者に対する医療等に関する法律第五条第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する指定難病及び同法第七条第一項第一号の規定に基づき厚生労働大臣が定める病状の程度の一部改正(平成27年8月13日厚生労働省告示第266号)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
10	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	一次性ネフローゼ症候群				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
11	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m- kanazawa.jp	1	1	一次性膜性増殖性糸球体腎炎				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9

12	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	ビタミンD依存性骨軟化症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
13	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	非特異性多発性小腸潰瘍症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
14	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	乳幼児肝巨大血管腫				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
15	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	若年発症型両側性感音難聴				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
16	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	ネイルパテラ症候群				9	難病の患者に対する医療等に関する法律第五条第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する指定難病及び同法第七条第一項第一号の規定に基づき厚生労働大臣が定める病状の程度の一部改正(平成29年3月31日厚生労働省告示第124号)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
17	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	爪膝蓋骨症候群				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
18	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	LMX1B関連腎症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
19	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	シトリン欠損症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
20	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	無虹彩症				9	上記と同様	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9
21	平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」研究 班 (研究代表者:和田 隆志)	金沢大学医薬保健総合学 総合研究科腎臓内科学	twada@m-kanazawa.jp	1	1	特発性多中心性キャッスルマン病				9	難病の患者に対する医療等に関する法律第五条第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する指定難病及び同法第七条第一項第一号の規定に基づき厚生労働大臣が定める病状の程度の一部改正(平成30年3月19日厚生労働省告示第62号)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuru	上記と同様	2	1	9

(4)の選択肢

- 1.医師
- 2.診療情報管理士
- 3.その他医療従事者
- 4.企業
- 9.その他

(5)の選択肢

- 1.病名表記の追加
- 2.索引用語の追加
- 3.修飾語表記の追加
- 4.病名表記の変更
- 5.修飾語表記の変更
- 6.病名表記のICDについて
- 13.病名臨床階層について
- 99.その他(質問など)

(10)の選択肢

- 1.学会用語集
- 2.医学辞書類
- 3.学会誌
- 4.その他書籍
- 5.インターネット
- 9.その他

(14)の選択肢

- 1.病名表記無し、かつ索引用語無し
- 2.病名表記無し、索引用語有りだが、病名表記として追加したい
- 3.修飾語表記無し

(15)の選択肢

- 1.可
- 2.否

(16)の選択肢

- 1.医師
- 2.診療情報管理士
- 3.医事課職員
- 4.その他医療従事者
- 5.システム開発者
- 9.その他

Intractable Disease Countermeasures Since 2015

1) What are intractable diseases?

When did the term “intractable diseases” begin to be commonly used in Japan? The rise of the term coincided with the occurrence of a disease called SMON (subacute myelo-optic neuropathy) in the late 1960s and early 1970s. SMON is a disease that takes over the optic nerve and simultaneously combines with myelitis. This disease was seen only in Japan and increased rapidly from around 1967 to 1968. However, at the time it was called a rare disease and its cause was unknown. Following this, the Ministry of Health and Welfare established an investigative research committee in 1969. As a result of the project’s research, the following year it was suggested for the first time that there might be a causal relationship between SMON and chinofom (also known as clioquinol), which is an intestinal medicine. Nation-wide epidemiological research revealed the possibility that the use of chinofom causes the SMON disease to occur. That same year, the Ministry of Health and Welfare halted the sale of chinofom. After this, the number of new patients with the disease rapidly fell, which proved that SMON had been caused by chinofom.

This incident, while devastating for the victims of SMON, demonstrated two things. The first is that if the cause of an intractable disease is a medicine, the national government, which approved that medicine, has a duty to provide redress. The second is that if we undertake focused and multi-angled research, we may be able to discover the causes even of intractable diseases.

During these events, the Diet of Japan held a special hearing into intractable diseases and in 1972 decided on a general policy for intractable disease countermeasures⁽¹⁾. This general policy defined intractable diseases as: 1) diseases that have an uncertain cause and have no established course of treatment, and can be feared to cause after-effects, and 2) diseases that, due to their chronic nature, are not just a financial issue but also impose heavy burdens both mentally and upon families due to the need for caretaking. To further the countermeasures for tackling intractable diseases, the following three actions were called for: 1) the promotion of investigative research, 2) the establishment of medical facilities, and 3) the reduction of patient-borne medical costs. In addition to undertaking research to discover the causes and conditions of intractable diseases and allow for their diagnosis and treatment, this also marked the first policy that sought to shift responsibility for medical expenses for intractable

diseases away from the patient and to the public instead. The original targets chosen for the investigative research were SMON, Bechet's disease, myasthenia gravis, systemic lupus erythematosus, sarcoidosis, aplastic anaemia, multiple sclerosis, and intractable hepatitis. Furthermore, medical expense assistance was made available for the treatment of four of the above diseases in particular.

Taking such comprehensive countermeasures against intractable diseases was a ground-breaking move unprecedented in the world. It is without question that within Japan, this has greatly contributed to research into the causes and conditions of rare diseases and the development of new treatments. It is undeniable that up until now pharmaceutical companies have avoided research and development of treatments for intractable diseases. This has been for reasons such as the following: 1) the market is small (due to the scarcity of patients that would use the medication and the lack of a reason for development), and 2) it is difficult to develop medication when the cause of the disease is unclear. However, thanks to the national government's comprehensive countermeasures against intractable diseases, for the first time the development of treatments for rare diseases has been brought into the spotlight.

2) Developments in Intractable Disease Countermeasures

After that, research into intractable diseases continued to progress. However, at the same time, the number of diseases to be targeted by the research greatly rose. This led to research being carried out to establish overviews and methods of treatment for hundreds of diseases. In addition to this, medical expense⁵⁶ diseases were identified as targets eligible for medical expense assistance by the Specific Disease Treatment Research Project (a project focusing on medical expense assistance) as "Diseases that have an established standard of diagnosis, as well as being both highly difficult to treat and highly severe in their nature, and are unlikely to have their causes investigated or have treatments developed without the use of public expenditure due to the comparatively scarce number of patients." Put simply, if a patient with one of these 56 diseases were to apply, have a designated physician fill out a medical certificate, and then pass the appropriate review, the medical costs would then be covered by public expenditure.

Even after that, however, not only did the number of targeted diseases grow, but the number of targeted patients also grew ([Diagram 1](#)), and by the end of 2011, 780,000 patients fell within the target. As a result, the costs required for the intractable disease

countermeasures rose rapidly during this period. Additionally, when Yoichi Masuzoe was serving as the Minister of Health, Labor and Welfare, the expenses for the Intractable Disease Elimination Program (a project focusing on medical expense assistance) had reached 10 billion yen. However, the Specific Disease Treatment Research Project (a project focusing on medical expense assistance) had an even higher budget, with its total expenditure exceeding 40 billion yen. Put simply, the funds required for medical expense assistance for intractable diseases became around four times the amount used for research into intractable diseases. Furthermore, since the main projects were managed by the prefectural governments, there were situations when the prefectures had to bear the excess costs when there was a deficit in the national budget, making it difficult to fund the necessary projects. In addition, seeking justice, patients suffering from intractable diseases and their families called for a greater expansion and review of the diseases targeted for medical expense assistance (diagram 1).

3) Creation and Execution of the “Act on Medical Care for Intractable Disease Patients”

To manage this situation, the Act on Medical Care for Patients with Intractable Diseases was created on May 23, 2014 in order to promote reforms aimed at ensuring a sustainable social security system; the Act came into force on January 1, 2015 (Diagram 2)⁽²⁾. As a result, sources of funding such the consumption tax were allocated to medical expense assistance for intractable disease patients, establishing a stable system for medical expense assistance. In particular, it was specified that the payment of costs would be borne by the prefectural governments, with the national government contributing half. In other words, half of the public spending for the cost of treatment came from the governments of the prefectures and half from the national government. In addition, following the enactment of this law, the national government has encouraged the investigation and research into the mechanisms of intractable disease outbreaks, as well as diagnosis and treatment methods. This has made it possible to undertake continuing and stable projects that can create environments for recovery (Diagram 2).

4) What are Designated Intractable Diseases?

This law refers to diseases that are eligible for medical expense assistance as “designated intractable diseases”. Intractable diseases are defined by four conditions:

1) the mechanism behind their occurrence is not well understood, 2) there is no established method of treatment, 3) the disease is rare, and 4) treatment is needed over a long period of time. However, for designated intractable diseases, a further two conditions have been added: 5) the number of patients is within a set proportion of the national population (approximately 0.1% of the population), and 6) there is an established and objective standard (or equivalent) of diagnosis (Diagram 3). This means that designated intractable diseases are a category within intractable diseases that have the added requirements of not exceeding a set number of patients, as well as having an objective standard of diagnosis (in addition to belonging to a serious class of diseases and being above a set class).

There is an established process for designating any disease as a designated intractable disease. First, a committee in the Ministry of Health, Labour and Welfare's Health Science Council considers whether or not a disease meets the above requirements. The committee then discusses whether or not the disease can be classed as highly serious. Then, after seeking further public comment, the disease is recognized by the disease countermeasures committee of the Health Science Council. On top of this, the intractable disease is then designated by the Minister of Health, Labour and Welfare, completing the process. In the first round, 110 diseases were designated and medical expense assistance began from January 1 2015⁽⁴⁾. On top of this, a second set of 196 diseases were designated on May 13, bringing the total number of targeted diseases to 306, and medical assistance was given to these additions from July 1 2015⁽⁴⁾.

Following this, the number of patients with designated intractable diseases totaled around 940,000 by the end of 2015 and the scope of the medical expense assistance projects reached around 222.1 billion yen. Since then, the responsible committee has decided to add 24 more designated intractable diseases, which were appended on April 1, 2017, bringing the total number of designated intractable diseases to 330 (Diagram 4, Diagram 5)⁽⁴⁾.

5) System of Diagnosis and Treatment for Intractable Diseases

Until now, any physician could diagnose specific diseases (intractable diseases)physician. However, in accordance with the stipulations of the Act on Medical Care for Patients with Intractable Diseases, now only designated physicians for intractable diseases are able to undertake the first diagnosis of designated intractable diseases. Therefore, care must be exercised. When an application regarding an

intractable disease is made for the first time, the patient must go see a designated physician for intractable diseases. There will always be a designated physician for intractable diseases at university-associated hospitals or any large hospital. Designated physicians for intractable diseases fulfil two roles: 1) creating the diagnosis document (the clinical examination results), which is necessary for the application to authorize the payment of medical expense assistance, and 2) entering the patient data (the results of the diagnosis) into the registration system.

This ensures that not only is the accurate diagnosis of intractable diseases possible, but an accurate epidemiology database for patients with intractable diseases can be created. In the case of the 330 diseases discussed above, the standards of diagnosis and level of severity have already been decided for each of these diseases already, so a designated physician for intractable diseases would write his or her decision about the result relating those standards of diagnosis and the severity into the diagnosis document (the clinical examination results). The final decision is reached by following the relevant procedures set by each prefecture. More information about the standards of diagnosis and severity levels of intractable diseases can be viewed at the Japan Intractable Diseases Information Center website ([Explaining Disease, a List of Clinical Examination Results; Phonetic Search](#)).

The requirements necessary for becoming a designated physician for intractable diseases is that one must: 1) have at least five years of experience engaged in the diagnosis or treatment of intractable disease, in addition to being certified as a medical specialist by the relevant academic or scientific community at the time of application, or 2) have at least five years of experience engaged in the diagnosis or treatment of intractable disease, in addition to having completed a set training course (of one to two days in length). The registration of designated physicians for intractable diseases is renewed on a five-year basis.

Designated supporting physicians for intractable diseases are able to prepare the diagnosis documents necessary for the renewal of designated intractable diseases. The requirements for designated supporting physicians for intractable diseases are that they have at least five years of experience engaged in the diagnosis or treatment of intractable disease, in addition to having completed a set training course (of one to two days in length).

6) The System of Research for Intractable Diseases

Until now, research into intractable diseases has been overseen by the Ministry of Health, Labour and Welfare. The two projects in charge of ensuring improvements in the quality of the development of effective treatment and the diagnosis of intractable diseases were the Intractable Disease Policy Research Project and the Intractable Disease Implementation Research Project.

The Intractable Disease Policy Research Project seeks to create plans to raise the level of care available for intractable diseases by gathering information through epidemiological studies about the actual conditions of intractable disease patients, establishing diagnosis and treatment guidelines based on evidence, and undertaking the sharing and correction of relevant diagnosis and treatment standards, levels of disease severity, and diagnosis and treatment guidelines⁽⁵⁾. For this reason, the intractable disease patient database into which the designated physician for intractable diseases enters information plays a very important role.

The Intractable Disease Implementation Research Project is currently operating as the Intractable Disease Elimination Project, which is one of the nine projects operated by the Japan Agency for Medical Research and Development. The Japan Agency for Medical Research and Development is an organization that seeks to undertake top-down research based on the strategies established by the national Headquarters for Healthcare Policy. The Japan Agency for Medical Research and Development has a system of managing issues by focusing on nine projects, which each have a PD (Project Director) or PS (Project Supervisor)⁽⁶⁾. In reality, there is also a PO (Program Officer), who implements the project under the PD or PS. This means that the quality of research is managed with a top-down approach.

At the Intractable Disease Implementation Research Project, operations are undertaken including clinical research into the implementation of genetic treatments and treatment technologies for medicinal and medical equipment, as well as the establishment of practitioner-led clinical trials (such as the creation of new treatment methods and the expanded application of existing medicines). In addition, this project aims to develop a hub institution that has the technology to generate, differentiate, and analyze disease-specific iPS cells, as well as undertake research to create new medicine while utilizing medicine development support networks. It aims to get at least 11 medical products or types of equipment that target intractable diseases approved and their applications expanded by around the year 2020. As a result, it is clear that the goal of the project is not simply to conduct research on the causes and

conditions of intractable diseases, but rather to research the development of new methods of treatment.

Therefore, the two intractable disease projects are expected to work together with each other, leading to the advancement of intractable disease research and subsequently the development of new methods of treatment. From 2015 it was decided that the first of these projects will be managed by the Ministry of Health, Labour and Welfare and that the second will be managed by the Japan Agency for Medical Research and Development.

7) Efforts to Raise Awareness and Spread Information about Intractable Diseases

Various organizations seek to raise awareness and spread information about intractable diseases, such as the Japan Intractable Diseases Information Center and the Consultation and Support Centers for Intractable Diseases.

The Japan Intractable Diseases Information Center is an organization operated by the Japan Intractable Diseases Research Foundation under the support and guidance of the Ministry of Health, Labour and Welfare. Its website (<http://www.nanbyou.or.jp/>) provides the necessary information (such as information about diseases and guidance regarding diagnosis and treatment) for life during recovery and treatment to assist patients of intractable diseases, their family, and people involved in the medical field. In addition, the website also provides updates about national intractable disease policies, the overviews of the various systems and services, the intractable disease research team, and patient meet-ups. With over 2.5 million accesses per month, it is the largest website that provides information on intractable diseases.

Consultation and Support Centers for Intractable Diseases were established in each prefecture in 2003 under the support of the Ministry of Health, Labour and Welfare and are run by each prefectural government. These centers work toward alleviating the worry and anxiety felt by local patients of intractable diseases, their families and others and support their life during recovery.

8) References

1. General Policy for Intractable Disease Countermeasures:

http://www.nanbyou.or.jp/pdf/nan_youkou.pdf

2. Act on Medical Care for Intractable Disease Patients:

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nanbyou/

3. Basic Policy to Comprehensively Encourage Medical Treatment and Care for Patients of Intractable Diseases:

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000099473.pdf>

4. Explaining Disease, a List of Clinical Examination Results; Phonetic Search:

<http://www.nanbyou.or.jp/entry/5461>

5. Information about the Ministry of Health, Labour and Welfare's Intractable Disease Elimination Program: <http://www.nanbyou.or.jp/entry/3628>

6. Japan Agency for Medical Research and Development: <http://www.amed.go.jp/>

Copyright(C) Japan Intractable Diseases Research Foundation/Japan Intractable Diseases Information Center

Guide to the Medical Expense Assistance System for Patients of Designated Intractable Diseases

Eligibility for medical expense assistance

Process from application to authorization for medical expense assistance

Necessary documents for application (overview)

Effective Period for Authorization and Applications for Changes within Period

Upper limits for patient-borne costs

Using the patient-borne cost management form to manage patient-borne costs

Designated physicians for intractable diseases

Designated medical facilities

High costs for minor diseases

Authorizations for “high cost and long term” treatments

Upper limit for patients with ventilators is 1000 yen.

Eligibility for Medical Expense Assistance

According to the Act on Medical Care for Patients with Intractable Diseases, the general rule for receiving medical expense assistance is that a patient must be diagnosed as having a designated intractable disease, which is a disease even more severe than that found in the usual categorization of disease severity.

The established standards of diagnosis for targeted diseases, as well as the categorization of severity in relation to the characteristics of the various diseases, are set for each individual disease.

Process from Application to Authorization for Medical expense Assistance

* 指定医	*Designated physician
申請者（対象患者）	Applicant (eligible patient)
申請	Application
医療受給者証交付	Issuance of medical care recipient certificate
都道府県（審査）	Prefecture (examination)
主な必要書類	Main necessary documents
1) 特定医療費の支給認定申請書、診断書	1) Application form for the approval of specific medical expense payments; diagnosis form
2) 住民票、市町村民税（非）課税証明書などの課税状況を確認できる書類（こちらは世帯全員分が必要です）。	2) Documents to ascertain tax status, such as a certificate of residence and a municipal tax (exemption) certificate (this is required for each member of the household)
3) 健康保険証の写しなど	3) A copy, etc. of the health insurance card
医療受給者証の有効期間は？	What is the period of validity for the medical care recipient certificate?
原則として申請日から1年以内で都道府県が定める期間です。1年ごとに更新の申請が必要です。	As a general rule, the period will be decided by the prefectural government and will be a period of one year or less from the time of application. An application for renewal must be made each year.
※難病指定医を受診し、診断書の交付を受ける。難病指定医については、難病情報センターホームページで検索するか、お住まいの都道府県の窓口にお問い合わせください。	*The patient must see a doctor for a medical exam and receive a medical certificate. For information about designated physicians for intractable diseases, please visit the website for the Japan Intractable Diseases Center and run a search or ask at your local prefectural government's information desk.

*Click to enlarge the picture.

1. Application

After gathering the necessary documents, the application is submitted to the prefectural government. (The relevant information desk is different for each prefecture, so please ask your local prefectural government for information.)

2. Examination by the prefecture

A prefectural government will authorize payment when it acknowledges that: 1) the severity of the disease meets the conditions in the authorization standards, or 2) the disease does not meet the authorization standards but requires the patient to undergo continuing and high-cost medical care (high costs for minor diseases).

3. Receiving a medical care recipient certificate from the prefectural government

(1) It takes around three months from the time of application to receive a medical care recipient certificates. Costs incurred at designated medical facilities while waiting for the certificate to arrive can be reimbursed upon application.

(2) The examination may result in non-authorization. The prefectural government will contact you with a notice of non-authorization in the event that your application is not successful.

Necessary Documents for Application (Overview)

Necessary documents for payment authorization	
Documents to submit	Reason for requirement
Application form for payment authorization of specific medical costs	N/A
Diagnosis document (the clinical examination results)	In order to ascertain that a designated intractable disease has been contracted and whether it is of a set severity
Certificate of residence (of the applicant, and if the applicant is using the same medical insurance as a member of their household, documents to identify that person as well) *May be omitted by using the Basic Resident	In order to decide the upper limit of patient-borne costs (the monthly cost)

Registry	
Documents to ascertain household income (such as municipal tax [exemption] certificate) *May be omitted in the future by using the Individual Number system	
Copy of insurance card (A document that shows you are covered by medical insurance, such as an insurance card, dependent card, or union card)	
Documents proving the use of a ventilator	
Documents proving that there is someone other than the applicant in the household who receives payments for specific medical expenses or medical expenses for specific pediatric chronic diseases	
Documents to ascertain medical expenses *Such as the necessary receipts for identifying the existence of “high cost and long term” treatments and “high costs for minor diseases”	In order to decide the upper limit of patient-borne costs (the monthly cost) and ascertain the conditions for payment authorization
Letter of consent (necessary for ascertaining the income divisions under the medical insurance)	In order to ask the insured about insurance information

*Documents and items must be submitted in color.

*Click to enlarge the picture.

Effective Period for Authorization and Applications for Changes within Period

Payment authorization is, as a general rule, effective for a year or less. This is the period deemed necessary based on the severity and treatment circumstances of the disease. However, in special circumstances it is possible to allow for a period no greater than 1 year and 3 months. Once the effective period has ended, an application for renewal must be submitted if further treatment is required.

A notification must be sent if there is any change to the contents of your application or the calculation for the upper limit of the patient-borne costs during the effective

period. Applications for a change can also be made in the event that it becomes necessary to change 1) the designated medical facility, 2) the upper limit for patient-borne costs, or 3) the name of the designated intractable disease. Applications for a change can also be made for authorized payments.

Upper Limits for Patient-Borne Costs

Upper limits for patient-borne costs (the monthly cost) in relation to medical expense assistance

(Unit: Japanese yen)

Divided by income levels	Standard for dividing by income levels (number inside the parentheses represents an approximation of yearly income for a two-person household consisting of a married couple)		Patient bears 20%					
			Upper limit for patient-borne costs (outpatient + hospitalization)					
			General rule			Pre-authorized payee (three-year transitional measures)		
			Regular	High cost and long term*		Regular	Patients with serious diseases designated in specific disease treatment research project	
	Patients who use a ventilator or similar support			Patients who use a ventilator or similar support				
Welfare	N/A		0	0	0	0	0	0
Low income I	Municipal tax exemption (household)	Patient's yearly salary Less than 800,000 yen	2,500	2,500	1,000	2,500	2,500	1,000
Low income II		Patient's yearly salary Over 800,000 yen	5,000	5,000		5,000		
Regular income I	Municipal tax Tax or over, 71,000 yen or less (approximately 1.6 million yen – 3.7 million yen)		10,000	5,000		5,000	5,000	
Regular income II	Municipal tax 71,000 yen or more, 251,000 yen or less (approximately 3.7 million yen – 8.1 million yen)		20,000	10,000	10,000			
Upper income	Municipal tax 251,000 yen or more (approximately 8.1 million yen or more)		30,000	20,000	20,000			
Food expenses during hospitalization			All costs borne by patient			Half of the costs borne by the patient		

* Treatment that is “high cost and long term” refers to a situation in which monthly total medical expense exceed 50,000 yen for more than six times within a year (for example, if the medical insurance covers 80% of the costs and there are six months or more in which the patient-borne medical expense t is over 10,000 yen).

*Click to enlarge the picture.

Using the Upper Limit Patient-Borne Cost Management Form to Manage Patient-Borne Costs

Upper limit patient-borne cost management form for February 2017					
Name of examinee	xxxx	Examinee numbers	0012345		
Upper limit of monthly patient-borne costs: 10,000 yen					
Date	Name of designated medical facility	Total cost of medical expenses (for 100%)	Patient-borne costs	Total patient-borne costs (monthly cost)	Collection seal
February 1 st	○○○ Hospital	30,000 yen	6,000 yen	6,000 yen	Seal
February 1 st	XX Pharmacy	6,000 yen	1,200 yen	7,200 yen	Seal
February 20 th	○○○ Hospital	25,000 yen	2,800 yen	10,000 yen	Seal
February 20 th	XX Pharmacy	4,000 yen			
The monthly upper limit of patient-borne costs has been met as described above.					
Date	Name of designated medical facility				Confirmation seal
February 20 th	○○○ Hospital				Seal

*The format for patient-borne cost management forms is designated by each prefecture. The above example of how to fill in the form is based on a sample format.

*Click to enlarge the picture.

The upper limit of the patient-borne cost is calculated by totaling the fixed ratio borne by the patient across multiple designated medical facilities where diagnosis has been undertaken. As a result, it is managed together with the Upper Limit Patient-Borne Cost Management Form, which is issued together with the medical care recipient certificate.

(1) At each designated medical facility, 20% (or 10%) of the costs, within the upper limit of patient-borne costs, will be collected after each diagnosis.

(2) The designated medical facility will record the amount collected in the management form after each diagnosis at a designated medical facility.

(3) In the event that the total patient-borne costs reach the upper limit of patient-borne costs, the designated medical facility will ascertain this at that time and

on that month will not collect fees that would exceed the upper limit of patient-borne costs.

Designated Physicians for Intractable Diseases

Under the system for designated intractable diseases, only designated physicians chosen by the prefecture are able to provide the medical certificates necessary to apply for specific medical expense payment authorization.

There are two types of designated physicians: “designated physicians for intractable diseases”, who are able to prepare the medical certificates necessary for new applications and renewal applications, and “designated supporting physicians,” who are only able to prepare the documents necessary for renewal applications.

*More information about designated physicians in each prefecture can be found at the website for the Japan Intractable Diseases Information Center by following the link below.

<http://www.nanbyou.or.jp/entry/5309>

Designated Medical Facilities

Designated medical facilities are hospitals, clinics, pharmacies and home care stations that have been designated by the prefectural government.

As a general rule, payment of medical expenses for designated intractable diseases is limited to treatment received at designated medical facilities.

*More information about designated medical facilities in each prefecture can be found at the website for the Japan Intractable Diseases Information Center by following the link below.

<http://www.nanbyou.or.jp/entry/5308>

High Costs for Minor Diseases

Patients with minor diseases that do not meet the classification for serious diseases are also eligible for medical expense assistance if they need to undertake continued and high-cost treatment.

A “need for continued and high-cost treatment” refers to a situation in which there are three months or more in which the total medical expenses exceed 33,330 yen in the 12 months prior* to the application for payment authorization.

For example, if the medical insurance covers 70% of the costs, then the above applies to a situation in which there are three or more months in the year in which the patient bears 10,000 yen in costs.

*This refers to the period up until the day of application from the either (1) the month that was 12 months prior to application, or (2) the month in which the designated intractable disease occurred as acknowledged by a designated physician, whichever was most recent. Additionally, the standard patient-borne costs for the recuperation of food (life) expenses during hospitalization are not included in the 33,330 yen.

Authorizations for “High Cost and Long Term” Treatments

For patients who undertake continued, high-cost, and long-term treatment, the upper limit of the borne costs is set to be reduced on the basis of regular income and upper income. This applies to patients who have had already had six months (12 months prior to the month of application) in which the total medical costs for the designated intractable diseases for each month has exceeded a value of 50,000 yen. medic.

For example, this would apply to a situation in which the medical insurance covers 80% of the costs and there are six months during the year in which the patient-borne medical costs exceed 10,000 yen.

Upper Limit for Patients with Ventilators is 1,000 Yen

For patients with ventilators or other equipment necessary for life support who require special consideration, the upper limit of patient-borne costs will be 1,000 yen, regardless of income level.

The condition for eligibility is that, in addition to having a designated intractable disease that has received authorization for medical expense support, the following requirements are met: 1) the patient requires continued and constant life support, and 2) the patient's daily life and movement are severely restricted and the following procedures are expected (decisions on whether the requirements are met are made on an individual basis).

1. Patients with a nerve intractable disease who use a ventilator installed through a tracheotomy incision or through a face mask.
2. Patients such as those with terminal heart failure who use an external artificial heart support.

Medical Expense Support for Specific Pediatric Chronic Diseases

Childhood cancer, which is a type of pediatric chronic disease, requires a long period of treatment and results in high medical expenses. The Pediatric Chronic Disease Treatment Research Project seeks to support the healthy development of children, as well as the establishment and promotion of disease treatments. It also seeks to cover costs usually borne by patients in order to help alleviate the burden of medical expenses on patients' families.

Medical Expense Support for Specific Pediatric Chronic Diseases

The following information pertains to medical expense support for specific pediatric chronic diseases.

Overview

To support the healthy development of children and to alleviate the burden posed by medical costs on patients' families, a portion of the costs for children with specific pediatric chronic diseases is covered by aid.

Eligibility

Child patients are eligible if they have a specific pediatric chronic disease that meets the conditions listed below and it is of a severity designated by the Minister of Health, Labour and Welfare.

1. Disease is chronic,
 2. disease is a long-term threat to the patient's life,
 3. the conditions and treatment of the disease have long-term effects in lowering the patient's quality of life, and
 4. the disease requires long-term and continuing high-cost treatment.
- Must fulfil all of the above requirements and must be a disease designated by the Minister of Health, Labour and Welfare.
 - Only children who are 18 years old or younger are eligible. (However, if upon reaching the age of 18 the patient is eligible for the project and also requires continued treatment, they will be eligible until they are 20 years old.)

Overview of the Countermeasures against Specific Pediatric Chronic Diseases

At the Information Center for Specific Pediatric Chronic Diseases, we are here to support children with chronic diseases as well as their families and other loved ones. We also provide information for people involved in the treatment of such patients and for those involved in health and education.

Support for children with chronic diseases and their families

In regards to countermeasures against pediatric chronic diseases, we support children with chronic diseases and their families in the ways listed below.

I. Creating fair and stable ways to provide medical fee assistance (making the provision of medical expense assistance an obligation)

1. Patients that meet the following conditions are eligible for medical expense assistance (Reference: four requirements)

- (1) suffers from a disease that is chronic,
- (2) the disease poses a long-term threat to the patient's life,
- (3) the conditions and treatment of the disease have a long-term effect in lowering the patient's quality of life, and
- (4) the disease requires long-term and continuing high-cost treatment.

To ensure fairness and transparency, a council constantly reviews the standards for naming and deciding the conditions of the selection of targeted diseases.

2. Application and authorization for medical expense assistance

A designated physician (such as a person who has been certified as a medical specialist by the relevant academic or scientific community) issues a certificate testifying to their medical opinion (which will be used in the process of applying for medical expense assistance authorization).

The examination process has been reinforced (if necessary, an audience can be granted with the authorization committee, and the medical specialist can advocate for

the patient with the authorization committee).

3. Approach to payment levels (*The patient bears a reasonable level of the costs according only to their ability to do so; this is equal to the payment levels in other systems with medical expenses supported by public expenditures.)

II. Promoting research and improving the quality of treatment

1. Designated medical facilities

These facilities guarantee convenience for pediatric patients and their families, as well as the continuation of treatment (designated requirements are established so that the medical facilities that currently provide treatment continue to be designated).

2. Medical collaboration

Regional cooperation, a higher quality of medical care (core hospitals and their juvenile disease departments send information to regional medical facilities)

Cooperation with relevant regional organizations (cooperation with health care centers as well as welfare and education organizations leads to a more fulfilling life for patients undergoing treatment)

Cooperating and sharing information with intractable disease and adult medical facilities

3. Promoting research

Greater precision of data input (designated physician directly inputs data, data accumulates over years, data on patients with intractable diseases is linked, also possible to input data on patients not receiving medical expense assistance for reasons such as a cure).

Using registered data for research and sharing the results of this research with pediatric patients and the general public

III. Understanding the characteristics of children with chronic diseases and encouraging them to grow up healthily, take part in society, and be self-reliant through the unified support of the community

1. Encouraging the spread of information and awareness

Creating a portal site that allows for access to a broad range of relevant information

2. Encouraging comprehensive support in regional areas, etc.

Creating committees made up of people involved in the region's local medical, health, welfare, and education fields to examine the content of the support* tailored to the needs of pediatric patients and their families, as well as using regional resources (such as various support policies and NPOs) to provide care

(*Support includes: consultation, peer support, support for creating individual support plans to encourage self-reliance, support in taking part in society, self-reliance support, and family support.)

Maintenance of pediatric patients' handbooks for specific pediatric chronic diseases; bringing the handbook system to a new level

Formulating and devising national public policies for specific pediatric chronic diseases and encouraging treatment research in addition to guaranteeing medical, welfare, and other facilities, as well as promoting understanding among those involved

3. Support for the transition into adulthood

Providing seamless support into adulthood while being involved in strengthening comprehensive support (see point 2 of number 3) in order to encourage self-reliance among pediatric patients, in addition to general support relating to self-reliance and medical expense assistance*

(*Due to an increase in the number intractable disease patients, it is expected that there will be a rise in the number of people who continue to receive medical expense assistance.)

[Click here for the New Medical Expense Assistance System for Specific Pediatric](#)

Chronic Diseases

Designated training resources for specific pediatric chronic diseases

The resources (“Overview of the Countermeasures against Specific Pediatric Chronic Diseases” and “Outlook of Diseases Targeted by the Countermeasures against Specific Pediatric Chronic Diseases”) created for the training of designated physicians for specific pediatric chronic diseases are available for viewing.

Designated medical training materials

To Those in the Medical Field

Designated Medical Practitioners and Designated Medical Facilities

Under the medical expense assistance system for specific pediatric chronic diseases, the physicians who prepare the medical opinion documents necessary for medical expense assistance applications are designated in advance as “designated physicians” by the governor or other officials of each prefecture. After referring to the information below, please submit an application to the prefectural governor, head of designated city, or head of core city that has jurisdiction over the medical facility at which you work.

1. Requirements for a Designated Physician

A “designated physician” is a physician that fulfills any of the following criteria:

- 1) Has at least five years of experience*1 engaging in the diagnosis or treatment of intractable diseases, in addition to being certified as a medical specialist *2 by the relevant academic or scientific community; or
- 2) Has at least five years of experience*1 engaging in the diagnosis or treatment of intractable diseases, in addition to having completed the training held by the prefecture.

*1 Including the period for the clinical training stipulated by the Designated Physicians’ Act (Law No. 201,1948).

*2 (Reference) The authorization and evaluation structure of the Japanese Board of Medical Specialties recognizes the basic categories of 18 specialist physician systems and subspecialties, as well as the 29 specialist physician systems (as of the end of September 2014).

<Notice>

“The qualifications for specialist physicians as designated by the Minister of Health, Labour and Welfare and designated under the Child Welfare Act in Article 7, Section 10(1)(1)”

(Notice number 465 from the Ministry of Health, Labour and Welfare)

2. Duties of a designated physician

A “designated physician” will have the following duties:

- Preparing the diagnosis document (document of medical opinion) necessary to apply for pay authorization for medical expense assistance for specific pediatric chronic diseases; and
- Entering the patient data (the result of the medical opinion) into the registration system.

3. Period of validity for a designated physician

The designation of designated physician is renewed every five years.

4. Procedure for applying for designation

Please contact your prefectural government or otherwise (prefecture, designated city, core city) that has jurisdiction over the medical facility at which you work to find out more about applying to be a “designated physician”.

都道府県知事等	Prefectural governor or equivalent
申請	Application
指定	Designation
医師	Physician

*The prefectures make the following information available publicly on their websites:

1) Names of designated physicians, 2) the medical facilities they work at, and 3) the area of medicine they practice

Medical Facilities for Designated Specific Pediatric Chronic Diseases

Under the medical expense assistance system for specific pediatric chronic diseases, patients with specific pediatric chronic diseases are eligible for medical expense assistance when receiving treatment designated in advance by the prefectural governor or equivalent only at a “designated medical facility for designated specific pediatric chronic diseases”. After referring to the below, please contact your prefectural government or otherwise (prefecture, designated city, core city) that has jurisdiction over the medical facility at which you work to find out more about applying.

1. Requirements of a Designated Medical Facility

A “designated specific pediatric chronic diseases medical facility” is a medical facility that meets the following requirements:

- 1) A facility that takes medical insurance
- 2) A medical facility that has specialist physicians and, based on the facilities, is able to provide treatment for specific pediatric chronic diseases (same as the ongoing one).

都道府県知事等	Prefectural governor or equivalent
申請	Application
指定	Designation
病院、診療所、薬局又は訪問看護事業者※の開設者 ※健康保険法第88条第1項に規定する指定訪問看護看護事業者	Founder of the hospital, clinic, pharmacy or home nursing service* *A home nursing service as stipulated under Article 88, Section 1 of the Health Insurance Act

*The prefectures additionally make the following information publicly available on their homepages:

- 1) Names of medical facilities and 2) their locations.

2. Renewal of Designation

Designation as a “designated specific pediatric chronic disease medical facility” is renewed on a six-year basis.

<Notice>

“Stipulations for Providing Medical Care for Designated Specific Pediatric Chronic Disease Medical Facilities” (Notice Number 466 from the Ministry of Health, Labour and Welfare)

<Notification>

“About the Designation of Designated Specific Pediatric Chronic Disease Medical Facilities” (A notification from the Head of the Parent-Child Insurance Department of the Ministry of Health, Labour and Welfare’s Equal Employment, Children and Families Bureau. December 11, 2014, Notification Number 1211-1)

*Includes the tenets for designating designated specific pediatric chronic disease medical facilities, the designation application form, change notification form, renewal application form, and more.

[Return to the home page](#)

December 22 2017, Information Center for Specific Pediatric Chronic Diseases, To Those in the Medical Field

[> Return to the top page for “To Those in the Medical Field”](#)

Independence Support Services for Patients with Specific Chronic Pediatric Diseases

The new system now lightens the burdens for children and families who are faced with chronic diseases. It also supports independence and growth in children who are undertaking long-term treatment. These endeavors are made possible by utilizing regional social resources while also providing care based on the environment and other considerations relevant to the user.

(Aims and details of the services)

By providing support, the services are intended to promote independence in children who are experiencing a delay in their access to education and social skills at school and who face obstacles in becoming independent due to chronic diseases suffered since early childhood.

(Implementing bodies)

Prefectures, designated cities, core cities

(Relevant legislation)

Child Welfare Act: Article 19 (22), Article 53

Necessary Services (Article 19 [22], Item 1)

Counseling Support Services

The primary details concerning counseling services are provided below. However, the prefectural governments or other relevant body will maintain and put into practice appropriate counseling support systems, in light of conditions in the region.

1. Rehabilitation Guidance Counseling

Based on the rehabilitation guidance contact form, a physician or similar person will provide guidance to the families of patients with specific chronic pediatric diseases regarding nursing, food and nutrition, and dental health, in addition to counseling providing information on the welfare system and mental support, maintaining contact with schools, and other details necessary for everyday life.

2. Visiting Guidance Counseling

There are some patients whose situation makes it difficult to provide social services. It is necessary to provide rehabilitation and counseling in their homes for patients such as these. For patients with specific chronic pediatric diseases who are in this situation, an assigned specialist physician or similar person will form a rehabilitation guidance team and will undertake trips and visits to give guidance counseling while maintaining contact with the relevant institutions. The physician will provide guidance via home visits as necessary.

3. Peer Counseling

This service is intended to relieve the worry felt by families with children who have specific pediatric chronic diseases. It does so by connecting them with people who have experience raising children with specific pediatric chronic diseases, and who can give counseling and advice about everyday life and school.

4. Counseling to Encourage Independence

Children with specific chronic pediatric diseases deal with society while being burdened by their disease. This service provides psychological and other counseling to raise awareness about symptoms, help build relationships with family and surrounding people, and encourage independence.

5. Provision of Correspondence and Information for Counseling from Schools, Industries, Regional Affiliates, and Others

This service provides support counseling for schools, industries, and other institutions that receive patients with specific chronic pediatric diseases. It also provides information and promotes public understanding and awareness of these diseases.

Independence Support Members for Patients with Specific Chronic Pediatric Diseases

1. Creation and Follow-up of Plans Used for Policies Resulting in Independence Support

This service implements support and follow-up, leading to the formation of plans to encourage independence in patients with specific chronic pediatric diseases, while managing implementing institutions. By doing so, the service aims to empower the patients to achieve independence and employment on their own terms.

2. Managing Communication with Related Institutions

As an individual support for patients with specific chronic pediatric diseases, this service maintains

communication with schools, industries, and other institutions, as well as providing information about the support policies implemented by various institutions and groups.

3. Participation in the Regional Support Conference for Children with Chronic Diseases

As members of the Regional Support Conference for Children with Chronic Diseases, patients can participate in discussions, and can also report on initiatives and state their opinions.

Optional Services (Article 19 [22], Item 2)

Recovery Support Service

Aim: To improve the recovery of patients and to provide patients with surroundings in which they feel comfortable so that families and patients with specific chronic pediatric diseases can live in their local neighborhood and feel a sense of wellbeing.

Details: This service places patients with specific chronic pediatric diseases temporarily in a medical institution or otherwise appropriate facility and provides necessary support, including recovery maintenance and assistance in everyday life.

For example, the service provides respite services from medical and other institutions. (Article 19 [22], Item 2 [1])

Mutual Communication Support Service

Aim: To encourage independence and enable the cultivation of communication skills, information gathering skills, and social skills through mutual communication between patients with specific chronic pediatric diseases.

Details: This service provides a chance for mutual communication and other accommodations.

For example, the service holds workshops and provides opportunities for patients with specific chronic pediatric diseases to communicate with each other. It also provides opportunities for persons who have contracted specific chronic pediatric diseases and the families of other patients to communicate. (Article 19 [22], Item 2 [2])

Employment Support Service

Aim: For patients with specific chronic pediatric diseases who wish to work but face obstacles

finding employment due to long-term, chronic disease, this service aims to provide employment support and expand general employment opportunities in cooperation with regional associates. By doing so, the service aims to promote an increase in the independence and social participation of patients with specific chronic pediatric diseases.

Details: This service provides the support necessary for gaining employment. It also provides employment information.

For example, the service organizes work experience, work site visits, and provides support in acquiring employment skills. Additionally, it provides and collects information about employment support policies, among other functions. (Article 19 [22], Item 2 [3])

Caregiver Support Service

Aim: To improve welfare for patients with specific chronic pediatric diseases by reducing the physical and mental burden on caregivers and, as a result, improve recovery and family environments.

Details: This service provides the support necessary to reduce the burdens on caregivers.

For example, the service provides support in attending patients with specific chronic pediatric diseases during hospital visits. It also provides support with accommodations for family members accompanying patients, as well as support in looking after the patient's siblings. The service also includes practical nursing courses for families. (Article 19 [22], Item 2 [4])

Other Independence Support Services

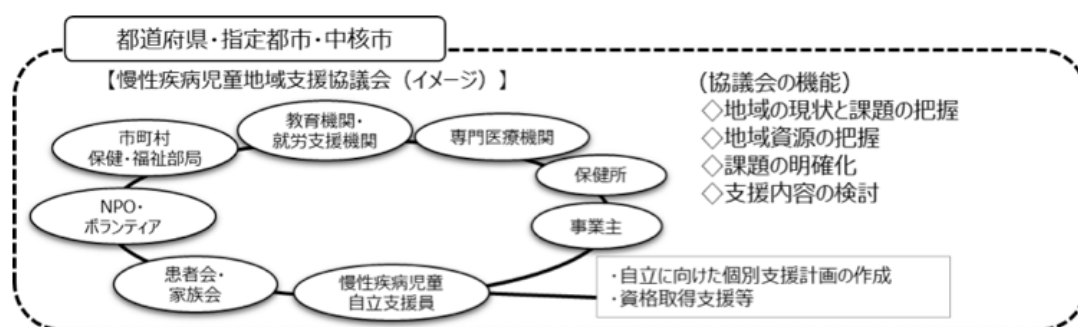
Aim: To provide support other than the services above for children and other patients who face obstacles in becoming independent and have a delay in their access to education and social skills at school due to chronic disease.

Details: The services provide the support necessary for independence.

For example, the services provide learning support for instances such as delayed learning due to circumstances including long-term hospitalization, as well as support for body strengthening. The services also include health management classes to enable independence, as well as support for the improvement of communication skills. (Article 19 [22], Item 2 [5])

Management Service for the Regional Support Conference for Children with Chronic Diseases

The new system has put into place a structure for affiliates to undertake discussions about the support details and other matters for patients with specific chronic pediatric diseases in their region. Each implementing institution (prefectures, designated cities, core cities) has established a “Regional Support Conference for Children with Chronic Diseases” which seeks to ascertain the situation and issues in the region, understand regional resources, clarify issues, and examine support details. In doing so, the institutions promotes the “Independence Support Services for Patients with Specific Chronic Pediatric Diseases”.



※上記画像内の翻訳は以下の表にてご確認ください。※

日本語	English
都道府県・指定都市・中核市	Prefectures, designated cities, core cities
慢性疾病児童地域支援協議会（イメージ）	Regional Support Conference for Children with Chronic Diseases (image)
市町村保健・福祉部局	Municipal health and welfare bureaus
教育機関・就労支援機関	Education institutions and employment support institutions
専門医療機関	Specialist medical institutions
保健所	Health care center
事業主	Service provider
<ul style="list-style-type: none"> 自立に向けた個別支援計画の作成 資格取得支援等 	<ul style="list-style-type: none"> Creation of individual support plans for independence Support and other activities for resource acquisition
慢性疾病児童自立支援員	Independence support member for children with chronic diseases
患者会・家族会	Patient meetings and family meetings
NPO・ボランティア	NPOs and volunteers

<p>協議会の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の現状と課題の把握 • 地域資源の把握 • 課題の明確化 • 支援内容の検討 	<p>Functions of conferences:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Understanding the situation and issues of the region. • Understanding regional resources. • Clarification of issues. • Examining support details.
---	---

Upper Limit for Patient-Borne Costs with Medical Expense Assistance for Specific Pediatric Chronic Diseases

(Unit: Japanese yen)

Divided by income levels	Approximate yearly income (household consisting of a married couple and one child)		Upper limit for patient-borne costs (patient bears: 20%, outpatient + hospitalization)					
			General rule			Already authorized payee (three-year transitional measures)		
			Regular	Serious disease*	Patients who use a ventilator or similar support	Regular	Patients with ongoing serious diseases	Patients who use a ventilator or similar support
I	Welfare, etc.		0			0		
II	Municipal tax exemption	Low income I (less than approximately 800,000 yen)	1,250		500	1,250	1,250	500
III		Low income II (less than approximately 2 million yen)	2,500			2,500		
IV	Regular income I (71,000 in municipal tax or less, less than approximately 4.3 million yen)		5,000	2,500		2,500	2,500	
V	Regular income II (251,000 in municipal tax or less, less than approximately 8.5 million yen)		10,000	5,000	5,000			
VI	Upper income (Greater than 251,000 yen in municipal tax, greater than approximately 8.5 million yen)		15,000	10,000	10,000			
	Food expenses during hospitalization		Half of the costs borne by patients			None of the costs borne by patient		

*Serious diseases are defined as either: 1) requiring high-cost medical Expenses over the long term, where the total medical expenses exceed 50,000 yen per month for over six months of the year (for example, if the medical insurance bears 80% of the costs, patient-borne medical expenses of 10,000 yen per month), or 2) the disease meets the standards of an ongoing serious disease.

[Click here for the authorization standards for serious diseases and specific pediatric chronic disease.](#)

[Return to “About Medical Expense Assistance for Specific Pediatric Chronic Diseases”](#)

[> Return to the top of the page for the Upper Limit of Patient-Borne Costs of Medical Expense Assistance for Specific Pediatric Chronic Diseases](#)

Application Process

The following information pertains to the application process for medical expense assistance for specific pediatric chronic diseases.

1. Patients must have a medical exam at a designated medical facility.
2. After diagnosis at a designated medical facility, patients will receive a medical opinion document for a pediatric chronic disease from the physician.
3. Attach the medical opinion document provided in step 2 to your application for medical expense assistance and submit it to your prefecture, designated city, or core city.*
4. Eligible patients are examined by the Specific Pediatric Chronic Disease Examination Committee.
5. The patient and family are notified by the prefecture, designated city, or core city as to whether the applied for payment has been authorized or not.

対象患者の審査	Examination for eligibility
【都道府県・指定都市・中核市】	[Prefecture, designated city, or core city]
小児慢性特定疾病審査会	Specific Pediatric Chronic Disease Examination Committee
受診	Medical examination
診断	Diagnosis
申請	Application
認定・不認定	Authorization/non-authorization
(医療意見書添付)	(Attach medical opinion document)
【患児、家族】	[Child patient, family]
【指定医療機関】	[Designated medical facility]
(医療意見書手交)	(Provide medical opinion document)

*Ask your prefecture, designated city, or core city for information about the documents (Application for Medical Care Recipient Certificate) necessary to apply.

[Click here for a list of local government information desks.](#)

Authorization Standards for Patients with Serious Diseases and Specific Pediatric Chronic Diseases

1) Patients who are designated by the Minister of Health, Labour and Welfare (by Notice Number 1 of 462 from the Ministry of Health, Labour and Welfare) as requiring continued treatment that is high cost and long term.

◇ Patients whose treatment is high cost and will continue over the long term can apply using a **separate form** for recognition as a patient with a serious disease. Patients who have received authorization as a patient with a serious disease can find the designated costs on a **separate chart** for the patient-borne costs (patient bears 20% of the costs).

◇ Patients who have treatments that are high cost and continue for the long term are defined as those having medical costs that exceed 50,000 yen for over six months under their medical insurance, based on the medical expense assistance for a specific pediatric chronic disease in one month.

2) Patients who are designated by the Minister of Health, Labour and Welfare (by Notice No. 2 of 462 from the Ministry of Health, Labour and Welfare) as requiring especially burdensome medical treatment.

*

◇ Patients who require especially burdensome treatment based on their physical conditions or the treatment applicable to a specific pediatric chronic disease can apply by using a **separate form** for recognition as a patient a serious disease. Patients who have received authorization as a patient with a serious disease can find the designated costs on a **separate chart** for the patient-borne costs (patient bears 20% of the costs).

◇ A patient with particularly burdensome medical treatment is someone who meets the requirements below in either a or b.

a. The patient is a child and has been acknowledged as having one of the diseases listed in the following chart and continues to suffer from at least one of the diseases on the same chart over the long term (six months or more).

Eligible positions	Conditions of the disease
Eyes	A patient who has a significant disability with their eyes (less than 0.04 vision in both eyes)
Auditory organ	A patient who has a significant auditory disability (a hearing ability in both ears of over 100 decibels)
Arms	<p>A patient who has a significant disability with their arms (complete loss of the ability to use arms)</p> <p>A patient who has a significant disability with the movement of their fingers (loss of all fingers from the base of both hands, or complete loss of the ability to move fingers)</p> <p>A patient who has a significant disability with part of their arm (loss of over half of one of their arms, or complete loss of the ability to move part of their arms)</p>
Legs	<p>A patient who has a significant disability with their legs (complete loss of the ability to move their legs)</p> <p>A patient who has lost a limb from their foot joint or more</p>
Trunk/spine	A disability severe enough that a child 1 year old or older cannot use the muscles in their trunk to sit
	or stand (a disability for a child 1 year old or older who cannot sit down on a chair, sit with their legs tucked under them, sit cross-legged or sit on their side, or cannot assume the decubitus position or cannot stand up on their own from a seated position without the help first of someone else, a pillar, a cane or other form of assistance or care)
Use of limbs	A disability affecting the use of the patient's body, or a disease that requires rest after long periods of activity and is recognized as being more severe than the other items in this chart (excluding the eye and auditory items), and makes management of daily life impossible (has completely lost the ability to use arms and legs or has an ability that severely limits the use of all four limbs)

b. Is a child with a specific pediatric chronic disease and has a disease with the characteristics of one of the disease groups on the following chart.

Disease groups	Disease characteristics
Malignant neoplasm	Has a transition or reoccurrence and is undertaking serious treatment
Chronic kidney disease	Undertaking hemodialysis or peritoneal dialysis (including CAPD, continuous ambulatory peritoneal dialysis)
Chronic respiratory disease	Undertaking tracheostomy management or intubation
Chronic heart disease	Undertaking ventilator management or oxygen therapy
Inborn error of metabolism	Has an IQ of 20 or less, or is over 1 year old and is bedridden
Neuromuscular disease	Development or IQ is that of 20 or less, or is over 1 year old and is bedridden
Chronic digestive disorders	Undertaking tracheostomy management or intubation
Syndromes that relate to changes in chromosomes or genes	Applies to other items in this chart for treatment conditions
Skin disease	Development or IQ is that of 20 or less, or is over 1 year old and is bedridden

*2) only applies to those eligible for transitional measures.

Reference notice: [Patients designated by the Minister for Health, Labour and Welfare \(notice number 462 from the Ministry of Health, Labour and Welfare\)](#)

[Return to “About Medical Expense Assistance for Specific Pediatric Chronic Diseases”](#)

[> Return to the top of the page for Authorization Standards for Patients with Serious Diseases and Specific Pediatric Chronic Diseases](#)

Services for the Provision of Equipment for Everyday Life

We provide the following equipment with the aim of accommodating children with specific chronic pediatric diseases. This pertains to children who are at home and face considerable obstacles in their everyday lives.

Please direct inquiries regarding these services to your local government.

- **Eligibility:** Must have claimant certification for medical care for children with specific chronic pediatric diseases and must also meet the conditions listed in the eligible persons column for the relevant item.
- **Applications:** Submit to your local municipality (including special wards)
- **Costs borne by patients:** Patients bear some costs, which are adjusted according to your household income.

Relevant Items and Eligible Persons

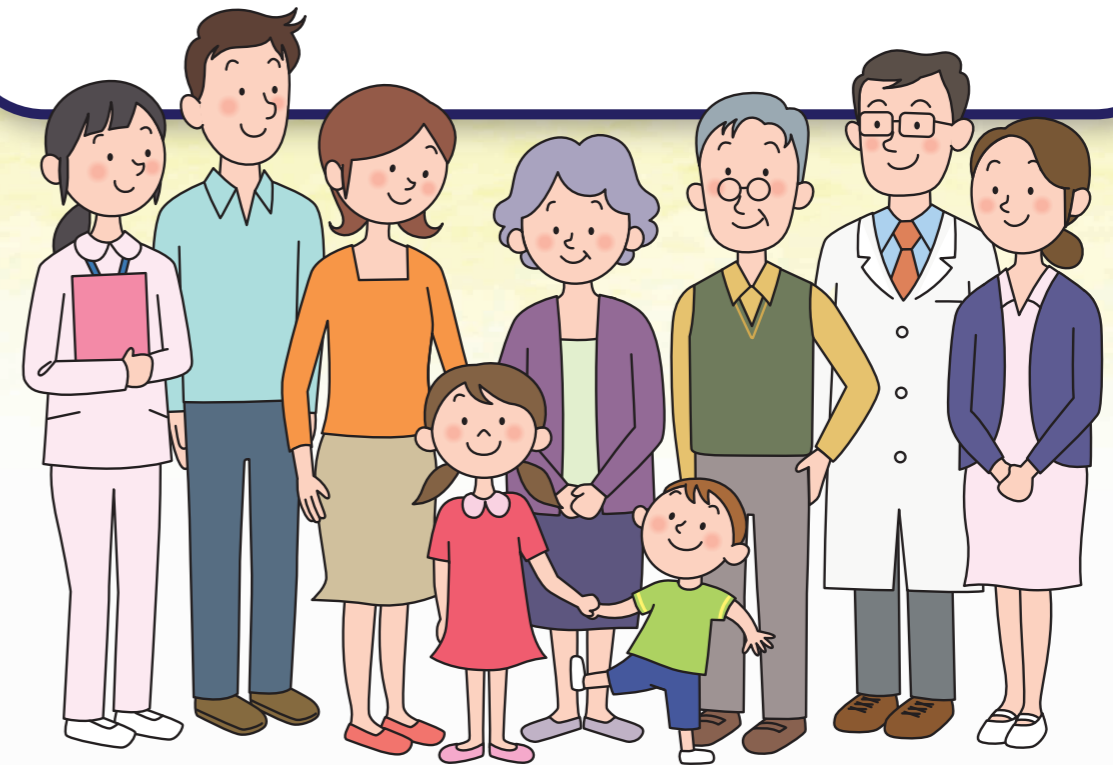
Items	Eligible Persons	Applicability and Other Uses
Toilet	Persons who require continuous care	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases (handrails can be added)
Special mat	Persons who are bedridden	Equipment that can prevent decubitus ulcers or prevent loss or contamination due to incontinence
Special toilet	Persons who have a disability in their upper limbs	Equipment with a pedal that allows patients to use their feet to activate hot water and air; however, this does not include equipment that would require house construction work for installation
Special bed	Persons who are bedridden	Equipment that has training devices for arms, legs, or other body parts attached to it and that in general allows for individual adjustments to the angle of the user's head and legs
Walking support equipment	Persons who have an impairment in their lower limbs	Handrails, slopes, and walking devices that generally have the following uses: <ol style="list-style-type: none"> 1. Equipment that has been designed for children with specific chronic pediatric diseases and has the necessary strength and stability 2. Equipment that prevents falling, assists the user in standing up, helps the get into vehicles, or eliminates differences in height
Bathing assistance equipment	Persons who require assistance in bathing	Equipment that can provide support to users in moving during bathing, maintaining the sitting position, or putting water into a bathtub, and is easy for children with specific chronic pediatric diseases and their caregivers to use
Special urinal	Persons who cannot urinate by themselves	Equipment that automatically absorbs urine and is easy for children with specific chronic pediatric diseases and their caregivers to use

Items	Eligible Persons	Applicability and Other Uses
Body repositioning device	Persons who are bedridden	Equipment that can easily be used by caregivers to reposition the body of children with specific chronic pediatric diseases
Wheelchair	Persons who have an impairment in their lower limbs	Equipment that has been designed for the bodily abilities of children with specific chronic pediatric diseases and has the necessary strength and stability
Safety helmet for head	Persons who frequently fall due to spasms or similar causes	Equipment that can protect the head from the impact of falling
Electrical suction device for phlegm	Persons who have respiratory disabilities	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use
Cooling vest	People who have considerable difficulty regulating their body temperature	Equipment that can regulate body temperature according to the conditions of the disease
Ultra-violet cut cream	Persons who have a considerable lack of ability to defend against ultra-violet rays, and who are susceptible to cancer or nervous disabilities	Equipment that can cut ultra-violet rays
Nebulizer (inhaler)	Persons who have respiratory disabilities	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use
Pulse oximeter	Persons who need to use a ventilator	Equipment that has the ability to continuously monitor breathing and can be used easily by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use
Ostomy appliance (colostomy bag)	Persons who have an artificial anus implanted	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use

Items	Eligible Persons	Applicability and Other Uses
Ostomy appliance (urostomy bag)	Persons who have an artificial urinary bladder implanted	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use
Artificial nose	Persons who need to use a ventilator or need a tracheotomy	Equipment that can be easily used by children with specific chronic pediatric diseases and is also easy for their caregivers to use

一緒に知ろう 一緒に始めよう

指定難病 もうして 患者申出制度とは？



指定難病患者申出制度は、指定難病の追加に向け
患者さんの声を届けるためのものです。
あなたの申出が、医療や研究の支援のための
スタートになるかもしれません。
この機会に制度を正しく知っておきましょう。

監修 ○○ ○○ 先生 (○○○○○○○○○○○○○○○○)

一緒に知ろう 一緒に始めよう

指定難病 もうして 患者申出制度とは？

お困りのことがあれば、担当医または下記までご相談ください。



Contents

- はじめに 2
- 指定難病患者申出制度について 3
- もっと詳しく知っておきましょう① 指定難病患者申出制度とは 4
- 指定難病を知るためのホームページ 5
- もっと詳しく知っておきましょう② 指定難病の認定の流れについて 7
- 指定難病患者申出制度と難病のQ&A 9

はじめに

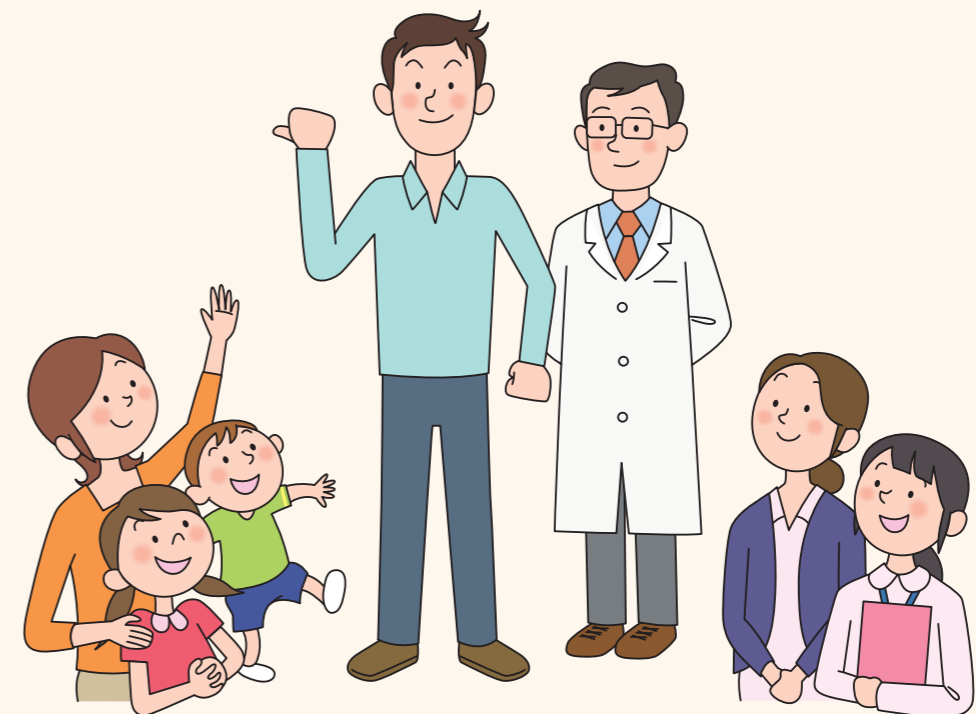
国の難病対策として、難病の患者さんが安心して治療をつづけられるよう支援をするために、指定難病の患者さんに対して医療費助成の制度があります。

また、国は治療法の研究についても支援を行っており、指定難病については研究を行う研究班がいます。

しかし、難病の種類は多くまだ指定難病になっていない病気も少なくありません。患者さんの申出を起点として、指定難病への追加の検討がおこなわれることで、数の多い難病から新しく指定難病となる病気がでてくる可能性があります。

研究班のない病気についても公平に検討される機会を確保するため、患者さんからの申出を起点として指定難病への追加を検討する「指定難病患者申出制度」ができました。

これにより、難病の患者さんに対する、よりよい医療と支援につながることが期待されます。



※難病とは、患者数が少なく、病気の原因が解明されていない、まだ根本的な治療法が確立されていないために長い期間治療が必要な病気のことをいいます。

「指定難病患者申出制度」について

●指定難病と診断されたら

指定難病の患者さんに対しては国から医療費が助成されます。さらに、国は治療法などの研究をする研究班に対しても支援をおこなっています。



難病

■難病の4要件

- 発病の機構が明らかでなく
- 治療方法が確立していない
- 希少な疾病であって
- 長期の療養を必要とするもの

患者数による限定は行わず、他の施策体系が樹立されていない疾病を幅広く対象とし、調査研究・患者支援を推奨

例：悪性腫瘍は、がん対策基本法において体系的な施策の対象となっている

指定難病

難病の内、以下の要件を全て満たすものを、患者のおかれている状況からみて良質かつ、適切な医療の確保を図る必要性が高いものとして、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定

医療費助成の対象

- 患者数が本邦において一定の人数*に達しないこと
- 客観的な診断基準(又はそれに準ずるもの)が確立していること

*人口のおおむね千分の一(0.1%)程度に相当する数と厚生労働省令において規定している。

厚生労働省 資料抜粋

指定難病への追加における2つのルート

- ①患者さん本人からの申出
- ②難病に関する研究班や関係学会からの申出

指定難病への追加に関する検討

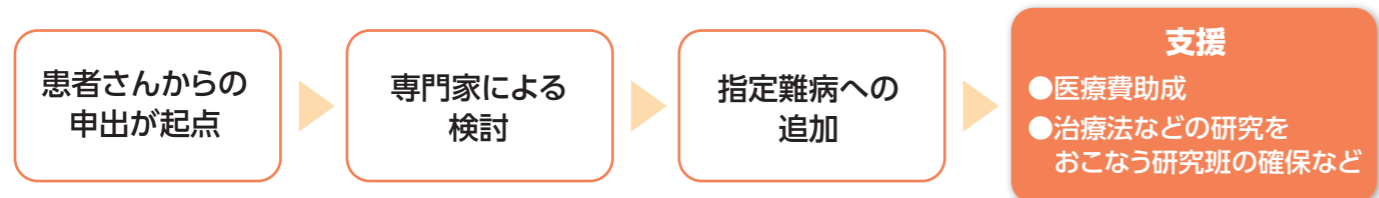
●現在の指定難病の追加の検討とは

難病の中で、一定の要件を満たした場合、専門家によって検討され、その結果を受けて、指定難病に追加されます(現在、指定難病は331疾病[平成31年3月時点])。

現在の指定難病の追加の検討においては、難病に関する研究班や関係学会から、指定難病の検討に資する情報が整理されたとされた病気について申出をおこなうこととなっています。

●指定難病患者申出制度とは (詳しくは5ページをご参照ください)

申出の要件を満たした難病の場合、指定難病患者申出制度を利用して、指定難病への追加の検討に向け、患者さんから直接申出ることができるようになりました。



●患者さんからの申出の手順 (詳しくは7・8ページをご参照ください)

手続きの準備
 診断した医師による「診療情報提供書」が申出には必要です。まずは、かかりつけのお医者さんにご相談下さい。

難病診療連携拠点病院(外来)を受診・相談
 ※必ず難病診療連携拠点病院の申出窓口についてホームページ等で確認して下さい。
 ※申出については代理として家族、主治医、患者会も可能です

難病診療連携コーディネーターから報告

厚生労働省

指定難病検討委員会 など
 専門家による検討・判断

厚生労働省

指定難病への追加

- 医療費の助成
- 治療法などの研究をおこなう研究班の確保など



医療機関と一緒に進めて行きましょう

もっと詳しく知っておきましょう①

指定難病患者申出制度とは

指定難病患者申出制度とは患者さんから指定難病への追加に向け、申出をおこなうことができる制度です。

難病の患者さんが安心して治療や療養をつづけるために、医療、日常生活、社会生活など多方面から支えることが必要です。しかし、指定難病ではない難病については、数も多く医療費の助成や研究のための学術支援などが難しい場合があります。

指定難病への追加の検討にあたっては、今までは学会や研究グループなどが病気の情報を集めて申出をしていました。しかし、病気の種類によっては患者数が少なく研究が進まなかったり、研究グループがなかったりするなど、検討されるまでに長い時間がかかることがありました。そこで**指定難病患者申出制度**がつけられました。

患者さんご自身が指定難病への追加の検討に向け申出ることによって検討が行われ、その中には新しく指定難病となる病気がでてくる可能性があります。

※指定難病の医療費助成とは、患者さんやご家族の所得に応じて、治療に要した医療費が助成されます。

- 指定難病の検討は、患者さんが少なくとも国内に1名いることで行われます。
- 指定難病の検討に、患者さんの年齢制限はありません。
子どもの難病も対象に含まれます。ただし、既に小児慢性特定疾病に指定されている病気は対象外となります。
- 研究班では、専門家が治療法などを研究します。



指定難病を知るためのホームページ

難病のあらゆる情報を公開

難病情報センター

<http://www.nanbyou.or.jp/>



各指定難病の解説・診断基準・臨床調査個人票のほか、国の難病対策、各種制度・支援情報、医療提供体制情報、障害福祉サービス、患者会情報、都道府県担当窓口などを掲載しています。また、厚生労働省が実施している難治性疾患克服研究事業に関する情報も公開されています。

国の難病対策の“いま”がわかる

厚生労働省 難病対策

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nanbyou/index.html



指定難病の一覧(概要、診断基準、臨床調査個人票)、医療費助成制度や難病法にかんする情報が公開されています。また、政令・省令、厚生科学審議会・難病対策委員会における審議内容の報告など、現在の国の難病対策の取り組みがわかります。

難病における雇用対策がわかる

厚生労働省 難病患者の就労支援

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougaisakoyou/06e.html



ハローワークにおける職業相談・職業紹介、難病患者就職サポーターなど就労支援に関する情報が公開されています。各種雇用支援策リーフレットなどもダウンロードできます。雇用側である事業主向けの情報も掲載。

最新の難病研究を掲載

難病医学研究財団

<http://www.nanbyou.jp/>



難病情報センターを運営する難病医学研究財団のウェブサイト。同団体が開催する市民公開講座、指定難病に関する臨床試験(治験)の実施されている機関のホームページリンクを掲載しています。または、同団体の助成事業、最新の難病研究がわかります。

希少疾患の国際的な情報を提供

Orphanet Japan

<http://www.orpha.net/national/JP-JA/index/home/>



希少疾患とオーファンドラッグに関する情報を提供するリファレンスポータル「Orphanet」の日本版。Orphanetは希少疾患の患者さんの診断、ケアおよび治療の向上への寄与を目的としており、約40カ国が加盟するコンソーシアムにより運営されています。

患者・家族会団体のホームページ

一般社団法人
日本難病・疾病団体協議会

<https://nanbyo.jp/>



難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患等の患者団体の中央団体である日本難病・疾病団体協議会(JPA)の公式ホームページ。同団体が開催する難病・慢性疾患全国フォーラムなどのイベント、難病患者サポート事業の情報、加盟する患者会の一覧が掲載されています。

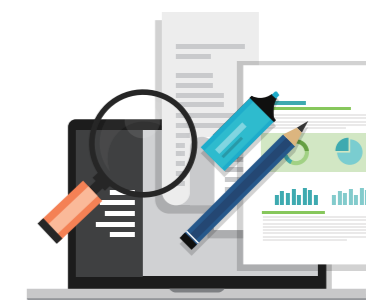
難病患者・家族の生活に役立つ情報を掲載

難病ドットコム

<http://jpma-nanbyou.com/index.aspx>



難病の一つクローン病の患者さんのみで設立された三雲社が運営するホームページ。各疾患の情報や難病に関するニュースのリンクなど、患者さんの視線で難病や希少疾患、慢性疾患の患者さんとその家族の日々の生活に役立つ情報を掲載しています。



もっと詳しく知っておきましょう②

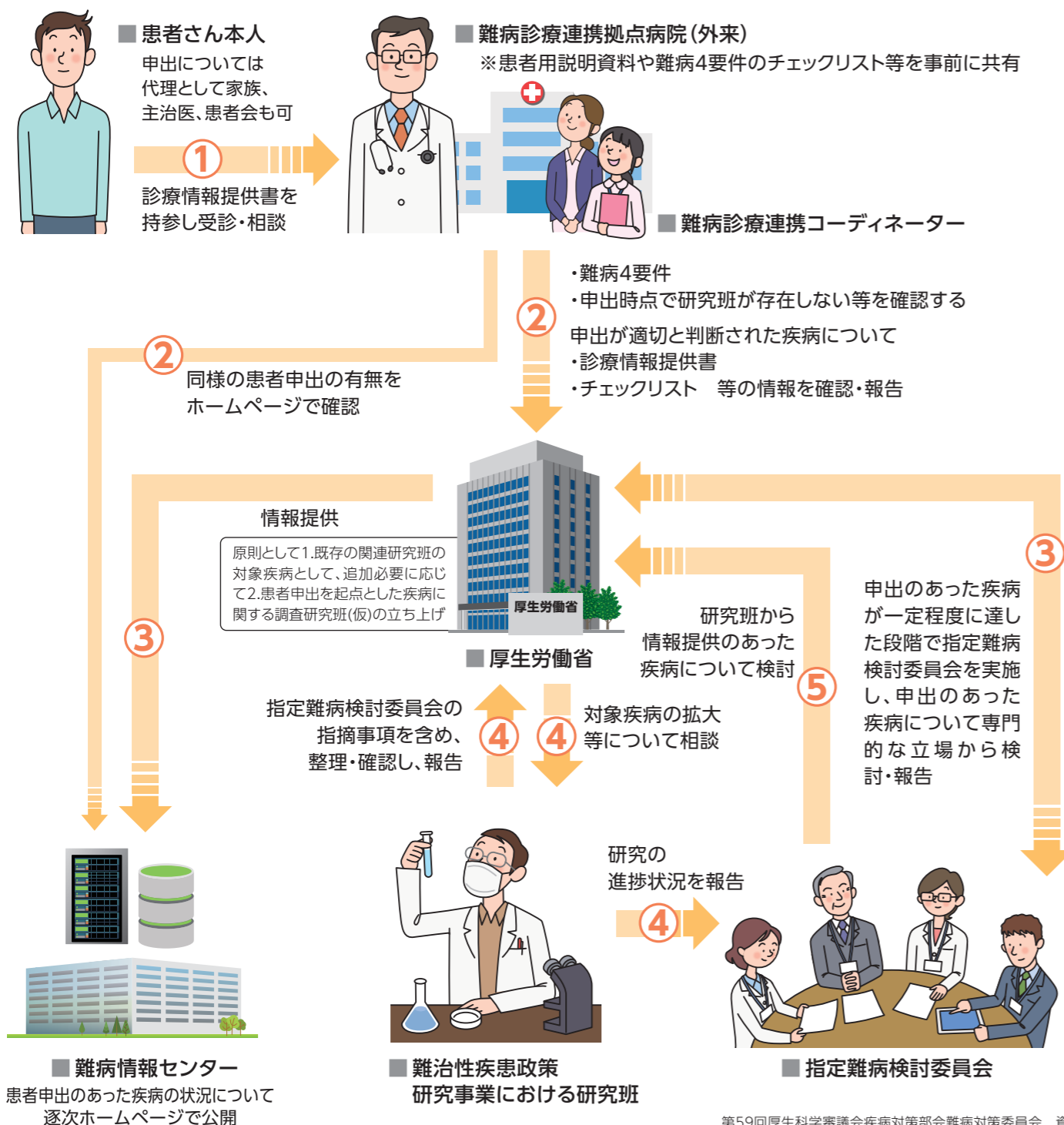
指定難病の認定の流れについて

難病診療連携拠点病院で申出が適切と判断された場合、**難病診療連携コーディネーター**から厚生労働省に報告します。その後、**指定難病検討委員会**において指定難病の要件等について確認し、**難治性疾患政策研究事業における研究班**の検討を経て、指定難病へ追加するか否かの検討が行われます。

患者さんから申出のあった病気が指定難病検討委員会で検討された際には適宜、**難病情報センター**のホームページで情報が公開されます。

※子どもの難病については、小児慢性特定疾病という制度に含まれていない場合が対象になります。

指定難病患者申出制度による追加検討の進め方



第59回厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会 資料抜粋

① 申出制度を利用したいと思ったときにすること

- まず、厚生労働省のホームページ等で申出制度について確認しましょう。
- かかりつけ医等を受診し、拠点病院宛に診療情報提供書(紹介状)を作成してもらってください。(その際に受診する診療科についても確認することが良いでしょう。)

① 拠点病院を受診する前に患者さんが確認すること

- 受診する拠点病院のホームページ等を確認し、申出の窓口を確認しましょう。
- 申出の窓口で申出の流れ等について確認をしましょう。
- 受診の際には**拠点病院のHP等で申出の受付方法等について確認**しましょう。
- 拠点病院を受診する時は**患者さん本人の受診**が必須です。
- 申出者は原則として患者さん本人としますが、ご本人の状況に応じて、**家族や主治医、患者会による代理の申出も可**となります。

② 申出において難病診療連携コーディネーターが確認すること

- 申出の流れや必要な手続きについて、難病診療連携コーディネーターとよく相談してください。
- 難病診療連携コーディネーターは、診断名を確認後、以下の点を難病情報センターのホームページで確認します。
 - ・既存の指定難病に含まれないこと
 - ・既存の小児慢性特定疾病に含まれないこと
 - ・過去に同様の申出がないこと
 - ・申出の時点で研究班が存在しないこと
- 確認後、上記4点を全て満たす場合には難病診療連携コーディネーターから申出が可能であることを患者さんへ説明します。なお、上記4点のいずれかを満たさない場合は、患者さんへその旨を難病診療連携コーディネーターから説明します。

② 難病診療連携拠点病院の医師がおこなうこと

- 受診した**患者さん本人**について診療情報提供書を基に**診察**し、診療情報提供書の情報について確認します。
- 難病の4要件を確認するためのチェックリスト等を参考に**難病4要件について確認**をおこないます。
- 難病4要件を確認後、その結果を難病診療連携コーディネーターへ連絡します。その際、必要に応じて申出者へ難病4要件の確認の結果について説明をします。

② 医師の診察後に難病診療連携コーディネーターがおこなうこと

- 難病診療連携コーディネーターが医師からの報告を受けた後、申出が適切と判断された場合、難病診療連携コーディネーターは申出のための**難病の4要件を確認するためのチェックリスト**等を厚生労働省難病対策課へ提出します。

③ 申出後に厚生労働省がおこなうこと

- 厚生労働省は、申出のあった疾病について、難病診療連携拠点病院から提出された難病の4要件を確認するためのチェックリスト等の情報を確認します。
- 申出のあった疾病について、難病情報センターへ**申出の受付をおこなったこと**を情報提供します。
- 難病情報センターは情報提供のあった疾病についてHPへ掲載します。

③ 申出について指定難病検討委員会でおこなうこと

- 申出のあった疾病が一定程度に達した段階で指定難病検討委員会を実施し、申出のあった疾病について専門的な立場から、以下の事項を確認します。
 - ・情報整理を行う研究班について(既存または新規研究班のどこで情報の確認が必要か)
 - ・指定難病として検討するまでに整理が必要な情報について(チェックリストで非該当の箇所はどこか)
- 検討結果を厚生労働省へ報告します。

④ 申出について研究班でおこなうこと

- 研究班では指定難病検討委員会の指摘事項を含め、以下の事項*について整理を行い、確認が出来た時点で厚生労働省へ報告します。
 - ※・患者数について・発病の機構の解明の状況・効果的な治療方法の有無・長期の療養の必要性の有無・客観的な診断基準の有無・重症度分類の有無
- 厚生労働省は研究班の情報整理の結果を難病情報センターへ情報提供します。
- 難病情報センターはHPへ申出のあった疾患の検討状況についての情報を掲載します。

④ 研究班において指定難病の検討に資する情報が整理された場合

- 研究班から指定難病の検討に資する情報が整理されたと判断された場合、研究班から指定難病検討委員会へ情報提供(疾病の追加を要望)します。
- ※通常の指定難病の追加の検討と同様の流れとなります。

⑤ 指定難病検討委員会でおこなうこと

- 研究班から指定難病の検討に資する情報が整理されたと報告された場合、指定難病検討委員会において研究班から情報提供のあった疾病について指定難病の各要件を満たすか検討します。
- 検討の結果、指定難病として認められれば、指定難病として追加されます。
- ※通常の指定難病の追加の検討と同様の流れとなります。

指定難病患者申出制度と難病のQ&A

Q 自分の病気が既存の「指定難病」又は「小児慢性特定疾病」に含まれるか、すでに申出がされている病気かどうかわかりません。病院を受診する前に調べる方法がありますか？

A 難病情報センター又は小児慢性特定疾病センターのホームページで病名を検索することができます。既に指定されている病気かどうかをご確認ください。
また、すでに同様の申出がされているか否かについても難病情報センターのホームページで確認することができます。
ホームページを確認してもわからない場合は、かかりつけの医療機関にご相談いただくか、難病診療連携コーディネーターへ問い合わせる等によりご確認ください。

難病情報センター
<http://www.nanbyou.or.jp/>



小児慢性特定疾病センター
<https://www.shouman.jp>



Q 申出をするために、患者はまず何をすればいいですか？

A まずはかかりつけの医療機関で診察をしてもらってください。診断してもらったら診療情報提供書(紹介状)を作成してもらってください。
また、診断名や難病診療連携拠点病院(以下、拠点病院という。)のどの診療科を受診するべきかについて、かかりつけ医に確認することが望ましいです。

Q 診療情報提供書を持たずに拠点病院を受診した場合はどうなりますか？

A 診療情報提供書を持たずに拠点病院を受診した際の取り扱いは病院により異なりますので、受診する予定の病院のホームページ等でご確認ください。

Q 申出を希望しますが、誰でも申出することは可能ですか？

A 申出者は原則として患者さんご本人ですが、本人の状況に応じて、家族や主治医、患者会による代理の申出も可能です。
ただし、拠点病院を受診する際は患者さんご本人が受診する必要があります。その後の申出については、ご本人以外でも可能です。



Q 指定難病患者申出制度における検討のために指定難病検討委員会が開催される頻度はどのくらいですか？

A 申出のあった疾病が一定程度に達した段階で指定難病検討委員会が実施されます。したがって、当該委員会の開催頻度は規定しておりません。

Q 申出のあった疾病について指定難病検討委員会では何を行いますか？

A 申出のあった疾病について専門的な立場から、以下の事項を確認します。
・情報整理を行う研究班について(既存または新規研究班のどこで情報の確認が必要か)
・指定難病として検討するまでに整理が必要な情報について(チェックリストで非該当の箇所はどこか)

Q 原則、「既存の関連研究班の対象疾病として追加する」とありますが、原則に当てはまらない場合はどんな場合ですか？

A 指定難病検討委員会の判断に基づき、厚生労働省は難治性疾患政策研究事業の研究班に対して、対象疾病として追加することが可能か否か等について相談します。その際、難治性疾患政策研究事業の研究班で情報整理が難しいと判断された場合には、当該原則の限りとはなりません。
この場合、必要に応じて指定難病検討委員会において疾病の情報整理をおこなう研究班について再度検討をします。

Q 研究班ではどのような情報を整理するのですか？

A 研究班では指定難病検討委員会の指摘事項を含め、以下の事項について整理を行い、確認が出来た時点で厚生労働省へ報告します。
・患者数について ・発病の機構の解明の状況 ・効果的な治療方法の有無
・長期の療養の必要性の有無 ・客観的な診断基準の有無 ・重症度分類の有無



Q 研究班において、指定難病の検討に資する情報が整理された場合、すぐに指定難病に認定されますか？

A 指定難病検討委員会において難治性疾患政策研究班から情報提供のあった疾病について指定難病の各要件を満たすか検討します。
したがって、情報整理後すぐに指定難病となるわけではございません。

Q 申出から疾病追加されるまで、どのくらい期間がかかりますか？

A 申出のあった疾病が一定程度に達した段階で指定難病検討委員会の開催を予定していますので一律の期間を明示することはできません。



Q 申出をした疾病の検討状況はどのように確認すればよいですか？

A 厚生労働省は申出のあった疾病の検討状況等について、随時、難病情報センターへ情報提供を行います。難病情報センターは情報提供があった疾病についてホームページ(URL)に掲示しますので、当該ホームページをご確認ください。

難病情報センター
<http://www.nanbyou.or.jp/>



一緒に知ろう

し てい なん びょう かん じゃ
指定難病患者
データベースとは？



一緒に知ろう

し てい なん びょう かん じゃ
指定難病患者
データベースとは？

お困りのことがあれば、担当医または下記までご相談ください。

指定難病患者データベースとは、

臨床調査個人票に記載されている患者さんの医学的な情報を集積したデータベースです。

患者さんの貴重な臨床データを集積し、新しい治療法の開発や

患者さんへの適切な支援につなげていくことを目的としています。

この機会に指定難病患者データベースや臨床調査個人票について正しく知っておきましょう。

監修

〇〇 〇〇 先生 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)



Contents

- はじめに 2
- 指定難病患者データベースとは？ 3
- 臨床調査個人票とは？ 4
- データベースに登録される 臨床調査個人票の記載項目 5
- 難病データベースへの登録・利用の流れ 7
- Q&A 9
- 指定難病を知るためのホームページ 10

はじめに

難病患者さんを支える総合的な対策のために「難病対策の基本理念」があります。この「難病対策の基本理念」を達成する上で、最も重要なことは、「難病の克服」です。

現在、難病の研究を推進するため、臨床調査個人票に記載されている患者さんのデータを集積した「指定難病患者データベース」の構築が始まっています。

難病は希少疾病であり患者数が少ないため、研究を行うために必要なデータが集まりにくく、他の疾患に比べて病態の把握、新薬や新しい治療法の開発が難しいという課題があります。そのため、患者さんの臨床データを集積し、難病の克服に向けた研究等に活用することを目指し、データベースを構築することとなりました。

今後は、データベースに蓄積された情報を適切かつ有効的に活用し、難病の研究や施策の立案に役立てることで、患者さんやそのご家族、そして社会にとって、よりよい難病対策が行われると期待されています。

これまでの難病対策も難病に立ち向かう患者さんやご家族の方々の方々の力によって支えられてきましたが、本書をきっかけに、「臨床調査個人票」と「指定難病患者データベース」の理解を深め、難病研究のさらなる推進にご協力いただきたいと思います。

難病対策の基本理念

- 難病*の治療研究を進め、疾患の克服を目指すとともに、難病患者の社会参加を支援し、難病にかかっても地域で尊厳を持って生きられる共生社会の実現を目指す。

*原因不明で、治療方法が未確立であり、生活面で長期にわたり支障が生じる疾病のうち、がん、生活習慣病等別個の対策の体系がないもの

- 国による基本方針の策定
難病対策に係る基本方針を定め、医療や研究開発の推進を図るとともに、福祉や雇用などの他の施策との連携を図る。

基本的な
対策3点

1. 「効果的な治療方法の開発と医療の質の向上」
2. 「公平・安定的な医療費助成の仕組みの構築」
3. 「国民の理解の促進と社会参加のための施策の充実」

指定難病患者データベースとは？

● 難病と指定難病

難病とは、患者数がとても少なく、まだ根本的な治療法が確立されていない難治性疾患のことです。難病の中で、一定の要件を満たした場合、専門家により検討された結果を受けて、指定難病と定められます。

指定難病は、医療費助成制度の対象になり、患者さんは経済的な支援を受けられます。また、専門医や研究者による研究体制が整えられ、よりよい治療法などの研究が進められるようになります。



難病

- 発病の機構が明らかでなく
- 治療方法が確立していない
- 希少な疾病であって
- 長期の療養を必要とするもの

患者数による限定は行わず、他の施策体系が樹立されていない疾病を幅広く対象とし、調査研究・患者支援を推奨
例：悪性腫瘍は、がん対策基本法において体系的な施策の対象となっている

指定難病

難病の内、以下の要件を全て満たすものを、患者のおかれている状況からみて良質かつ、適切な医療の確保を図る必要性が高いものとして、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定

- 患者数が本邦において一定の人数*に達しないこと
- 客観的な診断基準(又はそれに準ずるもの)が確立していること

*人口のおおむね千分の一(0.1%)程度に相当する数と厚生労働省令において規定している。

医療費助成の対象



厚生労働省 資料抜粋

● 指定難病患者データベース

平成27年に施行された難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号。以下「難病法」という)に基づく難病の患者さんに対する医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針(平成27年厚生労働省告示第375号)において、国は、「指定難病の患者の診断基準や重症度分類等に係る臨床情報等を適切に収集し、指定難病患者データベースを構築すること」としています。

これにより、指定難病患者データベースには、平成27年からの臨床調査個人票(詳細は次のページを参照)に記載されている患者さんの医療情報をデータとして集積しており、今後、難病の克服に向けた研究等に活用されることが期待されます。

このデータベースの情報の利用にあたっては、患者さんの貴重なデータを扱うため、安全性の確保の観点からガイドラインを遵守し、審査会での審査を受ける必要があります。

臨床調査個人票とは？

● 難病の研究に欠かせない情報です

臨床調査個人票とは、「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)における「診断書」のことです。指定難病ごとに様式があり、難病指定医*が作成します。

臨床調査個人票の臨床データは、「指定難病患者データベース」に登録されています。患者さんのデータは、医学の進歩には欠かせません。特に患者数が少ない難病においては、データベースに登録された情報の一つひとつが研究を進めるにあたり、とても貴重なデータとなります。

病態の把握、発症のメカニズムなどの研究が進むことによって、支援体制の拡充、新しい治療法の開発、効果的な治療法の確立につながります。もちろん最終目標は難病を克服することです。

研究によって得られた成果は、Webサイト難病情報センター(<http://www.nanbyou.or.jp/>)などを通して公開しています。



* 難病指定医とは
難病法に基づき、都道府県知事または指定都市の市長の指定を受けた医師です。
難病医療費助成制度の新規申請においては、難病指定医が臨床調査個人票を作成する必要があり、患者さんが指定難病にかかっていること(診断基準を満たすこと)や、その病状の程度(重症度)を証明する役割があります。

● 難病医療費助成制度の申請に必要です

難病医療費助成制度の申請、更新にあたっては、臨床調査個人票が必要となります。この臨床調査個人票をもとに審査を行い、難病医療費受給の認定・不認定を決定しています。

臨床調査個人票のフォーマットの入手方法

保健所など各都道府県の難病医療費助成制度の申請窓口や、インターネットから入手できます。医療機関によっては、フォーマットを用意している施設もあります。

臨床調査個人票は、必要に応じて改訂が行われています。最新のものを使用する必要があります。

厚生労働省のホームページ 告示番号ごとに掲載しています

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000084783.html>

難病情報センターのホームページ 疾病名を50音順やキーワードで検索できます <http://www.nanbyou.or.jp/>

データベースに登録される臨床調査個人票の記載項目

臨床調査個人票の記載項目は、指定難病患者データベース(以下、難病データベース)に登録されます。ここでは、どんな記載項目があるのかについて紹介します。

●臨床調査個人票の項目(難病データベースに登録される項目)

1. 基本情報

- 告示病名、告示番号
- 性別
- 生活状況
 - ・移動の程度
 - ・身の回りの管理
 - ・ふだんの活動
 - ・痛み・不快感
 - ・不安・ふさぎ込み
- 姓名
- 家族歴
- 住所
- 発症年月
- 生年月日
- 社会保障(介護認定)



・匿名化
・セキュリティ

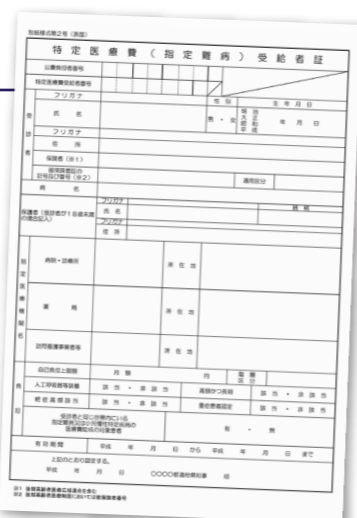
基本情報には、患者さんの氏名、住所など個人情報が含まれています。難病データベースの活用にあたっては、匿名化を行い、個人が特定されないように、細心の注意が払われています。また、情報漏洩を防ぐために高度な情報セキュリティのもとデータが管理されています。

2. 医療費支給審査項目

- ① 診断基準
 - 病型分類
 - 臨床所見
 - 検査所見
 - 遺伝学的検査
 - 鑑別診断
- ② 重症度分類
 - 軽症/中等症/重症
 - 疾患特異的重症度分類
 - 特記事項(自由記載欄)

診断のカテゴリー(判定基準)

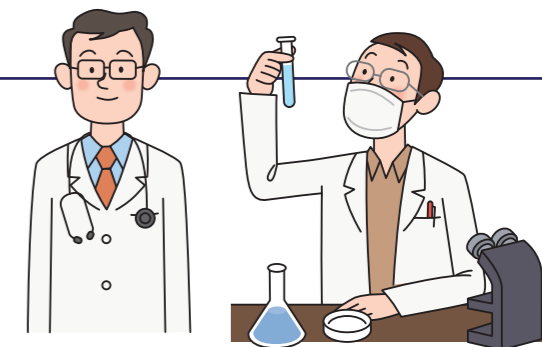
■ 受給者証



難病医療費助成制度において、「指定難病に罹患していること(診断基準)」、「一定の症状があること、日常生活または社会への支障の程度(重症度分類)」を確認するために利用されています。

3. 研究班の調査項目

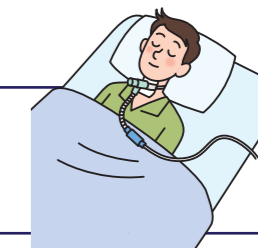
- 臨床所見
- 検査所見
- 発症と経過
- 治療履歴(薬物療法、外科的治療)



厚生労働省の難治性疾患克服研究事業として、原因の究明や治療法の確立などを旨とし、さまざまな研究班が設置されています。他の項目以外に、研究班の調査に必要な項目として、設けられている項目です。

その他の項目 4. 人工呼吸器装着の有無

- 当該指定難病により人工呼吸器を使用している場合のみ記入



その他の項目 5. 医療機関情報

- 指定医番号
- 医療機関電話番号
- 記載年月日

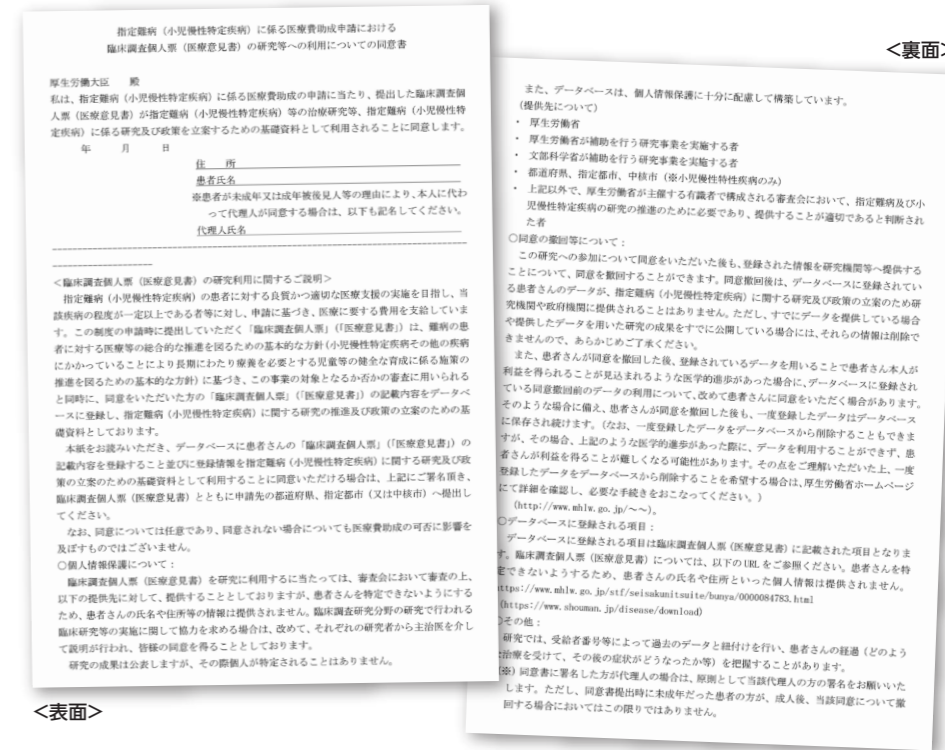
その他の項目 6. 行政欄(都道府県が記載)

- 受給者番号
- 認定/不認定

●難病データ利用の同意文について

特定医療費(指定難病)支給認定申請書にある患者同意文の範囲内で、データが利用されています。同意文には、厚生労働省の研究事業等の基礎資料として使用される旨が記されています。

■ 特定医療費(指定難病)支給認定申請書の同意文



難病データベースへの登録・利用の流れ

ここでは、臨床調査個人票の難病データベースへの登録から、登録されたデータの利用までの流れについて紹介します。

①～④

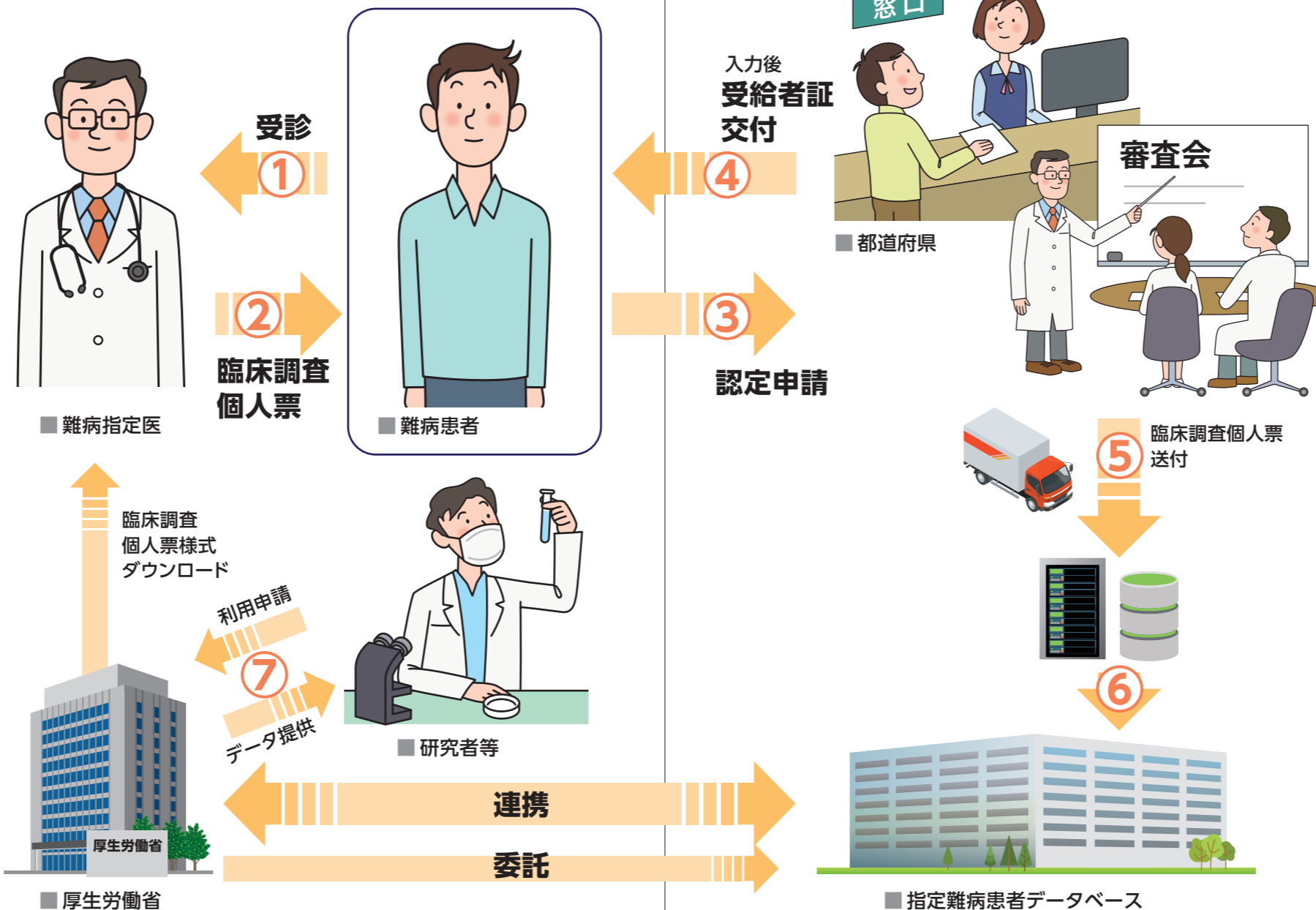
臨床調査個人票の作成・提出

指定難病と診断された患者さんは、難病医療費助成制度の申請時に、難病指定医が作成した臨床調査個人票を他の申請書類とともに都道府県の窓口へ提出します。

⑦ 難病データベースの利用

研究者等から難病データベースの利用の申請があった際には、まずは厚生労働省の難病対策課が審査を行います。適切な利用であると判断された場合、厚生労働省から疾病登録センターにデータ提供を依頼します。

疾病登録センターでは、必要なデータを抽出後、個人が識別できないように匿名化し、暗号化などセキュリティを確保した上で、厚生労働省に提供します。厚生労働省から申請元の研究者に安全な方法でデータが渡されます。



⑤ 疾病登録センターに送付

都道府県は、難病医療費助成制度の認定結果の通知が終了した患者さんの臨床調査個人票の複写を順次、疾病登録センターに送付します。

疾病登録センターとは、難病データベースの運用環境の構築や運用・保守業務を行うところです。

⑥ 難病データベースへの登録

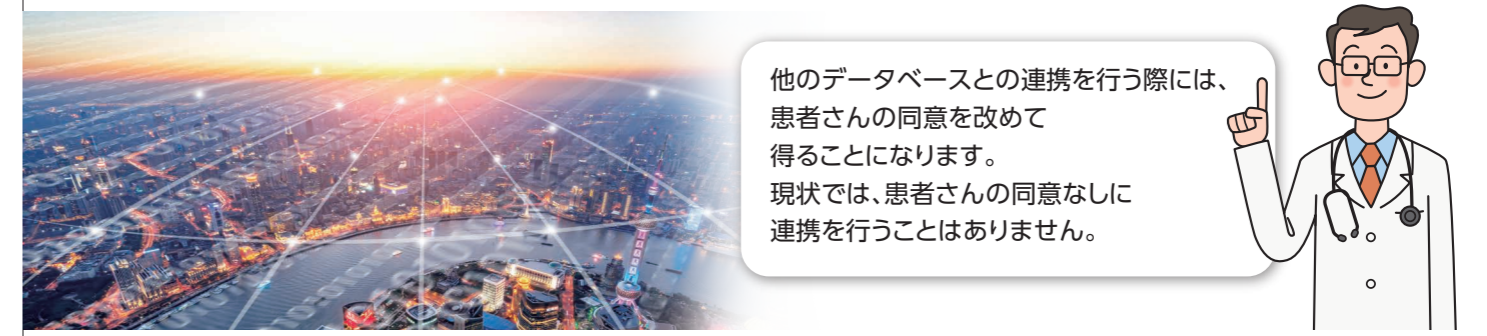
疾病登録センターにおいて、臨床調査個人票のデータが難病データベースに入力されます。これまでの臨床調査個人票の数は、400万件以上にのぼり、年に120～130万件の申請があります。この膨大な数の臨床調査個人票の入力にあたっては、コンピュータで文字を読み取るOCR機能を使い、効率性を高めています。

また、データベースへの登録は検査値の異常値などデータのエラーをシステムでチェックした後に行い、データの精度の向上を図っています。

今後のデータ活用の可能性

さらなる難病研究の推進のために、他のデータベースとの連携も検討されています。厚生労働省では、小児慢性特定疾病を対象としたデータベースを構築していますが、登録されている患者さんの中には、成人後に難病医療費助成の支給認定申請を行うことが想定されます。そこで、小児慢性特定疾病のデータベースと難病データベースを連携し患者さんのデータを経年的に蓄積していくことによって、小児期から成人期への移行期医療を円滑に進めるための研究・検討に寄与することが期待されています。

他にもゲノム研究や創薬関連のデータベース、欧米の患者データベースとの連携などが検討されています。臨床調査個人票のデータは、今後の難病治療にとって、さまざまな可能性を秘めた大切な情報だといえるでしょう。



他のデータベースとの連携を行う際には、患者さんの同意を改めて得ることになります。現状では、患者さんの同意なしに連携を行うことはありません。



指定難病患者データベースのQ&A

Q 指定難病患者データベースを構築することになった背景を教えてください

A 平成27年に施行された難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号。以下「難病法」という)に基づく難病の患者に対する医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針(平成27年厚生労働省告示第375号)において、国は、

- ①指定難病の患者の診断基準や重症度分類等に係る臨床情報等(以下「指定難病患者データ」という。)を適切に収集し、指定難病患者データに係るデータベース(以下「指定難病患者データベース」という。)を構築すること
- ②指定難病患者データベースの構築及び運用に当たっては、個人情報の保護等に万全を期すこと
- ③医薬品等の開発を含めた難病の研究に有効活用できる体制を整備するとともに、小児慢性特定疾病のデータベースや欧米等の希少疾病データベース等、他のデータベースとの連携について検討することと示されています。

これに基づきデータベースを構築しています。

Q 指定難病患者データベースにはどのようなデータが登録されますか？

A 難病医療費助成制度の申請時提出していただく臨床調査個人票のデータ(詳しくは5、6ページをご参照ください)が登録されます。

これは認定、不認定にかかわらず、データの利用について同意をいただいた患者さんのデータが登録されます。

Q 指定難病患者データベースへの登録はどのようなことに役立ちますか？

A 難病は希少疾病であり患者数が少ないため、研究を行うために必要なデータが集まりにくく、他の疾患に比べて病態の把握、新薬や新しい治療法の開発が難しいという課題があります。指定難病患者データベースへ**1人でも多くの方のデータが登録されることで、これらの課題解決へ繋がります。**データベースに蓄積された情報を適切かつ有効的に活用することで、難病の研究の推進や施策の立案に役立ち、患者さんやそのご家族、そして社会にとって、よりよい難病対策が行われると期待されます。さらに、新しい薬や治療法の開発が進むことで、疾患の克服に繋がる可能性もあります。

Q 自分の登録したデータが研究に役立っていることを確認できますか？

A 指定難病に指定されている疾病には、それぞれ研究班が存在します。研究班のホームページでは、現在行われている研究や進捗状況などについて公表されており、そこで確認することができます。研究班に関する報告書やトピックスは、難病情報センターのホームページからも確認いただけます。

Q 名前や住所など個人が直接特定されうる情報が研究者等へ提供されますか？

A 名前や住所など個人が直接特定されうる情報は、原則、データ提供されません。

しかし、研究の目的*によっては審査会が承認した場合に限り、患者さんの臨床調査個人票に記載した医師がいる**医療機関の情報を提供する場合があります。**

*研究者が医療機関の情報をもともと指定医へアプローチし、指定医を通して患者さんへ調査や研究への協力についてお願いすることを目的としている場合。

Q 指定難病患者データベースへの登録を同意しなければ、医療費助成を受けることができますか？

A 「難病法」による医療費助成の対象になるのは、原則として「指定難病」と診断され、「重症度分類等」に照らして病状の程度が一定程度以上の場合です。そのため、**指定難病患者データベースへの登録の同意の有無に関わらず、医療費助成を受けることは可能です。**

指定難病を知るためのホームページ

難病のあらゆる情報を公開

難病情報センター

<http://www.nanbyou.or.jp/>



各指定難病の解説・診断基準・臨床調査個人票のほか、国の難病対策、各種制度・支援情報、医療提供体制情報、障害福祉サービス、患者会情報、都道府県担当窓口などを掲載しています。また、厚生労働省が実施している難治性疾患克服研究事業に関する情報も公開されています。

難病における雇用対策がわかる

厚生労働省 難病患者の就労支援

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougaisakoyou/06e.html



ハローワークにおける職業相談・職業紹介、難病患者就職サポーターなど就労支援に関する情報が公開されています。各種雇用支援策リーフレットなどもダウンロードできます。雇用側である事業者向けの情報も掲載。

希少疾患の国際的な情報を提供

Orphanet Japan

<http://www.orpha.net/national/JP-JA/index/home/>



希少疾患とオーファンドラッグに関する情報を提供するリファレンスポータル「Orphanet」の日本版。Orphanetは希少疾患の患者さんの診断、ケアおよび治療の向上への寄与を目的としており、約40カ国が加盟するコンソーシアムにより運営されています。

難病患者・家族の生活に役立つ情報を掲載

難病ドットコム

<http://jpma-nanbyou.com/index.aspx>



難病の一つクローン病の患者さんのみで設立された三雲社が運営するホームページ。各疾患の情報や難病に関するニュースのリンクなど、患者さんの視線で難病や希少疾患、慢性疾患の患者さんとその家族の日々の生活に役立つ情報を掲載しています。

国の難病対策の“いま”がわかる

厚生労働省 難病対策

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nanbyou/index.html



指定難病の一覧(概要、診断基準、臨床調査個人票)、医療費助成制度や難病法にかんする情報が公開されています。また、政令・省令、厚生科学審議会・難病対策委員会における審議内容の報告など、現在の国の難病対策の取り組みがわかります。

最新の難病研究を掲載

難病医学研究財団

<http://www.nanbyou.jp/>



難病情報センターを運営する難病医学研究財団のウェブサイト。同団体が開催する市民公開講座、指定難病に関する臨床試験(治験)の実施されている機関のホームページリンクを掲載しています。または、同団体の助成事業、最新の難病研究がわかります。

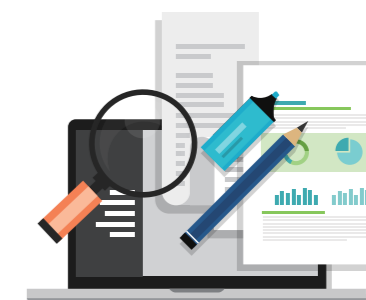
患者・家族会団体のホームページ

一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会

<https://nanbyo.jp/>



難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患等の患者団体の中央団体である日本難病・疾病団体協議会(JPA)の公式ホームページ。同団体が開催する難病・慢性疾患全国フォーラムなどのイベント、難病患者サポート事業の情報、加盟する患者会の一覧が掲載されています。



重症度分類について

～現状の整理～

今回の検討にあたっての基本原則

- ① Bartel Indexをすべての疾患に適応するのではなく、あくまで疾患群別重症度基準を当該疾患群に適応させることが可能かの検討を行う
- ② 予後等は考慮せずに、現時点の状態で判断する
- ③ 今回の検討はあくまで今後の重症度基準についての検討に向けた整理であり、最終的には厚生労働省と各政策研究班の代表者と協議して重症度分類を決定する
- ④ 疾患群別の統一基準がその疾患に適応できない場合は、その理由を報告する

神経疾患（82疾患）

mRS/BI、食事摂取、呼吸状態、てんかん・知能障害 +追加 ??

01-09,14,16-26,111,113,117-122,
125-126,128,131-132,135-309
(計61疾患)

現行の診断基準から変更無し

10:シャルコー・マリートウス病
11:重症筋無力症
12:先天性筋無力症候群
13:多発性硬化症/視神経脊髄炎
15:封入体筋炎
27-33
112,114,115,116 (計18疾患)

mRSの適応あり
現行基準+mRS
mRSのみ

123:禿頭と変形性脊髄症を伴う常染色体劣性
白質脳症
124:皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優
性脳動脈症

mRSからBIへ変更

内分泌疾患(23疾患)

72:下垂体性ADH分泌異常症前眼部形成異常
73:下垂体性TSH分泌亢進症
74:下垂体性PRL分泌亢進症
75:クッシング病
76:下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
77:下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
78:下垂体前葉機能低下症

191:ウェルナー症候群 195:ヌーナン症候群
193:プラダーウィリー症候群 276:軟骨無形成症

80,233,235,236,238,249,265 : ホルモン受容体機
構異常班

81,82,83,232,237: 副腎ホルモン産生異常班

共通の重症度分類を導入
することは難しい

疾患特異的に重症/中等症/
軽症で分類

中等症以上を対象とする。
軽症: 無治療で経過観察が可能である。
中等症: 薬物治療無しには疾病特異的症候のため日常生活に支障をきたす。
重症: 以下の項目の何れかに該当する。
1. 薬物治療を行っても疾病特異的症候のため日常生活に支障をきたす。
2. 本疾病に起因する治療の必要な合併症(心臓疾患、呼吸器疾患、肝疾患、腎疾患など)がある。
3. 視力・視野障害、本症以外の視床下部・下垂体機能障害(中枢性尿崩症、渴中枢障害、体温調節障害、中枢性肥満症(BMI>30)、中枢性やせ症(BMI<17.5)、睡眠障害など)を合併する。

腎・泌尿器疾患(14疾患)

内科的疾患背景をもつ下記疾患、

- 066 IgA腎症
- 067 多発性嚢胞腎
- 109 非典型溶血性尿毒症症候群
- 220 急速進行性糸球体腎炎
- 221 抗糸球体基底膜抗体腎炎
- 222 一次性ネフローゼ症候群
- 223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎
- 224 紫斑病性腎炎

- 218 アルポート症候群
- 219 ギャロウェイ・モワト症候群
- 287 エプスタイン症候群
- 315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／
LMX1B 関連腎症)
- 225 先天性腎性尿崩症

- 226 間質性膀胱炎(ハンナ型)

現在の重症度分類
CKD分類

基本CKD分類
注釈あり

CKD重症度分類の適応は困難

先天異常・遺伝子疾患（26疾患）

小児例（小児慢性疾病の状態の程度に準ずる）

NYHA分類

（先天性心疾患があり、薬物治療・手術によってもNYHA分類でII度以上に該当する場合）

mRS（いずれかが3以上を対象）

食事・栄養

呼吸

難治性てんかん

主な抗てんかん薬2～3種類以上の多剤併用で、かつ十分量で、2年以上治療しても、発作が1年以上抑制されず日常生活に支障をきたす状態。

CKD重症度分類ヒートマップ赤の部分の場合

視覚障害（良好な方の眼の矯正視力が0.3未満）

聴覚障害（3高度難聴以上）

精神症状・能力障害二軸評価

成人例については
1)～○)のいずれかに該当する者を対象とする。

皮膚・結合織疾患(14疾患)

34: 神経線維腫症(錦織班)
36: 表皮水疱症(天谷班)
37: 膿疱性乾癬(天谷班)
159: 色素性乾皮症(錦織班)
160: 先天性魚鱗癬(天谷班)
164: 眼皮膚白皮症(天谷班)
166: 弾性線維性仮性黄色腫(天谷班)

多臓器にわたる疾患であり、
皮膚のみの基準では評価
が困難

35: 天疱瘡(天谷班)
38: SJS(森田班)
39: TEN(森田班)
161: 家族性良性慢性天疱瘡(HDD)(橋本班)
162: 類天疱瘡(天谷班)
163: 特発性後天性全身性無干症(横関班)

疾患特異的な基準であり現
行の重症度基準の適応が
よいと考えられる

186: ロスムンド・トムソン症候群

免疫疾患(27疾患)

40: 高安動脈炎
41: 巨細胞動脈炎
42: 結節性多発動脈炎
43: 顕微鏡的多発血管炎
44: 多発血管炎性肉芽腫症
45: 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
46: 悪性関節リウマチ
48: 原発性抗リン脂質抗体症候群

106: クリオピリン関連周期熱症候群
108: TNF受容体関連周期性症候群
110: ブラウ症候群
266: 家族性地中海熱
267: 高IgD症候群
268: 中條・西村症候群
269: 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・ア
クネ症候群
325: 遺伝性自己炎症性疾患

他、11疾患

modified Rankin Scaleや
Barthel Indexでの評価は
困難

modified Rankin Scale
で評価

検討中

眼科疾患（6疾患）

90:網膜色素変性症
302:レーベル遺伝性視神経症

328:前眼部形成異常
329:無虹彩症

疾患特異的な基準であり
現行の重症度基準の適応
がよいと考えられる

301:黄斑ジストロフィー
134:中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群

良好な方の眼の矯正視力
が0.3未満の者を対象とす
る。

耳鼻咽喉科疾患(10疾患)

181:クルーズン症候群
182:アペール症候群
183:ファイファー症候群
184:アントレー・ビクスラー症候群
190:鰓耳腎症候群
303:アッシャー症候群
304:若年発症型両側性感音難聴
305:遅発性内リンパ水腫
306:好酸球性副鼻腔炎
330:先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症例

基本的にはmRSを加えること、
それぞれの重症度分類に必要な項目を統一すること(例えば聴覚障害の分類とその重症度を同じくすること)、
その上で重症度を見直すこと

血液疾患(14疾患)

- 60:再生不良性貧血
- 61:自己免疫性溶血性貧血
- 62:発作性夜間ヘモグロビン尿症
- 63:特発性血小板減少性紫斑病
- 64:血栓性血小板減少性紫斑病
- 65:原発性免疫不全症候群
- 282:先天性赤血球形成異常性貧血
- 283:遅発性内リンパ水腫
- 284:好酸球性副鼻腔炎
- 285:ファンconi貧血
- 286:遺伝性鉄芽球性貧血
- 288:自己免疫性出血病ⅩⅢ
- 327:特発性血栓症(遺伝性血栓性素因による。)
- 331:キャッスルマン病

(1)血液疾患ではヘモグロビン、白血球、血小板など数値化できるものは既にそのようになっているが、一律に当てはめられない疾患もある、

(2)もしも今回の重症度基準が厳しくて適応されなくて困っているケースがあるとしたらどんなケースか(あれば是非、お聞かせください)

(3)これまで身体障害認定も同様の基準を設けてきたので、そちらとの整合性も意識せざるを得ないだろう

血液検査値における基本的基準 (H28.12改訂 障害認定)

		軽度		中等度		重度
ヘモグロビン	10g/dL	～	9g/dL	～	7g/dL	～
網赤血球数	10万/μL	～	6万/μL	～	2万/μL	～
白血球数	3,300/μL	～	2,000/μL	～	1,000/μL	～
好中球	2000/μL	～	1000/μL	～	500/μL	～
リンパ球	1000/μL	～	600/μL	～	300/μL	～
血小板	10万/μL	～	5万/μL	～	2万/μL	～
APTT またはPT	1.5倍	～	2倍	～	3倍	～
凝固活性	40%	～	5%	～	1%	～

呼吸器疾患(9疾患)

「息切れスケールmMRCと動脈血液ガスの2項目(安静時PaO₂と6分間歩行時最低SpO₂)」
を基本とする

85:特発性間質性肺炎
228:閉塞性細気管支炎
229:肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)

87:肺静脈閉塞症・肺毛細血管腫症
89:リンパ脈管筋腫症
227:オスラー病
231:α1-アンチトリプシン欠乏症

230:肺胞低換気症候群

299:嚢胞性線維症

・mMRC+安静時PaO₂よりもmMRC+労作時最低SpO₂との意見がかなりあった(6分間歩行時最低SpO₂とすると6分間歩行できない最重症の患者さんが困るため労作時最低SpO₂としてある)。
※なお、労作時SpO₂の低下はmMRCに反映するので、むしろ安静時PaO₂を重視するという考え方もある。・PaO₂(SpO₂)以外にAaDO₂(空気呼吸下)やPaCO₂の併記も必要。従って、可能ならSpO₂のみでなく一度は(成人は)血ガス測定が望ましい。
・肺胞低換気症候群については、夜間の低換気の基準および重症睡眠呼吸障害の有無を追加が必要
・症状などに関係なく、すでにこの指定難病で挿管人工呼吸、NPPVや在宅酸素療法中の方は重症と扱うべき。
・重症度の中に、治療状況(治療の必要性)を加えてはどうか。
・症状のみだと患者や主治医の主観が入る余地があり、客観性がある指標と同等に扱って良いのか疑問。

・肺胞低換気症候群については、夜間の低換気の基準および重症睡眠呼吸障害の有無を追加が必要

循環器疾患(27疾患)

188: 多脾症候群
189: 無脾症候群
203: 22q11.2欠失症候群
207: 総動脈幹遺残症
208: 修正大血管転位症
209: 完全大血管転位症
210: 単心室症
211: 左心室低形成症候群
212: 三尖弁閉鎖症
213: 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症

214: 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
215: ファロー四徴症
216: 両大血管右室起始症
217: エプスタイン病
311: 先天性三尖弁狭窄症
312: 先天性僧帽弁狭窄症
313: 先天性肺静脈狭窄症
314: 左肺動脈右肺動脈起始症

NYHA分類

57: 特発性拡張型心筋症
58: 肥大型心筋症
59: 拘束型心筋症

NYHA分類+α

281: クレップル・トレノネー・ウェーバー症候群

mRS+出血スケール

86: 肺動脈性肺高血圧症
88: 慢性血栓塞栓性肺高血圧症
167: マルファン症候群
179: ウィリアムズ症候群

NYHA分類+α

47: バージャー病

疾患特異的基準

その他の疾患群

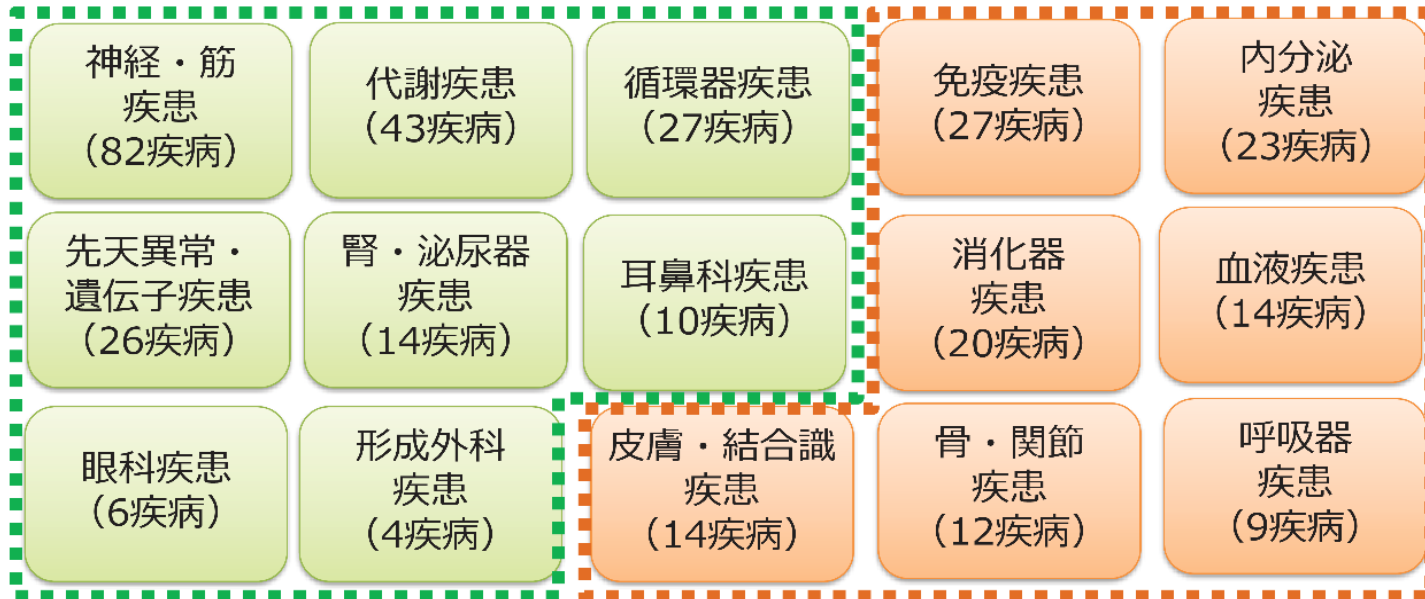
- 消化器疾患 20疾患
- 形成外科疾患 4疾患
- 代謝疾患 43疾患
- 骨・関節疾患 12疾患

疾患群ごとの重症度基準の設定状況

- 疾患群ごとの重症度基準の設定状況を見ると、①疾病ごとに作成されている重症度分類を用いている群（7疾患群）と②臓器領域等ごとに作成されている重症度分類を用いている群（8疾患群）の2つの群に大別される。

②臓器領域等ごとに作成されている重症度分類を用いている群

①疾病ごとに作成されている重症度分類を用いている群



疾患群別分類の作業のまとめ

1. 現在、指定難病の疾患群分類は15疾患群に分類されているが（昨年度のまとめ、添付資料5）、形成外科疾患をなくして、14疾患群とする。難病情報センターの分類についても現在15疾患群に分類されているが、このうち、耳鼻科系疾患と聴覚・平衡機能系疾患を統一させて、耳鼻咽喉科疾患とし、14疾患群とする。これによって、指定難病の疾患群分類と、難病情報センターの疾患群分類は一致することになる。
2.
 - a) まず、最も適切な疾患群（1疾患群）に分類する
 - b) 1疾患群のみに分類することが困難な場合、2疾患群に重複させることも可能（現在すでに3疾患が2疾患群に分類されている：MCTD、アッシャー症候群、好酸球性副鼻腔炎）。その際、2つの重症度分類を設定した場合、重症度基準がより軽い分類で重症度を判定する。
 - c) 多くの疾患で構成される難病（ライソゾーム病、ミトコンドリア病、ジュベール症候群、遺伝性自己炎症疾患、先天異常症候群、原発性免疫不全症候群、全身性アミロイドーシスなど）、についてどうするか（1：特に成人の場合、別の疾患として独立させたほうが良いと思われる疾患がある〔ネフロン漏、髄質嚢胞腎、ミトコンドリア心筋症など〕、2：独立した指定難病が、これらの疾患に重複して分類されている〔レーベル氏病など〕、3：告示病名以外の病名として別の指定難病に入っている（22q11.2 欠失症候群(203)、4：原発性免疫不全症候群(65)の中に多数の疾患が含まれている一方、22q11.2 欠失症候群などが別途、分類されている、5：遺伝性自己炎症症候群(325)の中に複数の疾患が含まれているが、クリオピリン関連周期熱症候群(106)、TNF 受容体関連周期症候群(108)、ブラウ症候群(110)などは別途、分類されている、など）
 - d) 新たな疾患群に分類されることによって、従来重症度分類を作成してきた研究班の専門性とは異なる疾患群に分類されることが生じる（これについては、当面は従来の研究班で担当を継続し、適宜、研究班メンバーの改変などを検討する）
3. 各指定難病の疾患群分類については、まず各班に最も適切な疾患群を提示する（添付：指定難病疾患群分類）。その上で、どうしても単一の疾患群に分類できない場合は、複数の疾患群を考慮する。
4. 各疾患群ごとの代表的な重症度基準（助成基準）について、その burden をできるだけ統一させるようにする。その際、一つの基準として mRS を用いてはどうか（班会議での検討事項？）。

5. 現在とは異なる疾患群に分類されることになる疾患の、今後の診断基準、重症度分類、情報センターの概要、解説などの改定については、各研究班の改変に合わせて、継続性も勘案の上、依頼する。
6. 指定難病と MEDIS 病名、ICD10,11 との突合について。
7. 小児慢性特定疾患の告示病名との整合性、告示病名以外の病名の問題（一覧表が難病情報センターに掲載されている）
8. 多くの指定難病において、病因病態の解明、治療法の進展が著しいため、難病情報センターのホームページの、一般向け、医療者むけの「解説、概要」の定期的なバージョンアップが必要となる。この点特に「医療者向け」については、指定難病検討委員会の承認が必要となっているため（局長通知）、指定難病委員会を介した、各研究班への依頼など、具体的な方策を考える必要がある。
9. 8. と関連して、指定難病の概要、解説、臨床調査個人票の適切な改定をおこなう部門の設置が必要である（場所、人）。

▶ 対象

平成30年度難治性疾患政策研究事業研究課題
89班

▶ 回答

79班（回答率：88.8%）

▶ 対象疾患

指定難病：62班

小児慢性特定疾病：53班

指定難病＋小児慢性特定疾病：50班

政策班アンケート

Q 平成30年度の研究計画で、指定難病患者DBまたは小児慢性特定疾病患者DBのデータを活用した研究を予定していますか？

- ・指定難病患者DBの活用予定あり：39/62班(62.9%)
- ・小児慢性特定疾病DBの活用予定あり：10/53班(18.9%)

政策班アンケート

Q 今後、指定難病患者DBのデータ提供を希望しますか？

・希望

あり：57/62班(91.9%)

なし：5/62班(8.1%)

・「希望あり」の場合の利用目的（複数回答）

疫学調査：52班

患者実態調査：55班

治療状況に関する調査：45班

その他：

研究班データとの比較解析

移行期医療の実態調査

啓発活動での利用

政策班アンケート

Q 今後、指定難病患者DBのデータ提供を希望しますか？

・「希望なし」の場合の理由（複数回答）

悉皆性がない：4班

経年変化がおえない：3班

必要なデータ項目がない：3班

軽症者のデータがない：2班

信頼性が低い：1班

医療機関名が提供されない：1班

名寄せができない：1班

政策班アンケート

Q 指定難病患者DBの研究的価値を高めるために必要な要素とは？
(自由記載)

内容	班数
経年変化が追えること	16
悉皆性の担保	10
未申請者や軽症者の把握	8
信頼性の担保	7
名寄せ機能	4
データ項目の見直し・簡素化	4
小児慢性との互換性の担保	3
登録者へのアクセス	3
具体的治療内容の記載	2

政策班アンケート

Q 指定難病患者DBの研究的価値を高めるために必要な要素とは？
(自由記載)

内容	班数
記載した医師へのアプローチ	1
クラウド入力	1
他のデータベースとの突合	1
データアクセスの簡素化	1
就労に関する情報の追加	1
QOLに関する情報の追加	1
遺伝子診療に関する情報の追加	1
記載者側のインセンティブの確保	1
疾患特異的データ項目の追加	1
画像データの追加	1
病理情報の追加	1

政策班アンケート

Q 今後、小児慢性特定疾病DBのデータ提供を希望しますか？

・希望

あり：36/53班(67.5%)

なし：16/53班(30.2%)

・「希望あり」の場合の利用目的（複数回答）

疫学調査：32班

患者実態調査：33班

治療状況に関する調査：26班

予後調査：23班

政策班アンケート

Q 今後、小児慢性特定疾病DBのデータ提供を希望しますか？

- ・「希望なし」場合の理由（複数回答）
 - 必要なデータ項目がない：5班
 - 名寄せができない：4班
 - 悉皆性がない：2班
 - 信頼性が低い：2班
 - 医療機関名が提供されない：1班

政策班アンケート

Q 他のDBとの連結について（名寄せについて）

- ・指定難病DB－小児慢性DB
希望有り：54/79(68.4%)
希望無し：22/79(27.8%)
- ・指定難病DB/小児慢性DB－NDB
希望有り：44/79(55.7%)
希望無し：29/79(36.7%)
- ・指定難病DB/小児慢性DB－難病プラットフォーム
希望有り：48/79(60.8%)
希望無し：27/79(34.2%)

政策班アンケートのまとめ

① 指定難病患者DB

- 比較的多くの班で今年度の研究計画に本DBの活用が含まれていた（研究内容の詳細は別途確認が必要）。
- ほとんどの班において、本DBの活用に関する希望があった。疫学調査、実態調査、治療状況調査が主な目的であったが、レジストリデータとの比較検討や移行期医療の実態調査なども含まれていた。
- 本DBの価値を高めるための要素として、経年変化が追えること、悉皆性の確保、信頼性の担保、名寄せ機能、データ項目の見直しに関する意見が多かった。また、登録者へのアクセス、クラウド入力、就労やQOL情報の追加などの意見もあった。

政策班アンケートのまとめ

②小児慢性特定疾病DB

- 多くの班において、本DBの活用に関する希望があった。疫学調査、実態調査、治療状況調査、予後調査が主な目的であった。
- 本DBの課題として、データ項目の見直し、名寄せ機能、悉皆性や信頼性の担保などに関する意見があった。

政策班アンケートのまとめ

③他DBとの連結について

- 多くの班で、指定難病患者DBと小児慢性特定疾病DBとの連結および指定難病DB/小児慢性特定疾病DBと難病プラットフォームとの連結に関する希望があった。

政策班アンケートの考察

- 指定難病患者DBおよび小児慢性特定疾病DBに関する研究利用の希望は多いものの、多くの班で、悉皆性や信頼性、経年変化、名寄せ、データ項目等について問題意識があることが想定される。
- 他DBとの連結については多くの研究班で希望があり、対応が必要と考える。

政策班アンケートの考察

▶ 今後とりくむべき課題として、

① 悉皆性

→ 軽症者登録の推進

登録者/記載者へのインセンティブ？

軽症者は研究レジストリで代替？

→ 登録作業の簡便化

web入力、過去データ/研究レジストリデータの参照

② 経年変化

→ 同意書の変更、DB内で紐づけ

③ 名寄せ

→ 他の行政DBの動きと合わせて、名寄せに対応できるように準備が必要。同意書の変更も必要。

政策班アンケートの考察

▶ 今後とりくむべき課題として、

④信頼性

→信頼性について客観的検証が必要

⑤データ項目

→個別のデータ項目に意義について客観的検証が必要

当該研究の実施に当たって、指定難病患者データベース及び各レジストリを管理する主体から、研究対象者に対し、以下の項目について同意を得る。同意を得た後、研究班は指定難病患者データベースに登録されている当該患者の情報とHAMねっと及びウェルナー症候群レジストリに登録されている当該患者の情報について指定難病患者データベース及び各レジストリを管理する主体から提供を受ける。HAMねっととの連結解析は聖マリアンナ医科大学において、ウェルナー症候群レジストリとの連結解析については千葉大学において行う。



医師が研究についてインフォームド・コンセントを行う。
同意が得られた患者のデータのみを研究対象としてデータ提供する。

難病DB



臨床情報等

提供された情報に基づき、
難病DBで提供する者を
抽出。

連結に必要な情報
(氏名・生年月日等)

HAMねっと・ウェルナー症候群レジストリ

被登録者ID

連結に必要な情報
(氏名・生年月日等)

臨床情報等

「指定難病の普及・啓発に向けた統合研究」班

- ・ 指定難病患者データベースの信頼性の検証
 - ・ 研究利用における経年データの有用性に関する検証
 - ・ レジストリとの連結・解析による研究的付加価値の創出に関する検証
- ※外部と遮断された厳重なセキュリティ管理システムの下で管理

医薬基盤・健康・栄養研究所

被登録者ID

難病DBの臨床情報を
被登録者IDと連結

臨床情報等

聖マリアンナ医科大学/千葉大学

難病DBとレジストリの臨床情報を比較・解析

被登録者ID

臨床情報等

被登録者ID

臨床情報等

背景

- 小児慢性特定疾病DB（小慢DB）と指定難病DB（難病DB）との連結およびその研究利用については難病対策委員会でも概ね合議が得られており、2019年7月下旬から開始になるワーキンググループにおいて、連結に向けた対策について議論されることになっている。
- 同一個人のデータを連結したうえでデータセットとして出力することは技術的には可能だと推定されるが、連結したデータセットを研究利用する際に、研究的意義を高めるためにはどのようなデータ項目や回答方法が望ましいかについては十分に検討されていない。

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

目的

本アンケートは、難病を対象とした研究において、同一個人で連結された小慢DBと難病DBのデータセットを研究利用することについて、研究者側のニーズを把握することを目的とする。

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

方法

- 対象：難治性疾患政策研究事業で、小児慢性DBと難病DB双方に含まれている疾患を担当している研究班および日本小児科学会の各分科会
- スケジュール
 - アンケート実施：2019年6月19日～28日
 - アンケート結果とりまとめと報告書作成：～2019年7月16日
- アウトカム：ワーキンググループの参考資料として活用

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果 回答数

- 小慢DBおよび難病DBの両方に登録されている疾患を担当している政策研究班
対象研究班数：56
回答数：38(内重複3)
回答率：67.9%
- 日本小児学会各分科会
回答数：8

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果① 連結データの利用について

- 政策研究班
 - 希望する：34(89.5%)
 - 希望しない：4(11.5%)
 - 希望しない理由：小児例がほとんどないため（4件）
- 日本小児学会各分科会
 - 希望する：8(100%)
 - 希望しない：0(0%)

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果②

連結データ利用の研究目的について

➤ 政策研究班

	1位	2位	3位	4位	5位	合計
自然歴(重症度や症状、ADL、QOLなど)の把握	28	4	1	0	0	33
治療介入状況(薬剤、手術など)の把握	6	16	9	2	1	34
検査結果の推移の把握	1	9	16	3	3	32
生活状況(就労・就学など)の推移の把握	2	4	3	21	2	32
社会サービス(障害者手帳や介護保険など) の推移の把握	1	0	1	5	25	32

その他

- ・医療機関情報(主医療機関・移行医療把握)
- ・病因や併存症の把握
- ・遺伝子診断の有無
- ・それぞれ、何歳の時にどうであったかという経年的なデータが有用

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果②

連結データ利用の研究目的について

➤ 日本小児学会各分科会

	1位	2位	3位	4位	5位	合計
自然歴(重症度や症状、ADL、QOLなど)の把握	6	2	0	0	0	8
治療介入状況(薬剤、手術など)の把握	2	4	2	0	0	8
検査結果の推移の把握	0	2	3	2	1	8
生活状況(就労・就学など)の推移の把握	0	0	3	4	1	8
社会サービス(障害者手帳や介護保険など) の推移の把握	0	0	0	2	6	8

その他：

- ・生命予後の追跡
- ・合併先天異常の把握
- ・治療介入が自然歴および疾患活動性・日常生活障害度に及ぼす影響
- ・難病研究と位置づけるのであれば、病名及び診断根拠、特に遺伝子解析結果について詳細に記載すべき

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果③

両DBで収集するべき評価スケールについて

➤ 政策研究班

	1位	2位	3位	4位	5位	合計
疾患特異的重症度スケール	25	4	1	2	0	32
modified Rankin Scale	3	7	12	3	3	28
Barthel Index	2	7	7	10	2	28
EQ5D	1	4	3	11	9	28
発達・知能指数	2	8	7	2	10	29

その他

- ・障害者総合支援法における「精神症状・能力障害二軸評価」(2)能力障害評価、
「G40 てんかん」の障害等級判定区分
- ・移動の手段・方法

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果③

両DBで収集するべき評価スケールについて

➤ 日本小児学会各分科会

	1位	2位	3位	4位	5位	合計
疾患特異的重症度スケール	6	0	0	2	0	8
modified Rankin Scale	0	4	1	0	3	8
Barthel Index	1	1	3	2	1	8
EQ5D	1	1	3	2	1	8
発達・知能指数	0	2	1	2	3	8

その他

・New York Heart Association分類

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果④ DB連結に関する意見・要望

➤ 政策研究班

- ・重症度（EDSS）は正確かどうか疑問
- ・全員登録するシステムにしないと期待する情報が得られないのではないかと？
- ・軽症例・障害医療受給例の申請率を向上させるための工夫（診断書料免除等）が重要。
- ・Barthel Indexは認知症などの評価に用いているようだが、発達途上の年齢の小児には明らかに適応不能。Modified Rankin Scaleも同様に発達途上年齢の児には不適。EQ5Dは小児用にはEQ5D-YがEQ5D-3Lを小児用に表現を改変したものがあるが、日本語版の検証は8歳以上で実施されている
- ・難病プラットフォームとの連結も検討してほしい。
- ・データの提供をデータベースソフトに取り込み可能な形でいただきたい。
- ・連結キーは何を想定されているのか。マイナンバーでも使用しないと厳密に連結困難。
- ・Transitionにより主治医が変わるので、その連携が課題。

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

結果④ DB連結に関する意見・要望

➤ 日本小児学会各分科会

- ・空白データの目立つ申請書類は受理しない等の要件がないと欠損値が多く有用なデータになり得ない。
- ・modified Rankin Scale、Barthel Index、EQ5Dに共通するのは、「障害」が生じてしまったからの評価であるという点である。「障害」を予防するために行っている医療の程度、そしてその負担感に関して考慮されておらず、小児では、重症度を反映しているとはいえない。

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

まとめ

- 連結データの利用についてはほとんどが「希望する」という回答であり、「希望しない」と回答した研究班については「小児データがほとんどないこと」が理由であった。
- 利用目的に関する回答は、「自然歴調査」が最も多く、「治療介入状況の把握」「検査結果の推移の把握」が続いた。データベースを活用して難病の自然歴を明らかにするという研究者側のニーズがあらためて明らかになった。その他の回答として、「医療機関情報」があり、移行期医療においては患者が受診している医療機関を把握することに対するニーズが存在することが分かった。
- 自然歴調査における評価スケールに関する回答については、「疾患特異的重症度スケール」が最も多く、疾患横断的スケールである「modified Rankin Scale」「Barthel Index」が続いた。疾患特異的なスケールに対する研究者側のニーズの高さが明らかになった。

小児慢性特定疾病児童等データベースと 指定難病患者データベース連結に関するアンケート

まとめ

- ・疾患横断的スケールについては「小児に関してはvalidationされておらず不向きである」という意見があった。EQ5Dに関してはニーズがそれほど高くなく、本スケールに関する認知度が十分ではないことも背景にある可能性を考えた。
- ・全体の意見としては、軽症例や他の医療制度の受給をうけている患者の登録を促進させることの必要性や連結の技術的課題に対する意見、障害が発生する前を評価できるスケールの必要性などの回答があった。
- ・今回の調査から、両データベースの連結データの利用についてはニーズが高く、その目的としては自然歴調査に関する希望が多かった。また、自然歴調査を行う上で疾患特異的重症度スケールを希望する回答が目立った一方、疾患横断的スケールについても一定のニーズがあった。今後両データベースの収集項目の検討において参考となる結果であると考えた。

ミトコンドリア病において検証予定

- 担当研究班とのミーティング → 済
- MELASを含むミトコンドリア病を対象としてデータ取得することの合意 → 済
- ミトコンドリアレジストリへのデータ登録 → 進行中
- 研究計画書修正作業 → 済
- IRBへの変更申請 → 申請中
- 対象者への再同意 → 未
- 両DBからのデータ取得 → 未
- データ解析 → 未
- 2020年度内に報告書作成予定

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
和田 隆志	急速進行性腎炎症候群 (ANCA関連腎炎を含む)	福井次矢・高木誠・小室一成	今日の治療指針 2020	医学書院	東京	2020	602-604
古澤嘉彦	神経疾患における患者レジストリの意義と可能性	水澤英洋 / 古澤嘉彦	脳神経内科	科学評論社	東京	2020	265-270
福井亮	難病データベースの現状と展望	内田章義	腎臓内科	科学評論社	東京都	2021年1月	120-128
井田博幸	小児慢性特定疾患児童成人移行期支援モデル事業		医学のあゆみ	医歯薬出版(株)		平成30年	901-906
井田博幸	Gaucher病に対する基質合成抑制療法		小児内科	東京医学社		平成30年	1557-1580
井田博幸	ライソゾーム病の基礎と臨床		医学のあゆみ	医歯薬出版(株)		平成30年	31-36
井田博幸	酵素補充療法の有効性と限界		日本臨床	日本臨床社		令和元年	1326-1331
井田博幸	リポドーシス		新臨床内科学第10版	医学書院		令和2年	780-784
井田博幸	先天代謝異常 Gaucher病		今日の小児治療指針 第17版	医学書院		令和2年	199-200
寒川真、楠 進。	補体を標的とした神経免疫疾患の新規治療	鈴木則宏 他	Annual Review 神経2019	中外医学社	東京	2019	113-122
楠 進	神経筋疾患における糖脂質抗体測定	鈴木則宏 他	Annual Review 神経2020	中外医学社	東京	2020	300-305
秋丸裕司、坂手龍一、吉野満昭、木村友則	指定難病の臨床調査個人票のデータベース活用	腎臓内科編集委員会	腎臓内科	科学評論社	日本	2020	12(5), 589-600
秋丸裕司、乾和歌子、村井英継	指定難病の臨床調査個人票とのデータベース連携	脳神経内科編集委員会	脳神経内科	科学評論社	日本	2020	92(3), 332-339

大竹 明	小児の難病と「ALA」	北尾吉孝+「ALAの未来」を考える会	ALAが創る未来。「生命の根源物質」でバイオと医療・健康に貢献する.	PHP研究所	東京	2020	177-199
村山 圭, 小坂 仁, 三牧 将和	ミトコンドリアと病気	村山 圭, 小坂 仁, 三牧 将和	遺伝医学MOOK	メディカルドゥ	東京	2020	172-176
村山 圭	ミトコンドリア異常症	水口 雅, 市橋 光, 崎山 弘, 伊藤 秀一	今日の小児診療指針	医学書院	東京	2020	194-195
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) の新たな診察ガイドライン.	鈴木 則宏, 荒木 信, 宇川 義一, 桑原 聡, 塩川 崇	Annual Review 神経2020	中外医学社	東京	2020	131-136
山野嘉久, 他: 「HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン2019」作成委員会.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン2019.	「HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン2019」作成委員会	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン2019.	南江堂	東京	2019	1-181
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 [指定難病26]	水澤英洋、五十嵐 隆、北川泰久、高橋和久、弓倉 整	指定難病ペディア2019	診断と治療社	東京	2019	95-97
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症	南学正臣	内科学書 改訂第9版	中山書店	東京	2019	386-387
山野嘉久.	痙性対麻痺 (HAMを含む) .	福井次矢, 高木誠, 小室一成	今日の治療方針 2020年度版	医学書院	東京	2020	62: 980-981
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症.	永井良三	今日の診断指針 第8版 ポケット判	医学書院	東京	2020	593-596
佐々木 秀直, 渡辺宏久, 下畑享良, 日本神経学会運動失調症セクション	運動失調症の呼吸管理	小林弘祐	標準的医療説明の手順書	内科系学会社会保険料連合	東京	2019	128-133
佐藤晃一、原章規、和田隆志	腎臓障害に関連する指定難病の動向		腎臓内科	科学評論社	東京	2021	136-143

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis Guideline.	Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study.	J Rheumatol	45(4)	521-528	2018

<p>Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y.</p>	<p>Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study.</p>	<p>Clin Exp Nephrol</p>	<p>22(6)</p>	<p>1266-1280</p>	<p>2018</p>
<p>Harigai M, Nagasaka K, Amano K, Bandono M, Dobashi H, Kawakami T, Kishibe K, Murakawa Y, Usui J, Wada T, Tanaka E, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y.</p>	<p>2017 Clinical practice guidelines of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis.</p>	<p>Mod Rheumatol</p>	<p>29(1)</p>	<p>20-30</p>	<p>2018</p>

<p>Kanda E, Kashihara N, Matsushita K, Utsui T, Okada H, Isdeki K, Mikami K, Tanaka T, Wada T, Watanada H, Ueki K, Nishigaki M; Research Working Group for Establishing Guidelines for Clinical Evaluation of Chronic Kidney Disease.</p>	<p>Guidelines for clinical evaluation of chronic kidney disease : AMED research on regulatory science of pharmaceuticals and medical devices.</p>	<p>Clin Exp Nephrol</p>	<p>22(6)</p>	<p>1446-1475</p>	<p>2018</p>
<p>Kikuchi K, Saigusa D, Kanemitsu Y, Matsumoto Y, Thanai P, Suzuki N, Mise K, Yamaguchi H, Nakamura T, Asaji K, Mukawa C, Tsukamoto H, Sato T, Oikawa Y, Iwasaki T, Oe Y, Tsukimi T, Fukuda NN, Ho HJ, Nantoh-Hara F, Ogura J, Saito R, Nagao S, Ohsaki Y, Shimada S, Suzuki T, Toyohara T, Mishima E, Shima H, Akiyama Y, Akiyama Y, Ichijo M, Matsunashi T, Matsuo A, Ogata Y, Yang CC, Suzuki C, Breeggemann MC, Heymann J, Shimizu M, Ogawa S, Takahashi N, Suzuki T, Owada Y, Kure S, Mano N, Soga T, <u>Wada T</u>, Kopp JB, Fukuda S, Hozawa A, Yamamoto M, Ito S, Wada J, Tomioka Y, Abe T.</p>	<p>Gut microbiome-derived phenyl sulfate contributes to albuminuria in diabetic kidney disease.</p>	<p>Nat Commun</p>	<p>10(1)</p>	<p>1835</p>	<p>2019</p>

<p>Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, Kobayashi S, Komagata Y, Komuro I, Komori K, Takahashi K, Tanemoto K, Hasegawa H, Harigami M, Fujimoto S, Miyazaki T, Miyata T, Yamada H, Yoshida A, <u>Wada T</u>, Inoue Y, Uchida A. H, Ota H, Okazaki T, Onimaru M, Kawakami T, Kinouchi R, Kurata A, Kosuge H, Sada K, Shigematsu K, Suematsu E, Sueyoshi E, Sugihara T, Sugiyama H, Takeno M, Tamura N, Tsubutsumino M, Dobashi H, Nakaoka Y, Nagasaka K, Maejima Y, Yoshifuji H, Watanabe Y, Ozaki S, Kimura T, Shigematsu H, Yamauchi-Takahara K, Murohara T, Momomura S, on behalf of the JCS Joint Working Group</p>	<p>JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome — Digest Version —</p>	<p>Circ J</p>	<p>84(2)</p>	<p>299-359</p>	<p>2020</p>
<p>Tran TTT, Hara A, Kitagawa K, Kitajima S, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Furuichi K, <u>Wada T</u>.</p>	<p>Relationship between autoantibodies to erythropoietin receptor and renal outcome in patients with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.</p>	<p>Biomarkers</p>	<p>25(2)</p>	<p>194-200</p>	<p>2020</p>

Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsunoda Y, Masutani K, Konda T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y.	Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS).	Clin Exp Nephrol	24(6)	526-540	2020
北川清樹・和田隆志	血漿交換療法の適応と現状	日本医師会雑誌	148(3)	447-451	2019

<p>Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, <u>Wada T</u>, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y.</p>	<p>Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS).</p>	<p>Clin Exp Nephrol</p>	<p>24(6)</p>	<p>526-540</p>	<p>2020</p>
<p>Nakagawa N, Sofue T, Kanda E, Nagasu H, Matsushita K, Nangaku M, Maruyama S, <u>Wada T</u>, Terada Y, Yamagata K, Narita I, Yanagita M, Sugiyama H, Shigematsu T, Ito T, Tamura K, Isaka Y, Okada H, Tsuruya K, Yokoyama H, Nakashima N, Kataoka H, Ohe K, Okada M, Kashihara N.</p>	<p>J-CKD-DB: a nationwide multicentre electronic health record-based chronic kidney disease database in Japan.</p>	<p>Sci Rep</p>	<p>10(1)</p>	<p>7351</p>	<p>2020</p>

Yokoyama H, Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Furuichi K, Fujimoto K, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y.	Better remission rates in elderly Japanese patients with primary membranous nephropathy in nationwide real-world practice: The Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNCS).	Clin Exp Nephrol	24(10)	893-909	2020
Takahashi-Kobayashi M, Usui J, Kaneko S, Sugiyama H, Naitta K, Wada T, Muroso E, Arimura Y, Makino H, Matsuo S, Yamagata K.	Age-dependent survival in rapidly progressive glomerulonephritis: A nationwide questionnaire survey from children to the elderly.	PLoS One	15(7)	e0236017	2020
Wallace Z, Zhang Y, Perugino CA, Nadeau R, Choi HK, Stone JH, ACR/EULAR IgG4 Classification Criteria Committee. Clinical phenotypes of IgG4-related disease	An analysis of two international cross-sectional cohorts.	Annals Rheum Dis	78(3)	406-412	2019

<p>Nakamura T, Satoh- Nakamura T, Nakaji ma A, Kawanami T, Sakai T, Fujita Y, Iwao H, Miki M, Ma saki Y, Okazaki T, Ishigaki Y, Kawano M, Yamada K, Matsu i S, Saeki T, Kami sawa T, Yamamoto M, Hamano H, Origuch i T, Hirata S, Tan aka Y, Tsuboi H, S umida T, Okazaki K, Tanaka M, <u>Chiba T</u>, Mimori T, Umehara T</p>	<p>Impaired expression of innate immunity-related genes in IgG4-related disease: A possible mechanism in the pathogenesis of IgG4-RD.</p>	<p>Modern Rheumatology</p>	<p>11</p>	<p>1-7</p>	<p>2019</p>
<p>Terao C, Ota M, Iwasaki T, Shiokawa M, Kawaguchi S, Kuriyama K, Kawaguchi T, Kodama Y, Yamaguchi I, Uchida K, Higasa K, Yamamoto M, Kubota K, Yazumi S, Hirano K, Masaki Y, Maguchi H, Origuchi T, Matsui S, Nakazawa T, Shiohara H, Kamisawa T, Hasebe O, Iwasaki E, Inui K, Tanaka Y, Ohshima K, Akamizu T, Nakamura S, Saeki T, Umehara H, Shimosegawa T, Mizuno N, Kawano M, Azumi A, Takahashi H, Mimori T, Kamatani Y, Okazaki K, <u>Chiba T</u>, Kawa S, Matsuda F</p>	<p>IgG4-related disease in the Japanese population: a genome-wide association study.</p>	<p>Lancet Rheumatology</p>	<p>1(1)</p>	<p>14-22</p>	<p>2019</p>
<p>Niwamoto T, Handa T, Matsui S, Yamamoto H, Yoshifuji H, Abe H, Matsumoto H, Kodama Y, <u>Chiba T</u>, Seno H, Mimori T, Hirai</p>	<p>Phenotyping of IgG4-related diseases based on affected organ pattern: A multicenter cohort study using cluster analysis.</p>	<p>Modern Rheumatology</p>	<p>4</p>	<p>1-6</p>	<p>2020</p>

<p>Kakiuchi N, Yoshida K, Uchino M, Kihara T, Akaki K, Iannone Y, Kawada K, Nagayama S, Yokoyama A, Yamamoto S, Matsuura M, Horimatsu T, Hirano T, Goto N, Takeuchi Y, Ochi Y, Shiozawa Y, Kogure Y, Watatani Y, Fujii Y, Kim SK, Kon A, Kataoka K, Yoshizato T, Nakagawa M, Yoda A, Nanya Y, Makishima H, Shiraiishi Y, Chiba K, Tanaka H, Sanada M, Sugihara E, Sato T, Maruyama T, Miyoshi H, Takeuchi MM, Oishi J, Inagaki R, Ueda Y, Okamoto S, Okajima H, Sakai Y, Sakurai T, Haga H, Hirota S, Ikeuchi H, Nakase H, Marusawa H, <u>Chiba T</u>, Takeuchi O, Miyano S, Seno H, Ogawa</p>	<p>Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis.</p>	<p>Nature</p>	<p>577(7789)</p>	<p>260-265</p>	<p>2020</p>
<p>Zhu Y, Cui G, Miyachi E, Nakanishi Y, Mukohira H, Shimba A, Abe S, Taniguchi S, Hara T, Nishikase H, <u>Chiba T</u>, Sehara-Fujisawa A, Seno H, Ohono H, Ikuta K.</p>	<p>Intestinal epithelial cell-derived IL-15 determines local maintenance and maturation of intraepithelial lymphocytes in the intestine.</p>	<p>Int Immunol</p>	<p>32(5)</p>	<p>307-319</p>	<p>2020</p>
<p>Shiokawa M, Kodama Y, <u>Chiba T</u></p>	<p>Different frequencies of antibody responses in IgG4-related disease.</p>	<p>Arthritis Rheumatol</p>	<p>72(9)</p>	<p>1584-1585</p>	<p>2020</p>

Sankoda N, Tanabe W, Tanaka A, Shibata H, Woltjen K, Chiba T, Haga H, Sakai Y, Mandai M, Yamamoto T, Yamada Y, Uemoto S, Kawaguchi Y	Epithelial expression of Gata 4 and Sox2 regulate Cs specification of the squamous-columnar junction via MAPK/ERK signaling in mice.	Nat Commun	12(1)	560	2021
Niwamoto T, Handa T, Matsui S, Yamamoto H, Yoshifuji H, Abe H, Matsumoto H, Kodama Y, Chiba T, Seno H, Mimori T, Hirai	Phenotyping of IgG4-related diseases based on affected organ pattern: A multicenter cohort study using cluster analysis.	Modern Rheumatol	31(1)	235-240	2021
Yamaguchi I, Furusawa Y, Kawaguchi T, Yagishita N, Tanzawa K, Yamano Y, Matsuda F	Establishment of a Comprehensive Information Infrastructure and a Support Organization for Rare Disease Research in Japan (RADDAR-J).	Stud Health Technol Inform	264	1080-1083	2019
Hiroo Hoshina, Yohta Shimada, Takashi Higuchi, Hiroshi Kobayashi, Hiroyuki Ida, Toya Ohashi.	Chaperone effect of sulfated disaccharide from heparin on mutant iduronate-2-sulfatase in mucopolysaccharidosis type II	Molecular Genetics and Metabolism	123	118-122	2018
Kobayashi M, Ohashi T, Kaneshiro E, Higuchi T, Ida H.	Mutation spectrum of α -galactosidase A gene in Japanese patients with Fabry disease.	J Hum Genet	64	695-699	2019
Hiroyuki Ida	Gaucher Disease.	Human Pathology biochemistry eds.		57-66	2019
Nojiri A, Anan I, Morimoto S, Kawai M, Sakuma T, Kobayashi M, Kobayashi H, Ida H, et al	Clinical findings of gadolinium-enhanced cardiac magnetic resonance in Fabry patients.	J Cardiol.	75	27-33	2020
Miwa S, Watabe A, Shimada Y, Higuchi T, Kobayashi H, Fukuda T, Kato F, Ida H, et al	Efficient engraftment of genetically modified cells is necessary to ameliorate central nervous system involvement of murine model of mucopolysaccharidosis type II by hematopoietic stem cell targeted gene therapy.	Mol Genet Metab.	130	262-273	2020

Wada M, Shimada Y, Izuka S, Ishii N, Hiraki H, Tachibana T, Maeda K, Saito M, Arakawa S, Ishimoto T, Ida H, et al	Ex vivo gene therapy treats bone complications of mucopolysaccharidosis type II mouse models through bone remodeling reactivation.	Mol Ther Methods Clin Dev.	19	261-274	2020
Kuwahara M, Suzuki H, Oka N, Ogata H, Yanagimoto S, Sadakane S, Fukumoto Y, Yamana M, Yuhara Y, Yoshikawa K, Morikawa M, Kawai S, Okazaki M, Tsujimoto T, Kira JI, <u>Kusunoki S.</u>	Electron microscopic abnormality and therapeutic efficacy in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy with anti-neurofascin155 immunoglobulin G4 antibody	Muscle Nerve	57	498-502	2018
Miyamoto K, Fujiwara K, Kira JI, Kurayama N, Matsui M, Tamakoshi A, <u>Kusunoki S.</u>	Nationwide epidemiological study of neuromyelitis optica in Japan.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	89	667-668	2018
Yoshikawa K, Kuwahara M, Morikawa M, Fukumoto Y, Yamana M, Yamagishi Y, <u>Kusunoki S.</u>	Varied antibody reactivities and clinical relevance in anti-GQ1b antibody-related diseases.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm	5	e501	2018
Kuwahara M, Numoto I, <u>Kusunoki S</u>	Multifocal nodular hypertrophy of trigeminal nerve in multifocal acquired demyelinating sensory and motor neuropathy.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm	6	e553	2019
Hirano M, Isono C, Fukuda K, Ueno S, Nakamura Y, <u>Kusunoki S</u>	Effects of the rotigotine transdermal patch versus oral levodopa on swallowing in patients with Parkinson's disease	J Neurol Sci	404	5-10	2019
Yoshikawa K, Kuwahara M, Morikawa M, <u>Kusunoki S.</u>	Bickerstaff brainstem encephalitis with or without anti-GQ1b antibody.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm	7 (6)	e889	2020

Yamagishi Y, Kuwahara M, Suzuki H, Sano M, Kuwabara S, Yokota T, Nomura K, Chiba A, Kaji R, Kanda T, Kaida KI, Mutoh T, Yamasaki R, Takashima H, Matsui M, Nishiyama K, Sobue G, Kusunoki S.	Serum IgG anti-GD1a antibody and mEGOS predict outcome in Guillain-Barré syndrome.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	91(12)	1339-1342	2020
Kusunoki S	CSF sphingomyelin: possible biomarker of demyelination.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	92(3)	232	2021
Kusunoki S, Willis HJ, Jacobs BC	Antiglycolipid antibodies in Guillain-Barré and Fisher syndromes: discovery, current status and future perspective	J Neurol Neurosurg Psychiatry	92(3)	311-318	2021
Watanabe M, Nishikawa H, Miyasaka N, Sato R, Sato D, Hayashi Y, Kondo T.	Adverse Drug Reaction Relief System in Japan: From Clinical Perspective	Ther Innov Regul Sci	Jul ; 54(4):	731-737	2020
Hosoya T, Sugihara T, Miyasaka N, Yasuda S.	Novel treatment strategy of polymyalgia rheumatica targeting drug-free remission	Clin Exp Rheumatol	PMID: 33253104		2020
Kaneko Y, Kawahito Y, Kojima M, Nakayama T, Hirata S, Kishimoto M, Endo H, Seto Y, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kojima T, Kamatani N, Tsutani K, Igarashi A, Hasegawa M, Miyasaka N, Yamanaka H.	Efficacy and safety of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis - A systematic review and meta-analysis.	Mod Rheumatol.	30	1-9. doi: 10.1080/14397595.2020.1719607. [Epub ahead of print]	2020
Tanaka Y, Atsumi T, Yamamoto K, Takeuchi T, Yamanaka H, Ishiguro N, Eguchi K, Watanabe A, Otagasa H, Shoji T, Miyasaka N, Koike T.	Factors associated with successful discontinuation of certolizumab pegol in early rheumatoid arthritis.	Int J Rheumatol Dis.	23(3)	316-324. doi: 10.1111/1756-185X.13780. Epub 2020 Jan 19.	2020

Tanaka Y, Oba K, Koike T, <u>Miyasaka N</u> , Mimori T, Takeuchi T, Hirata S, Tanaka E, Yasuoka H, Kaneko Y, Murakami K, Koga T, Nakano K, Amano K, Ushio K, Atsumi T, Inoo M, Hatta K, Mizuki S, Nagaoka S, Tsunoda S, Dobashi H, Horie N, Sato N.	Sustained discontinuation of infliximab with a raising-dose strategy after obtaining remission in patients with rheumatoid arthritis: the RRRR study, a randomised controlled trial.	Ann Rheum Dis	79(1)	94-102. doi: 10.1136/annrheumdis-2019-216169. Epub 2019 Oct 19.	2019
Kojima M, Nakayama T, Tsutani K, Igarashi A, Kojima T, Suzuki S, <u>Miyasaka N</u> , Yamanaka H.	Epidemiological characteristics of rheumatoid arthritis in Japan: Prevalence estimates using a nationwide population-based questionnaire survey.	Mod Rheumatol.	14	1-7. doi: 10.1080/14397595.2019.1682776. [Epub ahead of print]	2019
Takada K, Katada Y, Ito S, Hayashi T, Kishi J, Itoh K, Yamashita H, Hirakata M, Kawahata K, Kawakami A, Watanabe N, Atsumi T, Takasaki Y, <u>Miyasaka N</u> .	Impact of adding tacrolimus to initial treatment of interstitial pneumonitis in polymyositis/dermatomyositis: a single-arm clinical trial.	Rheumatology (Oxford).	pii: kez394. doi: 10.1093/rheumatology/kez394. [Epub ahead of print]		2019
Miyabe C, Miyabe Y, Nagai J, Miura NN, Ohno N, Chun J, Tsuboi R, Ueda H, <u>Miyasaka M</u> , <u>Miyasaka N</u> , Nanki T.	Abrogation of lysophosphatidic acid receptor 1 ameliorates murine vasculitis.	Arthritis Res Ther.	21(1)	191. doi: 10.1186/s13075-019-1973-0.	2019
Kato M, Kaneko Y, Tanaka Y, Inoo M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Murakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Nagasawa H, Tanaka E, <u>Miyasaka N</u> , Yamanaka H, Yamamoto K, Yokota I, Atsumi T, Takeuchi T.	Predictive value of serum amyloid A levels for requirement of concomitant methotrexate in tocilizumab initiation: A post hoc analysis of the SURPRISE study.	Mod Rheumatol.	7	1-8. doi: 10.1080/14397595.2019.1621026. [Epub ahead of print]	2019

Takeuchi T, Miyasaka N, Pedersen R, Sugiyama N, Hirose T.	Radiographic and clinical outcomes following etanercept monotherapy in Japanese methotrexate-naïve patients with active rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	30(2)	259-268. doi: 10.1080/14397595.2019.1589918. Epub 2019 Mar 29.	2019
Kasai S, Sakai R, Koike R, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M.	Higher risk of hospitalized infection, cardiovascular disease, and fracture in patients with rheumatoid arthritis determined using the Japanese health insurance database.	Mod Rheumatol.	29(5)	788-794. doi: 10.1080/14397595.2018.1519889. Epub 2018 Nov 28.	2019
Yamanaka H, Hirose T, Endo Y, Sugiyama N, Fukuma Y, Morishima Y, Sugiyama N, Yoshii N, Miyasaka N, Koike T.	Three-year safety and two-year effectiveness of etanercept in patients with rheumatoid arthritis in Japan: Results of long-term postmarketing surveillance.	Mod Rheumatol.	29(5)	737-746. doi: 10.1080/14397595.2018.1510759. Epub 2018 Sep 20.	2019
Kaneko Y, Kato M, Tanaka Y, Inoue M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Murakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Tanaka E, Miyasaka N, Yamanaka H, Yamamoto K, Takeuchi T, SURPRISE study group	Tocilizumab discontinuation after attaining remission in patients with rheumatoid arthritis who were treated with tocilizumab alone or in combination with methotrexate: results from a prospective randomised controlled study (the second year of the SURPRISE study)	Ann Rheum Dis	Sep;77(9)	1268-1275	2018
Umezawa, N, Kwahata K, Mizoguchi F, Kimura N, Yoshihashi-Nakazato Y, Miyasaka N, Kohsaka H.	Interleukin-23 as a therapeutic target for inflammatory myopathy	Sci Rep	Apr 3;8(1)	doi: 10.1038/s41598-018-23539-4.	2018
Wolfien M. et. al	Hematopoietic stem-cell senescence and myocardial repair - Coronary artery disease genotype/phenotype analysis of post-MI myocardial regeneration response induced by CABG/CD133+ bone marrow hematopoietic stem cell treatment in RCT PERFECT Phase 3.	EBioMedicine	57	102862	2020

Akiyama N, Shimura M, Yamazaki T, Harashima H, Fushimi T, Tsuruoka T, Ebihara T, Ichimoto K, Matsunaga A, Saito-Tsuruoka M, Yatsuka Y, Kishita Y, Kohda M, Namba A, Kamei Y, Okazaki Y, Kosugi A, Ohtake A, Murayama K	Prenatal diagnosis of severe mitochondrial diseases caused by nuclear gene defects: a study in Japan.	Sci Rep	11(1)	3531	2021
Koshizaka M, Maezawa Y, Maeda Y, Shoji M, Kato H, Kaneko H, Ishikawa T, Kinoshita D, Kobayashi K, Kawashima J, Sekiguchi A, Motegi SI, Nakagami H, Yamada Y, Tsukamoto S, Taniguchi A, Sugimoto K, Shoda Y, Hashimoto K, Yoshimura T, Suzuki D, Kuzuya M, Takemoto M, Yokote K.	Time gap between the onset and diagnosis in Werner syndrome: a nationwide survey and the 2020 registry in Japan	Aging (Albany NY)	12	24940-24956	2020
村山圭	ミトコンドリア病	特殊ミルク治療ガイドブック	24	71-73	2020
村山圭	先天代謝異常症	今日の診断指針	第8版総	1918-1920	2020
村山圭	カルニチン回路異常症	新臨床内科学	第10版第6章	784-786	2020
杉山洋平、村山圭	新生児期に緊急対応が必要な先天代謝異常症	新生児内分泌ハンドブック	新版 7代	213-225	2020
盛一享徳	小児疾患の医療費助成制度	小児外科	53(3)	249-51	2021
盛一享徳	小児慢性特定疾病と指定難病	Modern Media	66(3)	68-73	2020

Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Collier-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y.	Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	Proc Natl Acad Sci U S A	117(21)	11685-11691	2020
Yamauchi J, Araya N, Yagishita N, Saita t, Yamano Y.	An update on human T-cell leukemia virus type I (HTLV-1)-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) focusing on clinical and laboratory biomarkers.	Pharmacol Ther	218	107669	2021
Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Collier-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y; Japan Clinical Research Group on HAM/TSP.	Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	Orphanet J Rare Dis	15(1)	175	2020
Kamoi K, Horiguchi N, Kurozumi-Karube H, Hamaguchi I, Yamano Y, Uchimaru K, Tojo A, Watanabe T, Ohno-mtsui K.	Horizontal transmission route responsible for human T-cell lymphotropic virus type 1 uveitis.	Lancet Infect Dis	in press		2021

Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga J, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimaru K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F.	Genome wide association study of HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population.	Proc Natl Acad Sci USA	118(11)	e2004199118	2021
Takeda R, Ishigaki T, Ohno N, Yokoyama K, Kawamata T, Fukuyama T, Araya N, Yamano Y, Uchimaru K, Tojo A.	Immunophenotypic analysis of cerebrospinal fluid reveals concurrent development of ATL in the CNS of a HAM/TSP patient.	Int J Hematol	111(6)	891-896	2020
Hagiwara Y, Shimizu T, Yanagisawa T, Akasu Y, Kaburagi K, Kikuchi T, Shibata S, Matsumoto H, Soga K, Tsuchihashi Y, Nagasaka M, Sasaki N, Maki F, Shiraishi M, Akiyama H, Hasegawa Y, Yamano Y.	Utility of transoral motion-mode ultrasonography to detect tongue fasciculation in patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Muscle Nerve	Online ahead of print		2021
Araujo A, Bangham CRM, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Penalva A, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y.	Management of HAM/TSP. systematic review and consensus-based recommendations 2019.	Neurol Clin Pract	11(1)	49-56	2021

Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchii N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimarui K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuo ka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I.	Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan,	Retrovirology	17	26	2020
Sakamoto H, Itonaga H, Sawayama Y, Kitajima A, Chiwata M, Fujioka M, Kitano-sono H, Horai M, Miyazaki T, Shiraishi H, Imaizumi Y, Yoshida S, Hata T, Yamano Y, Miyazaki Y.	Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adult T-cell Leukemia/Lymphoma with HTLV-1-associated Myelopathy.	Int J Hematol	Online ahead of print		2021
Soga K, Shimizu T, Hagiwara Y, Ogura H, Akiyama H, Yamuchi J, Sato T, Hanzawa K, Hasegawa Y, Yamano Y.	Soleal vein dilatation in the early-phase of hospitalization is associated with a subsequent development of deep vein thrombosis in patients with acute stroke.	J Med Ultrason(2001)	48(1)	97-104	2021
Tsuchihashi Y, Shimizu T, Akiyama H, Hagiwara Y, Soga K, Takao N, Uchino K, Yanagisawa T, Yamuchi J, Sato T, Hasegawa Y, Yamano Y.	The Risk Factors for Death within 6 Months After Ischemic Stroke in Patients with Cancer.	J Stroke Cerebrovasc Dis	29(12)	105365	2020

Takao N, Hagiwara Y, Shimizu T, Soga K, Tsuchihashi Y, Otsubo H, Tatsuno K, Takaishi S, Usuki N, Yoshie T, Takada T, Hasegawa Y, Yamano Y.	Preprocedural Carotid Plaque Echolucency as a Predictor of In-Stent Intimal Restenosis after Carotid Artery Stenting.	J Stroke Cerebrovasc Dis	29(12)	105339	2020
Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N.	Elucidation of predictors of disease progression in patients with relapsing polychondritis at the onset: potential impact on patient monitoring.	BMC Rheumatol	4	41	2020
Sakurai K, Shinohara K, Imai T, Yamano Y, Hasegawa Y.	A Case of Severe Multiple Sclerosis Manifesting upon GnRH Agonist Therapy for Uterine Fibroids: A Case Report.	Intern Med	59(23)	3093-3096	2020
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) に対する分子標的治療薬.	脳神経疾患 最新の治療	2021-2023	32-34	2021
山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) の研究進展からみえる診療の未来像.	SRL宝函	41(3)	21-30	2020
山野嘉久.	HAM/TSPの診断指針 HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診察ガイドライン2019を踏まえて.	脊柱脊髄ジャーナル	33(4)	498-503	2020
佐藤知雄, 山野嘉久.	免疫性神経疾患 update — 基礎・臨床研究の最新知見 — HAMに対する治療薬の現状と展望.	日本臨床	78(11)	1939-1944	2020
新谷奈津美, 山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) の病態.	別冊BIO Clinica 神経疾患と慢性炎症	9(2)	29-33	2020
山内淳司, 山野嘉久, 湯沢賢治.	臓器移植におけるHTLV-1感染への対応.	日本臨床腎移植学会雑誌	8(1)	42-51	2020
山内淳司, 山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) の発症メカニズム.	周産期医学	50(10)	1695-1698	2020
山内淳司, 山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症.	CLINICAL NEUROSCIENCE	38(10)	1270-1271	2020
八木下尚子, 山野嘉久.	HTLV-1関連脊髄症.	生体の科学	71(5)	422-423	2020

鈴木祐, 秋山久尚, 星野俊, 鹿島悟, 原大祐, 土橋瑤子, 伊佐早健司, 櫻井謙三, 眞木二葉, 長谷川泰弘, 山野嘉久.	院内発症脳卒中の診断・治療遅延因子.	脳卒中	in press		2020
曾我海馬, 清水高弘, 飯島直樹, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 柴田宗一郎, 小倉英, 萩原悠太, 栗田千尋, 佐々木直, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久.	頸動脈狭窄患者において血清MMP-9濃度は頭蓋内主幹動脈狭窄リスクと関連する.	聖マリアンナ医科大学雑誌	48(3)	101-108	2020
鷹尾直誠, 櫻井謙三, 日野栄絵, 山野嘉久.	再発性細菌性髄膜炎の原因として鼻汁を契機に鼻性髄液漏の診断に至った1例.	臨床神経	61(3)	177-181	2021
萩原悠太, 菊池崇之, 赤須友香利, 松本博文, 鏑木圭, 柴田宗一郎, 笹野恭之, 齋藤善光, 清水高弘, 山野嘉久.	扁桃周囲膿瘍に対する経口腔咽頭超音波ガイド下排膿穿刺術—経口腔頸動脈超音波の応用—.	Neurosonology	33(2)	45-49	2020
Yamauchi J, Sato T, Yagishita N, Araya N, Hasegawa D, Tsutsumi S, Nagasaka M, Coler-Reilly A, Inoue E, Takata A, Hasegawa Y, Yamano Y.	Use of cerebrospinal fluid CXCL10 and neopterin as biomarkers in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis treated with steroids.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	91(3)	321-323	2020
Tsutsumi S, Sato T, Yagishita N, Yamauchi J, Araya N, Hasegawa D, Nagasaka M, Coler-Reilly A, Inoue E, Takata A, Yamano Y.	Real-World Clinical Course of HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis (HAM/TSP) in Japan.	Orphanet Journal of Rare Diseases	14(1)	227	2019

Katsuya H, Islam S, Tan BJY, Ito J, Miyazato P, Matsuo M, Inada Y, Iwase M, Uchiyama Y, Hata H, Sato T, Yagishita N, Araya N, Ueno T, Nosaka K, Tokunaga M, Yamagishi M, Watanabe T, Uchimaru K, Fujisawa JI, Utsunomiya A, Yamano Y, Satou Y.	The Nature of the HTLV-1 Provirus in Naturally Infected Individuals Analyzed by the Viral DNA-Capture-Seq Approach.	Cell Rep	29(3)	724-735. e4	2019
Tamaki K, Sato T, Tsugawa J, Fujioka S, Yagishita N, Araya N, Yamauchi J, Coler-Reilly A, Nagasaka M, Hasegawa Y, Yamano Y, Tsuboi Y.	Cerebrospinal Fluid CXCL10 as a Candidate Surrogate Marker for HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis.	Front Microbiol	10	2110	2019
Yamaguchi I, Furusawa Y, Kawaguchi T, Yagishita N, Tanzawa K, Yamano Y, Matsuda F.	Establishment of a Comprehensive Information Infrastructure and a Support Organization for Rare Disease Research in Japan (RADDAR-I).	Stud Health Technol Inform	264	1080-1083	2019
山内淳司, 山野嘉久, 湯沢賢治.	腎移植におけるHTLV-1感染のリスク.	移植	54(6)	305-307	2019
山内淳司, 山野嘉久.	HAMの病態とHTLV-1感染細胞の異常.	細胞	51(10)	20-23	2019
山野嘉久.	HTLV-1.	産科と婦人科 増刊号	87	25-28	2020
八木下尚子, 山野嘉久.	患者レジストリの分類.	脳神経内科	92(3)	271-275	2020
Sato T, Coler-Reilly ALG, Yagishita N, Araya N, Inoue E, Furuta R, Watanabe T, Uchimaru K, Matsuoka M, Matsumoto N, Hasegawa Y, Yamano Y.	Mogamulizumab (Anti-CCR4) in HTLV-1-Associated Myelopathy.	N Engl J Med	378(6)	529-538	2018
Yamauchi J, Yamano Y, Yuzawa K.	Risk of Human T-cell Leukemia Virus Type 1 Infection in Kidney Transplantation.	N Engl J Med	380(3)	296-298	2019

Sato T, Yagishita N, Tamaki K, Inoue E, Hasegawa D, Nagasaka M, Suzuki H, Araya N, Coler-Reilly AL, Hasegawa Y, Tsuboi Y, Takata A, Yamano Y.	Proposal of Classification Criteria for HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis Disease Activity.	Front Microbiol	9	1651	2018
Furusawa Y, Yamaguchi I, Yagishita N, Tanzawa K, Matsuda F, Yamano Y, RADAR - J Research and Development Group.	National platform for Rare Diseases Data Registry of Japan.	Learning Health Systems		e10080	2019
Oka T, Mizuno H, Sakata M, Fujita H, Yoshino T, Yamano Y, Utsumi K, Masujima T, Utsunomiya A.	Metabolic abnormalities in adult T-cell leukemia/lymphoma and induction of specific leukemic cell death using photodynamic therapy.	Sci Rep	8(1)	14979	2018
Kuramitsu M, Okuma K, Nakashima M, Saito T, Sasaki D, Hasegawa H, Umeki K, Kubota R, Sasada K, Sobata R, Matsumoto C, Kaneko N, Tezuka K, Matsuoka S, Utsunomiya A, Kohno K, Ogata M, Ishitsuka K, Taki M, Nosaka K, Uchimaru K, Iwanaga M, Sagara Y, Yamano Y, Okayama A, Miura K, Satake M, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I.	Development of reference material with assigned value for human T-cell leukemia virus type 1 quantitative PCR in Japan.	Microbiol Immunol	62(10)	673-676	2018

Kawano N, Yoshida S, Kawano S, Kuriyama T, Tahara Y, Toyofuku A, Manabe T, Doi A, Terasaka S, Yamashita K, Ueda Y, Ochiai H, Marutsuka K, Yamano Y, Shimoda K, Kikuchi I.	The clinical impact of human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1) infection on the development of adult T-cell leukemia-lymphoma (ATL) or HTLV-1-associated myelopathy (HAM) / atypical HAM after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation (allo-HSCT) and renal transplantation: 11 years of experience.	J Clin Exp Hematop	58(3)	107-121	2018
Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N.	Relapsing polychondritis patients were divided into three subgroups: patients with respiratory involvement (R subgroup), patients with auricular involvement (A subgroup), and overlapping patients with both involvements (O subgroup), and each group had distinctive clinical characteristics.	Medicine	97(42)	e12837	2018
Morio Y, Izawa KP, Omori Y, Katata H, Ishiyama D, Koyama S and Yamano Y.	The relationship between walking speed and step length in older aged patients.	Diseases.	7(1)	7	2019
Hirano M, Jimbo K, Ogawa M, Ochi K, Miyakiyama J, Kawamata T, Yokoyama K, Tanaka T, Inamoto Y, Yamano Y, Fukuda T, Uchimaru K, Imai Y, Tojo A.	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy in adult T-cell leukemia-lymphoma patients following allogeneic stem cell transplantation Bone Marrow Transplantation.	Bone Marrow Transplantation	53	1470- 1473	2018
Sato T, Yamano Y.	Targeting human T - lymphotropic virus type 1 - infected cells with an anti - C - C chemokine receptor 4 antibody in T - lymphotropic virus type 1 - associated myelopathy.	Clin Exp Neuroimmunol	9(3)	153-154	2018

八木下尚子, 山野嘉久.	希少難病HAMの患者レジストリを活用した治療薬開発への取り組みと展望.	Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療)	46(7)	1113-1116	2018
森尾裕志, 大森圭貢, 井澤和大, 堅田紘頌, 石山大介, 小山真吾, 中尾陽光, 山野嘉久.	高齢入院患者におけるペットボトルの開栓に必要な握力.	専門リハビリ	17	30-35	2018
Koshizaka M, Maezawa Y, Maeda Y, Shoetsu M, Kato H, Kaneko H, Ishikawa T, Kinoshita D, Kobayashi K, Kawashima J, Sekiguchi A, Motegi SI, Nakagami H, Yamada Y, Tsukamoto S, Taniguchi A, Sugimoto K, Shoda Y, Hashimoto K, Yoshimura T, Suzuki D, Kuzuya M, Takemoto M, Yokote K.	Time gap between the onset and diagnosis in Werner syndrome: a nationwide survey and the 2020 registry in Japan	Aging (Albany NY)	12	24940-24956	2020
Shibata Y, Yabe I, Matsushima M, Hashimoto N, Yamada T, Sasaki H.	Investigating the role of genetic counseling in neuromuscular disease considering life events	J Hum Genet	64(6)	551-559	2019
佐々木秀直, 水澤英洋	国際コンセンサス基準とその問題点	Clinical Neuroscience	37(9)	1110-1112	2019
佐々木秀直, 運動失調症の医療基盤に関する調査研究班MSA分科会	わが国の指定難病の診断基準(案)- 現行基準の課題と展望	Clinical Neuroscience	37(9)	1113-1116	2019
Uwatoko H, Hama Y, Iwata IT, Shirai S, Matsushima M, Yabe I, Utsumi J, Sasaki H.	Identification of plasma microRNA expression changes in multiple system atrophy and Parkinson's disease	Mol Brain	12(1)	e49	2019

Naganuma R, Yabe I, Takeuchi M, Morishita K, Nakane S, Takase R, Takahashi-Iwata I, Matsushima M, Otsuki M, Shiraishi H, Sasaki H.	Clinical factors affecting evoked magnetic fields in patients with Parkinson's disease	Plos One	15(9)	e0232808	2020
Eguchi K, Tsuzaka K, Yabe I, Sasaki H.	Reversible splenial lesion in new-onset refractory status epilepticus: A case report	Clin Neurol Neurosurg	183	105392	2019
Shirai S, Yabe I, Takahashi-Iwata I, Matsushima M, Ito YM, Takakusaki K, Sasaki H.	The responsiveness of triaxial accelerometer measurement of gait ataxia is higher than that of the scale for the assessment and rating of ataxia in the early stages of spinocerebellar degeneration	Cerebellum	18(4)	721-730	2019
野村 太一, 大嶋 祐貴, 芳野 正修, 松島 理明, 矢部 一郎, 佐々木 秀直	高齢発症で家族歴の明らかではない遺伝性トランスサイレチン型アミロイドポリニューロパチーの2例	臨床神経	60(10)	688-692	2020
Yoshii K, Takahashi-Iwata I, Shirai S, Kobayashi S, Yabe I, Sasaki H.	A retrospective epidemiological study of tick-borne encephalitis virus in patients with neurological disorders in Hokkaido, Japan	Microorganisms	8(11)	1672	2020
Takahashi-Iwata I, Yabe I, Kudo A, Eguchi K, Wakita M, Shirai S, Matsushima M, Toyoshima T, Chiba S, Tanikawa S, Tanaka S, Satoh K, Kitamoto T, Sasaki H.	MM2 cortical form of sporadic Creutzfeldt-Jakob disease without progressive dementia and kinetic mutism: A case deviating from current diagnostic criteria	J Neurol Sci	412	116759	2020
佐藤智香, 加納崇裕, 矢部一郎, 佐々木秀直	免疫療法が奏効した小細胞肺癌合併抗CV2/CRMP5抗体陽性脊髄症の1例	臨床神経	60(8)	560-564	2020

Iwata Y, Kitajima S, Yamahana J, Shimomura S, Yoneda-Nakagawa S, Sakai N, Furuichi K, Ogura H, <u>Sato K</u> , Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, <u>Hara A</u> , Shimizu M, Ohkawa R, Kurano M, Yatomi Y, Wada T.	Higher serum levels of autotaxin and phosphatidylserine-specific phospholipase A 1 in patients with lupus nephritis.	Int J Rheum Dis	24(2)	231-239	2020
Tran TTT, <u>Hara A</u> , Kitagawa K, Kitajima S, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Furuichi K, Wada T.	Relationship between autoantibodies to erythropoietin receptor and renal outcome in patients with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis	Biomarkers	25(2)	194-200	2020
Nagasaka K, Harigai M, Hagino N, <u>Hara A</u> , Horita T, Hayashi T, Itabashi M, Ito S, Katsumata Y, Kawashima S, Naniwa T, Sada KE, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y.	Systematic review and meta-analysis for 2017 clinical practice guidelines of the Japan research committee of the ministry of health, labour, and welfare for intractable vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis	Mod Rheumatol	29(1)	119-129	2019
<u>Hara A</u> , Wada T, Sada KE, Amano K, Doibashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides, and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis Guideline.	Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study	J Rheumatol	45(4)	521-528	2018